

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例 (1) 食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
空知	芦別市／ 芦別市食育推進会議／ 平成18年6月19日	・食育推進計画の作成及びその実施を推進すること ・食育の推進に関する重要事項についての審議及び食育の推進に関する施策に実施を推進すること。	(1)学識経験者 (2)食育の推進に関係する機関(食育関係団体、医療関係機関、栄養関係団体、教育関係団体) (3)公募に応じた市民	【時期】必要に応じて会長が招集し開催する 【場所】市役所会議室等 【内容】案件に対し審議し食育の実施を推進する。 【構成人数】11人 【任期】2年	市民福祉部健康推進課健康推進係
空知	滝川市／ 滝川市食育推進市民会議／ 平成19年5月25日	滝川市における食育推進行動計画を策定し、その食育を推進する。	・農業生産関係、教育関係、食生活改善推進協議会、PTA等 ・公募による市民	・第三次食育推進行動計画の進捗状況に関する審議	健康づくり課
空知	南幌町／ 南幌町食育推進計画策定委員会／ 平成27年10月8日	南幌町食育推進計画に住民や食育に関する機関・団体の意見反映させた計画を作成し、より充実した食育の推進を図るため。	町・JA・普及センター・農業関係者・保健福祉関係者・教育関係者	○会議 1回(令和4年度実績) ○委員 12名 ○任期 3年	産業振興課
石狩	札幌市／ 札幌市食育推進会議／ 平成19年7月1日	食育推進計画を作成し、その実施を推進する。	学識経験者、食育推進関係団体の役員又は職員、その他(小学校校長会、医師会、歯科医師会、調理師団体連合会、私立保育園連盟等)	令和4年度 1回開催 第3次札幌市食育推進計画の進捗状況に関する審議及び第4次札幌市食育推進計画の作成について	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市／ 各区食育ネットワーク会議	関係団体が連携・協力して、一体的な食育推進運動を展開する。	教育、保健・栄養、農業、消費者、食品産業などの関係団体や、NPO、ボランティア団体など	令和4年度 計13回開催(書面開催も含む) ネットワークで連携・協力してレシピ集の作成や情報共有などを行った。	各区 保健福祉部 健康・子ども課
石狩	江別市／ 江別市食育推進協議会／ 平成17年5月30日	「食」に関する情報を正しく理解し、望ましい食行動を実践する市民を増やすため、地域の特性を活かした食育活動により一層連携して取り組む	農業生産者、食品事業者、消費者、行政(農業・教育・保健分野)、農業関係団体、ボランティア団体、栄養士会	時期:3月 内容:総会(文書報告) 当年度における協議会主催の活動、構成団体の活動報告、次年度の活動予定の報告、江別市を取り巻く食に関する問題について意見交換し、解決につながる取組等について話し合う。	経済部農業振興課
石狩	千歳市／ 食育会議の取組／ 令和4年4月1日	乳幼児期における望ましい食習慣の定着及び食を通じた心身の健康育成を実施するため、食に関する知識や意見交換等を実施し、より発展的な食育活動の推進を図るため。	市内認定こども園の保育士及び栄養士	時期:年3回(6月・7月・10月) 場所:千歳市役所会議室 内容:食育活動に関する事項 給食に関する事項 食物アレルギーに関する事項 その他必要な事項	こども福祉部 こども政策課
石狩	恵庭市／ 恵庭市食育推進協議会／ 平成24年6月1日 ※前身の「恵庭市食育推進懇話会」については平成17年～平成23年まで設置。	恵庭市における食育推進計画の策定および総合的な食育の推進を図る。	保健所、農工商等連携推進ネットワーク、消費者協会、農業生産者、商工会議所、食品関連事業者、大学、幼稚園、教頭会、栄養教諭、恵庭地域福祉事務所、地域FM放送、老人クラブ連合会、市教委、市経済部、市子ども未来部	回数:年2回 場所:えにあす協議会の内容: ・恵庭市の食育推進計画の策定に関すること。 ・食育の推進と評価に関すること。 ・関係機関・関係団体等との連携に関すること。	保健福祉部保健課
石狩	北広島市／ 北広島市食育推進懇談会／ 平成23年4月1日	食に関わる各団体等が共通の認識を持ち、自主的かつ連携しながら食育の推進の取組みに関し、必要な意見交換を行う。	商工会、消費者協会、生産者、幼稚園協会、PTA連合会、小中学校校長会、教育研究会、公募	第3次北広島市食育推進計画の進行管理のため、1回実施した。 ①R5.3.22	保健福祉部 健康推進課
後志	共和町／ 共和町食育推進委員会／ 平成22年3月25日	「共和町食育推進計画」を策定し、町民一人ひとりが食に関する正確な知識や的確な判断力を身につけ、健康づくりの重要な役割を担う食育をより一層活性化させる。	共和町・きょうわ農業協同組合・共和町観光協会・共和町商工会・町内小中学校・町内幼児センター・食生活改善推進協議会・共和町PTA連合会・共和町女性の会	令和4年度 食育推進委員会 開催日:令和5年2月22日(水) 場所:共和町生涯学習センター 小ホール 内容:令和4年度取組報告について 食育講演会	産業課 農業振興係
胆振	苫小牧市／ 苫小牧市食育推進協議会／ 平成29年1月23日	食育基本法第18条第1項に基づき食育推進計画の策定および総合的かつ効果的な推進にあたり、広く市民及び関係者の意見を反映させるため。	苫小牧市中学校長会、苫小牧市小学校長会、苫小牧商工会議所、(公社)北海道栄養士会苫小牧支部、胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室、苫小牧消費者協会、苫小牧市法人保育園協議会、苫小牧市農業委員会、苫小牧地方食品衛生協会、(一社)苫小牧観光協会、北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部	開催時期 (1)令和5年2月17日(書面会議)	健康こども部健康支援課
胆振	伊達市／ 伊達市健康づくり伊達21推進会議／ 平成18年4月1日	市民の総合的な健康づくり対策を推進するための重点事業の審議を行う。	保健医療関係者及び福祉関係者、学識経験者、その他公募など、15名以内の委員で構成。	時期:年2回(6月・12月) 会場:伊達市保健センター 任期:2年	伊達市健康福祉部 健康推進課
日高	日高町／ 日高町食育推進検討会／ 平成29年8月22日	日高町食育推進計画に基づき、食育推進に関わる内部部署での情報交換・共有及び連携して食育推進活動に取り組む	産業課・商工観光課・保育所・教育委員会管理課・教育委員会社会教育課・地域住民課・生涯学習課・子育て健康課	令和4年度 R5.1月<書面開催> 各課部署で行っている食に関する事業の情報共有及び、来年度取組に関する意見の集約	子育て健康課

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例 (1) 食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
日高	様似町／ 様似町食育協議会／ 昭和63年5月31日	会員の相互連絡と理解を深め、その活動の振興をはかり、栄養及び食生活の改善を通じて、地域社会の健康と明るい社会の建設に寄与することを目的としている。	様似町食育協議会	○「自己学習会」、「料理教室(試作)」 時期:6月17日、7月1日、10月14日、 R5年2月10日(計4回/年) 場所:保健福祉センターきらく ○「子ども料理教室」、「健康づくり料理教室」 時期:12月3日、R5年1月14日、3月3日 (計3回/年)	保健福祉課
上川	中川町／ 中川町食育推進会議／ 平成18年3月17日	・中川町食育推進計画(第3期)の次年度計画案の審議、食育推進活動の報告。	中川町長 小学校校長 中学校校長 PTA会長 中川町商工会会長 農協・農家・町内会連合会代表	時期:2回/年[6月・3月] 場所:中川町役場 会議室	住民課 幸福推進室
上川	中川町／ 中川町食育推進連携委員会／ 平成21年8月	・多くの団体・個人との連携し、具体的に中川町の食育の意識の浸透と推進を図る。 ・食育に関連する具体的な事業の計画・実施。	小学校・中学校・幼児センター 社会福祉協議会・中川町婦人会・老人クラブ連合会・体育協会・商工会・商工会女性部 農協・PTA連合会・町内の各団体(NPO法人など)	時期:3回/年[6月・12月・3月] 場所:中川町役場 会議室	住民課 幸福推進室
上川	下川町／ 下川町食育推進計画町民委員会／ 平成24年8月7日	・下川町食育推進計画の策定及び見直しに関すること。 ・下川町食育推進計画に定める施策及び事業等の評価に関すること。	小学校養護教諭、栄養教諭、 中学校養護教諭、 高校養護教諭、 下川町民、JA職員	令和4年9月6日 書面開催	農林課
上川	鷹栖町／ (食育推進協議会の設置無し)／	鷹栖町産給食の日として、地元の食材を使った給食の提供を行い地産地消を推進するとともに、自分たちの周りでとれる食材を知り、食への知識と関心を深める。	鷹栖町 鷹栖町米麦改良協会	実施日及び場所 令和4年10月4日 新米贈呈式 令和4年10月6日 鷹栖町立鷹栖保育園、鷹栖町立北野保育園、鷹栖町山幼稚園、森の幼稚園ひばら 令和4年10月14日 鷹栖町立鷹栖小学校、鷹栖町立北野小学校、鷹栖町立鷹栖中学校	保育園 健康福祉課子育て支援係 小中学校 教育課総務係
上川	旭川市／ 旭川市食育推進会議／ 平成18年6月21日	食育基本法第33条第1項の規定により、旭川市食育推進計画の作成及び食育推進に関する基本的事項を調査審議するため、旭川市食育推進会議を置く。	(ア)学識経験者 (イ)教育関係者 (ロ)児童福祉関係者 (ハ)消費者団体関係者 (ニ)農業関係者 (ホ)食品産業関係者 (ヘ)保健医療衛生関係者 (コ)市民公募 計16名	時期:年4回 場所:旭川市第二庁舎3階問診指導室 内容(主な審議事項): ・第4次旭川市食育推進計画の策定について ・旭川市食品ロス削減推進計画の策定について	保健所保健指導課
上川	士別市／ 士別市食育推進市民会議／ 平成22年4月1日設置	食育関連事業の進捗状況確認と食育計画の評価、方向性の検討を行うため。	一般市民、幼稚園教諭・栄養教諭、教頭会、高等学校校長・教頭、食生活改善協議会、農業者団体、消費者協会、農業改良普及センター、名寄市立大学、名寄保健所	時期:3月23日 場所:士別市保健福祉センター 内容:R4年度食育関連事業実績報告、第3次食育推進計画数値目標の評価、意見・情報の交換	士別市保健福祉センター食育推進係
上川	名寄市／ 名寄市食育推進協議会 平成20年9月	名寄市食育推進計画に基づき、市民が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を形成できるように総合的な食育の推進を図るため。	市関連部局、市立大学、小学校校長会、高校、消費者協会、食育推進団体、保健推進委員会、食生活改善協議会、栄養士会、農協、グリーンツーリズム推進団体等	・名寄市における食育を推進するための諸活動 ・年に数回会議を開催し、各団体での毎年の活動状況や予定等について報告を行っている。	経済部農務課
オホーツク	湧別町／ 湧別町保健医療福祉協議会／ 平成26年9月17日	湧別町の保健・医療、地域福祉、高齢者・介護、障がい者、子育て、食育に関する各個別計画の策定や審議を行う。	保健・医療・福祉・介護及び教育関係者、関連機関・団体の代表者、有識者、公募町民	必要に応じて開催する。	湧別町福祉課、健康こども課
オホーツク	滝上町／ 滝上町食育・地産地消推進会議／ 令和3年6月1日	食育基本法第33条第1項の規定に基づき設置し、同法第18条第1項に規定する食育・地産地消推進計画を作成、その実施を推進する。また、食育・地産地消の推進に関して、重要事項を審議し、施策の実施を推進する。	校長会、小学校栄養教諭、PTA連合会、こども園父母の会、JA、畑作振興会、酪農組合、商工会、ボランティア団体、役場(保健師、栄養士ほか)	【時期】7月、10月、3月(計3回実施) 【場所】役場大会議室、交流プラザ多目的ホール 【委員数】13名 【任期】2年 【内容】食育月間の取組、食育セミナー、食育アンケート調査、地域乳製品等消費拡大事業などの内容等について協議	農政課地産食育係
オホーツク	滝上町／ 滝上町食育推進ネットワーク会議／ 令和2年5月25日	食育・地産地消推進会議の円滑な運営等を図るため役場組織内に設置する。	保健福祉課、教育委員会、農政課	【時期】4月、5月、7月、9月、10月、11月、2月(計8回実施) 【場所】役場第2会議室 【内容】食育月間の取組、食育セミナー、食育アンケート調査、地域乳製品等消費拡大事業などの内容等について協議(食育・地産地消推進会議の開催にあたり、役場関係課により事前協議)、連絡調整、情報交換	農政課地産食育係
十勝	帯広市／ 帯広市食生活改善推進員協議会／ 平成7年	食生活改善をすすめるものの相互の連携と理解を深め、その活動の遂行をはかることにより、栄養及び食生活改善の効果をたかめ、市民の健康増進、体力づくりを支援することを目的とする。	食生活改善推進員協議会	・会員による月1回の勉強会(調理実習・施設見学・学習会など) ・「けんこう帯広21推進事業」への協力 ・各料理教室での調理指導 ・市健診教室での栄養講座 ・幼児親子食育教室の開催	市民福祉部健康保険室健康推進課

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例 (1) 食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
十勝	帯広市／ 帯広市食育推進委員会／ 平成24年6月5日	帯広市食育推進計画に定める施策を総合的に推進し、すべての市民が生産にわたって「食」に関心をもち、健全な「身体」と豊かな「心」を育み、食の魅力があふれる元気な「地域」を目指すため、帯広市食育推進委員会を設置するもの。	【帯広市】地域福祉課、介護高齢福祉課、こども課、健康推進課、清掃事業課、学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、農政課 ※必要に応じて、委員以外の関係者の出席や関係者からの資料の提出を求めることができる。	令和4年度は、第4次帯広市食育推進計画庁内策定委員会として実施	農政部農政室農政課
十勝	帯広市／ 第4次帯広市食育推進計画庁内策定委員会／ 令和4年4月19日	帯広市の食育の推進を目的として、第4次帯広市食育推進計画を策定するため、設置する。	【帯広市】地域福祉課、介護高齢福祉課、こども課、健康推進課、清掃事業課、学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、農政課	全4回開催 第1回(令和4年4月19日(火)) (1)第4次帯広市食育推進計画庁内策定委員会設置基準(案)について (2)第4次帯広市食育推進計画策定スケジュール(案)について (3)帯広市食育推進計画の変遷について (4)国・北海道の第3次・第4次食育推進基本計画の比較について (5)帯広市食育推進計画と(仮称)帯広市食育推進条例(正副委員長案)の整合性について (6)令和3年度アンケート調査実施後現状値の考察について (7)第4次帯広市食育推進計画で目指すべき方向性について (8)企画調整監会議・庁議・経済文教委員会提出資料について 第2回(令和4年8月2日(火)) (1)第4次帯広市食育推進計画で目指す方向性について(各課まとめ) (2)第4次帯広市食育推進計画施策の体系案について (3)第4次帯広市食育推進計画骨子案について (4)第4次帯広市食育推進計画指標案について (5)各課事業について 第3回(令和4年10月25日(火)) (1)第4次帯広市食育推進計画原案について (2)今後のスケジュールについて 第4回(令和5年2月21日(火)) (1)第4次帯広市食育推進計画について (2)令和5年度食育関連事業内容及び予算額について	農政部農政室農政課
十勝	帯広市／ 食育推進会議・食育推進部会／ 平成19年度	帯広市食育推進計画や帯広市学校教育指導の重点等に基づき、学校における指導資料や保護者への啓発資料を作成し、児童生徒が健やかに生きるための基礎を培う食育の一層の推進を図ること。	市内小・中学校教諭、養護教諭、教育委員会指導主事及び食育指導専門員にて構成しているもの	① 食育推進部会を4回開催した。 ② 食育啓発リーフレット及び食育啓発パンフレットを作成し、配付した。 ③ 「帯広らしい食育プログラム」を活用した食育指導を行った。 ④ 児童生徒による「朝食レシピコンテスト」を実施し、朝食を摂ることへの啓発を行った。	学校教育部学校指導室学校教育指導課
十勝	音更町／ 音更町食育モデル地域実行協議会／ 平成25年6月14日	食育と地産地消に取り組み、農作物の需要拡大と地域住民の健康で豊かな食生活の実現、地域外に向けた発信による消費拡大を促す先進的な活動を行うことにより食のモデル地域の構築を図る。	音更町、音更町農業協同組合、木野農業協同組合、音更町商工会、音更町十勝川温泉観光協会	1食を広げる取組 ○おとふけ食のフォーラムの開催 ○おおそでくんキッチンの実施 ○おおそでくんキッチンサポーター研修会の開催 ○町内外イベントとの連携 2地場食材を広げる取組 ○学校給食における新たな生産・供給システムの構築に向けた取組 ○学校給食における関係者の相互理解を図る取組 ○学校給食における調理技術の向上を図る取組 3特産品の研究開発 ○オリジナル家庭料理メニュー開発 ○地域ブランド化の取組	経済部ふれあい交流館 経済部産業連携課
十勝	更別村／ 更別村食育推進計画策定委員会／ 平成22年1月22日(R1.10.28より名称変更)	消費者の食の安全・安心の確保及び健全な食生活を実践する力を育む「食育」の重要性が高まる中、本では、豊富な食資源を活かし様々な食育に係る取組が進められている。今後もこの動きを広め、より効果的なものとしていくため、関係者が一体となった体制の充実を図る目的から設立。	更別村役場内各関係部署(産業課【農業振興係】・教育委員会【社会教育係・学校教育係】・学校給食センター・保健福祉課【保健推進係】・子育て応援課【子育て応援係・母子保健係】)	・更別村食育推進計画(第1次:H22～26及び第2次:H27～31、第3次:R2～6)策定。	更別村産業課農業振興係
十勝	広尾町／ 食育推進委員会／ 平成26年4月1日	「食」を通じて、町民の生涯にわたる健康で豊かな生活を実現させるために食育推進計画を策定し、広尾町における食育推進事業を全町的に推進する。	農業関係団体、漁業関係団体、商工会、食品衛生協会、ボランティア、行政等	令和4年12月23日 方法:書面会議 内容:①第2期広尾町健康増進計画の策定について、②第2期広尾町健康増進計画の策定体制について、③今後の広尾町食育推進計画について	保健福祉課健康管理センター

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例 (1) 食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
鉦路	鉦路市／ 鉦路市食育推進協議会／ 令和5年2月16日	食育に関わる関係機関の情報共有、連携強化。	<生産者団体> 阿寒農業協同組合 鉦路丹頂農業協同組合 鉦路市漁業協同組合 鉦路市東部漁業協同組合 鉦路機船漁業協同組合 阿寒湖漁業協同組合 <消費・生活関係> 鉦路消費者協会 鉦路市食生活改善協議会 <教育関係> 鉦路短期大学 <医療関係> 市立鉦路総合病院 <行政関係> 鉦路市 鉦路市教育委員会	食育に関わる関係機関の情報共有、連携強化。	農林課
鉦路	鉦路町／ 鉦路町食育推進ネットワーク会議／ 平成29年7月1日	食育基本法の趣旨に基づき、鉦路町における食育を推進するため、食育推進事業に関する検討協議、食育に関する各種団体等の実施状況の把握及び情報交換、食育推進に必要な事項の検討協議を行う。	鉦路町こども健康課・介護支援課、産業経済課、社会教育課、鉦路町学校給食センター、鉦路町公民館、鉦路町食生活改善協議会、鉦路町在宅介護支援ふきのとうの会、特定非営利活動法人ゆめのき、標茶町農業協同組合、昆布森漁業協同組合、社会福祉法人遠矢七五三会、グループホームめぐみ野、グループホームはなしのぶ、鉦路町老人クラブ連合会、鉦路町女性連絡協議会、鉦路町富原小学校、北海道鉦路東高等学校、学校法人鉦浦学園白梅幼稚園、学校法人鉦路キリスト教学園鉦路めぐみ幼稚園	◎令和4年9月27日/第1回食育推進ネットワーク会議書面開催	こども健康課健康推進係
鉦路	弟子屈町／ 食育推進計画(第二次)／ 平成27年4月	健康増進計画と一体化し、総合的な健康づくり施策を推進する。	医師、歯科医師、保健所、小中学校校長会、学校保健協議会、高校、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、商工会青年部・女性部、農協青年部、健康づくり推進委員	令和4年11月30日公民館1階研修室にて開催	健康こども課
根室	中標津町／ 中標津町地産地消推進協議会／ 設立:2007(平成19)年5月7日	この組織は、地元で生産される新鮮で、安全・安心な農畜産物を広く町民へ周知し地域農畜産物への理解と地域農業への関心を高めるとともに、地域農産物の家庭、地域に求められている食育の推進、地域農畜産物のPR活動に取り組むことを目的とする。	中標津町農業協同組合 計根別農業協同組合 根室農業改良普及センター北根室支所 根室振興局産業振興部 中標津町教育委員会 中標津町		農林課農務係

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
空知	岩見沢市／フードデイ	すべてのライフステージにおいて健康的な食生活について提案することにより、市民の食生活に対する意識を向上させ、健康を考える機会とする。	対象者:岩見沢市民 定員:成人20名、乳児10組 時期:月1回 場所:いわみざわ健康ひろば テーマ:生活習慣病予防、離乳食教室など 参加者の声:幅広いメニューだから作ってみたい、常備菜として良きそう、具沢山で主食と副菜が同時に摂れるので良きそう、まだ食べたことのない食材や味付けを知るきっかけになった、子どもが気になり集中できない、マンネリ化してきたので勉強になった など 課題点:一人暮らしだと材料をそろえることが難しいという高齢者が多いので、他の使用方法なども提案できるとより良い、何度も参加している方の理解度があまり上がらない。離乳食教室の際は保育士を依頼し託児もしているが、児が気になり集中できないという方もいるため対応策が必要。	99	健康福祉部健康づくり推進課
空知	岩見沢市／親子でエコクッキング	地元を中心とした旬の野菜などを食材として親子料理教室を開催し、省エネ・節電・食品ロス等(COOL CHOICE)や食育をテーマとした調理の仕方などを学ぶ。	対象:小学生 時期:令和4年8月7日、令和5年1月15日 参加人数:8月7日 20人、1月15日 27人 場所:生涯学習センターいわなび	47	市民環境部環境保全課
空知	美瑛市／畑づくり	普段食べている農畜産物のできる過程を学ぶことにより、食に対する興味を高めるとともに、食や生産者等に対する感謝の心を育てる。	時期:6月1日・8日 子育て支援センターはみんぐの畑づくり ・親子で枝豆、ラディッシュなどを苗ポットへ種まきを実施。 ・親子で種芋と枝豆の苗を畑に植える。	55	教育委員会学務課
空知	美瑛市／グリーン・ルネサンス推進事業	農業体験を通して、食べ物の大切さや、作物と自然、生き物との関係、人との繋がりを学び、豊かな心を育てる。	時期:農業体験学習 5月中旬頃から10月中旬頃まで 収穫祭 11月及び12月 シンポジウム 12月10日 福作体験 各小学校(5年生)、幼稚園、保育園、認定こども園 学校菜園 各小中学校 トウモロコシの播種体験を実施 福作体験では、田植え、生育観察、稲刈り、はさかけ、脱穀体験を行った。 12月10日にシンポジウムを開催し、小学校5年生による、農業体験の感想発表のほか、専門の方による「食」と「農」をテーマにした講演や、市内の美瑛市尚菜高等学校の農業クラブの成果発表及び農業体験学習に関するパネル展示等を行った。	601	教育委員会学務課
空知	赤平市／放課後教室・児童クラブ健康教室	講話や試食を通して、地元の食材や食文化への興味を高める。	対象:放課後教室及び児童クラブに登録している児童 時期:令和5年1月12日 場所:赤平市放課後教室 内容:手洗いチェックを用いた手洗いの体験 赤平米を使用したおにぎりとおまんこ餅の試食	37	赤平市介護健康推進課
空知	赤平市／赤ちゃん教室「ぶくぶく」	離乳食の味や固さの目安や手作りの良さについて理解する。 保護者の食生活を見直し、子供の食生活の基本とすることができる。	対象:2～9か月までのお子さんとその親 時期:1回目 令和4年6月16日 2回目 令和5年3月18日 場所:赤平市ふれあいホール 内容:離乳食づくり体験と試食 保護者の食生活についての講話	6	赤平市介護健康推進課
空知	三笠市／暮らしの料理教室	栄養と食についての講座等や実食からバランスの良い食事を理解し、食生活の改善につなげる。	【実施時期】令和4年6月～令和5年3月 【開催場所】各地区市民センター(8か所)、ふれあい健康センター 【開催回数】35回	202	総務福祉部保健福祉課
空知	三笠市／働く世代向け料理教室	栄養バランスと運動による生活・体質改善を図る。	【実施時期】 (第1期)令和4年10月～11月 (第2期)令和5年2月～3月 【開催場所】ふれあい健康センター 【対象者】20歳から65歳までの市民等 【開催回数】9回	72	総務福祉部保健福祉課
空知	三笠市／わくわく料理教室	主食・主菜・副菜を増えたバランスの良い料理を学ぶとともに、食べることの楽しさを伝える。	【実施時期】①令和4年8月3日 ②令和5年1月13日 【開催場所】ふれあい健康センター 【対象者】放課後児童クラブ登録児童(小学3年生から6年生まで)	31	総務福祉部保健福祉課
空知	滝川市／市内保育所5か所	しっかり噛んでよく食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日 11月8日 内容 11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともに、リーフレットを配布し、保護者への啓発を合わせて行う。 メニュー かみかみ丼・ちくわの炒め煮・甘酢和え・みそ汁・バナナ	450	子育て応援課 健康づくり課
空知	滝川市／市内保育所5か所	だしのうまみに慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日 11月24日 内容 和食の基本である昆布や鰹節の「だし」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニュー 枝豆とわかめの混ぜご飯・かぼちゃ天ぷら・ごまみそブロックリー・三平汁 バナナ	450	子育て応援課 健康づくり課
空知	深川市／ヘルシーファミリー教室	家庭を持ち子育ての時期にある保護者が、自分や家族の健康課題を発見し、望ましい生活習慣を身につけることができるよう支援する。	対象:乳児・幼児を育児する保護者 時期:①9月9日、②10月7日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:①「家族みんなのごはん!編」 栄養士講話:バッククッキングのデモンストレーション 4人 ②「家族みんなで健康に!編」 保健師講話:おやつデモンストレーション 1人	4	健康・子ども課
空知	深川市／離乳食教室	離乳期からの食支援を行い、望ましい食習慣を促すことで、乳児の健康の保持増進を図る。	対象:概ね3～5か月(1回目)、7～8か月(2回目)の乳児の保護者 時期:4月28日、5月27日、6月30日、7月29日、8月31日、9月30日、10月28日、11月30日、12月16日、1月26日、2月28日、3月10日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:離乳食の調理実習と試食・手作り比べとベビーフードの比較など 4～3月までの参加者45人	45	健康・子ども課
空知	深川市／親子クラブ	幼児の特性や望ましい育児方法を理解するとともに食事・間食の適量やバランスについて理解を図る。	対象:未就学児とその保護者 時期:6月25日、12月17日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:栄養講話(短期大学講師の講話や、保育士によるリズム遊び等もあり) (子・10人、母・10人、父・3人、兄弟・3人)	26	健康・子ども課
空知	深川市／マタニティサロン	妊婦・出産に関する情報交換や妊婦同士の交流を通じ不安や悩みを軽減することで、妊婦の健康の保持増進を図る。	対象:妊婦とその家族 時期:4月19日、8月25日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:「マタニティクッキング ～栄養士による食事のお話～」 妊婦3人、家族1人	4	健康・子ども課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
空知	深川市/育児講座	リフレッシュできる楽しい講座や子育てに役立つお話を情報、遊び等の内容を通して、子育て支援を図る。	対象:乳幼児の保護者 時期:8月30日 場所:子育て支援センター 内容:月1回開催の中で、市栄養士に講師依頼のあった講座「備食と咀嚼について」	4	健康・子ども課
空知	深川市/ウェストリムセミナー	特定健診を受診した結果、生活習慣の改善が必要と判断された市民や家族に対し、集団での支援を行うことにより、生活習慣の発症及び重症化を予防する。	対象:メタボリック症候群や生活習慣病の予防に関心のある方、健康のために体重を減らしたい方、特定健診や職場健診で食生活の改善が必要と診断された方 時期:①8月19日、②10月21日、③11月18日、④2月10日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:①「血圧・血糖対策」講話・調理実習 3人 ②「血圧対策」講話・調理実習 6人 ③④「生活習慣病対策」講話・調理実習 9人	18	健康・子ども課
空知	深川市/出前講座	市民等の団体が主催する集會等に職員等が講師として出向き、市政の説明又は職務上習得した専門知識を活かした実習等を行うことで、市民の市政に対する理解を深め、学習機会の充実を図る制度。	対象:①愛食祭参加者、②全日本年金者組合深川支部 時期:①10月8日、②2月27日 場所:①カンパニーホテル、②一巴公民館 内容:①「いつまでも元気に暮らすためにできること～メタボ・フレイル予防の食生活について～」64人 ②「高齢期の食生活について」11人	75	健康・子ども課
空知	深川市/「早寝早起朝ごはん」おなか元気教室	体験学習を通して、「早寝早起朝ごはん」運動への関心を高め、子ども達の健全な成長のための望ましい生活習慣を身につけることを目的に開催する。	○「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」をテーマに、正しい食習慣・生活習慣を学ぶ 令和4年7月29日(金) 深川市中央公民館 講話、体験学習「ヤクルトムース作り体験」 講師:株式会社ヤクルト北海道「出前授業」担当栄養士 参加対象:小学生	4	深川市教育委員会生涯学習スポーツ課
空知	深川市/出張公民館講座「男のそば打ち教室」	地域での講座開催に対して、助成金を交付し、学習機会を提供することで、地域の社会教育活動を充実させる。	○「男のそば打ち教室」 令和5年2月28日(火) 多度志コミュニティセンター 講師:多度志そば工房代表 廣中 猛仁氏	8	深川市教育委員会生涯学習スポーツ課
空知	深川市/出張公民館講座「料理教室」	地域での講座開催に対して、助成金を交付し、学習機会を提供することで、地域の社会教育活動を充実させる。	○メニュー:いなり寿司(そば・ガリ入り)、和風コールスローサラダ、鹿の子菓子、タコと紅しょうがの落とし揚げ 令和5年3月11日(土) 多度志コミュニティセンター	13	深川市教育委員会生涯学習スポーツ課
空知	南幌町/南幌いちい保育園収穫体験	町内で生産されている農産物を自らの手で収穫することで、農業への理解を深めるとともに、子どもの食育について関心を高める。	○対象 園児(年中、年長) ○場所 町内園圃場 ○内容 9月 収穫体験	29	産業振興課
空知	南幌町/南幌認定こども園南幌みどり野幼稚園収穫体験	町内で生産されている農産物を自らの手で収穫することで、農業への理解を深めるとともに、子どもの食育について関心を高める。	○対象 園児(年長) ○場所 町内園圃場 ○内容 10月 収穫体験	54	産業振興課
空知	南幌町/なんぼろオータムクッキング	町民を対象に地元農産物を使用したスープカレー教室を開催し、幅広い世代へ食育に対する関心を高めることを目的としている。	○対象 町民(小学生以上) ○場所 保健福祉総合センター「あいくる」調理室 ○内容 9月 札幌で人気スープカレー「らっきょ」の井手剛氏を招き、地元農産物を使用したスープカレー料理教室、町産のお米と町外産お米の食べ比べを実施。	25	産業振興課
空知	南幌町/南幌町、農業協同組合北海道文教大学南幌町産米PR	町と農業協同組合の共同で減農薬で栽培された安全・安心な町産米をPRを目的としている。	○令和4年11月に町と北海道文教大学が包括連携協定を結び、包括連携協定事業として、12月19日 南幌町産米「ピュアライズなつぼし」100kg贈呈 ○場所 北海道文教大学 ○内容 文教大学学生有志がおにぎりを1月中旬から学生等に無料配布	50	産業振興課
空知	奈井江町/すこやかクッキング教室	「食」についての正しい知識、食品を選ぶ能力、食べる力をつけ、自ら食生活を見直すことができるようになる。	対象:小学3年生(16名)、小学4年生(11名) 時期:7月26日、7月28日(2日間) 内容:講話では、朝食の大切さ、野菜のパワー(働き)、食べ物に含まれる砂糖の量について実施しました。飲み物やお菓子に含まれる砂糖については、実際の砂糖の量を見てもらいました。講話では、食生活改善推進協議会と連携して、地場産物を使い行なった。	27	保健福祉課
空知	上砂川町/きっずキッズクッキング(園児)	野菜嫌いが多い課題を解決すべく、自分で作った作物を調理し、食べることで食べ物のおいしさを知る機会とする。	対象:園児(5歳児) 時期:令和4年10月14日(金) 場所:認定こども園ふたば保育室 内容:園で収穫した作物を使用した調理体験を食育サポーターの協力を得て、町栄養士と実施。メニューはポテト包み焼きで、手を洗い、皮をむくなど下処理からゆでた芋をつぶして具材と混ぜ、皮に包むまでの全てを園児が体験した。達成感の得られる内容となった。感染症対策のため、材料を個別に分け、1人ずつ調理する取り組みとした。健康教育(かむ大切さ、咀嚼ガム)	5	福祉課保健予防係
空知	上砂川町/きっずキッズクッキング(小学生)	①友達や大人と調理を体験し、作ったものをおいしく食べる事ができる。②野菜を食べる事の必要性を知る。	対象:小学1～6年生 時期:令和4年8月9日(火) 場所:町民センター調理室 内容:調理実習(手作りピザ・コロコロスープ)健康教育(講話・野菜ピンゴ)を食育サポーターの協力を得て実施。野菜を食べることが大切なことを知った。感染症対策としてピザは自分の分を自分で作る取り組みとした。	14	福祉課保健予防係
空知	栗山町/栗山キッズクラブ「農園体験」	手作業での田植え体験することで作物の大切さを学ぶ。	○時期:令和4年5月29日(日) ○場所:ハサンベツ里山 ○対象:キッズクラブ会員(小学4年生～中学生) ○概要:田植え作業	26	教育委員会
空知	栗山町/栗山キッズクラブ「いも餅づくり」	ジャガイモを活用したいも餅を作ることで、調理の楽しさを体感する。	○時期:令和4年9月23日(金) ○場所:南幌別小学校 コア・コアラ環境ハウス ○対象:キッズクラブ会員(小学4年生～中学生) ○概要:いも餅づくり	25	教育委員会
空知	栗山町/栗山キッズクラブ「脱穀作業」	手作業での脱穀を体験することで作物の大切さを学ぶ。	○時期:令和4年10月9日(日) ○場所:ハサンベツ里山 ○対象:キッズクラブ会員(小学4年生～中学生) ○概要:餅米の脱穀	23	教育委員会

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
空知	栗山町／栗山キッズクラブ「餅つき」	昔ながらの餅つきを体験するとともに、自ら田植え・収穫したもち米が食卓に並ぶまでの苦労・大変さを学ぶ。	□時期:令和4年12月11日(日) □場所:農村環境改善センター □対象:キッズクラブ会員(小学4年生～中学生) □概要:生活体験事業「親子もちつきの集い」に参加	23	教育委員会
空知	栗山町／生活体験事業「親子もちつきの集い」	昔ながらの食文化を見直すとともに、ふるさと「栗山」の歴史・生活文化を体験し、生活文化の保存と伝承を図る。	□時期:令和4年12月11日(日) □場所:農村環境改善センター □対象:町民(親子) □概要:杵と臼を使ったもちつき	62	教育委員会
空知	栗山町／札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校との交流事業	町産産物を通じた「くりやまファン」の創出を目的とする。	□時期:6月～7月 □場所:町内農家、直売所など □対象:札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校 / パティシエ科/1年生40名、2年生41名 □概要:学校で使う食材を中心に、園場見学、農産物の講話、収穫体験及び町内施設の見学を行い交流を図る。2年生の卒業制作として、栗山町の食材を活用するメニューを提案。学生が作ったお菓子やパンを栗山町内で限定販売。	81	若者定住推進課
空知	栗山町／バクモグ相談「野菜収穫体験」	幼児期に親子で自然体験を楽しむことで良い親子関係が築けるとともに、食に対して興味・関心を持ち地産地消を意識してもらう。	□時期:令和4年9月2日(金) □場所:子育て支援センター スキップ □対象:幼児と保護者 □参加人数:6組 □概要:栗山町産野菜の紹介・レシピ(栄養ミニ談話)、芋掘り体験、枝豆、ミニトマトの収穫体験	14	福祉課 住民保健課 産業振興課
空知	栗山町／もぐもぐ離乳食講座	保護者が乳児にあった離乳食をすすめられるよう支援する。	□時期:5月・7月・9月・11月・1月・3月 □場所:子育て支援センター スキップ □対象:離乳食初期(5～6ヶ月頃)の乳児と保護者 □参加人数:14組 □内容:講義・調理実習(すりつぶし)・試食	28	福祉課 住民保健課
空知	栗山町／乳幼児栄養相談バクモグ相談	保護者が乳幼児にあった食生活を送ることができるよう支援する。	□時期:偶数月第3金曜日 □場所:子育て支援センター スキップ □対象:乳幼児の保護者 □参加人数:26組 □内容:レシピ紹介豆知識・保健師・保育士談話・料理教室・個別相談	56	福祉課 住民保健課 産業振興課
空知	秩父別町／しらかば学級(自主学習グループ)	・自分や家族のより良い生活のために、食にまつわる学びとバランスレシピを知る ・仲間と協力しながら作る楽しさを味わう。	対象:概ね70歳以上の女性 時期:10/19(水) 場所:生き生き館 内容:栄養士による講話、料理のデモンストレーション、調理実習、試食 調理:ニラチヂミ、なま春巻き、フルーツ大福、巡活スープ	11	住民課健康推進係
空知	秩父別町／生活習慣病の予防や重症化を予防し、健康の保持増進を図る。	・生活習慣病の予防や重症化を予防し、健康の保持増進を図る。	対象:町民 時期:1/27(金) 場所:生き生き館 内容:栄養士による講話、料理のデモンストレーション、調理実習、試食 調理:サバ缶のアクアパッツァ、豆腐のサラダ、南瓜のごま和え、巡活スープ	14	住民課健康推進係
石狩	札幌市／アイヌ伝統的生活空間の再生事業(アイヌの伝統料理調理体験講座)	伝統料理を通じたアイヌ文化への理解促進	対象:市民 時期:11～12月 場所:札幌市男女共同参画センター 内容:アイヌ民族を講師に、アイヌの伝統料理を学ぶ講座を開催。	48	市民文化局 市民生活部 アイヌ施策課
石狩	札幌市／体験型食育事業	園庭やプランターでの野菜栽培、収穫の喜びなどを体験し、調理や食事の楽しさを共感できる体験型食育の充実を図る。	公立保育所等において園庭に対して実施 ・野菜栽培を活用した食育の実践 ・給食及び給食食材を活用した食育の取組	1,975	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課
石狩	江別市／食べつなコンテスト	食に対する意識が高くなっていく中学生に、地産地消の観点や食を選ぶ力、調理技術を養ってもらう。	対象:市内中学校(1、2年生) ・事前学習(6～7月) 家庭科の授業を通して、江別の農産物や地産地消の利点についての学習 講師:野菜ソムリエ、生産者、市内食品加工業者 ・課題(夏休み) 江別産食材を使ったレシピの作成 ・審査等(9～10月) 優秀な作品について審査・表彰 協賛:市内生産者、直売所、食品事業者	647	経済部農業振興課
石狩	江別市／小学生向け農業体験及び調理体験	次代を担う小学生が、食の大切さを感じ、地域農業に対する理解を深めてもらう。	対象:市内小学校 ①田植え福刈り体験学習(5・9月148人) お米を作る大変さや生産者の思いに直に触れてもらう。 協力:生産者 ②小麦追跡学習(7・10月132人) 7月に園場見学及び講師の出前授業、10月に調理体験を行い、小麦の「生産、加工、消費」の一連の流れを学ぶ。 協力:生産者、食品事業者、江北まちづくり会 ③酪農体験学習(9月126人) 酪農家の仕事を体験し、酪農の仕事に対する思いや牛のからだについて学ぶ。 協力:生産者 ④野菜の学習(7・8月210人) 野菜の収穫体験を通して、野菜の栽培や流通について学ぶ。 協力:生産者 ⑤野菜づくり体験(5～10月65人) 学校内菜園で土づくりから野菜の栽培、収穫を行い、野菜づくりの一年を学ぶ。 ⑥色々野菜の観察(5～10月62人) 学校内菜園で野菜の栽培、収穫を行い、植物の叩き絵等の体験を通して、食への興味関心を育む。	743	経済部農業振興課
石狩	江別市／「食」と「自然」をテーマに、食江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業「えべ知アカデミー」	「食」と「自然」をテーマに、食育・環境学習を一体とした体験型学習事業を行うことで、江別の魅力の理解促進を図る。	対象:市内の小学4年生～中学3年生 時期:令和4年10月8日、10日 場所:江別市都市と農村の交流センターえみくる 内容:異年齢交流レク、市内産の新米を使った焼きおにぎり等の屋敷づくり、市内産の小麦、野菜等を使ったビザづくり、環境学習、焚火等。	23	教育生涯学習課
石狩	江別市／食生活改善推進員再講習	食生活改善推進員の健康維持と、活動のスキルアップを図る。	食生活改善推進員を対象に、食からの健康に関する講話と、調理実習を実施 時期:6月、9月、12月、3月	114	健康福祉部健康推進室保健センター

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署
石狩	千歳市/ ちとせっこ子育て塾 げんきっこ子育て塾 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムの一環として実施。	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の形状の確認、作り方の紹介 【日時・場所】 ①10月17日 子育て総合支援センター(ちとせっこセンター)22人(11組) ②11月29日 子育て総合支援センター(ちとせっこセンター)41人(20組) ③8月18日 北新子育て支援センター(げんきっこセンター)16人(7組) ④R5.2月9日 北新子育て支援センター(げんきっこセンター)来館6人(3組、オンラインでの参加8人(4組)) (④は来館及びインスタライブでオンライン配信した) 【内容】 ・5~8か月児向けの離乳食に関する講座(形状の確認あり) ・9か月児~1歳半向けの内容の講座 ・前半と後半で月齢を分けた内容で講座を実施(両講座受講可) 【形状の確認】 メニュー~10倍粥、人参ペースト、鶏ささみのすり潰し 【参加者の感想・意見】 ・実際にわかゆや食材を見ることができて勉強になった。 ・離乳食を始めていて自信がなかったのが質問などでできてよかった。 など	93	こども福祉部 子育て総合支援センター
石狩	千歳市/ 児童館連携型地域子育て支援 センター事業 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムの一環として実施。	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の試食、作り方の紹介 【日時・場所】 ①10月23日 いずみさわ子育て支援センター(いずみさわ児童館)15人(7組) ②10月18日 あんじゅ子育て支援センター(あんじゅ児童館)21人(9組) 【内容】・【試食メニュー】上記と同じ	36	こども福祉部 子育て総合支援センター児童支援係
石狩	恵庭市/ 食育教室2022	地域及び子どもの食育推進のため。	開催日:令和4年12月18日 会場:北海道文教大学 1号館 第2調理実習室、実習食堂 対象:市内小学校に通う低学年児童とその保護者 内容:北海道文教大学、一般財団法人恵庭市学校給食協会と共催し、『クリスマス料理にちようせんしょう!』を、テーマに、3種の料理を作り、『食』への関心をもってもらおう。 ※ 参加者数:親子16組	32	教育部
石狩	恵庭市/ えにわ大好き!食の体験ランド	当該事業は平成21年度から22年度まで石狩管内社会教育共同事業として実施され、平成23年度以降については、本市主催事業として実施。第3次恵庭市食育推進計画(領域:食をとおして地域をつくる)の対象事業としても位置付けられ、食育に関する理解の促進や地産地消の推進を図る。	時期:R4.10.16 場所:北海道文教大学、しみずファーム 会場:北海道文教大学、ルーキーズカンパニー 内容:食育体験学習 (1)食育に関する理解 テーマ食材(R4はプロコリコ)を決め、畑での収穫体験や大学での調理体験、ワークショップを行い、食についての理解を深める。 (2)地産地消に関する理解 農場体験を通して恵庭の野菜を知り、生産者と消費者の繋がりや、地産地消について学習する。	17	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 日曜趣味講座	平日の講座に参加できない人へ参加の機会を作り、「そば打ち」をテーマに、気軽に受講していただく。	時期:R4.10.16 場所:島松公民館 内容:そば打ち基礎講座	6	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 親子ふれあい教室	子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通して親子が触れ合う機会を創出する。	①時期:R4.10.23 場所:島松公民館 内容:親子で楽しいハンづくり 参加者数:18名 ②時期:R4.12.10 場所:島松公民館 内容:クリスマスケーキづくり 参加者数:24名 ③時期:R5.2.18 場所:島松公民館 内容:ひなまつりケーキづくり 参加者数:8名	50	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 市民講座 料理(パン・菓子)	市民に、基礎的な知識・技能とともに、学びの喜びや仲間づくり等の人間性を身に付ける機会として実施する。	※18講座を開設し、料理関係は1講座。 時期:R3.4~R4.3 場所:島松公民館 内容:パン・お菓子づくり	11	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	北広島市/ 食育サポート事業/ 平成23年4月1日	60歳以上の市民ボランティアを「シルバー子育てサポーター」として登録。昔あそびや行事、料理の伝承・子育ての知恵やアドバイスなど、乳幼児の健やかな成長を支えていく活動を行う。その中で、「次世代に残そうおばあちゃんの料理づくり」として桜餅づくりを伝授。(美食用なし)	【時期】2月 【場所】地域子育て支援センター 【対象】0歳~就学前の親子 【概要】シルバー子育てサポーターが講師となり、参加者に「桜餅」の作り方を伝授。 (コロナウイルス感染拡大予防対策のため、美食用なし)	18	子育て支援部地域 子育て支援センター
石狩	当別町/ ばくばく教室(離乳食教室)	食習慣の基礎となる離乳期に適切な食事についての知識と実践方法を普及することによって健やかな成長を支援するとともに育児に関する総合的な支援を行うため。	対象:生後4ヶ月~1歳までの乳幼児とその保護者 時期:年6回 場所:当別町総合保健福祉センター ゆとろ 内容:月齢に応じた離乳食の進め方等についてのミニ講話と離乳食調理体験。 希望者には個別相談も対応。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試食は未実施。	25	福祉部保健福祉課
後志	黒松内町/ 離乳食教室	■離乳食の必要性や月齢に応じた正しい進め方と理解を求め、食事の大切さ知ってもらうことを目的とする。	□実施期間 令和3年4月~令和4年3月(年33回) □場 所 黒松内町保健福祉センター □対 象 5か月~18か月児・保護者 □内 容 月齢別離乳食講話、調理実習、試食、食物アレルギー対応支援	76	保健福祉課
後志	黒松内町/ 幼児食教室	■離乳食完了期から幼児食への移行時期の正しい食習慣の知識普及。 ■子供の食べ物の形態や量を知り、親子で食べ物への関心や食べる意欲を高められるよう支援する。	◆野菜の収穫体験 □実施日 10月18日 □場 所 黒松内町保健福祉センター裏ミニ畑 □対 象 1歳6か月~就学前児(保育園未入園児)・保護者 □内 容 さつまいも収穫体験 ◆異文化食体験・親子クッキング □実施日 7月16日・10月29日、12月17日、3月11日 □場 所 黒松内町保健福祉センター □対 象 1歳6か月~就学前児・保護者 □献 立 (12月)オムレット・サラダ、ふわふわクリスマスハンバーグ、野菜たっぷりシチュー(3月)くるくるツブツブサンド、鶏団子入り野菜スープ、パフェ風お菓子 □内 容 国際交流支援員によるHalloween英語教室、Xmasメニュー試食 食べ物と口腔機能発達について、野菜嫌いを好きにするための工夫	70	保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
後志	黒松内町／ プレママ&ニューママ・カフェ	妊婦への栄養の偏りや過剰摂取、妊婦高血圧症候群予防、アルコール等の摂取に関する正しい情報の提供、指導を行う。	□実施期間 令和3年4月～令和4年3月(10回) □場所 黒松内町保健福祉センター □対象 妊産婦 □内容 妊産婦・授乳期の栄養について ・妊産婦向けのスイーツの提供(貧血・カルシウム・便秘予防) 授乳期の悩み相談、助産師講話、保健師講話、栄養士講話	57	保健福祉課
後志	共和町／ 野菜染め体験	身近な野菜の食べる以外の面を学ぶ機会、ものを使い切ることの大切さを考える機会をつくる。	開催日:令和4年10月15日(土) 場所:共和町生涯学習センター 調理室 内容:小学生から一般参加者を対象に、玉ねぎの皮を利用して、のこり染めで染物体験を実施	26	地域おこし協力隊(教育委員会 生涯学習係)
後志	古平町／ プレママ教室(栄養)	妊産婦・授乳期における正しい食生活の確立を図る。 ※妊産婦・授乳期(母乳栄養)において、出産や産後の回復、胎児の順調な発育、良好な母乳分泌のために正しい食生活や栄養摂取について理解する。	◇実施方法:対象が少ないため、教室の形態から個別指導に切り替えて実施 ◇対象者:妊産婦の出産した妊婦 ◇内容:妊産婦初期、中期、後期にそれぞれの時期に適した食品や栄養摂取量などについての管理栄養士からの助言の他、子育て期に向けた食生活改善、生活リズムの大切さを伝えた。	3	保健福祉課 健康推進係
胆振	室蘭市／ 夏休み親子で食育フェス	親子への食育の推進や、感染症予防の知識の普及を図る。	日時:令和4年7月29日 午前 対象者:市内にお住まいの小学生と保護者1名 会場:保健センター3階(東町4丁目20-6) 夏休みの時期に、親子で食育について考え、体験してもらえる教室を開催。 内容:「食(しょく)」に関するゲームやクイズ、調理実習、正しい手の洗い方実習	10	保健福祉部 健康推進課
胆振	室蘭市／ クッキング保育	農業体験・料理体験により、楽しく食べる事を通して、食を営む力を育む。	対象:室蘭市内各保育所 3歳児(163人)4歳児(178人)5歳児(168人) 時期:通年実施 内容:保育所の畑で育てた野菜を収穫したり、調理体験をして楽しく食べる。(カレー・野菜の素揚げ・おにぎり等)手洗いや消毒、個別に容器を用意する等、特に衛生面に注意して活動した。	509	保健福祉部 子育て支援課 子ども育成係
胆振	苫小牧市／ 児童センターおべんとうタイム	異年齢の子ども達と会食することにより、食事のマナーや食生活の大切さを学ぶ。	市内児童センター7館(住吉・日新・沼ノ端・あさひ・錦岡・大成・北栄)で合計641回実施	10,162	健康こども部 青少年課
胆振	苫小牧市／ 栄養教室(実施主体:苫小牧市保健センター)	市民の健康寿命の延伸を図るためのポピュレーションアプローチの一環として、栄養教室を実施する。	対象:苫小牧市民 内容:バランスの良い食事や間食のとり方、野菜についてなど、オンライン料理教室と対面の教室を実施。	53	健康こども部 健康支援課
胆振	むかわ町／ むかみゆ	幼児児童とその家族を対象に作物の育て方を学び、定食体験と収穫体験を通して、食への関心を深める。	対象:幼児、児童 場所:むかわ町ふれあい農園 内容:町所有の農園で幼児児童等を対象に作物の育て方などの体験事業の実施。	36	農林水産課
胆振	むかわ町／ 「むかわ町グルメフェスタグルメフェスタ」への出展	食と健康に関する情報提供や体験をすることで食育にふれてもらうこと、地元農林水産物のPRを行うことで町民及び来町者へ食育の推進を図る。	むかわ町グルメフェスタへの出展 参加人数:約230人 場所:四季の館1階研修室 内容:はしを用いた豆移し競技、食育クイズ、動画放映	230	農林水産課
胆振	厚真町／ 子育て講座「すくすく教室」	幼児期における望ましい食生活についての知識を普及し、生活習慣を見直すきっかけを与える。	時期:①令和4年5月20日 ②令和4年9月16日 ③令和4年12月16日 内容:調理実習、試食、栄養相談 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり 対象:子育て支援センター利用者で希望する親子	13	住民課 健康推進グループ
胆振	厚真町／ 研修農場健康教育	厚真町の傾向を踏まえ、自身の健康を維持するための生活習慣について理解する。	時期:令和5年2月22日 内容:保健師・栄養士講話、運動 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり	9	住民課 健康推進グループ
胆振	厚真町／ 栄養教室	自身の健康状態を知り、生活習慣の見直しとセルフコントロールするための正しい知識の普及と意識づけを行う。	時期:令和5年3月2日 内容:保健師・栄養士講話、お弁当の配布 従事者:厚真町食生活改善推進員 場所:総合ケアセンターゆくり 対象:令和4年度特定・基本健診の結果、I度高血圧以上の方	9	住民課 健康推進グループ
胆振	厚真町／ 米作り体験	厚真町の特産物である米について、田植えから稲刈りまでを体験することで食べ物の大切さ、興味、関心を持ち、食べるときを楽しくという気持ちの芽生えを支援する。	【時期、実施内容】 ①5月24日:講話(米ができるまで) ②5月25日:講話、体験(田植えの方法) ③5月27日:田植 ④6～9月:稲の生長見学 ⑤9月29日:稲刈り ⑥11月21日:脱穀体験 ⑦11月25日:稲摺り体験 ⑧12月1日:精米作業見学、新米試食 【場所】 厚真町錦町水田(田植え・稲刈り)、こども園つきみ(脱穀、稲摺り体験、精米見学・新米試食) 【対象】 こども園つきみ・年長児16名	120	教育委員会、 住民福祉課
日高	日高町／ けんこうようしつ(講話) 朝ごはんを食べよう	心身の健康に興味関心を持ってもらうために、食育や生活習慣病予防、こころに関わるテーマ等で子どもの頃から心身の健康づくりについて学ぶ機会とする。	日程:令和4年9月29日(児童13人)、11月24日(児童6人)、12月6日(児童17人) 対象者/児童館に来館の小中学生及び学童利用者 場所/すずらん保育所、日高小児童、もんべつ児童館 内容/朝ごはんを毎日食べているか確認、朝ごはんを食べると良い理由を保健推進員による寸劇 従事/栄養士、保健推進員	36	子育て健康課
日高	日高町／ 子育て講座 「離乳食・幼児食」	乳幼児期の食事の悩みを解決することができる。	日程:令和5年3月16日 対象者/子育て支援センターわくわく館(事前申込) 場所/子育て支援センターわくわく館 内容/離乳食、幼児食について、お口の発達の見え方から適切に与えることができるよう姿勢や食環境について講話(12組(母12人子12人))	24	子育て健康課 子育て支援センター わくわく館
日高	新冠町／ 食育教室	望ましい食習慣の基礎を形成するため。	対象:認定こども園に通う3～5歳児(①83人、②88人) 時期:①6月6日、②11月7日 内容:講話①3つの色の食べものを食べよう、②おやつについて年齢や子の反応にあわせて実施。教室後の給食時は普段より頑張っている子が多く見られています。	171	保健福祉課
日高	新冠町／ 離乳食教室	成長や機能の発達に合わせ、離乳食を進めることができるようになるため。	対象者:3～6か月の保護者 時期:①6月2日、②10月4日、③2月3日 内容:離乳食の基礎知識を習得し、離乳食作りの不安や負担を軽減できるような講話、調理を実施。特に5～6か月の進め方を重点的に説明しながら離乳食を作り、適量やかたさについて確認してもらっている。	12	保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
日高	新冠町／おやこの楽しい料理教室	望ましい食習慣や知識を習得することができるようになるため。	時期:①7月30日、②12月10日 対象:小学校1～6年生と保護者(①13人、②9人) 内容:食育講話とミニ調理実習 ①食べものの3つの色のグループ、夏を元気に過ごすコツ「ごはん、ピーマンの肉詰め、ミネストローネ、オレンジ」 ②食べものの3つの色のグループ「ごはん、鶏肉のハニーマスタード炒め、かぼちゃのポターージュ、ぶどう」 子どもたちは保護者と一緒に調理手順を確認しながら料理をすすめることができ、講話では保護者に普段の様子を指摘されながら一緒に振り返ることができていました。	22	保健福祉課
日高	浦河町／浦河産和牛で特製ハンバーガーを作ろう	浦河産和牛でオリジナルハンバーガーを作り、浦河のおいしさを発見する。	対象:町内に住所のある18歳以上の方 日時:①令和4年11月23日 ②令和5年2月18日 会場:浦河町保健センター 参加:①10名 ②12名	22	保健福祉課
日高	様似町／離乳食講習会	離乳食を月齢や発達に適切な調理法や、適量を確認し、進めることができる。	対象:4～6か月の第1子を持つ保護者または第2子以降で希望する保護者 時期:11月18日 場所:様似町保健福祉センターきらく 内容:①歯のおはなし ②食事のおはなし ③アンケート	3	保健福祉課
日高	様似町／男性料理教室	男性高齢者が、健康な生活を維持・管理するために、基本的な調理法や食生活に関する知識を普及し、自立して食事を作る力を身につける。	対象:60歳以上の男性 時期:11月30日、R5年1月25日 場所:様似町保健福祉センターきらく 内容:①調理実習(持ち帰り) ②アンケート 60歳代 1人 70歳代 3人	8	保健福祉課
渡島	函館市／食育実践教室「パパ主役!子どもと一緒にチャレンジクッキング」	幅広い世代に食育を推進するため。	対象:市内在住のパパ及び年中から小学6年までの子 時期:8月17日 場所:函館市総合保健センター 内容:地元産の食材を使った料理教室	16	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／食育実践教室「プロに学ぶ料理教室～野菜をおいしく食べよう～」	幅広い世代に食育を推進するため。	対象:20～50歳代の市民 時期:3月9日 場所:函館市総合保健センター 内容:料理教室、管理栄養士によるミニ講話	15	保健福祉部健康増進課
渡島	森町全小学校／おやこ食育教室	正しい食習慣を形成するため。	対象:小学3～6年生の児童と保護者 時期:12月10日 場所:保健センター 内容:親子で調理体験	8	農林課
渡島	鹿部町／男の料理教室	食育の推進のため。	対象:男性 時期:12月6日 場所:中央公民館 内容:地産産、旬の食材使用の料理教室	7	水産経済課
渡島	鹿部町／健康料理教室	生活習慣病の予防のため。	対象:成人、高齢者 時期:12月15日、③月16日 場所:中央公民館 内容:生活習慣病予防のための料理教室、ミニ講話	16	水産経済課
渡島	八雲町／あそびの広場「手作りおやつ」	望ましいおやつ(補食)の与え方と内容について学ぶため。	対象:入園前の幼児の保護者 時期:9月30日 内容:おやつ作り教室、栄養講話	4	保健福祉課
渡島	八雲町／食育料理教室	野菜は豊富で、健康的な食生活を送ることができるようになるため。	対象:子どもの食生活に関心のある町民 時期:①10月26日、②12月21日 内容:調理実習、栄養講話(①4人、②3人)	7	保健福祉課
渡島	八雲町／子育てサロン「親子で楽しめるクッキング」	親子で一緒に作ることでできる幼児食について学ぶため。	対象:子育てサロンに通う母親 時期:12月6日 内容:おやつ作り教室、栄養講話	3	保健福祉課
渡島	八雲町／放課後子ども対策事業体験プログラム「SUNSUN」	地産産食材を使い、食に関する知識、食に関する感謝の念と理解を含め、食文化の継承を促すため。	対象:熊石地域小学生 時期:①5月27日、②7月1日、③9月7日、④11月14日、⑤12月23日 内容:①学校帰りに講話、クイズ、調理実習を実施 ①べこもち 19人 ②クレープ 22人 ③お豆腐白玉あんみつ 19人 ④韓国風ミニのり巻き等 14人	74	住民サービス課
渡島	木古内町／無名塾・無名塾ジュニア「料理教室」	料理・また地域の食材に興味関心を持ってもらうため。	対象:無名塾・無名塾ジュニア参加者 時期:2月4日、3月4日 場所:木古内町中央公民館 内容:木古内町保健福祉課の栄養士へと依頼し、料理教室を開催	2月・17人	生涯学習課 社会教育グループ
檜山	江差町／サツマイモ植え・掘り	野菜の栽培を通して、生育の様子を知ること。栽培や収穫を通して、食材への感覚を豊かにする。地域で収穫されたものを食し、感謝の気持ちを育む。(地産地消の取り組み)	実施時期 ○苗植え:令和4年6月7日 ○収穫:令和4年10月7日 対象:町立かもめ・日明・水堀保育園／くま組(4歳児)、らいおん組(5歳児) 場所:江差町宇越前町 ※収穫した農作物は、保育園の給食や園児たちのクッキングに利用	40	江差町町民福祉課(かもめ・日明・水堀保育園)
檜山	江差町／畑作	野菜の栽培や収穫を通して、興味や関心を持ち、全ての命を大切にすることを学ぶ。	実施時期 ○苗植え:令和4年5月～6月頃 ○収穫:令和4年7月～10月頃 野菜の種類:はんぺん、とうもろこし、枝豆、パプリカ、小松菜、ラディッシュなど 場所:各保育園の畑 ※収穫した農作物は、保育園の給食に利用	80	江差町町民福祉課(かもめ・日明・水堀保育園)
檜山	今金町／もぐもぐ赤ちゃん教室(離乳食教室)	保護者が離乳食の重要性をもぐもぐ赤ちゃん教室(離乳食教室)を通じて理解し、離乳食に関する不安が軽減されることで、子育ての意欲を高め、乳児の健全な成長と親子の適切な食生活形成の一助となるよう支援することを目的とする。	実施日・参加数(年1回) ①令和5年3月9日(木) ※例年3回/年実施していたが、コロナのため乳児相談の中止期間があったため、1回の実施となった。 場所:今金町総合福祉としべつ 保健センター 対象:生後1～17か月の親子 概要:①ミニ講話②試食③身体計測④相談 ※調理実習はコロナのため実施しなかった。 スタッフ:保健福祉課 管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・講話と試食により月齢で変化する形状や味付け、量を確認している。 ・4ヶ月児未満では離乳食の準備を始める機会となっている。	4	今金町保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
榎山	今金町／ ゆうゆうクラブ(通所型サービスC:栄養講話)	生活機能を改善するための運動機能向上などを目的とした複合的なプログラムを3ヶ月間の短期間で行い、1年間に2クール実施している。プログラムに栄養改善や口腔機能の向上プログラムが含まれており、1クール(12回)のうち2回を栄養講話でフレイル予防(低栄養予防)をテーマに実施している。	実施日:参加数(年6回) ①令和4年10月11日(火):5名 ②令和4年11月14日(月):5名 ③令和5年2月13日(月):6名 ④令和5年3月6日(月):6名 場所:あつたからんと 和室 対象:1)65歳以上の要支援認定者で介護予防通所介護 2)65歳以上の介護予防通所リハビリテーションを利用していない者 3)65歳以上の基本チェックリスト該当者 概要:①健康相談②ドメインリハビリ③講話④筋力トレーニング⑤バランスチェック スタッフ:管理栄養士、保健師、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士 ・低栄養の概要と予防(BMI、アルブミン) ・低栄養予防の食事(10食品群チェックシート、たんぱく質摂取、手ばかり法) ・各クール前半に栄養相談を行い、参加者の食傾向の把握や参加者との栄養課題の共有に繋がっている。 ・参加者は食に関する話への関心が高く、質問や自分の食事内容、工夫していることを参加者間で共有し、自分の食事を振り返る機会となっている。	22	今金町地域包括支援センター
榎山	乙部町／ 緑町第二長寿会 健康教育	コロナ禍で集まる機会も減っているため、地域内の交流と昼食会を通して健康について学びを深めることを目的とする。	【参加者】 緑町第二長寿会 会員15人(80~90代) 地域おこし協力隊2名、保健師1名、栄養士1名 【内容】 「食事と健康のはなし」 ・噛む力を維持する ・乙部の健康事情～高血圧 減塩～ ・多様な食品を食べよう 介護予防には、嚥下機能とともに咀嚼力の維持も重要。咀嚼力の維持が、多様な食品を摂取し栄養素の偏りを少なくする効果があること、乙部町全体の健康目標である砂糖と食塩の摂取量を減らす「うす味」の推進と意識づけを呼びかけた。 昼食会では中華が振る舞われたが、高齢ということもあり「硬くて食べにくい」という声も聞かれた。今後も高齢者の交流の場を活用し、咀嚼や嚥下機能の維持や低栄養予防への学習の機会を増やしていきたい。 その他 保健師から指先を使うレクリエーション等を実施。	19	町民課
榎山	乙部町／ 町民文化祭での媒体展示 ～「砂糖」「食塩」の摂取量を減らす「うす味」の推進～	乙部町健康増進計画の目標の1つである「砂糖」と「食塩」の摂取量を減らす「うす味」の推進を町民文化祭参加者に向けて周知し、健康意識向上を目的としました。	①飲料やお菓子の砂糖量の展示 日頃の保健業務でよく耳にする町民が好む飲み物は缶コーヒーや炭酸飲料だったが、子ども世代のエナジードリンクを飲む機会が増えていることから、多世代に興味を持ってもらえるよう展示内容を考慮。 また、WHOの基準となっている砂糖の1日の摂取目安量や、ジュース等の砂糖量の表示の見方も併せて展示。 ②食品に含まれる食塩量の展示 摂りすぎ塩分キットを活用し、南榎山全体での食塩摂取量や、目標とすべき食塩量も併せて展示。カップ麺に含まれている食塩量は、汁を残すだけで減塩につながることや、食塩の摂取過多が血圧にどのように作用するかを提示。		町民課
榎山	乙部町／ 乙部中学校郷土料理教室	乙部町食生活改善推進委員会として、地域の郷土料理を次世代へ伝承し、交流することを目的としています。	乙部中学校1年生の調理実習にて、「鮭ちゃんちゃん焼き」、「くじら汁」、「黒干石ご飯」を調理。 乙部町食生活改善委員会は現在15名の会員で活動しており、代表して5名が講師として参加。例年汁物は、粗くすり下ろしたじゃが芋を団子にした「ふきん汁」を調理していたが、今回はくじらの脂で出汁をとった「くじら汁」を調理。初めて食べる生徒もいたため、伝統食を伝える貴重な機会となった。食改善推進委員からは、乙部町の浜でくじらが打ち上げられた話などを交えて調理をサポートし交流。	23	町民課
榎山	乙部町／ 田植え体験&どろんこで遊ぶ	普段自分たちが食べているお米がどのように作られ、農業の大変さを知ってもらうこと、自然と触れ合っ遊ぶことこの楽しさを都会の子供と大人に知ってもらう。	多面的機能支払交付金を活用し活動を行っている「茨浜地区水土里を保全する会」と、地域活性化団体(任意団体)の「OTB PRODUCTION」が共同で函館のサッカーチーム(一般社団法人フレイフル函館スポーツクラブ)の親子約60名を招致し、田植え体験と、どろんこになって遊ぶ「どろんこサイクルレース」「どろんこ人間ばん馬レース」を行った。体験を終えた後は、茨浜地区でとれたお米が使われたお弁当、豚汁、乙部町の宿泊施設「光林荘」料理長特製の冷製アスパラポタージュを参加者全員で味わった。	60	産業課
榎山	乙部町／ 乙部小学校4年生の稲作体験事業	多面的機能支払制度を活用し活動を行っている「姫川地区水土里を保全する会」で啓発・普及活動を行っており、地域住民との交流、学校教育、行政機関との連携を行い、小学生に稲作体験をしてもらい農業の大変さの理解や、食育を目的としている。	乙部小学校4年生13人を対象として、5月の田植え体験、8月にかかし作り体験、9月末の稲刈り体験を行い、地元の姫川地区水土里を保全する会の方の協力を得て、稲作について学んだ。収穫した米はそれぞれ家庭に持ち帰り、おいしくいただいた。	21	産業課
榎山	乙部町／ 乙部をもっと好きになる地元食材で料理教室	タコやアカモク、黒干石大豆、大葉白乙女大豆などの乙部町産食材について地域で理解を深めることや、その活用方法を普及させる。	フードコーディネーターとして活躍している近藤緑さんを講師に招き、料理3品を作った。 参加者からは、「アカモクや黒干石大豆は知っていたが、今まで食べたことがなかった。おいしかったので自宅でも使いたい」という前向きな意見を頂いた。	11	地域振興対策室
上川	中川町／ 「男の料理教室」	調理技術の習得やバランスの良い食事を知る機会とする。	時期:令和5年3月14日(火) 場所:保健センター 調理実習室 対象:町民(男性) 担当:管理栄養士	10	住民課 幸福推進室
上川	鷹栖町／	稲作体験をとおして、栽培活動の楽しさや収穫の喜びを味わい、感謝の気持ちをもつことができるとともに、地域を愛し、大切にしていこうとする心育てを育てる。	実施日:田植え:令和4年6月10日 稲刈り:令和4年9月7日 場所:あつたかファーム 参加者:鷹栖町立鷹栖小学校19人、鷹栖町立北野小学校32人 関係機関:ノースフィールズ、たいせつ農業協同組合青年部	51	産業振興課 農業振興係
上川	鷹栖町／	食べることの楽しさを知り、食に思いを持つ機会を作ることと、食に関する講話やクッキング活動等を実施。	時期:1年間を4期(4～6月Ⅰ期、7～9月Ⅱ期、10～12月Ⅲ期、1月～3月Ⅳ期)に分け、年間を通して実施 対象:保育園5歳以上児 鷹栖保育園 延べ283人、北野保育園 延べ272人 内容:着の持ち方や食器の配置についての練習、野菜の収穫体験、おにぎり作りなど園児の食の課題や地産地消を考えた内容を実施	555	健康福祉課 保健推進係
上川	旭川市／ 食を育む料理教室	調理実習を通じて、具体的な調理法や望ましい食習慣、食の選択力を学ぶと共に、食育について理解を深める。	①チャレンジクッキング ・対象:旭川市内小学校の4～6年生 ・時期等:令和4年7月～8月実施 全3回 延べ63人参加 ②野菜が主役の料理教室 ・対象:旭川市民 ・時期等:令和4年8月～9月実施 全2回 延べ14人参加(ほか託児1人) (①、②共通) 場所:旭川市保健所第二庁舎6階調理実習室	77	保健所保健指導課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
上川	旭川市／ 離乳食教室	乳児・幼児の保護者に対し、離乳の必要性や意識、月齢に応じた食事の内容や調理形態、発育状況に応じた段階的に離乳を進めていくための知識の普及を図ること、乳幼児の健康保持・増進に結びつけられるよう支援する。	内容は前期と後期の2種類 ①前期 ・対象：4～7か月児の保護者 ・時期：令和4年5月～令和5年3月実施 全10回 延べ150人参加 ②後期 ・対象：8か月～1歳児の保護者 ・時期：令和4年6月～令和5年3月実施 全4回 延べ55人参加 (①、②共通) 場所：旭川市保健所第二庁舎6階調理実習室 デモンストレーション・講話・試食を実施	205	保健所保健指導課
上川	旭川市／ 旭川市民農業大学	「食料」やその基礎となる「農業」「農村」の重要性を広く市民に知ってもらう、これからの旭川の農業・農村の在り方を共に考える。	*対象：旭川市民 *場所：市内 *協力機関：市内農業者 旭川大学 *時期：令和4年4月～令和5年3月 *内容：1. 農作業体験(4～10月) 2. バス研修(7月) 3. 農村文化講座(10月) 4. 収穫祭(11月) 5. 農産加工実習(1月) 6. クラス発表会(2月) 7. 修了式・入学式(3月)	26	農政部農政課
上川	旭川市／ 子ども農業体験塾	通年での農業体験の場を設けること「食」や「農」、「いのち」について考える機会を提供する。	*対象：市内小学生4～6年生 *場所：市内 *協力機関：市内農業者、北海道教育大学旭川校 *時期：令和4年5月～令和4年11月 *内容：1. 農作業体験(5～10月) 2. 収穫祭(11月) 計6回	25	農政部農政課
上川	士別市／ 菜園作り(保育園)	酪農体験、農業体験を通じて基幹産業を身近に感じるとともに食の正しい知識の理解・偏食の減少・命の大切さ・日本の食文化について、興味や関心を持つ。	園児が種蒔き、苗植え、草取り、水やりに関わり随時収穫した野菜を給食やおやつで提供した。また、収穫した野菜を用いて園児によるカレーライス作りを行った。園児には水やりなどの作業や野菜の生長とおして、命を育てる大切さを感じるとともに、農業従事者への理解を深めることができ、偏食の改善がみられた。	205	士別市保育推進課
上川	和寒町／ 離乳食教室	離乳食の意義を理解し、発達に適した進め方ができる。月齢にあった調理法や形態、適量を確認することができる。母親同士の交流の場として、育児全般の意見交換や仲間づくりができる。	実施回数：年7回 場所：保健福祉センター 対象：概ね3～16ヶ月児とその親 内容： 栄養講話～月齢に合った離乳食の進め方と栄養の学習。 調理実習と試食～離乳食の調理実習をし見へ与えてみる 保健師講話～育児に関する疑問・悩みを支援する。 特記事項： コロナ禍による育児中の母子の孤立を防ぐため、感染症対策(調理実習のマニュアル作成)をとり少数で実施。 離乳食の供与は単なる栄養補給にとどまらず、楽しく食事し食べる意欲が育つ環境づくりが大切である。参加者同士が離乳食を見へ与える様子を確認することで、子の発達や離乳食の疑問や不安の解決の場となっている。	336	保健福祉課保健係
上川	名寄市／ 名寄市食育推進協議会主催事業／ 寒帯のほうれんそう収穫体験 協力：かんだファーム	体験をとおして楽しく農業に触れながら生産者への理解を深める。 地元農産物に関心を持ち地産地消につなげる。	【開催日】令和5年1月21日 10時～11時 【場所】名寄市風連町字東風連 かんだファーム 【参加者】20名 生産者から「なよろ星雪見ほうれん草(寒帯のほうれんそう)」についてのお話を聞き自らの手で収穫したのち挨拶も体験した。	20	経済部農務課
上川	美瑛町／ テーブルマナー教室	基本的なテーブルマナーを学ぶとともに、地場産品の良さを理解促進を図るため。	時期：令和4年11月 場所：レストランスベルジュ 対象：町内中学生 内容：レストランにて基本的なテーブルマナーを学ぶ。地場産食材を使用した一流シェフの料理を味わうことで、地場産物の良さを理解するとともに、食材が料理になる過程を学ぶ。	68	教育委員会管理課
上川	美瑛町／ 農業体験(あぐりスクールinびえい)	農業の体験学習により、生産者の苦労や農業について理解し、食材に関する感謝の気持ちを養うため。	時期：令和4年～12月にいにかけて複数回実施 場所：坂田歌太宅圃場 対象：町内小学生 内容：小学生を対象とした食や農にまつわる体験・学習(播種・観察・収穫)を1年を通して行う。	156	教育委員会管理課
上川	上川町／ 保育所・幼稚園農業体験	農業体験を通じて、町内の児童に対し食への関心を高めてもらうため。	対象：町内の保育所及び幼稚園に通っている年長(満6歳)の児童 時期：8月23日(月) 場所：上川町大根生産組合 農場 内容：大根の収穫体験 人数内訳：上川町立中央保育所 3人 上川幼稚園5人 のぞみ幼稚園5人 計13人	13	上川町立中央保育所
留萌	苫前町／ とままえ学び塾(一次産業(漁業)を知るの巻)	苫前町の一年を一次産業(漁師の仕事)から学ぶ講座を行い、参加者に新たな発見や苦労などを感じてもらい、町に興味を持ってもらうことと同時に、各産業に携わる人材の発掘に繋げることを目的とする。	実施日：3月23日(知識編 ※R3)、5月7日(実践編) 開催場所：小笠原漁業部 作業場 対象：一般町民 運営：とままえ交流事業実行委員会	7	社会教育課
留萌	苫前町／ とままえ学び塾(一次産業(農業)を知るの巻)	苫前町の一年を一次産業(農家の仕事)から学ぶ講座を行い、参加者に新たな発見や苦労などを感じてもらい、町に興味を持ってもらうことと同時に、各産業に携わる人材の発掘に繋げることを目的とする。	実施日：8月23日(知識編)、8月29日(実践編) 開催場所：苫前町公民館(知識編)、中嶋和浩氏 ほ場(実践編) 対象：一般町民 運営：とままえ交流事業実行委員会	11	社会教育課
留萌	苫前町／ 公民館講座「乳酸菌のお話・クッキング」	小学生が健康で元気な日常生活を送るために、食を通して腸の健康講座を行う。(ヤクルト出前講座として実施)	実施日：8月5日 開催場所：苫前町公民館 対象：小学生 運営：社会教育課職員、餅ヤクルト北海道 メニュー：ヨーグルトケーキ、ヤクルトムース	14	社会教育課
留萌	苫前町／ 正しく学ぶ！筋力トレーニング講座	バランスのとれた食事とトレーニング方法を習得して筋力アップを図る。	実施日：10月16日 開催場所：苫前町公民館 対象：一般町民 運営：社会教育課職員 協力：苫前町食生活改善協議会 メニュー：肉巻きチーズおにぎり、かぼちゃグラタン	8	保健福祉課 社会教育課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
留萌	苫前町／健康講座と料理教室	高齢者に必要な栄養について学び、バランスの取れた献立調理を行う。 (ヤクルト出前講座として実施)	実施日:10月21日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒 運営:社会教育課職員、㈱ヤクルト北海道 メニュー:フルーツサンド、ヤクルトムース	5	社会教育課
留萌	苫前町／鮭トバ作り	日本海で水揚げされる秋鮭を使い、鮭トバ作りを習い、味わうことで食への興味関心を高め、鮭トバ作りを広める。	実施日:11月25日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒、一般町民 運営:社会教育課職員 講師:磯崎 功 氏	15	社会教育課
留萌	苫前町／健康講座と料理教室	高齢者に必要な栄養について学び、バランスの取れた献立調理を行う。	実施日:2月21日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒 協力:苫前町食生活改善協議会 運営:社会教育課職員	6	社会教育課
留萌	苫前町／公民館講座「ピザ&クッキー作り講習」	食を通じた学習を行うとともに、公民館活動への興味関心を深める。	実施日:3月18日 開催場所:苫前町公民館 対象:一般町民 運営:社会教育課職員 協力:苫前町食生活改善協議会 メニュー:クッキー、ピザ	7	社会教育課
留萌	苫前町／水産加工場見学	水産加工場や加工品の製造の様子を通して、水産加工場で働く人々の工夫や努力、苦勞について理解を深める。	実施日:10月21日 開催場所:(株)丸や岡田商店 対象:町内小学校3年生 運営:社会教育課 協力:(株)丸や岡田商店	21	社会教育課
留萌	苫前町／ホタテ漁業見学	ホタテを育てている人たちの様子や工夫、仕事の様子などを見学し、苫前町の水産業について理解を深める。	実施日:9月8日 開催場所:苫前漁港 株式会社加藤漁業部 作業場 対象:町内小学校3年生 運営:社会教育課 協力:留萌地区水産技術普及指導所、加藤漁業部	21	社会教育課
留萌	苫前町／地引き網体験	海にどのような魚や生き物がいるのか、実際に捕獲する体験を通して理解を深める。	実施日:6月29日 開催場所:苫前漁港付近(雨天中止により教室授業) 対象:苫前小学校4年生 運営:社会教育課 協力:留萌地区水産技術普及指導所、北るもい漁業協同組合苫前支所	6	社会教育課
留萌	苫前町／さつまいも植え、収穫、お菓子作り	自分で植え、収穫したさつまいもを使ったお菓子作りを体験する。	実施日:5月29日、10月15日、11月26日 開催場所:苫前町公民館 対象:苫前町少年少女体験教室生徒 運営:社会教育課職員	25	社会教育課
留萌	苫前町／親子料理教室・料理教室	子供が食への興味関心を高めること及び保護者が食育の大切さについて考える契機とする。	実施日:10月29日、30日 開催場所:苫前町公民館 対象:苫前町少年少女体験教室生徒、幼児及び保護者 運営:社会教育課職員、保健福祉課栄養士、苫前町食生活改善協議会 メニュー:韓国風のり巻き、ミルクかん	12	保健福祉課 社会教育課
留萌	苫前町／料理講習	高齢者に必要な栄養について学び、バランスの取れた献立調理を行う。	実施日:11月14日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒 運営:社会教育課職員、苫前町食生活改善協議会 メニュー:たこの炊き込みご飯、カラフル野菜の塩昆布和え、スペイン風オムレツ	7	保健福祉課 社会教育課
留萌	苫前町／正しく学ぶ！筋力トレーニング講座	バランスのとれた食事とトレーニング方法を習得して筋力アップを図る。	実施日:11月28日 開催場所:苫前町公民館 対象:一般町民 運営:社会教育課職員 協力:苫前町食生活改善協議会 メニュー:玄米ご飯、カラフル野菜の塩昆布和え、スペイン風オムレツ	12	保健福祉課 社会教育課
留萌	羽幌町／育児教室(うさこちゃん遊びの広場)におけるクッキング	親子で調理する楽しさを知る。	対象:2歳1か月～未入園児 内容:簡単なおやつづくり(かぼちゃまんじゅう、ニコニコおにぎり) 日程:年2回(10月、3月)	22	福祉課 健康支援課
留萌	羽幌町／育児教室(うさこちゃん遊びの広場)における昼食体験	親子で楽しく食事をする。	対象:2歳1か月～未入園児 内容:昼食体験(カレーライス、フルーツヨーグルト) 日程:年1回(9月)	14	福祉課 健康支援課
留萌	羽幌町／出前講座	食や栄養に関する知識の普及	対象:一般町民 内容:栄養や食に関する講話、調理実習、試食 実施数:1回	6	健康支援課
宗谷	稚内市／沼川みのり公園	敷地内の市民農園にて収穫された野菜を販売し、市民に秋の恵りを楽しんでもらう。	●沼川みのり公園収穫祭 令和4年9月17日 沼川みのり公園	62	建設産業部農政課
宗谷	稚内市／子どもの広場 前期「ローピザ作り」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和4年7月9日(土) 10:00～11:30 【参加対象】小学校1～3年生 定員 8人 【参加者の感想】生地をうめるところが難しかった 【問題点・課題】特になし	7	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／子どもの広場 前期「どら焼き作り」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和4年7月27日(水) 10:00～11:45 【参加対象】小学校4～6年生 定員 8人 【参加者の感想】目を離すと焦げる。生地の上下を同じ大きさにすることが難しかった。 【問題点・課題】特になし	7	生涯学習総合支援センター

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
宗谷	稚内市／子どもの広場 後期「うどん作り」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和4年12月28日(水) 10:00～11:45 【参加対象】小学校4～6年生 定員 8人 【参加者の感想】生地を伸ばすところが難しかった。 【問題点・課題】特になし	8	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／子どもの広場 後期「ベビーカステラ」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和5年1月12日(木) 10:00～11:30 【参加対象】小学校1～3年生 定員 8人 【参加者の感想】裏返すところが難しかった。 【問題点・課題】生地を寝かせる時間が十分確保できなかった。	6	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／風～るクラブキッズ 前期「調理」(サケのチーズ焼きキノコ添え・野菜たっぷりカレー)	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和4年8月20日(土)/8月27日(土) 9:30～11:45 【参加対象】小学校4～6年生 定員8人 【参加者の感想】苦手な野菜もあつたけどおいしかった。 【問題点・課題】特になし	8	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／風～るクラブキッズ 後期「調理」(鮭のちゃんちゃん焼き・野菜がとろけるポトフ・鶏むね肉のケチャップマヨ炒め)	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和4年11月12日(土)/11月26日(土) 9:30～11:45 【参加対象】小学校4～6年生 定員8人 【参加者の感想】胸肉を切るのが胸肉。 【問題点・課題】特になし	9	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／声聞来生大学(高齢者大学)「健康講座①」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和4年6月15日(水)10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 【参加者の感想】 【問題点・課題】特になし	12	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／声聞来生大学(高齢者大学)「うどん作り」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和4年7月20日(水)10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 【参加者の感想】 【問題点・課題】特になし	11	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／いきいき大学(高齢者大学)前期/声聞来生大学(高齢者大学)合同「健康講座②」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和4年8月24日(木)10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 定員 10人 【参加者の感想】塩分を減らす方法を教えてもらった。 【問題点・課題】特になし	14	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／いきいき大学(高齢者大学)前期「そば打ち」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和4年6月23日(木)/7月14日(木) 10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 定員 10人 【参加者の感想】2回目でしたが、やっぱり難しい。 【問題点・課題】特になし	10	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／いきいき大学(高齢者大学)後期「うどん作り」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和5年1月26日(木)10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 定員 10人 【参加者の感想】うどんが好きなので、習えてよかった。 【問題点・課題】試食なし。持ち帰り。	2	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／いきいき大学(高齢者大学)後期「どらやき作り」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和5年2月17日(金)10:00～12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 定員 8人 【参加者の感想】孫と一緒に作れそう。手土産にできそうです。 【問題点・課題】	9	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市／ヘルスアップ教室(栄養編)	日常生活において適切な食生活が継続できるよう、生活習慣病予防及び健康増進となるための知識や方法を周知し普及啓発を行う。	1、日時:令和4年12月16日(金)10～12時 2、場所:稚内市保健福祉センター2階 健康学習室・栄養指導室 3、対象者:稚内市民 4、内容:太りにくく、免疫力維持に役立つ食事 (1)調理実習<メニュー>ホタテと青菜のバスタ、レタスのスープ、鶏肉のとろろグラタン (2)講話:肥満や生活習慣病予防となる食事時間と食べ方について 5、参加者の感想:とろろを使ったグラタンがよかったです。とても勉強になりました。等	8	生活福祉部 健康づくり課
宗谷	稚内市／いきいき栄養教室	心身の健康を維持するだけでなく、活動的で生きがいのある生活の可能性が拡大するとともに、要支援、要介護状態にならずに過ごせるよう、食生活(低栄養)に関する知識の普及啓発を行う。	1、日時:令和5年1月20日(金)10～12時 2、場所:稚内市保健福祉センター2階 健康学習室・栄養指導室 3、対象者:稚内市民(主に65歳以上の高齢者) 4、内容:しっかり食べて、元気な体を保とう (1)調理実習<メニュー>もやしと切り干し大根のみそ汁、カニかま豆腐の卵あんかけ、じゃが芋のマヨきんぴら (2)講話:介護予防(低栄養)に繋がる食生活について 5、参加者の感想:短時間で出来る様なメニューだったので参考になりました。栄養素が簡単な調理で作る所がいいです。調理が苦手なので参考になります。等	9	生活福祉部 健康づくり課
宗谷	稚内市／市民講座「手作りインスタント味噌汁 味噌玉作り」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和4年6月15日(水)、6月29日(水) 13:30～14:30 【参加定員】稚内市民 8名 【参加者の感想】時短料理として勉強になった 等 【問題点・課題】ペーパータオルを用意してほしいという指摘があった。	5	文化・社会教育課
宗谷	稚内市／市民講座「本格キャンプ飯 ピア缶チキン作り」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和4年7月23日(土) 10:00～11:00 【参加定員】稚内市民 5名 ※親子参加可 【参加者の感想】食材のほか道具の用意もあったので気軽に参加できた 等 【問題点・課題】家族連れをターゲットにするならば、日曜開催のほうがよいという指摘があった。	5	文化・社会教育課
宗谷	稚内市／サクッとふわあっ〜もちっ! ツイストドーナツづくり	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】A11/20、B12/18、C11/27、D12/11、E12/25(C～Eは追加講座) 10:00～12:00 【参加定員】各日程12名 ※親子参加可 【参加者の感想】本レシピを見るより体験して楽しめられた 等 【問題点・課題】受講料を後日振込ではなく、当日払えるように検討してほしいという指摘があった。	56	文化・社会教育課
宗谷	猿払村／「男の栄養教室」「ゆっくり栄養教室」「いきいき栄養教室」「農協女性部学習会」	栄養教育・調理実習を通して、健康づくりのための食事管理ができるようになり、自分の健康は自分で守る意識を持てるようになる。有識者に対しては、病気の理解が深められるようにする。また、教室に参加することによって介護予防事業対象者への予防を行う。	開催日:4月～3月 場所:猿払村保健福祉総合センター 参加人数:4～10名 対象:20歳以上の男性 65歳以上の女性及び20歳以上の精神・知的障害者の女性 20歳以上の女性 東宗谷農業協同組合女性部員 内容:栄養講話(食品衛生・栄養について)と調理実習	10	保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署
宗谷	礼文町／ 栄養教育「噛むことの大切さ」	園児がよく噛むことの重要性を理解し、実践することで、園児が自身の健康について興味、関心をもち、園児が将来自分たちで正しい食生活を身につけることができる。	時期・場所: 令和4年2月7日(火)船泊保育所 令和4年2月13日(月)香深保育所 対象: 船泊/年長児6名、香深/年中児9名・年長児6名 内容: 正しい噛み方や噛んで食べる重要性について講話後、実際にかたいお菓子を噛んで、30回噛む練習をした。 その他: 船泊保育所については、保護者参観の日に実施した。	21	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町／ 官学協働健康づくり事業「島の幸と天使の献立で町民ヘルシープロジェクト」	健康なまちづくりの実現に向け、島の食材を活用した新たなヘルシーメニューの企画、立案、販売を通じて、健康無関心層を含めた幅広い世代における健康づくりへの意識向上を図り、家庭や地域での継続的な活動へつなげる。	時期: 令和4年11月3日(土) 場所: ビスカ21 調理室 対象: 料理教室参加者(6名) 内容: 北海道札幌市にある天使大学のサークル「たべてる」の学生(栄養学専攻)が、町の健康課題改善のため管理栄養士助言の下、島の食材を使った健康レシピ「ホッケのそぼろ丼」(減塩・カロリーオフ)を考案した。考案したメニューは、減塩をテーマとした料理教室で取り上げ、調理をした。また、毎月町民に発信している健康メニューの12月号として、町民に発信をした。 その他: 礼文島海祭祭りにて学生と一緒に調理から販売までを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりお祭りが中止となったため予定を変更して実施した。	6	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町／ 野菜摂取量測定(バジチェック)事業	町の健康課題として、肥満、高血圧、糖尿病の合併症を有する割合が高いことから、野菜摂取量向上の取り組みを通して、これらの生活習慣の発症予防及び、重症化予防につなげる。	時期: 9月～3月 対象: 保育所園児 45名(香深33名、船泊12名) 特定健康診査者 120名 町民健康講座参加者 7名 料理教室参加者 14名(11月6名、2月8名) 特定保健指導対象者 27名 うすゆきの会メンバー 6名 ※延べ人数 内容: カゴメ(株)からバジチェックをレンタルし、各事業参加者に実施した。町独自で結果表作成し、測定者の野菜摂取状況を見える化することで野菜摂取を促した。	219	保健課 保健推進係
オホーツク	網走市／ ナチュラルベビーキッチン(離乳食教室)	離乳の必要性を理解し、発育に合わせた離乳食を進めることができる。	対象: 1歳未満の乳幼児と親 年3回実施 調理実習と歯科・栄養講義を実施	14	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市／ メンズキッチン(初心者編)	調理が苦手な男性も簡単に作れて栄養を意識した料理を体験することで、食べ物と健康の関連性を認識してもらう。	対象: 普段調理に不慣れな男性を中心とした料理教室 調理指導は食生活改善協議会	8	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市／ 就業支援(サンライズヨビト)	自分で食べ物を選ぶ力、食事を作る力を身に着ける。	調理実習「スクランブルエッグのつけ焼きそば」 講話: 栄養3兄弟	5	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市／ 消費者協会	乳製品の普及のための料理教室	エコーセンターキッチン室で実施	16	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市／ シニア料理教室	高齢者の健康づくりのため、栄養バランスに配慮した手軽な料理を参加者自らが調理、試食し、栄養士による解説、指導を行うことにより正しい生活のあり方について認識を深めてもらうことを目的とする。	網走市食生活改善協議会 開催日: 令和4年9月1日(木)・令和4年11月10日(木) 開催場所: 保健センター 参加者数: 21名 内容: 60歳以上の市民を対象として、網走市食生活改善協議会の協力により、調理、試食・栄養指導を実施。	21	健康福祉部 介護福祉課
オホーツク	網走市／ 東京農業大学オホーツクキャンパス食堂事業	市内水産関係団体と連携して食材提供し、網走市出身の学生が大半を占める同大学の在学生等が地場水産物に触れる機会を創出することで、地場水産物の普及促進を図る。	実施時期: 5月、7月、11月 対象: 東京農業大学オホーツクキャンパス在学生等(教職員含む) 内容 水産関係団体と連携し、同大学の食堂メニューの食材として地場水産物を無償提供。 第1回 (食材提供)ホタテ: 網走漁業協同組合、網走市 シジミ: 西網走漁業協同組合 (提供メニュー)ホタテ丼(シジミ汁付き) 第2回 (食材提供)ホッケ切身: 網走市 (提供メニュー)ほっけフライ定食 第3回 (食材提供)いくら: 網走漁業協同組合 ほたて: 網走市 えび佃煮: 西網走漁業協同組合 さけフライ: 北海道漁業協同組合連合会 (提供メニュー)ホタテイクラ丼・えび佃煮セット さけフライ付	500	農林水産部 水産漁港課
オホーツク	網走市／ 地場水産物を活用した学校給食	地産地消の促進を目的として、学校給食用食材(ホッケ)を提供。	実施時期: 11月 対象: 日体大附属高等学校生徒・教員 内容 学校給食用食材として網走産ほっけを無償提供。	160	農林水産部 水産漁港課
オホーツク	網走市／ まなびすと講座(成人講座開設事業)	地域課題、現代的課題など市民の生活向上にかかわり、行政が市民に学んでもらいたいテーマや市民だけではなかなか取り組めないテーマを講座を実施する。	「初心者のための手作りみそ友講座」 初心者を対象に、みそ作りの基本やみその歴史・効能を学びながら、地産地消を基本とした健康で豊かな食生活づくりを体験する。 講師: 網走友の会 日程: 6月25日(土)・11月26日(土) 場所: オホーツク・文化交流センター	15	網走市教育委員会 社会教育部 社会教育課
オホーツク	網走市／ 成人講座開設事業	日本食文化の基本的な調味料である「みそ」を、団体・サークルなどの仲間と一緒に作ることで、現代的課題である「食」に関する知識と「食」を選択する力(食育)を習得するとともに、市民同士の絆を深める交流を促進し、健康で文化的、そして豊かで活力のある社会の実現を目指す。	「みそ友づくり」 みそづくりを行い、たいさくなどの活動に対し、春期と秋期に支援を行っている。 日程: 春期(5～6月)、秋期(9～10月) 場所: オホーツク・文化交流センター	137	網走市教育委員会 社会教育部 社会教育課
オホーツク	網走市／ あばしり学 ロセットコース第5講座(子ども講座開設事業)	漁獲量日本一にもなった網走産の「鮭」について、ウライでの水揚げや捕獲場での活動を見学ならびに、鮭についての座学を聞き、鮭を実際に載せ、調理することで鮭や網走の魅力を再発見・再確認する機会を創出する。	「あばしりの鮭を見に行こう! (見る・知る・食べる)」 サケ親捕獲場である網走川のウライを見学後、オホーツク・文化交流センターにて座学を行うとともに、鮭の捌き方や鮭を使った調理を体験する。 講師: 北見さけ・ます増殖事業協会、コネクトリップ 日程: 10月8日(土) 場所: 網走川、オホーツク・文化交流センター	14	網走市教育委員会 社会教育部 社会教育課
オホーツク	美幌町／ わくわくキッチン教室	食への関心を深め、料理を作る喜び、楽しさを体験する。	対象: 小学3～6年生 時期: 7月27日 場所: しやきとプラザ 協力: 美幌町ヘルスリーダーの会 内容: バランスのよい献立作成の学習(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー: お弁当づくり おにぎり、ナゲット、一口ピザ、超カンタンエビチリ、お好み焼き風卵焼き、ブロックコーリーのナムル、ポテトサラダ	4	保健福祉課 健康推進グループ

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
オホーツク	美幌町／自分でつくる朝ごはん教室	朝ごはんの必要性を知り、簡単にバランスのよい朝ごはんを調理体験することで食に関心を持つ子どもを増やす。	対象:小学3～6年生 時期:8月10日 場所:しゃきとプラザ 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 内容:朝ごはんの効用についての講話(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:おてがる朝丼、元気アップみそ汁	10	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	美幌町／冬休小学生おやつ教室	望ましいおやつの方について考え、身近な材料で簡単にできるおやつ作りを体験する。	対象:小学3～6年生 時期:1月11日 場所:しゃきとプラザ 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 内容:①グループワーク:飲み物に含まれる糖分の量(栄養士) ②調理実習:おやつ作り(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:カンタンビザ、トロピカルサイダーゼリー	12	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	美幌町／プレマクラス へるす dinner	妊婦中の食事生涯を通して健康づくりのための減塩かつバランスのよい食事の必要性を知る。	対象:妊婦教室に参加している妊婦とその夫 時期:6月17日 10月28日 2月24日 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 場所:しゃきとプラザ 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 内容:栄養バランスのよい食事 試食会 実施メニュー:ごはん 鶏とコーンの青のりつくね、アボカドとかぼちゃのボン酢かけ、小松菜のナムル風、野菜スープ	24	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	美幌町／ママの手作りクッキング	幼児のおやつ役割と目安量を知り調理体験と試食を通して理解を深める。	対象:子育て支援センター利用者(親子) 時期:10月18日 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 内容:栄養講話(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:豆乳みかんパバロア コーンのパンケーキ	8	社会福祉課 子育て支援センターグループ 保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	斜里町／しれとこ斜里農業協同組合/収穫体験	農業の楽しさを伝える。	令和4年8月30日に双葉・はまなす保育園園児を対象に町内の圃場にて馬鈴薯と人参の収穫体験を実施した。	9	農業振興センター
オホーツク	斜里町／しれとこ斜里農業協同組合/施設見学	農業の楽しさを伝える。	令和4年10月10日に斜里小学校3年生を対象に中斜里澁粉工場にて施設見学を実施した。	7	農業振興センター
オホーツク	湧別町／湧別漁業協同組合青年部	地域の産業を体験する。	・時期・場所:6月28日 三里浜キャンプ場 ・内容「地引網体験」 ・参加者 上湧別中学校2年生:23名、教諭:4名 湧別漁協青年部:8名	35	湧別町水産林務課
オホーツク	湧別町／湧別漁業協同組合青年部	湧別町・新穂津村友好都市交流事業として両町の小学生や指導ボランティアの中学生・高校生が三里浜キャンプ場でほたて剥き体験をする。	・時期・場所:8月3日 三里浜キャンプ場 ・内容「ほたて剥き体験(湧別町・新穂津村友好都市交流事業)」 ・参加者 湧別町・新穂津村の小学生・中学生・高校生:28名 湧別漁協青年部:14名	42	湧別町水産林務課
オホーツク	滝上町／地域乳製品等消費拡大事業(1回目)	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で、牛乳・業務用乳製品を中心に全国的に消費が落ち込み、長期保存が出来る脱脂粉乳・バターを中心とした乳製品処理で調整を図っているが、現在も新型コロナウイルス感染症の終息は見えず、乳製品在庫は大きく積み上がっている。そこで、酪農家を応援するため、影響を受ける牛乳・乳製品の消費拡大を図る。	配布日:令和4年6月27日 内容:園児、小・中学生、教職員を対象に、よつ葉乳業の特選北海道牛乳、パンケーキミックス、ハウス食品のフルーチェ、第2期滝上町食育・地産地消推進計画(概要版)、食育チラシを配布した。	216	農政課地産食育係
オホーツク	滝上町教育委員会／滝上放課後子供教室「夏休みのレクリエーション」(食育プログラム「おいしい野菜チャレンジ」)	夏休み期間における児童の交流の場を設けるとともに、北海道の地域の特色に触れ、北海道ならではの屋外での遊びを行うことにより、地域への愛着心を育むと同時に、児童の健やかな成長に寄与する。	対象者:町内小学生(滝上小学校・濁川小学校) 開催日時:令和4年8月4日13:15～15:45 場所:たきう交流センターひあ 内容:レクリエーションの一つとして、食育プログラム「おいしい野菜チャレンジ」の日本全国野菜すごろくの旅編による野菜クイズに参加し、異なる地域の子ども達と野菜を通じて交流を深め、自分や相手の住む地域の野菜や料理を知ること、より野菜に興味を持つことが出来た。	15	教育委員会生涯教育課社会教育係
オホーツク	滝上町／地域乳製品等消費拡大事業(2回目)	長期化する新型コロナウイルス感染症流行の影響で、全国的に乳製品の需給が落ち込み、そのため生乳生産の抑制や牛の個体販売価格の下落、飼料をはじめとする資材等の価格高騰など、酪農を取り巻く情勢は、三重苦に見舞われ、大変厳しい状況で、本町の酪農家も例外ではない。そこで、酪農家を応援するため、影響を受ける牛乳・乳製品の消費拡大を図る。	配布日:令和5年2月27日 内容:滝上町全世帯(1,332世帯)を対象に、牛乳贈答券1,000円分(200円×5枚)、食育リーフレットを配付した。	1,332	農政課地産食育係
オホーツク	滝上町／滝上町教育委員会 サルベージパーティ⑧でフードロスを減らす	大人の社交場として図書館や文化センター等を開放し、昼間仕事や育児が忙しい世代にゆったりと本を片手に話らい、読書を楽しみながら友好を深める。	対象:滝上町民 開催日時:令和5年3月18日(13:30～16:30) 場所:文化センター図書館及び調理実習室 内容:good food, good life代表である和田晴子氏を招き、食品ロスとサルベージパーティの進め方について学び、実際に余らせた食材を使い、調理し、試食会を実施した。	19	教育委員会生涯教育課図書館奉仕係
オホーツク	興部町／離乳食教室	離乳食は将来の食生活の基本となるため、味覚形成、咀嚼の発達に合わせた固さの調節、栄養バランスの重要性が理解でき、健全な発育、発達ができるように支援すること。	対象:2～8ヶ月児を持つ保護者 時期:5月19日 場所:興部町福祉保健総合センター「きらり」 内容:離乳食のお話・実演「離乳食の作り方、大人の料理からの取り分け、発達に応じた固さ・量・味付けの調節」、試食	4	興部町福祉保健課
オホーツク	興部町／興部保育所・沙留保育所幼児学級(調理実習)	家族のために作ったものをみんなに食べてもらい喜んでもらうことで、何かを作ることの喜びをわかってもらい、家で料理をする機会が増える。	対象:保育所通所児・保護者 時期:沙留保育所8月30日・興部保育所9月29日 場所:興部町福祉保健総合センター「きらり」 内容:調理実習「こどもと一緒に作るおやつ「スノーボールクッキー」 沙留保育所 子ども4名・保護者3名・保育士2名 興部保育所 子ども3名・保護者2名・保育士4名	18	興部町福祉保健課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
オホーツク	興部町／ 幼児生活改善事業(もぐもぐ歯つび一教室)	幼児期の歯の健康が子どもの生涯を通じた健康にも大きく影響することが知られている。いつまでも美味しく食べ物を噛んで食べ健康に過ごすことができるように、子どもに合わせた食材の切り方や固さ、おやつとの与え方、口腔についての必要な情報を知ってもらい個々の発達に応じた正しい食習慣や口腔清掃が身につくように支援する。	対象:3歳～5歳までのお子さんとその保護者 時期:第1回 9月5日・第2回10月3日 場所:興部町福祉保健総合センター「きらり」 内容:第1回、歯科衛生士による講話。幼児期の口腔機能と歯の様子・乳歯の磨き方。栄養士による調理実習。噛むことを意識したおやつ「黒砂糖の焼きもち」第2回、歯科衛生士による講話。食事の時の姿勢・歯並びを悪くする癖。幼児期の口に合った遊び方。栄養士による調理実習。噛むことを意識したおやつ「もぐもぐかむかむ餅」 第1回、子ども3名、保護者3名。第2回、子ども2名、保護者3名。	11	興部町福祉保健課
オホーツク	興部町／ 興部保育所・沙留保育所食育講話	子どもの食への関心を育み「食を営む力」の基礎を培い、子ども達が大人になっても健康で質の高い生活を送ることができるように支援する。	対象:保育所通所児1歳～5歳児 時期:興部保育所第1回2月8日・第2回2月22日 沙留保育所第1回2月14日・第2回2月28日 場所:興部保育所・沙留保育所 内容:第1回①あか・き・みどりの食べ物のお話。②食べた物が体の中でどうなるのか見てみよう。食べ物クイズ。第2回①自分の体を病気から守るために大切な手洗いの仕方。②前回の復習。食べ物クイズ。 第1回、興部保育所子ども23名・保育士6名。沙留保育所子ども19名・保育士4名。第2回、興部保育所子ども23名・保育士5名。沙留保育所子ども20名・保育士4名。	104	興部町福祉保健課
十勝	帯広市／ 畑づくり(公立保育所)	児童が作物を育てることに興味を持ち、収穫する喜びを味わう。	春～秋にかけて、各公立保育所で実施 育てる作物は保育所ごとに決めている。	400	市民福祉室 こども福祉室こども課
十勝	帯広市／ こどもクッキング(公立保育所)	保育所入所児童に対し、地元産食材を使って調理体験をすることで、みんなで作る楽しさを味わってもらい、地元産食材に親しみを持つ。	各公立保育所で実施 実施は保育士・調理員が主体となって計画し、児童に調理してもらう。 ＜実施した献立(例)・その中の地元産食材＞ ○カレー、シチュー、ピザ	191	市民福祉室 こども福祉室こども課
十勝	帯広市／ 食育・親子料理教室、食育・パパと子の料理教室	親子で一緒に料理をすることによって、コミュニケーションを深め、食への興味・感謝の気持ちを育み、家族の健康について考え、家庭でも継続して親子で料理をするきっかけを作る。また、父親には、食や健康に対する意識の向上や育児参加を促す。	①食育・親子料理教室 日時:令和4年9月5日(金)、6日(土) 場所:帯広市保健福祉センター 対象:市内在住の親子(年中児～小学1年生) 参加者数:計4組10人 献立:大豆ドライカレー、和えるだけサラダ ②食育・パパと子の料理教室 日時:令和4年10月29日(土) 場所:帯広市保健福祉センター 対象:市内在住の父と子(年中児～小学1年生) 参加者数:8組16人 献立:アンパンマン太巻き、もちもち団子汁 【特記事項】 令和4年度は、感染対策を講じて実施。低年齢児でもできる作業を盛り込み、毎回好評である。	26	帯広市市民福祉部 健康保険室健康推進課
十勝	帯広市／ ブラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	・講座名: 家庭料理 ・対象: 高校生以上 ・時期: 年間20回開催(令和4年度:5/18、6/1、6/15、7/6、7/20、8/3、8/24、9/7、9/21、10/5、11/2、11/16、12/7、12/14、1/25、2/1、2/15、2/22、3/1、3/15) ・場所: とかちブラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	190	生涯学習部 生涯学習文化室 生涯学習文化課
十勝	帯広市／ ブラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	・講座名: 楽しい彩り料理 ・対象: 高校生以上 ・時期: 年間5回開催(令和4年度:8/10、8/24、9/14、9/28、10/12) ・場所: とかちブラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	45	生涯学習部 生涯学習文化室 生涯学習文化課
十勝	帯広市／ ブラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	・講座名: シェフの簡単料理 ・対象: 高校生以上 ・時期: 年間10回開催(令和4年度:8/4、8/25、9/8、9/22、10/27、11/10、11/24、12/8、1/12/26) ・場所: とかちブラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	100	生涯学習部 生涯学習文化室 生涯学習文化課
十勝	帯広市／ とかちマルシェにおける帯広市食育推進PRブースの出展	食育に関心のある市民はもとより、食育に興味関心の薄い市民を含む、多くの市民に効果的に食育推進の機会を提供するため。	○アイス作りワークショップ ・実施日時: 令和4年9月3日(土) 10:00～18:00 ・場所: JR帯広駅南側特設会場 ・参加対象者: 市民等 ○ジパサンダーによるグリーティング ・実施日時: 令和4年9月3日(土) 10:30～15:30 ・場所: JR帯広駅南側特設会場 ・参加対象者: 市民等 ○豆腐作りワークショップ ・実施日時: 令和4年9月4日(日) 10:30～13:30 ・場所: JR帯広駅南側特設会場 ・参加対象者: 市民等 ○小麦粉作りワークショップ ・実施日時: 令和4年9月4日(日) 10:30～16:00 ・場所: JR帯広駅南側特設会場 ・参加対象者: 市民等 ○牛模型による搾乳体験 ・実施日時: 令和4年9月3日(土) 10:00～18:00 令和4年9月4日(日) 10:00～16:00 ・場所: JR帯広駅南側特設会場 ・参加対象者: 市民等	1,000	農政部農政室農政課 市民福祉部 こども支援室こども課 学校教育部 学校教育室学校給食センター

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署
十勝	音更町／ おおそでくんキッチン ランクアップおおそでくん 加工教室の開催 音更こども体験隊 幼児家庭教育学級(ママとパパの講座)	1 おおそでくんキッチン 地場食材を中心とした「料理」という体験を通じて「食」への関心を高めるとともに、子ども達に自信や達成感を与え、協調性を学ぶ場とするを目的とする。 2 ランクアップおおそでくん「おおそでくんキッチン」の参加者(卒業生)を対象に、難易度を上げた料理を行い、「もう一つ上」を目指す。 3 加工教室 音更産の食材を使った加工教室を開催することで町内産農畜産物を身近に感じてもらうとともに地産地消を推進することを目的とする。 4 音更こども体験隊 5 幼児家庭教育学級(ママとパパの講座) 生涯学習の一環として、農作業体験を行い、音更町の基幹産業である農業や農産物について学んでもらうことを目的とする。	1 おおそでくんキッチン 開催回数:5回 場所:音更町ふれあい交流館 対象:年中児～小学校1年生 延べ21名 2 ランクアップおおそでくん 開催回数:2回 場所:音更町ふれあい交流館 対象:小学校2年生～4年生 延べ8名 3 加工教室 開催回数:年7回 場所:音更町ふれあい交流館加工室 内容:味噌、ソーセージ、洋食、シュトーレン、豆腐(2回)、チーズ41名 4 音更こども体験隊 トウモロコシ収穫・収穫、サツマイモ掘り体験 32名 5 幼児家庭教育学級(ママとパパの講座) 生涯学習の一環として、「ふれあい農園」においてとうもろこしや音更大袖大豆などの播種、除草及び収穫を行う。 12名	114	1. 2. 3 経済部 ふれあい交流館 4. 5 教育委員会 教育部生涯学習課
十勝	士幌町／ こども料理教室	調理実習及び試食等を通じて、家庭でも楽しく実践できるよう働きかける。	時期 12月27日 対象 小学1年生～6年生また以前この教室に参加したことのある中学生 概要 調理実習、試食 メニュー カルシウムたっぷりおにぎり、皮からつくるぎょうざ、栄養満点みそ汁、やさしい味の牛乳プリン	7	保健福祉課 健康推進係
十勝	新得町／ 夏休みなかよし学習塾体験活動	全町教育の理念・目的をふまえ、より多くの子どもたちに関わりながら体験活動等を行い、子どもたちに満足感や達成感、自己肯定感を体験させる。	●対象者:小学生(2,4,6年生) ●時期:7月27日 ●場所:保健福祉センターなごみ ●内容:お菓子作り 2年生5人、4年生7人、6年生1人 計13人	13	社会教育課
十勝	芽室町／ めむろ農業小学校	・このまちの土、空気、人、食に触れ、子どもたちの五感を刺激し、発見や驚き、感動を体験することで、芽室町の基幹産業「農業」の理解を深める。 ・自ら育てた作物を自ら調理し食べること、食べ物の本来のおいしさや大切さを学ぶ。 ・生産者から直接指導を受け、交流を深める中で、生産者を身近に感じ、「農業」の格好良さや重要性を認識する。 ・「芽室の農業を応援する心」及び、食に対する正しい知識を持って「食べ物を選択できる力」を身につける。	5月～11月(播種、管理作業、町内企業バス学習、収穫、調理実習など)	40	農林課農業振興係
十勝	中札内村／ 七色旗立プロジェクト「食育体験教室」	地域の生産者との協働により、地場産野菜への理解と思い入れを深め、地域での野菜の消費拡大を目指す。	日時:令和4年8月20日 場所:村内農場(2か所) 対象:村内在住の保育園年中児～小学生(保護者も参加可) 内容:農協青年部の協力により、とうもろこしと枝豆の収穫体験、レクリエーションを実施(レクリエーションでは、農業に関する問題を参加者に出しました。)	20	福祉課保健グループ
十勝	更別村／ 小学生親子料理教室	親子での調理を通じて食べる楽しさや食への興味の醸成、栄養バランスや食事の大切さを学び日常に活かすこと、また、家庭教育の推進を図る。	対象:村内の小学生親子 時期:令和4年11月26日 場所:更別村農村環境改善センター 子育て応援課と教育委員会の連携事業として更別村農村環境改善センター調理実習室にて開催。5組の親子計11人が参加。	11	教育委員会・ 子育て応援課
十勝	大樹町／ 農業体験	地域で生産される農産物を地域で食する「地産地消」を基本に五感を刺激する体験等を通じて、食への関心を育み、食べることの大切さや町の基幹産業である農業・水産業についての理解を深め、健康で元気な心と体を育成することを目的とする。	対象:尾田認定こども園おひさま園児 時期:春～秋 内容:春に芋植えをし、秋に収穫し調理する。	16	保健福祉課 児童保育係
十勝	広尾町／ 子ども料理教室	「調理」という作業を通して食材を身近に感じるとともに「楽しい食事作り」「味わう力」を身につけることができる。	対象:小学生 時期:①8月4日、8月5日(調理実習、栄養講話) ②1月12日、1月13日(お魚さばき体験・調理実習) 場所:健康管理センター 参加数:①延べ23人、②延べ29人	52	保健福祉課健康管理センター
十勝	広尾町／ お魚さばき体験・昆布の学習会	地元食材を活用した食育教室を実施することで食文化の継承、栄養バランスに配慮した食生活を実践する人が増え、減塩へとつながれることを目的とする。	対象:町民 時期:10月14日 場所:健康管理センター 内容:農業漁業関係者を講師に迎え、魚さばき体験やその活用方法、バランスのよい食事の大切さなどを学ぶ。	9	保健福祉課健康管理センター
十勝	池田町／ 栄養士二講座	乳幼児を育児中の保護者への食生活に関する学習の機会とし、家族全体の生活習慣病予防を図る。	□対象:乳幼児を育児中の保護者 □場所:池田町保健センター □時期:①令和4年8月 ②令和5年3月 □講師:池田町保健センター管理栄養士 □内容:①栄養の話(幼児食のポイント)、②栄養の話(減塩について)、減塩おやつを試食	17	保健子育て課 (保健センター)
十勝	池田町／ 食育教室	子どもたちが自身が食べ物の働きや大切さを理解し、食に興味を持つことができるよう支援する。	□対象:町内の幼稚園児、保育園児 □場所:幼稚園・保育園 2施設 □時期:令和4年10月、11月 各施設1回 □講師:池田町保健センター管理栄養士 □内容:紙芝居などを使った栄養の話(食べ物の働き)	55	保健子育て課 (保健センター)

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
十勝	本別町／ほんべつ学	個性・文化・歴史・自然を学び本別町について知る事により、地元を愛し、その中で芽生えた本別にしかない魅力や地域の輝きを発見する。	時期:令和4年9月10日(土) 場所:本別町農産物ものづくり館ケンキッチン 対象:小学1年生～6年生(募集10名) 内容:地域おこし協力隊(観光振興)と農産物加工施設職員の指導を受けながら、地元食材(小麦粉・きな粉など)を使用し「きなこパウンドケーキ」作りを行いました。 【参加者:1年生5名、2年生2名、4年生1名、6年生1名】	9	本別町教育委員会 社会教育課
十勝	本別町／ジュニア体験活動	①お菓子作りを通じて、ものづくりの楽しさを学ぶ ②調理・試食体験を通じて食生活について考える。	時期:令和4年12月26日(月) 場所:本別町農産物ものづくり館ケンキッチン 対象:小学1年生～6年生(募集10名) 内容:地域おこし協力隊(観光振興)と農産物加工施設職員の指導を受けながら、地元産の食材を使用し「マフィン」作りを行いました。 【参加者:1年生4名、2年生2名、3年生1名、4年生2名、6年生1名】	10	本別町教育委員会 社会教育課
十勝	幕別町／男の料理教室	・健康で自立した生活を送るために、よりよい食生活の知識と調理技術を身につける。 ・旬の地場農産物を取り入れて、薄味でおいしい健康食をすすめる。	対象:男性で20歳以上の町民 時期:10月18日、11月28日、12月12日 場所:忠類ふれあいセンター・福寿、百年記念ホール 内容: (忠類)・レタス入りチャーハン、大根と油揚げのサラダ、もやしとわかめのスープ ・豚と野菜の生巻焼き丼、にらと切干大根のごま辛子和え、寒天ミルクプリン (乳内)・ぶっかけ温玉うどん、キャベツの重ね蒸し、小松菜のごま和え コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。講話は、高血圧予防のポイントとし、塩分を控えるコツやめん類の摂り方について話し合った。冬に向けて野菜を多くとる工夫や電子レンジを使った手軽な料理を中心に、栄養バランスのよい健康食を紹介した。簡単にできる料理なので、家庭でもさっそく作ってみようという声も多く、好評であった。	16	保健福祉部保健課
十勝	幕別町／ロコモ&低栄養予防教室	・低栄養予防のために、しっかりと食べる大切さを伝える。 ・手軽な筋力アップ運動を実践し、生活に取り入れてもらえるよう働きかける。	対象:60歳以上の町民 時期:10月13日、10月31日、11月1日 場所:百年記念ホール・保健福祉センター・忠類ふれあいセンター・福寿 内容:さば缶そぼろの三色丼、豆腐と鶏肉のサラダ、大根の塩こうじ漬 コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。講話は、「低栄養を予防する食事のポイント」とし、手軽な料理を中心に栄養バランスのよい簡単な健康食を紹介した。食事と運動を組み合わせることの大切さを伝え、調理しながら簡単な筋力アップ運動を取り入れた。家の中で簡単にできる運動なので、家庭でも取り入れていけそうという声も多く、好評であった。	18	保健福祉部保健課
十勝	幕別町／農業体験塾	・町内の小中学生を対象に農作業体験、収穫体験、加工体験を実施することにより、農業の大切さや食の安心安全について理解を深めてもらう。	時期:1回目～5月中旬、2回目～9月中旬 場所:幕別町試験圃場 内容:1回目～稲えけ付け・ハタ作り、2回目～収穫 令和4年度は、枝豆とうもろこし、馬鈴薯の収穫を行った。 ※調理体験は中止した。	33	経済部農林課
釧路	釧路市／夏休み親子水産加工体験教室	釧路産の水産物を使った加工体験教室の開催などを通じて、釧路産の水産物のPRや魚食普及を図る。	夏休み親子水産加工体験教室 釧路市水産加工振興センター、釧路市水産業対策協議会の共催で、市内の小中学生とその保護者を対象とした加工体験教室を実施。 内容はイワシの缶詰、ホッケの天ぷら蒲鉾作り。	16	水産課
釧路	釧路市／加工体験教室	釧路産の水産物を使った加工体験教室の開催などを通じて、釧路産の水産物のPRや魚食普及を図る。	加工体験教室(随時) 釧路市水産加工振興センターにて、イワシの缶詰、ホッケの天ぷら蒲鉾作りの加工体験教室を実施。	30	水産課
釧路	釧路市／牛乳消費拡大事業	酪農業への理解を深め、地元産農産物である牛乳の消費拡大を図る。	牛乳消費拡大事業(令和4年3月～令和5年3月) 釧路市農業農村経営生産推進会議で実施した牛乳消費拡大事業へ参加した。農村地域3施設(リフレ、赤べし、こころみ)や、各種イベント、動物園、幼稚園、保育園にて牛乳や乳製品等を配布し消費を呼び掛けた。		釧路市農業農村経営生産推進会議、農林課
釧路	釧路市／食育授業	牛乳がどのように作られるか知ることで、より大切に、残さずたくさん飲む事や、「いただく」という感謝の気持ちを持つ事へつなげ、また牛乳に含まれる栄養などについて学ぶ事を目的としている。	食育事業「スーパーパワー 牛乳のひみつを見つけよう!」(各園年1回) 楽しみながら食料や食べることに興味を持ってもらうため、実演やクイズなどを交えて実施している。	308	こども育成課 (保育担当)
釧路	釧路市／食生活アンケート調査	園児の正しい食習慣の把握や、給食への意見を収集し、今後の給食提供等の参考資料とするため。	食生活アンケート調査(年1回) 基本項目(朝食の摂取状況やそれに係る生活時間)の他、テーマを決めて保護者へ協力を依頼してアンケート調査を実施し、給食日より園内の掲示等で、結果を周知している。	256	こども育成課 (保育担当)
釧路	釧路市／健康教育	健康教育を通じ、保護者や地域の子どもの健康課題の共有、および家庭での取り組みを推進する。	健康教育(小学生対象親子健康教室) 小学1～2年生とその保護者を対象に、偏った食生活が及ぼす健康への影響について考えるための健康教育を実施(血液の濁りを測定する機器を使用し体験型学習を取り入れた)。	37	健康推進課
釧路	釧路市／乳幼児健康診査	乳幼児期における発達・発育の状況確認を行い健康の増進及び健全な育成を図る。	乳幼児健康診査(通年) 乳幼児及び保護者を対象とし、乳幼児期に必要な栄養や、その与え方などについて保健師や管理栄養士が個別に相談に応じている。	2,944	健康推進課
釧路	釧路市／妊婦相談	妊娠・出産・育児に関する個別相談に応じ、妊娠中の健康管理及びすこやかな児の出生に資する。	妊婦相談(通年) 妊婦とその家族を対象に、周産期における妊婦の栄養や、新生児への母乳の与え方など、保健師や助産師が個別に相談に応じている。	715	健康推進課
釧路	釧路市／短期集中予防サービス	保健および医療の専門職が短期間において提供するプログラムの利用を通じ、要介護状態になることを予防し、その原状において自立した活動的で生きがいのある生活を営むことができるよう支援すること。	短期集中予防サービス(口腔機能向上プログラム) (5月～7月、8月～10月)歯科衛生士や言語聴覚士などが、口の中の健康を保つ方法や呼吸法・体操などを指導。	11	介護高齢課
釧路	釧路市／介護予防継続教室	住み慣れた身近な会場において、釧路市介護予防プログラム「わかがりレッスン」を継続受講し、元気な日々をいきと生活し、要介護・要支援状態になることを予防・遅延すること。	介護予防継続教室(通年) 釧路市介護予防プログラム「わかがりレッスン」で口腔ケアを実施。	320	介護高齢課
釧路	釧路市／親子で地産地消体験	くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため。	親子で地産地消体験(7月) 釧路市内の小中学生とその親を対象に、釧路市を代表する木材に触れる体験と地場産品を使用した親子で作れる簡単料理を通して、釧路市の木材、地場産品の認知向上と家庭での消費拡大を図っている。	22	地産地消くしろネットワーク

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部署名
釧路	釧路市／ 国保特定保健指導の実施	釧路市の健康課題の生活習慣病予防対策のため。	対象:市国保特定保健指導対象者 時期:通年 場所:家庭訪問・釧路市役所防災庁舎・特定保健指導受診医療機関等 内容:市国保特定健康診査を受診し、特定保健指導の対象となった方に、生活習慣の改善ポイントなどの保健指導を実施している。 参加者数:令和4年3月末報告分まで。	413	国民健康保険課
釧路	釧路市／ 子育て講座	子育て中の家族に釧路の旬の魚を知ってもらい、さばくところから調理の仕方まで学ぶことを目的としている。	子育て講座 「おさかな料理教室」(年2回) 0歳～就学前の子を持つ母親等を対象に、子育てに役立つ知恵や知識について学んだり、親子で楽しめる色々な講座(「乳歯のお手入れ」「救急法」など)を開催。「おさかな料理教室」の回は、子育て中の家族に釧路の旬の魚を知ってもらい、さばくところから調理の仕方まで学ぶことを目的としている。	25	こども育成課 (子育て支援センター)
釧路	釧路町／ 釧路町大好きクラブ 「ふるさと給食を考えよう」	ふるさと給食や地場産品を学ぶことで、釧路町の特性や豊かな食材の理解を深める。また、給食に携わっている方の存在を気づき、給食への愛着を醸成する。	令和4年7月23日(土) 釧路町公民館 釧路町大好きクラブ、町内各小学生の登録制 「ふるさと給食を考えよう」 講師 町学校給食センター管理栄養士 内容 給食が提供されるまでの流れを学ぶ、調理の大変さを伝える。地場産品やふるさと給食の知識を学び実際のメニューも試食し取組を具体的に学ぶ。 グループで1つの給食メニューを考案する。	13	社会教育課公民館
釧路	釧路町／ 釧路町公民館ゼミ 「地産地消料理教室～昆布森編～」	釧路町の食材を用いて地元産の調理方法を学ぶことで、地産地消を意識するきっかけとするとともに、釧路町の地域特性の理解を求める。	令和5年2月27日(月) 釧路町公民館 「地産地消料理教室～昆布森編～」 講師 昆布森漁協女性部 内容 この時期に獲れる魚や通年で購入できるスリム昆布をメインに、地元民の定番調理方法を学ぶ。 昆布やレンコを配付し自宅でも活かせるきっかけにする。 昆布森地区の行業や女性部の活動も学ぶ。	7	社会教育課公民館
釧路	釧路町／ つくし保育所子育て支援センター「赤ちゃん教室」	乳児期に健やかな生活習慣、利用できる社会資源等を知り、また、地域の保護者同士のつながりを持つことで、子育て期の孤立化を防ぐ。	令和4年6月10日(金) 釧路町保健福祉センターあいばー栄養・調理研修室、会議室 「見て、聞いてわかる! 離乳食のすすめ方」 講師 町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者 乳児の保護者 4名 (保育士による託児あり) 内容:離乳食づくりのコツやベビーフードの活用方法などをデモンストレーション方式で伝える(食材に触るが、試食なし)。 ※栄養士以外にも、別日程で助産師、保健師、保育士が講師となる教室	4	こども健康課 母子保健係
釧路	厚岸町／ ホームクッキングリーダー養成講座	厚岸産品への愛着と食への意識を広め、町全体でより質の高い料理づくりの展開を図ることにより、安全でおいしい健康なまちづくりを目指す厚岸ならではの食の地域文化を生み出す基礎づくりに資する。	第1回料理実習:令和5年2月1日(水)保健福祉総合センター2階調理室、厚岸産の鰯と牛乳を使った長芋のグラタン。7人参加。 第2回料理実習:令和5年2月16日(木)保健福祉総合センター2階調理室、厚岸産の鰯を使った帆立の印籠蒸し。厚岸産の鰯を使った唐揚げ(香味たれ)。8人参加。	15	観光商工課 商工雇用係
釧路	厚岸町／ ホームクッキングジュニアリーダー養成講座	厚岸産品への愛着と食への意識を広め、町全体でより質の高い料理づくりの展開を図ることにより、安全でおいしい健康なまちづくりを目指す厚岸ならではの食の地域文化を生み出す基礎づくりに資する。	令和5年1月12日(木)厚岸味覚ターミナル2階食文化研究室、厚岸産の牛乳を使った、フルーツ・パハロア、牛乳もち、和風ドリア。6人参加。	6	観光商工課 商工雇用係
釧路	標茶町／ 標茶高校と連携した食育推進事業「小学生の標茶農園体験」	標茶高校で生産された野菜等を学校給食で提供するにあたり、その食材となる野菜を子どもたち自ら標茶高校の農園で高校生との交流を通して育てることにより、地域(地元)の高校の良さを理解させ、関心をもち、地域への愛着や誇りを育み、もって食に関する知識の習得と地産地消の意識向上を図ることを目的とする。	<実施日> (1)野菜の苗移植:令和4年5月26日(木) (2)野菜の収穫体験:令和4年9月14日(水)、15日(木) <会場> 北海道標茶高等学校農園 <参加対象> 町内小学校(6校)の1年～2年生 及び引率教職員	270	標茶町学校給食 共同調理場
釧路	標茶町／ 子供料理教室	地域の交流や、家事の手伝い等の推進。	時期:冬休み(1月頃) 場所:標茶内公民館 対象:小学生	7	標茶内公民館
釧路	弟子屈町／ ファミリー・サポート・センター研修交流会簡単おやつ作り	ファミリー・サポート・センター事業の会員同士の顔合わせを兼ねた研修で、今後の事業推進に繋げていく。	12/4 簡単おやつ作り「フライパンピザ」	15	健康こども課 (こども支援係)
釧路	弟子屈町／ 乳幼児の保護者向け調理実習	保護者と児が食に興味をもてるような関わりができる。	2/27ひなたぼっこ母親講座調理実習「鮭とかぼちゃのクリーム煮」	11	健康こども課 (健康推進係)
釧路	弟子屈町／ 健康づくり推進委員会向け調理実習	フレイル予防に向けた食品選択・食事のとり方を学び、調理することができる。	3/22健康づくり推進委員会向け調理実習「フレイル予防のための栄養・食事作り」	6	健康こども課 (健康推進係)
釧路	弟子屈町／ 川湯保育園	栽培活動を通し、食材や料理、産地の人々、調理をする人などへの関心を持ち、感謝の気持ちを育てる。	～5歳児 5月～9月 川湯保育園園庭 ・ミニトマト、キュウリ、カブ、人参、ピーマンなどを園庭にて栽培する。 9月 野菜ふれあい体験 栽培した野菜を実際に触る・匂いを嗅ぐ、中身を取り出し、種などを観察する。 ・収穫祭 収穫した野菜を利用し、カレーを作る。	18	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町／ 川湯保育園	調理体験を通し、素材や道具に触れ、作る喜びや達成感を感じる。また、食への関心を引き出す。	<1～5歳児> ・おにぎり作り(6・1月) ・カレー作り(9月) ・焼き芋作り(11月) <5歳児> ・コロッキ屋さん体験(11月) コロッキ屋の店員になり、給食のコロッキを盛り付ける。店員としての挨拶や心遣い、食材の扱い方を学ぶ。 ・おやつ作り(2月) ・バレンタインにいつもお世話になっているお友達や保育士に感謝の気持ちを持っておやつ作り、おやつ時間に実食。	18	健康こども課 (川湯保育園)

(2) 食育の啓発に関わる事例 ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名／名称	目 的	概 要(時期、場所など)	参加者数 (人)	担当部課名
釧路	弟子屈町／ 川湯保育園	食育指導を通し、食材についての知識を深め、関心を持たせる。また、食習慣やマナーを身に付けられる様にする。	<3～5歳児> ・食育について(5月) ・野菜クイズ(7月) ・手洗い指導(8月) ・食べる姿勢とマナー(12月) ・箸のマナーと正しい持ち方(2月) <1～2歳児> ・手洗い指導(8月) ・食べる姿勢について、絵本の読み聞かせ(12月)	18	健康こども課 (川湯保育園)
根室	根室市／ ベジクリッキングクラス	根室市の野菜摂取状況は各種調査から野菜の摂取頻度が低いことが推測されているため、大人も子どもも共に野菜の大切さを学び、野菜をより摂取する意欲を高めることを目的とする。	対象者：市内小・中学生とその保護者 時期：12月 会場：根室市総合文化会館 内容：野菜をテーマとしたクイズレクリエーションと調理実習 料理メニュー：ケチャップライス&デミハンバーグ、ポテトサラダのクリスマスツリー、サンタと雪だるまのマッシュポテト	19	市民福祉部保健課
根室	標津町／ 標津小学校、川北小学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農業について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期 12月 場所 各学校 内容 農業者の講話、酪農運動会、乳製品づくり体験	50	標津町教育委員会 生涯学習課
根室	標津町／ 標津中学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農業について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期 12月～2月 場所 各学校 内容 農業者の講話、牛乳を使った調理実習	25	標津町教育委員会 生涯学習課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
空知	赤平市／ からだ測定会	自分の身体や生活習慣を見つめなおし、改善へ向けた取り組みをはじめきつかけとする。	対象:赤平市民 時期:令和4年10月28日 場所:赤平市交流センターみらい 内容:1食のメニュー展示 1日の野菜摂取推奨量の展示 体成分測定・骨量測定・血管年齢測定・血圧測定 パンフレット、減塩食品の配布	17	介護健康推進課
空知	赤平市／ 歯磨き教室	よく噛むことが大切であることを知り、習慣化することでむし歯予防を行う。	対象:市内幼稚園・保育所に通う年中、年長児 時期:令和4年6月～7月 場所:保育所、幼稚園各教室 内容:ペーパーサートを用いた講話	53	介護健康推進課
空知	深川市／ 第1回深川市民公開講座	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間作りを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高めることを目的に開催するもの。	テーマ:「持続可能な食農を実現するために必要なこと～『みどりの食料システム戦略』をヒントに」 講師:拓殖大学北海道短期大学准教授 村上 良一氏 令和4年6月11日(土) 拓殖大学北海道短期大学	17	深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課
空知	南幌町／ 野菜を食べよう！ 第2回南幌小学校スーパカレー セミナー	農産物のPR及び児童への食育の推進を目指し、食育を核としたまちの活性化を図るため、町民と行政が連携して事業を実施することで、町の魅力をPRすることを目的としている。	○対象 小学6年生 ○場所 南幌小学校 ○内容 12月 札幌で人気スーパカレー「らっきょ」の井手剛氏を招き、食育セミナーを行い、終了後に地元農産物を使用したスーパカレーを給食として提供した。	43	産業振興課
空知	奈井江町／ 健康フォーラム	食育や歯の健康の推進をテーマに、健康づくりに関する知識や技術の普及啓発を行う。	対象:全町民 時期:9月17日 内容: 北海道医療大学看護福祉学部臨床看護学講座の塚本教授を講師に迎え講演会を行いました。基本的な感染症対策に加え、コロナ対策とフレイル予防としてタンパク質の重要性について、腸管免疫についての話が行った。 ・「かんたん元気のできる食事の工夫」のリーフレットを配布した。	83	保健福祉課
空知	上砂川町／ 食育講演会2022	上砂川町の健康課題の児童の朝食欠食率の改善のため「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むための基礎を身につけるため。	対象:小学校5～6年生 中学校1～3年生 時期:令和4年11月2日(水) 場所:上砂川町立中央小学校 上砂川中学校 内容:感染症対策として午前小学校、午後中学校と2回に分けて実施。食事をすすめる意味、5大栄養素の必要性や食べる時間についての講演であった。児童から「身体を作る食べ物、力になる食べ物など大切な栄養をよく知ることができた。」寝ているときに骨や身体が作られるので、成長するために早寝早起きしたいと思った。などアンケートに多くの感想が寄せられた。 参加数:小学生 30人、中学生45人、の計75人	75	福祉課保健予防係
空知	栗山町／ おいしい！楽しい！食べるの大好き！～栗山の味を体験しよう～(パクモグ相談、食育月間事業)	育児世代の母親を対象に、食を通して地産地消の大切さ及び健康意識を高める。	□時期:令和4年6月16日(金) □場所:子育て支援センター スキップ □対象:乳幼児とその保護者 4組(8名) □概要:ミニ講話「子どもの野菜嫌い克服するためには」、野菜クイズ、試食、個別相談 □参加者の様子:普段の食生活を振り返る機会になっていた。	22	福祉課 住民保健課 産業振興課
空知	栗山町／ 健康教育(栄養)	各団体等からの依頼を受け栄養に関する講話で体験を交えながら実施し、生活習慣病予防の普及啓発、食生活を見直し、食生活に取入れる機会とする。	□時期:依頼に応じて実施 □概要:依頼に応じて栄養をテーマにした内容で講話・個別相談を実施 □実施回数・実績 老人クラブ等:3回22人	8	住民保健課 地域包括支援センター
空知	新十津川町／ 学童栄養教室 (新十津川町食生活改善推進員協議会との共催事業)	小学生を対象に講話と調理実習を実施することにより、食に関する関心や興味を持ち、健康な体と伸びやかな心を育む。	【時期】年1回(12月9日) 【場所】小学校 【対象者】小学4年生 【内容】「野菜をもっと食べよう」をテーマに、講話と試食提供を実施。講話では、町の栄養士が「トマトの栄養」、「緑黄色野菜と淡色野菜の分類」について行い、給食時に手作りデザートを試食提供する。 【テーマ】野菜をもっと食べよう 【メニュー】トマトのかくれんぼゼリー	42	保健福祉課健康推進グループ
石狩	札幌市／ アイヌ文化交流センターにおける食を通じたアイヌ文化の理解促進	食を通じたアイヌ文化への理解促進	対象:市民等 時期:通年 場所:アイヌ文化交流センター 内容:アイヌの「食」に関する民具の展示や映像放映を実施。		市民文化局 市民生活部 アイヌ施策課
石狩	札幌市／ 消費生活講座	ゲノム編集技術と遺伝子組み換え技術の違いや安全性、洗濯基準等について理解する。	「ゲノム編集食品～正しく理解・選択するために」 時期:令和4年5月26日(木) 場所:札幌エルプラザ 会議室1.2 講師:北海道大学 安全衛生本部 教授 石井哲也 受講者:市民 内容:1.遺伝子組み換え作物など、2.ゲノム編集と遺伝子組み換え技術:相違点と類似点、3.ゲノム編集作物などの選択	34	市民文化局 市民生活部 消費生活課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(地産地消応援講座)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する。	「十勝産 美味しい美肌ごぼう」 時期: 令和4年6月23日(木) 場所: 札幌エルプラザ 食材研究室 講師: 株式会社なまら十勝野 代表取締役 小山勉 受講者: 登録された市民 内容: 美肌ごぼうと株式会社なまら十勝野の農業をベースとした取組について	24	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(高齢者向け)	健康寿命を延ばすための健康食品との付き合い方を学ぶ。	「健康寿命を延ばすための健康食品との付き合い方」 時期: 令和4年6月14日(火)、16日(木)、17日(金) 場所: 道庁上町住宅真駒内集会所、UR曙団地集会所、真駒内総合福祉センター 講師: 竹田加代 受講者: 介護予防センターまこまない利用者 内容: 1健康食品とは、2保健機能食品制度による区分、3食生活と健康食品	33	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(地産地消応援講座)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する。	「玄米向けの新品種 ゆきむつみの魅力」 時期: 令和4年8月24日(水) 場所: 札幌エルプラザ 食材研究室 講師: 農研機構 北海道農業研究センター 上級研究員 松葉修一 受講者: 登録された市民 内容: 1道産米をめぐる昨今の状況、2種の育種、3玄米の機能性、4農研機構の活動、5玄米食べ比べ	23	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(高齢者向け)	食育を含む消費生活に関する講座を開催し、知識や理解を深める。	「バランスのとれた食事とは」 時期: 令和4年8月31日(水) 場所: 就労支援トライズさっぽろ駅前 講師: 吉田陽子 受講者: 就労移行支援事業所就労者 内容: バランスの取れた食事と食べ方について説明後、ワークシートでシミュレーションを行った。	19	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 消費生活講座	多様化する食情報を正しく選択するため、正しい食品表示を読む知識を身につけ、自分にとっての「おいしい」を大切に育む。	「食と健康～おいしく食べる、賢く選ぶ～」 時期: 令和4年9月22日(木) 場所: 札幌エルプラザ 会議室1.2 講師: 藤女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 准教授 奥村昌子 受講者: 市民 内容: おいしさの構成要素や健康情報、食品表示、機能性表示について	32	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(地産地消応援講座)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する。	「道産砂糖の新たな試み～砂糖のスキンケア効果について」 時期: 令和4年10月28日(金) 場所: 札幌エルプラザ 体験テスト室 講師: 北海道農業協同組合中央会 農政対策部 竹内ひなの 受講者: 登録された市民 内容: 1砂糖の原料、2砂糖の消費と天下糖プロジェクト、3砂糖とスキンケア	25	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 小中学生向けセミナー型講座	食育を含む消費生活に関する講座を開催し、知識や理解を深める。	「バランスのとれた食事とは」 時期: 令和4年11月24日(木)、30日(水) 場所: 札幌市立豊明高等支援学校 講師: 三上真知子、山口久枝 受講者: 札幌市立豊明高等支援学校 内容: バランスの取れた食事と食べ方について、塩分と食品表示について講座を行った。	32	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 講師派遣講座(高齢者向け)	健康寿命を延ばすための健康食品との付き合い方を学ぶ。	「健康食品との付き合い方」 時期: 令和5年1月13日(金)、16日(月) 場所: 豊平会館、月寒公民館 講師: 竹田加代 受講者: 介護予防センター美園利用者、創造学園サンキュー会会員 内容: 1健康食品とは、2保健機能食品制度による区分、3食生活と健康食品	69	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市／ 小中学生向けセミナー型講座	食育を含む消費生活に関する講座を開催し、知識や理解を深める。	「バランスのとれた食事とは」 時期: 令和5年1月24日(火) 場所: 札幌市立新川中央小学校 講師: 三上真知子、山口久枝 受講者: 札幌市立札幌市立新川中央小学校 内容: バランスの取れた食事と食べ方について、塩分と食品表示について講座を行った。	70	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	江別市／ 江別市蒼樹大学	高齢者が積極的に社会参加し、まちづくりの一翼を担うことが求められているため、高齢者の生涯学習機会として、「江別市蒼樹大学」を開設し、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。	対象: 65歳以上の高齢者 時期: 令和4年12月1日(木) 場所: 江別市野幌公民館 内容: 毎月1回学習会を開催している中の1つの講座として、(株)明治を講師として迎え、「ヨーグルトのひみつ」について学んだ。	69	教育部生涯学習課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	江別市／ 江別第二中	農林業被害や交通事故増加などエゾシカと人間社会の課題、捕獲による生態系への影響について学ぶ。エゾシカからいただいた大切な命である革や肉などの利活用を体験する場として、エゾシカ肉の試食も行う。	10/20(木) 講師の方の講義、エゾシカ肉の試食 ※北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課に講師依頼をして実施	100	教育部学校教育課
石狩	千歳市／ 健康づくり教室「3か月チャレンジ～スタート測定会～」	市民が、体重測定と記録を継続し習慣化することにより、参加者自身が生活習慣を見直す機会となること、標準体重を維持することで、生活習慣の予防や改善に繋げることを目的とする。	【実施日時】令和4年8月30日～9月1日 【実施場所】千歳市総合福祉センター307、402号室 【実施内容】 1.体組成計を用いて測定。結果説明を行う。 2.生活アンケートや測定結果を基に、栄養相談を行う。	30	保健福祉部健康づくり課
石狩	千歳市／ 健康づくり教室「3か月チャレンジ～結果測定会～」	市民が、体重測定と記録を継続し習慣化することにより、参加者自身が生活習慣を見直す機会となること、標準体重を維持することで、生活習慣の予防や改善に繋げることを目的とする。	【実施日時】令和4年11月30日～12月2日 【実施場所】千歳市総合福祉センター307、402号室 【実施内容】 1.体組成計を用いて測定。結果説明を行う。 2.生活アンケートや測定結果を基に、栄養相談を行う。 【参加者の感想・意見】 ・自身の体の数値化でより分かりやすかった。 ・自分の生活を見直す良いきっかけになった。 ・いつかやろうと考えていたダイエットをやるきっかけになった。 ・2キロ減量できた。	21	保健福祉部健康づくり課
石狩	千歳市／ ちとせ食育フォーラム2022	食の大切さについての理解や食べ物を選択する力の習得、健全な食生活を実践するための知識の普及を図る。	【日時】 令和4年10月20日(木) 10時～11時30分/14時～15時30分 【会場】 北ガス文化ホール 調理教室 【内容】 1 講演 (1) テーマ 「生きることは食べること～生きる力を大きくむ これからの食育～」 (2) 講師 佐々木 十美氏 (置戸町食のアドバイザー) 2 調理実習(みそ玉作り) 3 調味料の原材料比較 【参加者の感想】 ・調味料の原材料に関心を持つことができた。 ・自分で野菜を干してストックしようと思った。今後は調味料を吟味します。 ・食事は身体をつくるのでとても大切。ジャンクフードにまみれる今の時代、日本のわしよを見直し、食卓に活かしたい。 ・とても内容が深く考えられることばかりで食について考え直してみようと思った。	32	保健福祉部健康づくり課
石狩	恵庭市／ 食育講演会	市民及び関係者が食育についての理解を深め、共に食育推進に取り組めるよう普及啓発を図る。	・時期: 令和4年12月1日(金) ・場所: えにあす ・対象: 市民 ・テーマ: 高校生の姿から学ぶ次世代の食育 ・特記事項: 講演内容をより広く周知するため、実施後講演内容をまとめた「恵庭市食育講演会ダイジェスト版」を発行。市内関係機関に配布し、恵庭市ホームページにも掲載。	28	保健福祉部保健課
石狩	恵庭市／ 食育推進展示(えにわの食育展)	関係機関や団体での食育の取組みを紹介し、食に関する知識や情報を伝え、市民の食に対する関心を高める。	・日程と会場: 6～7月 図書館、えにあす 12月 えにあす(食育講演会と同時開催) ・対象: 市民 ・展示内容: 食育取組み紹介パネル展示(北海道文教大学・若手農業生産者団体・市内保育園等・学校給食センター・教委社会教育課・商工労働課・保健課)、給食メニューレシビ、食育関連冊子配布、食育に関するアンケートパネル ※参加者数は配布資料数とアンケート参加数の合計	949	保健福祉部保健課
石狩	恵庭市／ 食育講座	食育月間において、子育て世代の保護者が家庭の食生活の大切さについて知り、普段の食生活を振り返る機会とする。	・時期: 令和4年6月 ・会場: 市内子育て支援センター、オンラインセミナー ・対象: 主に子育て世代の市民と就学前児童 ・テーマ: えにわの野菜で元気いっぱい!フレッシュえにわ ・従事者: 栄養士・歯科衛生士 ※ 参加者数: 10組	20	保健福祉部保健課
胆振	室蘭市／ 0歳の親子講座『びびよクラブ』	子どもの発達にそった遊びを学んだり、子育ての悩みを共有したり楽しく子育て出来るよう、交流の場として、親子で出来る遊びやカード作り、離乳食の講話を行う。	対象: 0歳児とその保護者 時期: 月1回(計12回のうち4回離乳食のお話を実施) 場所: 室蘭市子育て世代包括支援センター「こころん」 内容: 離乳食後期～完了期を対象に、食材の大きさ、味付け、進め方等の講話、個別相談、ふれあい遊び 参加人数内訳: 親子28組	56	保健福祉部子育て支援課子育て世代包括支援センター
胆振	苫小牧市／ 出前講座	ごみ減量の観点から「食品ロス」に関する市民向けの出前講座を行う中で、次の世代の担い手である子供たちの意識の向上を図る。	希望を付けて、随時出前講座を行っている。 未就学児を含む児童生徒への実績は下記のとおり。 (日新小学校、美園小学校、勇払小学校、樽前小学校、美園保育園、豊川小学校、幼稚園あいか、沼ノ端児童センター)	441	環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
胆振	苫小牧市／ 食育人材バンク	食育に関わるさまざまな分野で専門的な知識や経験を有する方を講師として登録し、町内会やサークル等に派遣することで、市民の食育活動をサポートする。	対象:苫小牧市民 内容:希望を受けて、食育活動をする市民団体へ登録講師を派遣した。また、随時講師の募集も行っている。 ・令和4年度末時点で、個人・企業併せて12名の講師登録あり。 ・令和4年度派遣実績:8件	359	健康こども部健康支援課
胆振	苫小牧市／ 苫東・和みの森 木育と食育を体験しよう！(主催:北海道胆振総合振興局森林室)	子育て世代をはじめとする全世代に対し、木育と食育の大切さを伝える。	対象:苫小牧市民 時期:12月 場所:イオンモール苫小牧 内容:箸のマナーや地産地消を通じて食育への関心を高めるため、パネル展示や豆つかみ体験を行った。	102	健康こども部健康支援課
胆振	苫小牧市／ 出前講座	生活習慣病の予防、その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。	対象:苫小牧市民 内容:希望を受けて、随時出前講座を行っている。 ・令和4年度実績(食事に関する講座)4件	90	健康こども部健康支援課
胆振	登別市／ へるしー親子相談	体組成計測定の結果から、子育て中の保護者が自身の日ごろの食生活を振り返り、美しく、健康に暮らすために適切な栄養管理のための改善点に気づくことができる。	◇対象 市内子育て支援センターを利用する保護者 ◇日時 月1回(計12回) ◇場所 中央子育て支援センター、鶯別子育て支援センター、登別子育て支援センター、富岸子育てひろば ◇概要 体組成測定、保健師と管理栄養士による個別健康相談	35	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	登別市／ からだスッキリ運動教室	運動習慣がなく将来的に生活習慣病の発症や重症化の可能性のある19歳以上の市民に対し、健康づくりのための運動の重要性を伝えることにより、継続的な運動習慣を身につけるきっかけづくりとすることを目的とする。	◇対象 19歳以下の市民 ◇日時 6月21日、8月9日、9月12日、10月28日、12月5日、2月10日 ◇場所 総合福祉センターしんた21 ◇概要 運動教室と生活習慣予防や栄養についての講話	51	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	登別市／ もぐもぐ食育ひろば	乳児期から基本的な食習慣を身につけることにより、将来的な生活習慣病の予防につなげる。	◇対象 7～8か月児と、その保護者 ◇日時 2か月に1回(計6回) ◇場所 総合福祉センターしんた21 ◇概要 管理栄養士による講話、保育士による遊びの紹介(親子遊び・絵本の紹介)、個別相談	46	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	登別市／ 子育て講座(乳幼児期の栄養について)	乳幼児期の栄養や、離乳食・幼児食について学び、家庭での食事の困りごとなどについて話し合うことを目的とする。	◇対象 登別市内在住の就学前の子どもの保護者 ◇日時 令和4年9月13日(火)10時00分～12時00分 ◇場所 中央子育て支援センター ◇概要 栄養士を講師に迎え、乳幼児期の栄養についてや、幼児食についての講話を行う。	9	登別市保健福祉部こども育成グループ 中央子育て支援センター
胆振	登別市／ 子育て講座(朝食パワーで元気いっぱい！)	朝食の大切さを知り、健康な体づくりのために必要な栄養素について学ぶことを目的とする。	◇対象 開放に遊びに来ている保護者と子ども ◇日時 令和4年11月25日(金)11時30分～12時00分 ◇場所 鶯別子育て支援センター ◇概要 理学療法士と食育インストラクターの資格を保有している方を講師に迎え、朝食の大切さと、食品の五大栄養素について分かりやすく説明してもらいながら、それぞれの食品や調理をする人になりきって楽しく体を動かす。	14	登別市保健福祉部こども育成グループ 鶯別子育て支援センター
渡島	函館市／ はこだて市民健康大学 みんなde健康ウォーキング	市民の健康づくりのため。	対象:小学生以上の市民 時期:①7月23日、②8月27日 場所:市内 内容:ウォーキング、食事の講話、はこだて市民健康応援店弁当の試食(持ち帰り) ①27人、②29人	56	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ ウェルネスFesはこだて「ヘルスマイトベジプラコーナー」	野菜摂取を促進し、食生活を改善するため。	対象:ウェルネスFesはこだて来場者 時期:10月8日 場所:函館アリーナ 内容:野菜レシピ(ベジプラ! 楽うまレシピ)の試食およびレシピ配布	150	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ ウェルネスFesはこだて「おいしく! 減塩体験」	幅広い年代に減塩等の食育を推進するため。	対象:ウェルネスFesはこだて来場者 時期:10月9日 場所:函館アリーナ、市民会館 内容:講演会「手軽に塩分を減らすコツ」、減塩みそ汁等、だし汁の配布	417	保健福祉部健康増進課
渡島	鹿部町／ 離乳食教室	食育の推進のため。	対象:乳幼児、保護者 時期:6月28日、9月6日、12月6日 場所:総合体育館 内容:離乳食の試食、食や栄養に関する講話	15	水産経済課
渡島	鹿部町／ パンビ教室	食育の推進のため。	対象:幼児、保護者 時期:5月19日、6月14日、7月11日、8月25日、10月6日、11月10日、12月12日、1月9日、2月21日、3月13日 場所:中央公民館ほか 内容:育児教室の中で、季節の行事を取り入れた遊びや調子を実施	94	水産経済課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
榎山	江差町／減塩の取組	減塩レシピ(えさしレシピ)の作成	対象:江差町食生活改善推進協議会会員 時期:4月、8月を除く毎月開催 内容:調理実習、学習会の実施、レシピの作成	113	江差町健康推進課
榎山	江差町／7ヶ月児相談での取組	だし汁の旨味を周知し、離乳食にだし汁を活用してもらう。	対象:7ヶ月児を持つ親 時期:年6回 講師:江差町食生活改善推進協議会 内容:だし汁の摂り方を説明し、手軽にだし汁を活用してもらう。離乳食での活用の他、親世代の減塩対策にもなる事を伝える。	69	江差町健康推進課
上川	旭川市／出前講座「あさひかわの農産物と地産地消」	旭川の農業や農畜産物についての出前講座を行うことで、地域農業への理解や地産地消への意識の向上を図る。	*対象:旭川市民等(3回) *場所:市内 *時期:令和4年4月～令和5年3月 *内容:市農政職員による旭川の農業や地産地消についての出前講座。	283	農政部農業振興課
上川	名寄市／2022地産地消フェアin なるよ	地元で生産される農畜産物の活用により地産地消を推進し、食育を通じた食生活の改善や食文化や地域文化の向上を図る。	●開催時期・場所 令和4年11月12日 名寄市民文化センター 地場産農畜産物や加工品の販売、もちつき実演・体験などを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場内での飲食を禁止とした。	380	経済部農務課 (主催:実行委員会)
宗谷	浜頓別町／知ろう!学ぼう!学校給食	学校給食の役割や安心・安全な給食に向けた給食センターでの取り組みを町民に知ってもらい、食育への関心を高めるため。	対象:浜頓別町民 時期:6月15日 場所:浜頓別町役場大会議室 内容:給食ができるまでの動画視聴、給食の歴史、給食センターにおける衛生管理の実際、学校における食育の取り組みを紹介。	11	浜頓別町教育委員会
オホーツク	北見市／食育講演会	栄養と健康、食育についての情報発信と普及啓発	日時:令和4年7月10日(土)13:30～15:15 場所:北見市民会館 講演:「糖質制限?たんぱく質が足りない?食にまつわるホントのこと」 講師:株式会社ウェルネスプランニング札幌 北海道コンサドーレ札幌 小松信隆氏	81	保健福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／ブレマクラブ(母親学級)	母性及び子供の健康の維持・増進を図るため知識の普及を行う。	対象:妊婦(主に初妊婦) 1コース3日間「妊娠中の栄養のポイント」として栄養士による講話を実施。 個別に食事票を記入して記入した食事内容に基づき個別のアドバイスをを行っている。 年4回予定のところ参加希望者が少なく、1回の実施となった。	4	健康福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／食育パネル展	市民へ食育の浸透を図る。	・食育用のパネルを展示するとともに、リーフレットなどの提供を行う。	600	健康福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／市民健康展(食育推進コーナー)	当市の食育推進活動を市民に知ってもらう。	・食育をテーマとしたアンケートを実施した。また、食育推進パネル・パンフレットで当市の食育促進活動をPRした。	90	健康福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／あばしり食育展	市民へ食育の浸透を図る。	・食育をテーマとしたアンケートを実施した。アンケートに協力していただいた参加者には「行者菜」を配布。 ・農林課の地産地消、保健センターの健康、食生活改善協議会の野菜の展示など、展示を中心に実施した。	118	健康福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／食育イベント	食育への関心を高めるとともに、網走市の地場産農産物についての周知を図る。	パネル展示・チラシ配布により地場産農産物の周知を行う。 来場者に網走の特産品である「行者菜」加工品の無料配布を行うほか、食育に関するアンケートの回答者に「行者菜」を配布。	110	農林水産部農林課
オホーツク	網走市／市民健康まつり(食育コーナー【地産地消】)	網走市の地場産農産物についての周知を図る。	もち麦についてのパネル展示・レシピ集配布を行うほか、市内パン店へ製造を依頼した「もち麦パン」を配布。	225	農林水産部農林課
オホーツク	網走市／あばしり麦フェスタin2023	健康食材である「もち麦」の消費拡大を図る。	・講演「おいしさ健康いいとこどり もち麦でおいしい食卓」の開催と、もち麦製品の販売。 ・フードロス削減と牛乳消費拡大のため、チーズリゾットのレシピと試食品を提供。 ・市内パン店へ製造を依頼し、もち麦を使用したパン等を販売。 ・販売品購入者に牛乳を配布。	300	農林水産部農林課
オホーツク	清里町／JA清里町食農教育活動「清小楽しいキッズスクール農園」	次世代を担う子どもたちが、農作業を通じて農業と食の繋がりを学び、農業の素晴らしさ・大切さを理解してもらうこと。	JA青年部で管理している畑にて、総合学習の時間にて清里小学校3年生児童が馬鈴薯の生育と観察を行い、収穫したものを給食の時間にて自分たちで食べる。 10月6日収穫会 12月16日給食会	27	清里町産業建設課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
十勝	帯広市／地域リハビリテーション活動支援事業「リハビリ専門職派遣事業」(栄養士)	65歳以上の自主活動団体及び介護予防普及啓発事業参加者へリハビリ専門職(栄養士)を派遣し、介護予防に関する知識や情報を普及啓発することにより高齢者の自主的な活動を支援する。	○栄養士による、栄養や食生活に関する講話を実施。 ・対象:65歳以上の自主活動団体及び介護予防普及啓発事業参加者 ・実施時期:随時(5月～3月) ・実施場所:市内コミュニティーセンター等 ・実施回数:自主活動団体16回(197人)、介護予防普及啓発事業げんき活動コース32回(250人)	447	市民福祉部 地域福祉室地域福祉課
十勝	帯広市／帯広市民大学講座	市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう啓発していくもの。	○地産地消など、地域に根ざした「食」や「農」にかかわる講座の開講 ・時期等:令和4年度は3回実施(5/27,11/11,12/16) ・場所:とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	66	生涯学習部 生涯学習文化室 生涯学習文化課
十勝	音更町／おとふけ食のフォーラム2023	「たのしく食べて楽しく知る」をテーマに町内農作物を使用した食の提供等を通して、本町の魅力を再発見するとともに食育・地産地消について考えてもらうことを目的とする。	日時:令和5年2月19日(日)10:00～13:00 場所:音更町ふれあい交流館 参加者数:講演会42名、料理教室10名 内容: 1 講演会「身近な食べ物がもたらす心身の健やかさ～たのしく食べて楽しく知ろう!～」札幌保健医療大学 教授 荒川義人氏 2 ミニ講演会「おさとうのおはなし」日本甜菜製糖株式会社 役員 芽室製糖所長 菊池文夫氏 3 料理教室「お砂糖でコクと風味up」豆乳きなこフレンチトーストほか 料理家 梶安信子氏	52	経済部 ふれあい交流館
十勝	新得町／いきいきサロン栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者:高齢者 ●時 期:10月21日 ●場 所:保健福祉センターなごみ ●内 容:便秘予防	28	保健福祉課
十勝	新得町／新得転ばん塾・屈足バランス体操教室栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者:高齢者 ●時 期:1月31日、2月1日 ●場 所:保健福祉センターなごみ、屈足総合会館 ●内 容:便秘予防 新得転ばん塾17人、屈足バランス体操教室6人	23	保健福祉課
十勝	新得町／屈足わすれん塾・新得わすれん塾栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者:高齢者 ●時 期:2月14日、2月15日 ●場 所:屈足総合会館、保健福祉センターなごみ ●内 容:便秘予防 屈足わすれん塾14人、新得わすれん塾34人	48	保健福祉課
十勝	新得町／食生活の会学習会	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者:食生活の会 ●時 期:3月2日 ●場 所:保健福祉センターなごみ ●内 容:栄養素の基礎知識	20	保健福祉課
釧路	釧路市／小・中学生口腔衛生教室	口腔衛生に対する正しい知識を持ち、健全な生活習慣・食習慣を身につけて実践することにより、う歯・歯周病疾患の発生を予防する。	対象:小学校3・4年生、中学校1～3年生 日時、場所:10月20日 音別中学校、12月14日 音別小学校 内容:歯科衛生士によるう歯・歯肉炎予防の講話やブラッシング指導を行った。	29	音別保健福祉課
釧路	釧路市／釧路公立大学での授業	大学での授業を通して、釧路の水産業に対する知識の普及を図る。	釧路公立大学での授業(9月28日～12月7日の間に計9回) 釧路公立大学で各日4限目に釧路の水産業に関する授業を行った。 釧路地域における主要な産業である農林水産業について、各分野の専門家を招いて釧路の水産の現状と課題を知るという内容で実施。		釧路市漁協、水産課
釧路	釧路市／出前講座	釧路の水産業に実際に関わっている方々からの講座を通して、知識の普及を図る。	出前講座(随時) 市内小、中、高、消費者団体、老人大学で釧路の水産業についての講座を実施。(令和4年度5回実施)	151	水産課
釧路	釧路市／キッズ健診結果説明会	小児期からの肥満等の対策を講じることにより、小児期からの生活習慣病の発症予防を図る。	キッズ健診結果説明会(10～12月) 小学5～6年生とその保護者を対象に、生活習慣病予防健診の受診結果に基づき、食生活や生活リズムについて、保健指導を実施した。	58	健康推進課
釧路	釧路市／若者健診結果説明会	生活習慣病のリスクを既に有する若者に健診結果に基づく保健指導を実施し、生活習慣病発症及び重症化予防を図る。	若者健診結果説明会(5月以降通年) 18～39歳の市民を対象とした若者健診受診者に対し、肥満予防やメタボリックシンドロームの発症及び重症化予防、その他健康増進に関し保健指導を行うもの。	501	健康推進課
釧路	釧路市／出前授業	くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため。	出前授業(7～12月) 釧路市内の小中学生を対象に、くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため、地元を支えている企業の方を講師に招き出前授業を行っています。	770	地産地消 くしろネットワーク
釧路	釧路市／子育て教室	離乳食の進め方と基本を学ぶ。	子育て教室「はじめての離乳食」 主に第1子を育てる家庭を対象として、離乳食の基本的な知識について学び、乳児期から、食べることが楽しいと感じられるような対応や環境作りの大切さを伝えている。	105	こども育成課 (子育て支援センター)

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
釧路	釧路市／子育て講座	市販の材料の上手な活用法や食事作りの大事なポイントを学ぶ。	子育て講座「気持ちを楽しんで！子ども大人も楽しめる食事」 食事を通し、生きる基盤を作っていくという土台にたち、大人も一緒に楽しい食事になるよう、子どもがいる家庭の食事作りのポイントを伝える。 食材選びや調理の工夫をすることで、食事作りに対する負担感を軽減し、子どもとの生活を楽しくしてもらいたいというねらいを持っている。	54	こども育成課(子育て支援センター)
釧路	釧路市／食事や栄養に関する座談会の実施	偏食などの食事全般の悩みを共有し、対応方法を模索することで保護者の心身の負担を軽減するため。	対象:児童発達支援センター野のはな園通園児の保護者 内容:食事全般の悩みを話し合い、対応方法を模索する。 時期:①8月26日 参加人数 5名 ②2月 3日 参加人数 5名	10	釧路市児童発達支援センター
釧路	釧路町／令和4年度食育推進事業食育教室(地域支援事業)釧路めぐみ幼稚園	今年度の園の保育テーマ「陸・海・空(SDGs)」の学びを深めるため、食べ物を大切にすることと地球を大切にすることがつながっていることを知る。	令和4年11月7日(月) 場所 釧路めぐみ幼稚園 講師 町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士「食べ物を大切に！～地球もみんなも元気にすくすため～」園児100名教諭15名	115	こども健康課 母子保健係
釧路	釧路町／令和4年度食育推進事業食育教室(地域支援事業)白梅幼稚園	食べ物の体での働きや3つのグループ分けについて知ることによってバランスよく食べることの大切さを学ぶこと。	令和4年9月5日(月) 場所 白梅幼稚園 講師 町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士満3歳・年少「どんな野菜があるのかな？やさいのたいせつさ」 年中「すきらいするとどうなるの？たべもののはたらき」 年長「あか・きいろ・みどりでのける たべもののはたらき」 園児計55名 他教諭等4名	59	こども健康課 母子保健係
釧路	釧路町／つくし保育所子育て支援センター	おやつに含まれる砂糖の量について、親に知ってもらい、おやつとの与え方を考えてもらう。	令和4年6月24日(金) つくし保育所子育て支援センター:0歳～2歳の親 4名 おやつのおやつ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる砂糖の量を見せて、食育講座を行った。	4	こども健康課 母子保健係
釧路	釧路町／子育て世代の食育教室	乳幼児を育児中の保護者に対し、釧路町食育推進計画の実践方法や地元食材の活用方法について周知する。	日時 ①令和4年9月26日(月)4名 ②令和4年9月30日(金)3名 場所 ①さくら保育園子育て支援センター ②つくし保育所子育て支援センター 内容 地元食材を使った子どもが喜ぶお手軽レシピの紹介 昆布の栄養と活用方法、和食の魅力を伝える講話	7	こども健康課 健康推進係
釧路	標茶町／離乳食学習会	離乳食について正しい知識を持ち、発育に応じた食生活を理解し、将来様々な食べ物をよく噛んで食べられることを目指す。	日時:年6回 場所:ふれあい交流センター 対象者:3か月児から5か月児とその保護者 内容:講話(離乳食の進め方や発達の様子) 担当:町管理栄養士、町保健師 *感染症対策のため一部内容を変更して実施	17	保健福祉課 母子保健係
釧路	標茶町／パパママ教室	妊婦とその夫を対象とし、講話、実技を通して妊娠中の過ごし方や、安心して出産・育児に臨むための知識の提供。また妊婦同士の交流と仲間づくりの場となることを目的としている。	日時:年3回 場所:ふれあい交流センター 対象:妊娠の届出からおむね妊娠8か月までの妊婦と夫 内容:講話「妊産婦のための食生活」 ①妊娠中の栄養、体重管理について ②出産後、授乳期の栄養 担当:町管理栄養士 *感染症対策のため一部内容を変更して実施	8	保健福祉課 母子保健係
根室	根室市／離乳食教室(前期～中期)	第1子目の保護者に対し、離乳食の重要性や離乳食の進め方や調理方法等について説明することで、児の健やかな成長を支援するとともに、保護者が持つ離乳食に対する悩みの軽減を図る。	対象者:生後3～4か月の子を持つ第1子目の保護者(希望があれば2目以降の保護者も参加可能) 時期:偶数月(年6回) 会場:根室市総合文化会館 講師:根室市保健課管理栄養士 内容:離乳食の始め方や各月齢の離乳食のポイントについての講話	25	市民福祉部保健課
根室	根室市／離乳食教室(後期～完了期)	第1子目の保護者に対し、離乳食の重要性や離乳食の進め方や調理方法等について説明することで、児の健やかな成長を支援するとともに、保護者が持つ離乳食に対する悩みの軽減を図る。	対象者:生後8～9か月の子を持つ第1子目の保護者(希望があれば2目以降の保護者も参加可能) 時期:奇数月(年6回) 会場:根室市総合文化会館 講師:根室市保健課管理栄養士 内容:各月齢の離乳食のポイントについての講話	27	市民福祉部保健課
根室	根室市／食育劇	バランスのよい食べ方、おやつ、望ましい食べ方、歯みがきや朝ごはんの大切さを伝え、規則正しい食生活の実現に繋げる。	対象者:市内保育所幼稚園の全乳幼児 時期:5～7月 会場:各保育所・幼稚園 内容: DVDを各保育所・幼稚園へ配布(上映は各園で実施) ※DVDの内容はペープサート劇で食事バランスや間食の望ましいとり方、朝食の大切さを題材としたオリジナル。 食育アンケートの実施 食育だよりの配布。	535	市民福祉部保健課

(2) 食育の啓発に関わる事例 イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)	担当部課名
根室	根室市／ ババママ学級	妊娠期を食育のスタートと捉え正しい食習慣を身につける妊娠期に必要な食事について理解する。	対象者: 初産の妊婦とパートナー 時期: 通年(1期4講座、年4期開催) 会場: 根室市総合文化会館 講師: 根室市保健課管理栄養士 内容: 1講座…妊娠期・授乳期の食事(講義) 4講座…新ママ交流会(妊産婦の交流) 動画配信…新型コロナウイルスによる中止や仕事等で欠席される方を対象に市で作成した講座動画の視聴を案内。	18	市民福祉部保健課
根室	根室市／ ふるさと給食	根室市内の児童・生徒に地場産物について興味・関心をもってもらい、海の恵みへの感謝と地場産物について理解を深める。	対象者: 市内全小中学校の児童・生徒 時期: 6月・11月・2月の3回 会場: 各学校 内容: 市内の児童・生徒に地場産物を使って給食提供する。	1,498	教育委員会 教育総務課
根室	羅臼町／ 離乳食教室	望ましい離乳食の進め方とその実際(食品の選定とその調理法、形態など)を知り、乳汁栄養から離乳食、幼児食への移行が適切にできる事を目的とする。	開催月: 5, 8, 11, 3月 午前・午後 年8回 対象者: スタート編2～4か月児とその母親、 ステップアップ編9～11か月児とその母親 内容 スタート編: 栄養士による離乳食の進め方についての講話・離乳食の作り方/保健師による育児相談・計測 ステップアップ編: 月齢にあった離乳食について栄養士及び歯科衛生士による歯科指導をパワーポイントにて講話・相談	17	保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	芦別市／ 広報あしべつ「食育だより」	市の広報を通じて、食育に関する情報や市内の食育取組事例を紹介し、広く食育を推進するとともに食育への関心を高める。	広報あしべつ「食と健康のひろば」に年6回掲載 (健康推進係、農政係、教育委員会社会教育係、つばさ保育園、学校給食センター、芦別地区栄養士会) 行政や食育関係団体の食育取組の様子や食に関する内容など、記事を通して、食に関心をたかめてもらえるよう努めている。記事では写真やイラスト等をいれて、読み手にイメージしてもらいやすい様に工夫をしている。	市民福祉部健康推進課 健康推進係
空知	赤平市／ 広報あかひら	健康的な生活のために広く市民に周知する。	市民の食生活を様々なデータを基に分析し、傾向や改善方法等を周知する。 7月号 食中毒予防 10月号 骨粗鬆症デー 1月号 たばこ体重の関係	介護健康推進課
空知	赤平市／ 歯みがき教室	食習慣の観点からむし歯予防を啓発する。	幼稚園児・保育所に通う2～5歳児の保護者に対して実施。 6月 よく噛む習慣を身に付けよう 12月 旬の食材を食べよう	介護健康推進課
空知	赤平市／ ほけんだより	規則正しくバランスの摂れた食習慣確立のための啓発	幼稚園・保育所に通う園児の保護者に対し取組みしやすいように身近な話題や簡単な調理方法を合わせて紹介する 6月 牛乳をのもう 12月 腸を元気にして免疫力をあげよう	介護健康推進課
空知	三笠市／ 広報誌での食に関する啓発	食に関する多くの情報を発信し、食への興味や関心等を持ってもらい、健康的な食生活の向上を図る。	【実施方法】 広報みかさへの食に関する「コラム」と「レシピ」の掲載。 【実施時期】 令和4年6月～毎月1回1日発行。	総務福祉部保健福祉課
空知	三笠市／ Instagramでのレシピ等紹介	レシピ等をInstagramで紹介し、食への関心を高めるとともに、家庭での献立の支援を図り、健康的な食生活の向上を図る。	【実施方法】 Instagramでレシピと調理過程を動画又は画像で紹介。 【レシピ】 美容と健康、離乳食、市内農産物、作り置き、節約、時短等 【実施時期】 令和4年5月～令和5年3月 【レシピ数】 130レシピを紹介	総務福祉部保健福祉課
空知	三笠市／ 食育月間における取組	食や健康に興味を持ってもらい、市民の健康的な食生活の向上を目的とする。	6月の食育月間において、各年代(幼児・学童、成人、高齢者)に分けたポスター等の媒体を作成し、保育所等や児童館をはじめ、市内公共施設や商業施設等に掲示物の展示を行った。 幼児・学童向けには食べ物の働き(三大栄養素)についてのマグネットシアターやポスターの作成。 成人向けには健康的な体形についてのポスターやリーフレットの作成。 高齢者向けには筋力アップ(サルコペニア防止)についてのポスターを作成し周知を図った。	総務福祉部保健福祉課
空知	滝川市／ 広報たきかわ 健康レシピ	市の広報を通じて、季節に応じた地産地消など、家庭で簡単にできるレシピの提供を行う。	5月号 桜エビとアスパラの酢みそ和え 7月号 中華風冷しゃぶサラダ 9月号 焼きりんごのアイスクリーム添え 11月号 旬のかぼちゃの茶巾絞り 1月号 いなり餅 3月号 春色ごはんの華やかてまり寿司	健康づくり課 企画課
空知	滝川市／ 図書館展示	図書館を利用した啓発を行い、広く食育への関心を高める。	食区月間に合わせた展示を実施 期間 5月27日から6月29日	健康づくり課 社会教育課
空知	滝川市／ G-Sky	FM放送を利用し食育の意義を知り、健康への関心を高める。	各回のテーマに合わせて、パーソナリティと対話方式で放送 放送月 6月号 夏バテ予防の食事 8月号 減塩について 11月 和食の日について	健康づくり課
空知	歌志内市／ レッツ健康！(市広報うたしない健康情報ページ)	食育について理解を深められるよう、食育月間に合わせ、広く周知することを目的とする。	対象・広報配布全世帯 時期・6月号 内容・食育について	保健福祉課保健介護G
空知	深川市／ 市ホームページ及び広報紙掲載「早寝早起き朝ごはん」	子どもの望ましい生活習慣の定着を図るため、学校・家庭・地域と連携し「早寝早起き朝ごはん運動」の推進に努める。	早寝早起き朝ごはん運動の推進 ・オリジナル啓発資料の作成及び生活リズムチェックシートの配布 ・ホームページ掲載 ・各種団体への周知及び連携	深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課
空知	深川市／ 市ホームページ及び広報紙掲載「食品ロスを減らしましょう」	食品ロスに対する理解と関心を深め、食品由来の廃棄物の減量を推進する。	・食品ロスを減らす取り組みについて、ホームページ及び市広報紙により啓発。 ・啓発チラシを作成し、環境課所管のイベントにおいて配布。 ・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参加し、先進的な取り組みについて情報収集を行う。 ・食品ロス削減月間(10月)に市内スーパー・小売店に対し、「家庭でのおいしい食べきり全国キャンペーン」ポスター掲示を依頼。	深川市建設水道部 環境課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	奈井江町／LINEへの掲載	産地や安全性、地元食材を選ぶことは、「食」に関心を持ち「食品を選ぶ力」につながるため、正しい情報の提供をする。	対象：町民 時期：8月から毎月1回 内容：旬の食材の効果・保存方法・レシピをLINEに掲載し、普及啓発を行った。	保健福祉課
空知	栗山町／広報くりやま「今月のいただきます」	旬の農産物を使用したレシピを提供することにより、健康及び地産地消を意識してもらおう。	□時期：4月～3月の計12回 □内容：美味しく栄養バランスの取れた、地場産食材を使ったレシピを町の管理栄養士が考案し、町広報の「くらしのカレンダー」に連載。	福祉課 住民保健課
空知	新十津川町／広報しんとつかわ「こんにはは、ヘルスメイトです」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】12月、3月の計2回 【内容】食生活改善推進員協議会の活動内容の紹介と、事業の中で実施したメニューの中から、特に町民におすすみたいメニューを掲載。	保健福祉課健康推進グループ
空知	新十津川町／広報しんとつかわ「健康ワンポイント」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】保健師と栄養士で分担して、毎月掲載。栄養士が担当時に、食に関する内容を掲載。 【内容】 7月：夏のお弁当対策！食中毒を予防するために 1月：免疫力を強くするポイントと食事	保健福祉課健康推進グループ
空知	新十津川町／プレス空知（中空知地域の新聞）「体にやさしい健康レシピ」	食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】年1回（1月） 【内容】食生活改善推進員協議会が考案したレシピの中からおすすすめのレシピを掲載。	保健福祉課健康推進グループ
石狩	札幌市／札幌市公式ホームページ 食育情報	市民の食育への関心を高め、広く情報を提供する。	・札幌市食育推進計画・取組 ・食育活動紹介 ・食育・イベント活動紹介投稿 ・サポーター紹介・募集 ・栄養成分表示の店 ・食育・栄養関連資料 等	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市／札幌市公式ホームページ さっぽろ子育て情報サイト 保育園の食育・レシピ集	乳幼児期からの望ましい食習慣形成のための情報を提供する。	・保育園の食育取組事例紹介 ・食育資料集（ポスター、リーフレット等） ・保育園のレシピ紹介 ・ラクラク離乳食紹介など	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課
石狩	札幌市／札幌市公式ホームページ 各区役所	区民への食育の関心を高め、広く情報を提供する。	・食育情報 ・レシピ紹介 ・各区取組紹介 等	各区保健福祉部 健康・子ども課
石狩	江別市／フレイル予防リーフレットの発行	生きていくために大切な“食べる”ことに注目し、食べることから始めるフレイル予防について啓発する。	市内専門職（栄養士、歯科衛生士等）からのアドバイスを掲載。高齢男性1食分の盛り付け目安「実物大お食事シート」を作成し、付録として折り込んだ。 時期：6月	健康福祉部介護保険課（地域支援事業担当）
石狩	江別市／食育だよりの発行	市立保育園の園児の保護者に対して食育の重要性を啓発する。	年2回、保護者全員に対して食育だよりを配布する。	健康福祉部子ども育成課
石狩	江別市／認定こども園及び幼稚園児と保護者向け野菜摂取啓発資料の配布	若い世代の野菜摂取推進の啓発を図ることにより健康意識を高める。	親子で簡単に調理することのできる野菜レシピのリーフレットを作成し、市内認定こども園及び幼稚園の保護者に配布 時期：12月	健康福祉部健康推進室
石狩	江別市／ホームページ、広報、マップ	市民が野菜を摂取しやすい環境づくりに協力していただく「えべつベジタブルライフ協力店（野菜を食べる環境づくりの協力店）」を広く周知することで、市民の野菜摂取推進を図る。	協力店の情報を写真とともにホームページや広報に掲載。また、協力店マップを市内協力店にて配架。	健康福祉部健康推進室
石狩	江別市／ホームページ、リーフレット	市民の野菜摂取量を増やすため、誰でも手軽に野菜をとれるよう、簡単野菜レシピを広く普及する。	ホームページに簡単野菜レシピを掲載し、各事業で配布している野菜摂取啓発リーフレット、協力店マップ等にホームページを見られるようQRコードを掲載。	健康福祉部健康推進室
石狩	千歳市／生ごみ堆肥化啓発 生ごみ処理機等購入費助成事業	家庭ごみの減量	・「段ボール生ごみ堆肥化セット」の配布 ・「電動生ごみ処理機」、「コンポスト」等の購入費の助成	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市／千歳市ごみ減量アイデア集	家庭ごみの減量	食品廃棄物を含む、家庭ごみの減量に関するアイデアを市民から募集して作成した千歳市ごみ減量アイデア集をホームページに掲載。	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市／食育パネル展	食育事業に係る関係部署と連携し、食育をテーマにしたパネル展を開催することにより、市民が食育の重要性及び、食に関する正しい知識について理解を深めてもらう。	【開催期間】 令和4年6月13日（月）～17日（金） 【展示場所】 千歳市総合福祉センター1階ロビー 【開催内容】 1.食育事業に係る関係部署、関係団体の食育の取り組みについて紹介するパネル展示 2.食と健康づくりに関するパネル展示、リーフレットの設置 3.第3次千歳市食育推進計画概要版の設置、千歳市食育推進マークのPR	保健福祉部 健康づくり課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
石狩	千歳市／千歳市ホームページ「公設卸売市場」	市場の情報や野菜・果物など、食に関する情報の提供	・旬の食材紹介 ・市場紹介 ・関連行事 など	産業振興部 千歳市公設卸売市場
石狩	恵庭市／「食育だより」の発行	食生活に関する情報や問題を取り上げ、正しい「食」に対する知識の周知と、不足しがちな栄養素を補う献立などを家庭に紹介するため。	回数：月1回の年12回 内容：毎月の給食だよりの裏面に掲載し、学校をとおして児童・生徒へ配布するほか、恵庭市のホームページに掲載。	教育部 学校給食センター
石狩	当別町／野菜350g普及事業	生活習慣病予防に効果的な野菜350gを摂取している住民の割合が少ない現状に対し、1日に必要な野菜摂取量とその必要性について伝える。	広報とうべつ9月号に野菜摂取量増加を目的とし、秋野菜の効能や手軽に調理できる野菜レシピを掲載。レシピについては、当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で記事作成)
石狩	当別町／レシピカードの周知	生活習慣病予防に必要な1日350gの野菜摂取をサポートする手段として実施。	町内の施設3カ所にレシピカードの設置と町ホームページにも掲載。野菜の調理方法を紹介し、野菜摂取の普及啓発を図る。レシピについては当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で作成)
後志	寿都町／栄養ポスター	食に関する情報の普及啓発	対象：町民(各施設利用者) 時期：通年 場所：町内医療機関(診療所、歯科医院、薬局)、温泉施設、学校、役場 内容：上記施設へ栄養ポスターとリーフレットを設置	町民課健康づくり係
後志	寿都町／広報誌レシピ掲載	食に関する情報の普及啓発	対象：町民 時期：奇数月 内容：町広報誌に、野菜摂取や減塩等をテーマとしたレシピを掲載。食材の栄養素に関するコラムも掲載している。	町民課健康づくり係
後志	共和町／食育だよりの発行、HPへの掲載	幅広い世代に食育に触れるきっかけをつくる。	・年に4回(6月、9月、11月、1月)食育だよりの発行 ・食育に関する取組について、HPへ掲載	産業課 農業振興係
後志	古平町／町広報誌	・保健事業の紹介や各種事業の結果について掲載し、町民への保健事業のPRと町における健康課題について周知する。 ・季節にあった疾病予防や健康増進のためのテーマをとりあげ、町民の健康づくりを啓発する。	◇時期：月1回 ◇方法：広報誌に「すこやかひろば」を定期掲載 ◇内容：7月号、8月号及び1月号で季節に合わせたバランスの良いレシピの紹介、食物繊維、乳製品摂取のすすめや減塩方法に関する記事を掲載した。	保健福祉課健康推進係
後志	仁木町／	食育の取組を支援するとともに食育の効果的な推進を図るために町HPで食育に係る計画を公表	「仁木町食育推進計画」を町HPにて公表。	産業課農政係
胆振	室蘭市／食育だより	栄養や食に関する情報提供	内容：保育所の保護者向けに配布している食育だより(栄養や食に関する情報、保育所で人気のレシピ等)を市のHPに掲載。	保健福祉部子育て支援課子ども育成係
胆振	苫小牧市／広報とまこまい6月号	市民の食育への関心を高めるため、市の公式キャラクターである「とまこまい」のブログで食に関する記事を掲載する。	対象：苫小牧市民 内容：食育推進計画、朝食についてのコラムを通じた食育PR記事を掲載した。	健康こども部健康支援課
胆振	苫小牧市／とまこまいブログ	市民の食育への関心を高めるため、市の公式キャラクターである「とまこまい」のブログで食に関する記事を掲載する。	内容：とまこまいを食育PR隊長(隊長)とし、ブログで朝食や行事食など食にまつわる記事を10回投稿した。	健康こども部健康支援課
胆振	伊達市／食育について	食育の意義や推進のための具体的取り組みについて、市民に広く周知を図る。	「子どもの食育」、「大人の食育」と、対象別に見出しを作成し、ライフステージにおける食育に関するイベントの周知を行っている。また、伊達市食生活改善協議会による「食改さんおすすめレシピ」にリンク挿入し、簡単レシピの閲覧や利用に繋がるよう工夫。	伊達市健康福祉部健康推進課予防係
胆振	むかわ町／食育・地産地消の町広報連載	地元の食材を取り上げ、地産地消の推進	令和4年3月の広報むかわから、地元食材の情報の連載。	農林水産課教育委員会健康福祉課
胆振	むかわ町／むかわ学YouTube	地元で生産されている食材の周知と地産地消の推進	地元の農業者や漁業者等への取材や食材の料理動画を、町教育委員会YouTubeで配信。	農林水産課教育委員会健康福祉課
胆振	厚真町／広報あつま	バランスの良い食事、野菜増加普及啓発	内容： ・ベジアップレシピ(R4.6、9、12、R5.2月) ・食生活実態調査結果から見た町の食の特徴～塩分編(9月) ・食生活実態調査結果から見た町の食の特徴～食物繊維編(R5.2月)	住民課健康推進グループ

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
胆振	登別市／健康通信☆きらり	こころとからだの健康づくりに関する知識の普及を図り、市民の主体的な健康づくり意識を醸成すること。	令和4年12月1日「免疫カアップの食事のポイント、寒い時期におすすめメニューの紹介」 ◇概要 健康通信の食に関する記事の作成	登別市保健福祉部健康推進グループ
日高	日高町／食育月間	食品ロス削減に関する情報提供	図書館内にむだなく使いきるレシピコーナーを設け、書籍の貸出し、及び食品ロスの周知、オリジナル標語の掲示等	子育て健康課 門別図書館
日高	日高町／健康増進普及月間	健康増進普及月間普及啓発 日高町元気はつらつ3か条周知	日高町元気はつらつ3か条の推進、学童への食教育事業等写真展示	子育て健康課 門別図書館
日高	様似町／様似町食育協議会「エプロンだより」発行	様似町食育協議会の一環として、食育の普及啓発を行い、町民の食への興味・関心を高める。	対象：様似町立様似小学校配布・様似町立様似中学校配布・新聞折込 時期：10月20日、10月24日、R5年2月9日（計3回/年） 内容：「食品ロス削減に取り組みよう！」	保健福祉課
日高	えりも町／広報誌「こんにちは栄養士です」	えりも町の令和元年度の特定健診結果では男性の二人に一人、女性の三人に一人が肥満という現状がある。また、令和3年度の特定健診の間診結果では、飲酒について「毎日飲む」、「1日3合以上飲む」割合が全道、全国よりも高い状況がある。えりも町の健康課題解決のため、食や飲酒に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち健康意識の向上を図る。	対象：全町民 掲載時期：年2回程度 掲載内容： 4月号「甘いお菓子に含まれるの砂糖だけじゃない 油脂の身を知らず食べすぎを予防しよう」 11月号「適正飲酒のすすめ（前編）～肝臓をいたわる生活をしよう～」 12月号「適正飲酒のすすめ（後編）～意識することで身につく肝臓思いの食習慣～」	保健福祉課 保健指導係
渡島	函館市／「食育の日」のツイッターおよびLINEでの周知	「食育月間」、「食育の日」の普及啓発のため。	対象：函館市のツイッターアカウント、函館市公式LINE 時期：通年（毎月19日） 内容：食や健康づくりに関する情報発信	保健福祉部健康増進課
渡島	福島町／食育月間・食育の日の普及啓発	食育月間・食育の日の普及啓発のため。	対象：町民 時期：6月 内容：認定子ども園福島保育所の月間献立表の余白スペース、広報ふくしま、ふくしま健康カレンダーを活用し、食育月間・食育の日に関する記事を掲載	福祉課
渡島	福島町／食育通信による普及啓発	健康及び食育の普及啓発のため。	対象：幼稚園、小学校、中学校 時期：7月 内容：町の管理栄養士、栄養教諭が協同で作成し、福島町学校給食センターから幼稚園、小・中学校に発行	福祉課
渡島	福島町／広報誌「広報ふくしま」による普及啓発	健康及び食育の普及啓発のため。	対象：町民 時期：8月、9月、11月、1月、3月 内容：福島町の広報誌「広報ふくしま」を活用し、健康や食育に関する記事を掲載	福祉課
渡島	鹿部町／しかべ栄養だより	食育の推進のため。	対象：町民 時期：毎月 内容：広報誌で、食事や栄養について普及啓発	水産経済課
檜山	上ノ国町／広報誌を活用した普及啓発	広報誌に食育関係記事を掲載することで、正しい食の知識普及を目的とする。	【掲載時期】広報6月号 【題名】 ・時間栄養学って知っていますか？	保健福祉課
檜山	上ノ国町／広報誌を活用した普及啓発	広報誌に食育関係記事を掲載することで、正しい食の知識普及を目的とする。	【掲載時期】広報12月号 【題名】 ・その症状、カルシウムパラドックスの影響かも？	保健福祉課
檜山	今金町／今金町広報誌「栄養士ネットワーク掲示板」	専門性を生かした幅広い栄養に関する情報の提供によって、町民の食への関心を高め食育の普及啓発を図る。	活動：町内9施設に所属する管理栄養士、栄養士で構成された今金町栄養士ネットワーク活動の一つである。 【内容】 ・今金産の食材をメインとしたレシピ、季節に合わせた講話を毎日輪番で担当し掲載している。 ・1年間の原稿を集約した「栄養士ネットワーク掲示板レシピ集」を作成し食育の普及啓発を行っている。	今金町保健福祉課 くらし安心課
上川	愛別町／広報あいべつ（こんにちは栄養士です）	保健師や栄養士による健康情報を広報に掲載することで、健康に関する情報を町民に広く周知する。	対象：全町民 内容：広報2月号にて「全国生活習慣病予防月間について」のテーマで健康情報を掲載。	保健福祉課
上川	愛別町／のびっこ通信（栄養士の部屋）	イベントメニューのレシピや栄養士による健康情報を掲載することで、乳幼児期の栄養管理に役立てる。	対象：子育て支援センター利用者 内容：のびっこ通信2月号にて「節分～恵方ロールサンド」のテーマで行事レシピや健康情報を掲載。	保健福祉課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
上川	愛別町／給食だより	栄養士による「食」にまつわるコラムを掲載することで、乳幼児期の栄養管理に役立てる。	対象：幼児センター利用者 内容：幼児センターの給食だより3月号にて「免疫力をつけるには？4つのポイント」のテーマで栄養士コラムを掲載。	保健福祉課
上川	下川町／下川町食育推進計画町民委員会	食品ロス削減月間 食品ロス削減の日	・広報しもかわ10月号、行政情報告知端末にて周知 ・町内飲食店に食品ロス削減を周知する三角ポップを配付。	農林課
上川	比布町／	町の事業「ビビカツ事業」の周知及び食習慣の大切さの周知。	対象：町民 時期：6月	総務企画課まち発信係
上川	中川町／中川町広報食育通信(毎月)	食と健康の情報提供による健康増進を目的とする。	内容 牛乳の栄養 ドレッシングの選択 野菜料理の紹介 内臓脂肪型肥満予防 フレイル予防 骨粗しょう症予防 骨粗しょう症予防料理の紹介 減塩アンケート調査結果報告 血糖値スパイク予防 など	住民課 幸福推進室
上川	旭川市／公式ホームページ「旭川市食品ロス削減ポータルサイト」	食品ロスの削減に関する取組情報を提供する。	・フードバンク旭川の取組を紹介。 ・食品ロスの主な発生要因の対策と削減に向けた調理レシピの紹介と、調理方法の動画を公開。 ・食べきりメニューの設定、お持ち帰りの推奨、量り売り等の実施、季節商品の販売方法など、飲食店向け、小売店向けの事業系食品ロス削減に関する取組を紹介。	環境部廃棄物政策課
上川	旭川市／こうほう旭川市民 あさひばし10月号	令和3年度実施の栄養調査・食育アンケートの結果を踏まえ、市民に対し減塩及び野菜摂取量増の必要性を発信すると共に、食生活の改善を促す。	(特集)野菜をもっと！塩分はちよこっと！ ・ページ：3ページ・フルカラー ・反響：減塩のための具体的な方法(調味料はかけるよりも小皿に出してつける、等)を掲載したこともあり、広報誌のアンケートでは概ね好評であった。 (あさひばし10月号バックナンバーURL: https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/723/724/d076418.html)	保健所保健指導課
上川	旭川市／リーフレットを活用したあさひかわ食育推進月間普及啓発	市民が食や健康に対する意識を高め、家庭における食育が広く実践されるよう、8、9月の「あさひかわ食育推進月間」の普及啓発のため、リーフレットの作成及び配布を行う。	*リーフレット内容：「旭川市民の栄養と食生活」令和3年実施の調査結果をもとに、栄養・食生活改善のポイントをクイズ形式で掲載。 *関係機関・団体等の協力により配布を行う。	保健所保健指導課
上川	士別市／「食育の日につくろう！しっかり野菜34g(サフォーク)レシピの公開	若い世代の野菜類の摂取量を増加させ、生活習慣病予防対策を強化する。	2017年に20～39歳の市民に実施した食事調査で摂取量の少なかった野菜類・芋類・豆類・乳製品類の簡単レシピを19日(食育の日)に市フェイスブック・市HPで公開。	士別市保健福祉センター食育推進係
上川	n名寄市／名寄市食育推進協議会広報による啓蒙・啓発の取組	食育について広く市民に周知し、健康や食の大切さについて認識を深めてもらう。	市広報6月号に食育月間の記事を掲載。食育の意義や、名寄市第3次食育推進計画の7つの目標を掲載した。 市広報10月号に食品ロス削減月間の記事を掲載。10月30日を食品ロス削減の日と定めていること、食品ロスの削減は食育推進計画の目標の1つであることを掲載した。	経済部農務課
上川	名寄市／名寄市食育推進協議会名寄市内農産物直売所案内の全戸配布	地産地消の推進を図るため。	市広報6月号にチラシを折込。 市内直売所や観光農園について、場所や開催日、取扱品について掲載した。	経済部農務課
上川	美瑛町／学校給食だよりの発行	食に関する情報を発信することで、児童・生徒の食に対する興味関心を高めるため。また、学校給食の内容等を発信することで、家庭における食の理解を深め、家庭と連携した食育を推進していくため。	時期：通年(年10回程度) 場所：町内全小中学校 内容：学校給食だよりを発行し、給食の献立や使用食材、食に関する情報を提供。	教育委員会管理課
留萌	苫前町／広報とままえ	食や栄養に関する正しい知識の普及啓発	保健福祉課保健係「健康ばんざい」、福祉係「地域包括ケアだより」に食に関する記事を掲載 【内容】 地域包括ケアだより ・7月号 夏バテ予防の食事、水分摂取について ・1月号 冬を元気に過ごそう(フレイル予防) 健康ばんざい ・2月号 野菜摂取量調査結果報告と野菜レシピ	保健福祉課
留萌	羽幌町／広報はぼろ	町民に対し、広く食や栄養に関する情報を提供する。	広報はぼろ「健康コラム」等に掲載 R4.10「メタボの解消方法」 R5.3「減塩の方法」	健康支援課
留萌	羽幌町／地域情報誌	町民に対し、広く食や栄養に関する情報を提供する。	新聞販売所で発行している情報誌への掲載 R4.12「食生活」	健康支援課

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
留萌	天塩町／ 広報てしお	栄養・食生活等に関する情報の普及啓発をおこなう。	【対象】町民 【回数】年1～2回 【内容】こんにちは栄養士です 10月号「骨密度を下げないための食事」	福祉課
宗谷	稚内市／ 稚内市ホームページ	市民へ情報を提供する。	■掲載概要 ①稚内食育推進計画	教育部 総務・スポーツ課
宗谷	稚内市／ けんこうライフ ななかまど	住民の健康づくりに関する、知識や保健活動等について、周知及び啓蒙をおこなう。	1. 対象者：稚内市民 2. 発行月：2022年8月号及び2023年2月号「健康ライフななかまど」において「食べて元気になる話」を掲載 3. 発行元：稚内市・稚内市保健推進委員連絡会 4. 発行部数：1回につき17500部(全世帯配布) 5. 掲載内容：2022年8月号「熱中症予防」メニュー：ホタテと夏野菜のマリネ 2023年2月号「乾燥からお肌を守るには」メニュー：鶏肉のとろろグラタン	生活福祉部健康づくり課
宗谷	礼文町／ 広報誌掲載	当町の魅力や健康づくり事業をPRすることにより、読者を始めとした多くの人に礼文町を知ってもらい関係人口を増やすきっかけとする。	時期：令和5年3月 掲載物：北海道の国保令和5年3月号 内容：礼文町の特産品であるタコをテーマとし、礼文町での水揚げ量やタコの栄養、タコ料理のレシピ2品を紹介した。レシピ2品の内1品は、天使大学の栄養学専攻の学生と健康メニュー(官学協働事業)を紹介した。	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町／ 広報誌掲載	当町の魅力や健康づくり事業をPRすることにより、読者を始めとした多くの人に礼文町を知ってもらい関係人口を増やすきっかけとする。	時期：令和5年1月10日～ 掲載場所：ハートランドフェリー(株)公式Facebook、Instagram 内容：町の健康事業の取組みについて紹介した。	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町／ 野菜摂取促進事業(た Vegehealth+事業)	町の健康課題として、肥満や高血圧、糖尿病の合併症を有する割合が高いことから野菜摂取向上の取り組みを通じて、これらの生活習慣病の発症予防、重症予防、重症化防止に繋げる。	時期：毎月月初め 掲示場所：町内各商店8店舗 内容：管理栄養士が健康に関する食知識をテーマとして取り上げ、テーマに沿った食生活のコツ等が書かれたポップ、レシピ1品を町内商店の野菜売り場及び、レジ横等に展示している。レシピについては、礼文町HPIに掲載し、QRコードの読み取りからダウンロードもできるようにしている。	保健課 保健推進係
オホーツク	北見市／ 成人式における食育リーフレット配布	食育を推進する基盤づくり、及び次世代を担う若年層の食育への関心度向上	内容：食生活についてのリーフレットを作成し、成人式において配布 B4サイズ両面三つ折り 配布対象：新成人 約1000人	北見市保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市／ 小学生を対象とした食育リーフレット配布とホームページへの掲載	幼いころから食生活に関心をもち、食と健康に対する意識を高め、適切な食生活の基礎をつくる。	内容：夏休みの過ごし方(正しい生活リズムと食生活について)のリーフレットを作成し配布 A3サイズ両面二つ折り 配布対象：北見市内の小学校4年生～6年生 2617人	北見市保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市／ 食育月間啓発事業	食育月間及び食育についての周知	内容：食育月間に合わせ、市立中央図書館で食育関連コーナーを設置し、関連図書や食育に関するリーフレットの配置と食育に関する展示の実施、及びホームページへの掲載 期間：令和4年6月7日～6月19日	保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市／ 野菜摂取促進のための啓発事業	野菜摂取促進	内容：8月31日の「野菜の日」の前後の期間に、市立中央図書館で「食育関連コーナー」を設置。関連図書やレシピ集の配置、野菜摂取促進に関する展示の実施及びホームページへの掲載 期間：令和4年8月23日～9月4日	保健福祉部健康推進課
オホーツク	網走市／ 食生活改善協議会の健康レシピ	健康づくりに視点をいれた料理を普及する。	1.市広報誌にレシピ・栄養知識の掲載(毎月) 2.市ホームページにレシピ・栄養知識の掲載(毎月)	健康推進課
オホーツク	網走市／ 食べ残しを減らそう推進事業	食品ロス、食べ残しを減らす。	事業者と協力し、外食や宴会時の食べ残しを減らし、ごみの減量化を図る。 登録店舗数40店舗(R5年3月現在) 網走市「食べ残しを減らそう」推進事業 http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/225gomi_recycle/020bika_eco/syokuhinloss201010.html	市民環境部 生活環境課
オホーツク	美幌町／ 食育普及啓発事業	食育の推進を目的とし、特に子育て中の親を対象に健全な食生活を実践するための栄養・食生活に関する知識の普及を行う。	年3回(5月、7月、12月)各テーマ3週間程度 場所 子育て支援センター、しゃきつとプラザ 内容：ポスター展示 ①栄養バランスのよい食事ってどういこと？ ②朝ごはんとスリムランチ ③幼児食1～2歳時の調理のポイント	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	湧別町／ 広報ゆうべつに「ヘルシーおやつ」レシピを掲載 ホームページに「バランス丼」レシピを掲載	町民が食事で健康へ興味関心をもつきっかけを作る。	広報紙・HPIに簡単にレシピを掲載(毎月1回計12回)	湧別町健康こども課
オホーツク	滝上町／ 減らそう！食品ロス	食品ロスに関する理解と関心を深め、食品ロスの削減を目指す。	・啓発チラシを製作し、配布(食育セミナー参加者42名に配布) ・町のホームページを活用し、啓発チラシを掲載	農政課地産食育係

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
オホーツク	興部町／元氣予報(広報掲載)	季節にあった疾病予防や、健康増進のテーマを取り上げ、町民の健康づくりを啓発する。	対象：全町民 時期：隔月1回 内容：糖尿病対策(たんぱく質と食物繊維)、痛風ってどんな病気？、熱中症に気をつけましょう、腸活で冬を元気に過ごしましょう等掲載。	興部町福祉保健課
オホーツク	興部町／元氣予報(広報掲載)	季節にあった疾病予防や、健康増進のテーマを取り上げ、町民の健康づくりを啓発する。	対象：保育所通所児・保護者 時期：沙留保育所8月30日・興部保育所9月29日 場所：興部町福祉保健総合センター「きらり」 内容：調理実習 こどもと一緒に作れるおやつ「スノーボールクッキー」 沙留保育所 子ども4名・保護者3名・保育士2名 興部保育所 子ども3名・保護者2名・保育士4名	興部町福祉保健課
オホーツク	興部町／元氣予報(広報掲載)	季節にあった疾病予防や、健康増進のテーマを取り上げ、町民の健康づくりを啓発する。	対象：3歳～5歳までのお子さんとその保護者 時期：第1回 9月5日・第2回10月3日 場所：興部町福祉保健総合センター「きらり」 内容：第1回、歯科衛生士による講話。幼児期の口腔機能と歯の様子・乳歯の磨き方、栄養士による調理実習、噛むことを意識したおやつ「黒砂糖の焼きもち」第2回、歯科衛生士による講話。食事の時の姿勢・歯並びを悪くする癖・幼児期の口に合った遊び方。栄養士による調理実習。噛むことを意識したおやつ「もぐもぐかむかむ焼き」 第1回、子ども3名、保護者3名。第2回、子ども2名、保護者3名。	興部町福祉保健課
オホーツク	興部町／元氣予報(広報掲載)	季節にあった疾病予防や、健康増進のテーマを取り上げ、町民の健康づくりを啓発する。	対象：保育所通所児1歳～5歳児 時期：興部保育所第1回2月8日・第2回2月22日 沙留保育所第1回2月14日・第2回2月28日 場所：興部保育所・沙留保育所 内容：第1回①あか・き・みどりの食べ物のお話。②食べた物が体の中でどうなるのか見てみよう。食べ物クイズ。第2回①自分の体を病気から守るために大切な手洗いの仕方。②前回の復習。食べ物クイズ。 第1回、興部保育所子ども23名・保育士6名。沙留保育所子ども19名・保育士4名。第2回、興部保育所子ども23名・保育士3名。沙留保育所子ども20名・保育士4名。	興部町福祉保健課
オホーツク	雄武町／広報への記事掲載	町民の生活習慣病予防に関する知識及び意識の向上を目的とする。	栄養に関する記事を広報に掲載し、町民全体にアプローチを行う。	健康推進課保健係
オホーツク	大空町／広報誌による啓発普及	地産産の野菜を使用したレシピを季節ごとに掲載し、健康な食習慣をみにつけることができるよう適切な情報と知識の普及を図る。	年4回、広報誌に「大空町の季節の野菜を使った簡単レシピ」を掲載。 レシピは町内栄養士ネットワーク(病院、福祉施設、学校給食センター、認定こども園、行政)の集まりで作成。	福祉課 健康介護グループ
十勝	帯広市／帯広市ホームページ「食育」	帯広市における食育の取組や関連情報を発信し、市民に幅広く普及・啓発を行うもの。	・第4次帯広市食育推進計画 ・帯広市食育推進サポーター ・食育推進サポーター登録者 ・食育推進サポーターの取組事例 ・おびひろ市民学 ・おびひろ食育カレンダー ・各課の食育推進事例 など	農政部農政室農政課
十勝	帯広市／帯広市図書館ホームページ、帯広市図書館ホームページ内「食文化.com」	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報を入手できるように、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	帯広市図書館内HP内に食のサイト「食文化.com」を掲載するもの。 【帯広市図書館HP】 ①図書館HPトップのお知らせ欄等に、随時更新情報を掲載 【帯広市図書館HP「食文化.com」】 ①フードパレーとちかコーナー…帯広・十勝の食に関する資料を集めたコーナーについて紹介 ②「食」イベント…6月の食育月間に合わせて行う展示やおはなし会などの紹介 ③「食」DVD・雑誌・新聞…図書館で所蔵する食に関する資料の紹介 ④「食育」って？…食育について、帯広市の取組み等を紹介	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市／本の展示	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報を入手できるように、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	【本の展示】 ①食文化コーナー…毎月展示テーマに沿った、食に関する本を展示・貸出 ②フードパレーとちかコーナー…十勝・帯広の食に関する本を展示・貸出	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	音更町／広報紙、ホームページ、SNSによる普及啓発	町の広報を通じて、食育・地産地消に関するイベント情報等を周知するとともに、「音更町食のモデル地域実行協議会」のHPを開設し、取組内容の紹介の他、おおそでくんキッチンの申込受付等を行う。	広報紙 内容：イベント開催等の周知 時期：開催日の前月号に掲載 ホームページ http://www.oosodekun.com/	経済部ふれあい交流館

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
十勝	芽室町／ 広報誌すまいる	「食」への関心を高め、「食」に関して正しい知識を身につけ心身の健康を増進し、健全な食生活を実践することを目指す。	町内施設で勤務する栄養士及び管理栄養士が集まり、3回/年、栄養業務担当者連絡会議を開催。食育の取り組みの一環として、「食」に関する情報の提供、食育に関する取組を広報に掲載。また、「統一献立」の取り組みの実施。統一献立とは、2回/年実施し、地元食材を使用した料理を町内の高齢者施設、保育所・幼稚園、学校、病院で同時に提供すること。広報へ統一献立のレシピの掲載。料理の写真を掲載し、町民にわかりやすく工夫している。	健康福祉課保健推進係
十勝	芽室町／	食や栄養に関する情報を発信し、子どものすこやかな成長を支援する。	年4回、「栄養通信いただきまーす」を発行。紙媒体での発行のほかに、町ホームページ、町公式LINEにも掲載。	子育て支援課
十勝	足寄町／ 広報誌(広報あしよる)	町の広報誌を活用して食生活に関する情報の普及啓発を行い、食生活に対する関心を高め、食育を推進するため。	6月は食育月間・毎月19日は食育の日です。 ○カルシウムはとれていますか？ 日本人が1日に必要なカルシウムの推奨量を表示、必要なカルシウムを吸収率のよい乳製品と組み合わせについて ○カルシウムのはたらきについて カルシウムの99%は骨や歯に蓄えられ残りの1%は血液中で神経の伝達や筋肉の収縮等大切な役割について ○カルシウムが不足した状態が続くと・・・ 骨の量が減り将来骨粗しょう症の原因になることも、骨量の低下についてとホルモンとの関連、子ども(成長期)の頃にカルシウムの摂取する事についての大切さについて ○カルシウムを多く含む食材 カルシウム100mgを含む食品の例を、挿絵を使いわかりやすく紹介について ○カルシウムを効率よく吸収するポイント ビタミンDを併せてとること 日光に当たること 適度な運動をすること	福祉課 保健福祉室 保健推進担当
十勝	幕別町／ 広報紙への掲載	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期：R4. 4月～R5. 3月(全12回) 内容：地産野菜を使ったレシピ、栄養情報、野菜の選び方や冷凍保存方法を紹介	保健福祉部保健課
十勝	幕別町／ ホームページ及びSNSの活用	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期：R2. 12月～掲載 内容：簡単野菜レシピをホームページに掲載	保健福祉部保健課
釧路	釧路市／ 食品ロス削減パネル展	食品ロス削減に関する普及啓発を図る。	食品ロス削減パネル展(10月1日～10月31日) 釧路市環境事業課と連携し、10月の食品ロス削減月間に合わせて市内商業施設で実施した。	消費者協会 市民生活課・環境事業課
釧路	釧路市／ 食品ロス削減の普及啓発	食品ロス削減に関する普及啓発を図る。	食品ロス削減の普及啓発(通年) 広報紙・ホームページ・SNS(Instagram・Facebook)等を活用し、食品ロス削減に関する周知啓発を実施。	環境事業課
釧路	釧路市／ 小学生フツ化物洗口	口腔衛生対策の推進	小学生フツ化物洗口(口腔健康管理事業) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施見合わせ。代替策として、家庭での虫歯予防の取組について保護者に周知。	教育支援課 (学校教育担当)
釧路	釧路市／ 早寝・早起き・朝ごはん運動	望ましい生活習慣を身につけることの大切さを広く知っていただくと共に、子どもたちが健やかに成長することを目指し、発達段階に応じた関わり方や食の大切さ・楽しさを知っていただけるよう、子育てに関する情報を発信するため。	早寝・早起き・朝ごはん運動(令和4年4月～令和5年3月) 「望ましい生活習慣等啓発リーフレット」、「はぐくみ」の作成、配布、釧路市ホームページ掲載。	教育支援課 (学校指導担当)
釧路	釧路市／ 給食だよりの配布	保護者へ地産地消や栄養などについて情報提供し、食への意識を高めてもらうため。	野のはな園通園児保護者向けに作成し、食について(地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。	釧路市子ども保健部 児童発達支援センター
釧路	釧路町／ 広報釧路町	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う。	・毎月発行釧路町広報誌で健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピ及び食育情報を掲載。	子ども健康課健康推進係
釧路	釧路町／ ヘルシーレシピ設置配布	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う。	・健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピと健康に関する情報を記載したリーフレットを設置配布 【設置場所】支所、公民館、体育館、保健福祉センター、町内認可保育所、児童館、地産地消センター、町内飲食店、郵便局、町内スーパー	子ども健康課健康推進係
釧路	釧路町／ デジタルサイネージによる食育月間周知	釧路町食育推進計画に定められた釧路町独自の食育月間を周知する。	町内商業施設に設置されたバスロケーションデジタルサイネージに食育月間周知記事を掲載。 実施時期：令和4年9月	子ども健康課健康推進係

(2) 食育の啓発に関わる事例 ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
鉦路	鉦路町／	高齢者が、食の自立に向けて栄養のバランスや調理方法等の基礎的な知識を学ぶための情報提供を行うこと。	高齢者の生活の質の向上及び介護予防を推進するため、鉦路町食生活改善協議会と連携してフレイルについての情報提供やフレイル予防レシピ等を掲載したりフレット（9月作成・12月作成の計2種類）を作成・配布したほか、町公式ホームページに掲載 【工夫点】 厚生労働省作成ツール「食べて元気にフレイル予防」を引用。高齢者対象のため、効率的なたんぱく質摂取の他、減塩、食べやすい食材の大きさ、簡単に調理できる工夫、カルシウム摂取等に配慮 【設置場所等】 保健福祉センター、本庁、支所 【送付等】 町内会回覧、介護予防サロン、高齢者大学、老人クラブ、栄養改善配食サービス利用者、新聞記事掲載	介護支援課地域包括支援係
鉦路	鉦路町／ マタニティスクール（動画作成）	育児で多忙な産後に手軽に栄養補給できる食材や方法を提案することで産婦とその家族が健康に過ごすことの一助となること。	「～応援しています！～産後のお母さんの食事」町公式youtubeチャンネルで公開（公開は令和5年度）	こども健康課母子保健係
鉦路	標茶町／ 広報しべちゃ	牛乳の消費拡大を図る。	・「牛乳を食べよう」というテーマで、乳製品を使ったレシピを紹介している。	農林課農業企画係
鉦路	標茶町／ 広報しべちゃ	災害時における対策の周知。	・広報しべちゃにおいて、管理栄養士から令和4年5月「災害時の食事」について情報提供を行った。	保健福祉課健康推進係
鉦路	弟子屈町／ 広報6月号	朝食の大切さを周知する。	体内時計の仕組みと朝食と夕食のバランスについて掲載。	健康こども課（健康推進係）
鉦路	弟子屈町／ 広報12月号	生活リズムが崩れやすい時期の食事の注意点を周知する。	年末年始の食事の注意点について掲載。	健康こども課（健康推進係）
根室	根室市／ 食生活バランスアップ事業	市民の健康増進や生活習慣病予防のため、塩分、脂質、糖質を抑えた料理や野菜を使った料理等を普及啓発する。	内容：月替わりでレシピ・コラムを市ホームページ、市Facebookに掲載 工夫：レシピ野菜を使った塩分控えめの料理を基本とし、月替わりで脂質、糖質を抑えた料理、カルシウムや鉄分、食物繊維の多い料理、地場産品を使った旬の料理等テーマに沿った料理とする。	市民福祉部保健課
根室	羅臼町／ 羅臼町公式フェイスブック、ツイッター掲載	地元食材を使用した給食献立に関する情報発信	実施時期 提供後随時掲載 内容 給食センターでは羅臼町の海産物を羅臼漁業協同組合や水産加工業者からいただいているため、いただいた食材の内容や献立を羅臼町公式フェイスブック、ツイッターに情報発信として掲載している。	産業創生課

(3) 食育推進リーダーの育成

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	札幌市／札幌市食生活改善推進員養成講座	食生活改善の輪を広げるための推進役となる人材を養成し、地域住民の意識の高揚を図り地域に密着した食生活改善を進めるため、この人材を養成する。	開催時期:令和4年度内 ※実施時期は開催区によって異なる。	103	保健福祉局 保健所 健康企画課 各区 保健福祉部 健康・子ども課
上川	士別市／食生活改善推進員研修会	地域において正しい食生活の実践を普及し、健康長寿を推進する活動に必要な知識・技術などを学び、積極的に地区組織活動を行うことができる推進員を育成する。	市主催研修会 ①R4.7.6(水)講話「減塩が健康に与える影響と実践」 ②R5.2.2(木)養成講座と合同開催 養成講座テキスト内容、調理実習等	25	士別市保健福祉センター食育推進係
オホーツク	網走市／食生活改善推進員養成講座	食生活改善地区組織活動を行う推進員の養成に必要な教育事業を実施し、地域住民の健康増進並びに体づくりの向上に寄与する。	食生活改善地区組織活動に必要な基礎項目、下記の講座、合計20時間。令和5年2月～3月実施。 1. 網走市の保健事業、健康づくりプランについて 2. 食品衛生と生活環境と食事バランスガイド他 3. 栄養の基礎知識 4. 身体の中の栄養の働き 5. 栄養計算をしてみよう・調理の基本 6. 調理実習(生活習慣病予防) 7. 調理実習(低栄養予防) 8. ころとからだの健康づくり	6	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	美幌町／美幌町ヘルスリーダー育成事業	美幌町ヘルスリーダーとして地域における健康づくりに主体的に取り組む人材を育成することを目的とし、その資質向上と活動の促進を図る。	対象:美幌町ヘルスリーダーの会23名 育成事業日数・時間 育成講座4回(2時間/回) ミニ学習会9回(30分～1時間/回) 活動状況・感想等 美幌町ヘルスリーダーは町の保健事業において行政と共に事業企画、実施、評価をしております主体的に活動している。 育成講座の調理実習は住民にわかりやすく伝えることに重点を置き毎回積極的な意見交換がなされており、後進の育成につながっている。 問題点・課題等 特になし	186	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	滝上町／滝上町食育・地産地消推進会議	子育て世代、これから親になる20代～50代の方を対象に、食に関する正しい知識を習得し、食と身体をつながりを意識した食選択ができる力を養うことで自分の健康はもとより、次世代の食育を推進するとともに、食育リーダーの養成も兼ねる。	対象:滝上町民 開催日時:令和4年11月9日(水)18:30～20:30 場所:ホテル溪谷 内容:北海道食育コーディネーターの當瀬規嗣氏を招き、成人期の健康課題である糖尿病や高血糖、高血圧などの生活習慣病の発症及び重症化の予防に向けて学ぶ。講演のほか、地産地消の推進を図ることを目的として、町内産の小麦粉とスイートコーンを使用した「コーンパン」を製作し、参加者に配布した。	40	農政課地産食育係
十勝	帯広市／健康づくりボランティア養成講座	食生活の知識を身につけ、自らの健康づくりを実践し、地域住民に対する食生活改善のための知識の普及啓発及び食育を主体的に推進するボランティアを養成する。	【時期】令和4年6～7月の13日間 ※健康づくり推進員の養成講座と同時開催 【場所】帯広市保健福祉センター 【対象】帯広市民、募集人数10名 【講座内容】栄養の基礎知識、生活習慣病予防について、食中毒、食品添加物、運動体験、調理実習、けんこう帯広21について等 【特記事項】10単位20時間を取得できるカリキュラムに沿って実施。講座終了後は、入会し、ボランティア等に参加。	6	市民福祉部健康保険室健康推進課
十勝	音更町／おおそでくキッチンサポーター定例会・研修会	おおそでくキッチンサポーターを食育推進リーダーと位置づけ、地域における食育・地産地消の取組実践や調理技術の向上を図ることを目的とする。	〇おおそでくキッチンサポーター研修会 開催回数:1回 内容:味噌作り	6	経済部ふれあい交流館
十勝	広尾町／食生活サポーター支援	健康づくりに関する学習を重ね、自らの生活の中で実践するとともに、地域の健康や食生活を推進することができるように支援する。	時期:6月23日、7月15日、12月9日 場所:健康管理センター 内容:減塩をテーマとした調理実習と学習 参加数:延べ18人	18	保健福祉課健康管理センター
釧路	釧路市／地区組織(食生活改善推進員)の養成・育成	地域での住民のリーダーとなり、健康づくりを実践できる食のボランティアを養成・育成する。	【養成】 対象:釧路市民 時期:R4年4月～R5年3月 場所:音別町福祉保健センター 内容:養成講座の実施 参加実人数:3人、参加延人数:44人 【育成】 対象:釧路市食生活改善推進員 時期:R4年4月～R5年3月 場所:音別町福祉保健センター 内容:活動支援 参加実人数:2人、参加延人数:23人	46	音別保健福祉課

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	岩見沢市／市内各小中学校／食に関する指導	給食という生きた教材を活用し、市内全小中学校の児童・生徒を対象に食に関する指導を行う。	食生活の欧米化が進み、子どもたちの食事の内容も大きく変化している。小中学生は大きく成長する時期であることから、この時期に健全な食生活の実践と食習慣の確立に向け、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身に付けることが、子どもたちの現在の健康だけでなく、将来の健康な生活に必要なことと考え実施。令和4年度は、20校、延べ125学級で実施。	3,750
空知	岩見沢市／岩見沢立栗沢小学校／食に関する指導	箸の正しい持ち方が分かり、正しく持つ大切さ、食事のマナーを守る大切さを知る。	対象:1年生 時期:5月20日 場所:1年生教室 内容:箸の実技練習、スライドや絵本を使っでの食事のマナー学習	19
空知	岩見沢市／岩見沢市立栗沢小学校／食に関する指導	生産者(作る側)・消費者(食べる側)の双方の立場を考え、食品ロスの視点から、生産者や自然の恵み、作ってくれる人への感謝の気持ちや食べものを大切にすることを学ぶ。	対象:3年生 時期:7月15日 場所:3年生教室 内容:「もったいない」に関する絵本や、実際のデータや調理所で撮影した映像から、食品ロスに関心を持ち、自分たちにはどんなことができるかについて考えた。	19
空知	岩見沢市／岩見沢市立栗沢小学校／食に関する指導	心身の成長や健康保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。	対象:5年生 時期:9月16日 場所:5年生教室 内容:人間はなぜ食べるのかを考え、五大栄養素についてや、体内で栄養素が不足した場合どうなるのか知り、バランス良く食べることの重要性を学習した。	17
空知	岩見沢市／岩見沢市立栗沢小学校／食に関する指導	給食ができるまでを理解し、作り手の苦勞を知ることで感謝して食べようという意識をもつ。	対象:2年生 時期:9月20日 場所:岩見沢市立学校給食共同調理所 内容:配送トラックや調理所内の様子、実際に使っている調理器具の見学をした。給食ができるまでの工程や働いているたくさんの人たちについて動画を見て学習した。	15
空知	芦別市／芦別市立芦別小学校／食育の取組み	自ら食生活を考え作り出していく態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、各クラス、全学年の給食の時間に栄養教諭が訪問し、児童の給食を取る様子を見ながら望ましい食の在り方等について指導している。また、高学年では、家庭科の時間を中心にバランスの良い食事と健康について指導している。学活の中で食育の授業を各クラス1時間ずつ行っている。	266
空知	芦別市／芦別市立上芦別小学校／食育の取組み	自ら食生活を管理する意識と態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、1年生:「給食のマナーと手洗い」、2年生:「お箸の持ち方と食べ物のほたらき」、3年生:「かむことの大切さ」、4年生:「食べ物の栄養」、5年生:「地産地消の必要性」、6年生:「食品表示について勉強し自分たちの身体に良いものを考える」の内容で、全校児童に食育の授業を行っている。	76
空知	滝川市／滝川市内保育所5か所／	しっかり噛んでよく食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日 11月8日 内容 11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともに、リーフレットを配布し、保護者への啓発を合わせて行う。 メニュー かみかみ丼・三色ボールのみそ汁・ベビーチーズ・牛乳	2,600
空知	滝川市／滝川市内保育所5か所／	だしのうま味に慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日 11月24日 内容 和食の基本である昆布や鰹節の「ダシ」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニュー ごはん・石狩汁・厚焼き玉子・キャベツのおかか煮・牛乳・ヨーグルト	2,600

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	歌志内市／歌志内市立歌志内学園／給食指導	・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ・心身の成長や健康に過ごす上で望ましい栄養や食事の取り方を理解する。 ・正しい知識・情報に基づいて、食品の品質や安全性について判断できる力を身につける。 ・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。	栄養教諭が毎日、給食時間に学級を訪問。手洗い指導や献立にふさわしい盛り付け方の指導をしている、また、使用されている食材の名前、含まれている栄養素、箸の持ち方や正しい食器の並べ方等の食事のマナー等について指導している。 (学園1～9年生児童生徒数 計82人)	82
空知	奈井江町／奈井江町立奈井江中学校／	・心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養・食事のとり方や生活習慣を理解させる。 ・食物を大事にし、食物の精算等に係る人々への感謝する心を育む。	対象:全校生徒 時期:6月13日(月)～15(水) 5校時 場所:各教室 内容:朝ごはんの効果	95
空知	奈井江町／奈井江町立奈井江小学校／	・朝ごはんと生活習慣の関わりを理解させるとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を理解させる。	今年度、2年生児童を対象とした食育指導を保健センターと連携して行う。 実施時期は未定。	37
空知	由仁町／由仁町立由仁小学校／栄養教諭による食育指導	・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ・心身の成長や健康に過ごす上で望ましい栄養や食事の取り方を理解する。 ・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。	内容:栄養教諭による食に関する指導を実施 1年生:マナーを守って楽しい食事にしよう 2年生:元気のもとを知ろう 3年生:味わって食べよう 4年生:野菜のパワーを見つけよう 5年生:和食の良さを見直そう 6年生:バランスの良い食事をしよう ・学習後、栄養教諭とともに給食を試食(全学年) 時期:通年(各学年1時数)	196
空知	由仁町／由仁町立由仁中学校／栄養教諭による食育指導	学校給食の意義を伝えることで健全な心身を育むため。	内容:栄養教諭による食に関する指導を実施 1年生:間食のとり方について考えてみよう 2年生:脳に良い食生活をしよう 3年生:1日の食事のバランスを考えよう ・学習後、栄養教諭とともに給食を試食(全学年) 時期:通年(各学年1時数)	85
空知	由仁町／由仁町立由仁小学校、由仁町立由仁中学校、にじいろこども園／	児童生徒とその保護者に対して学校給食についての周知。	毎月月末に配付(翌月の献立) 献立の周知とともに、給食の歴史や食材の紹介、食の重要性や役割等についての情報を掲載。	400
空知	栗山町／栗山町立栗山小学校／	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。 (計5日間 6回実施) ・実施日と実施学年、指導内容、対象人数 1) 令和4年5月25日(水) 5年1組 「地産地消について」 30名 2) 同上 5年2組 「 同上 」 34名 3) 令和5年1月30日(月) 1年1組 「給食ができるまで」 21名 4) 1月31日(火) 1年2組 「 同上 」 22名 5) 2月17日(木) 3年2組 「なんでも食べよう」 26名 6) 2月18日(金) 3年1組 「 同上 」 26名	159

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	栗山町／ 栗山町立角田小学校／	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。 (計3日間 6回実施) ・実施日と実施学年、指導内容、対象人数 1) 9月22日(木) 1年 「やさいをもっとすきになろう」 5名 2) 同上 2年 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 8名 3) 10月18日(火) 3年 「なんでも食べよう」 11名 4) 同上 4年 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 14名 5) 10月21日(金) 5年 「規則正しい生活をしよう」 7名 6) 同上 6年 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 12名	57
空知	栗山町／ 栗山町立継立小学校／	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。 (計5日間 5回実施) ・実施日と実施学年、指導内容、対象人数 1) 7月11日(月) 2年 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 7名 2) 7月12日(火) 1年 「給食ができるまで」 7名 3) 7月13日(水) 3・4年 「なんでも食べよう」 13名 4) 7月14日(木) 5年 「なぜ食べる～五大栄養素」 11名 5) 11月22日(金) 6年 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 11名	49
空知	栗山町／ 栗山町立栗山中学校／	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。 (計2日間 5回実施予定) ・実施日と実施学年、指導内容、対象人数 1) 3月14日(火) 1年A組 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 24名 2) 同上 1年B組 同上 26名 3) 同上 1年C組 同上 29名 4) 同上 2年A組 「中学生と栄養」 32名 5) 3月15日(水) 2年B組 ※給食時間に訪問し給食指導を実施 33名 ※中学校については、3月の訪問のため予定での報告です。	144
空知	月形町／ 月形町立月形小学校／ 食に関する指導	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	対象:小学生 日時:8～10月 場所:各教室 発達段階に応じて、給食を生きた教材として活用しながら、食に関する正しい知識や食を選択する能力を身につける内容で45分間の授業を栄養教諭が行う。	76
空知	月形町／ 月形町立月形中学校／	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	対象:中学生 日時:10月 場所:図書室 株式会社明治の食育セミナープログラム「成長期の運動と食事」を実施。講師を招き、中学生の成長期に必要な栄養や食事の取り方について40分間授業を受け、実際に食べている給食を通して栄養や地産地消について栄養教諭が10分間指導を行う。	53
空知	月形町／ 月形町立月形小学校／ バイキング給食	自分の体にあった食品や量の取り方を学ぶ機会とする。また、望ましい食事の雰囲気作りや食事のマナーを考える機会とする。	対象:小学校6年生(16名) 日時:3月 場所:図書室、多目的室 栄養を考えながらバランスの良い食事を選んで喫食するとともに、卒業のお祝いを兼ねて実施した。 新型コロナウイルス対策として、手袋を着用し、トング等の使い回しによる感染拡大防止を図った。また、間隔をあげたり、喫食時の場所や配置等を工夫した。	17
空知	月形町／ 月形町立月形中学校／ リクエスト給食	中学生が献立を作成し、自分の体が成長するために望ましい栄養や食事の取り方を考える。	対象:中学生 日時:9月 中学生が自分に必要な栄養を考えて献立を作成し、学校祭の給食として提供した。中学校の生徒を中心に委員会活動の一つとして実施した。	172

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	月形町／ 月形町立月形中学校／ リクエスト給食	卒業を控えた中が校3年生が、9年間の給食をふり返り、今後の自分の食のあり方を考える機会とする。	対象: 中学3年生 日時: 1～3月 9年間食べた給食を振り返り、思い出のエピソードとともに、リクエスト給食のアンケートをとる。リクエストされたものを取り入れた献立を提供している。	172
空知	月形町／ 月形町立月形小学校、月形町立月形中学校／ 防災給食	9月1日が防災の日に合わせて、防災食を提供することで、給食を通して防災の意識を高めてもらう。また、通常給食センターに備蓄しているものを知ってもらう機会とした。	対象: 中学生 日時: 9月1日(防災の日) 非常時(電気やガスを使わない)でも提供できる非常食(救給カレー)を、学校給食として提供し、給食センターで備蓄しているものを知ること、非常食を食べ慣れること、さらに防災への意識を高めてもらう。また、その内容を給食だよりで発信した。	172
空知	月形町／ 月形町立月形小学校、月形町立月形中学校／ 全国学校給食週間(日本で最初の給食を再現)	学校給食の歴史を知らせ、ふりかえらせる。	対象: 町内小・中学校 日時: 1月(全国学校給食週間のうちの1日) 場所: 図書室 学校給食のはじまりとされる、明治22年の献立(おにぎり、鮭の塩焼き、青菜の漬物)をもとにした献立を作成し、学校給食で提供している。また、給食だよりでもその内容を取り上げている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、手で食べるおにぎりではなく、ごはんとして提供した。	172
空知	月形町／ 月形町立月形小学校／ 食に関する指導(給食ワンポイント)	食に関する正しい知識を提供し、毎日繰り返すことで、知識・理解の定着をはかる。	対象: 小学生 日時: 通年 小学校の児童委員会(放送委員会)と連携し、給食時間中に食に関わる三択クイズを放送している。	94
空知	月形町／ 月形町立月形小学校／ 食に関する指導(給食センター見学)	給食センターを見学することで、給食や給食についての理解や学びを深める。	対象: 小学2年生(12名) 日時: 11月 場所: 給食センター 小学校での食の指導の授業で給食センターについて触れ、事前指導を行い、本時で給食センターを見学し、実際に見学したり、調理道具を持ってみたりして、学びを深める。	13
空知	月形町／ 月形町立月形小学校、月形町立月形中学校／ 月形産牛肉献立	月形産の食材を給食に取り入れ、月形町の特徴について知る。	対象: 町内小・中学校 日時: 10月 月形産牛肉を給食に使用する事で、児童生徒が住んでいる月形町の特徴や産業について学ぶ機会として実施した。同日に行われた月形小学校5年生の食に関する授業の講師に、月形産牛肉の提供に関わった月形黒毛和牛母牛研究会、加工業者、農家の方を招いた。	172
空知	新十津川町／ 新十津川町立新十津川中学校	成長期に必要な栄養を理解し、自分の健康を自分自身で考えられるようになるため。	家庭科の授業を活用し、バランスの取れた食生活・食習慣を見直すきっかけになるよう「朝食について」「生活リズムと食生活」「飲み物に含まれる砂糖の量」等の講話を実施。	46
空知	新十津川町／ 新十津川町立新十津川小学校	食に関する関心や興味を持ち、健康な体と伸びやかな心を育むため。	授業カリキュラムの一環として、「野菜をもっと食べよう」をテーマに、町栄養士が「トマトの栄養」、「緑黄色野菜と淡色野菜の分類」について講話を行います。また、食生活改善推進員が作成した「トマトのかくれんぼゼリー」を給食時に提供します。(講話と調理実習を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講話のみの実施とします。)	42
空知	新十津川町／ 新十津川町教育委員会／ 食育の日の取組	食べることの大切さを実感し、食への意欲向上を図る。食事を作ること、栄養のバランス等の工夫をすることの重要性を学ぶ。	対象: 新十津川小学校、新十津川中学校、雨竜小学校、雨竜中学校 時期: 令和4年11月29日(火) 保護者の協力を得ながら、児童・生徒が弁当作りに関わる。給食だよりで学年別に子どもの発達にあったお弁当づくりの取り組み方を紹介し、お弁当づくりを手伝った 新十津川小学校では給食時間にテレビ放送で取組の呼びかけを行い、食に関する本の紹介を学校図書館司書が行った。実施後、割球通信に食育の日について取り上げた学級がいくつかあり、多くの児童がお弁当づくりに関わったことで、お弁当の準備をすることや食べることの楽しさを感じていたようだった。	610

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	札幌市／札幌市教育委員会／さっぽろ学校給食フードリサイクル	食育・環境教育の充実 学校給食の調理くずや残食のリサイクルだけでなく、食や環境を考え、ものを大切にする子どもを育てる。	札幌市では、学校給食を作る過程で発生する調理くずや食べ残しなどの生ごみを堆肥化しており、平成18年度からその堆肥で栽培した作物を学校給食に取り入れるという食物の循環に取り組んでいる。また、リサイクル堆肥を学校における栽培活動に活用し、食育・環境教育の充実を図っている。 (さっぽろ学校給食フードリサイクル ホームページアドレス) https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html □リサイクル堆肥で栽培した作物の学校給食での提供。 玉ねぎ(全校)、レタス(希望校) □フードリサイクル堆肥活用校での取組(令和4年度 208校) リサイクル堆肥を活用した栽培活動を中心に、教科等と関連させた活動を行う。 □成果 「食べ物に興味・関心をもつ子どもが増えた」「栽培活動へ積極的に関わる子どもが増えた。」「食べ物や生産者等への感謝の気持ちを持つ子どもが増えた」などの成果があった。 □今後の課題 ・天候不順の影響等、リサイクル堆肥を使用した作物の安定供給が課題である。 ※約133,000人(全給食実施校299校の児童生徒)	133,000
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／食に関する指導	給食の準備とマナーについて知ろう	くすみ1学年担任教諭とTT授業 R4年4月18日(月) 給食の準備の仕方や食事のマナーを知り、楽しい給食時間にする。	4
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年担任教諭とTT授業 R4年4月18日(月) 給食の準備の仕方や食事のマナーを知り、楽しい給食時間にする。	89
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／食に関する指導	給食のことを知り、楽しく食べよう	くすみ1.2.3学年担任教諭とTT授業 R4年6月22日(水) 給食が出来上がるまでには多くの人たちが関わっていることを知り、食事について感謝の気持ちをもとうとする。	14
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／食に関する指導	給食のことを知り、楽しく食べよう	1学年担任教諭とTT授業 R4年6月30日(木) 給食が出来上がるまでには多くの人たちが関わっていることを知り、食事について感謝の気持ちをもとうとする。	89
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／食に関する指導	よいたべかたをしよう	2学年担任教諭とTT授業 R4年6月21日(火)22日(水)23日(木) 食事のマナーが必要なことがわかる。 食事の中の正しい姿勢や箸の持ち方、会話の仕方などがわかる。 自分のこれまでの食事の態度を振り返り、よい食べ方について進んで実践していこうとする意欲を高める。	106
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／食に関する指導	野菜のことをもっと知ろう	3学年担任教諭とTT授業 R4年9月26日(月)29日(木)30日(金) 野菜は食べる部位により、仲間分けができることを知る。 野菜の働きを知ることで、野菜を進んで食べようとする意欲をもつ。	87
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／家庭科「食べて元気!ご飯とみそ汁」	栄養素のはたらきを知ろう	5学年教科教諭とTT授業 R5年1月30日(月)31日(火) 食品に含まれている栄養素が体の成長や活動のもとになることに興味を持つ。五大栄養素の種類と働きについて理解し、栄養を考えて食事をとる大切さについて考える。	100
石狩	江別市／江別市立江別第二小学校／家庭科「まかせてね今日の食事」	1食分の献立を考える。	6学年教科教諭とTT授業 R4年12月5日(月) 主食・主菜・副菜・汁物という食事の形態を知り、分けることができる。 バランスよく食品を組み合わせ、1食分の食事を考えることができる。	102

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立江別第二小学校／ 食育弁当の日	子供たちが弁当作りにかかわることで、食材を大切にしたり、作ってくれた人に感謝したりする気持ちを育む。	全校児童 R4年6月24日(金) 食育弁当の日実施は子どもが弁当作りにかかわり、自分で作ることで食材を大切に、食べ物への感謝の心が生まれたり、弁当を作ってくれた人に感謝したりするなどのねらいがあるため、毎年実施している。お弁当作りのポイント・レシピのプリントを配付している。	610
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／	子供達が弁当づくりにかわり、自分で作ることで、 ・食材を大切に作る ・食べ物への感謝の心が生まれる ・料理を作る大切さがわかる ・弁当を作ってくれた人に感謝する	対象:全校児童 時期:7月1日(金) ※遠足予備日の給食なしの日 場所:各家庭・江別太小学校各教室 内容:事前に、「食育弁当の日」のお知らせを配布し、学年に応じて、無理のない範囲で、以下の項目から取り組めるものを選んでもらった。 ①保護者と一緒に買い物に行く。 ②保護者が作ったおかずを、お弁当箱につめる。 ③おかずづくりを手伝う。 ④おにぎりをつくる。 ⑤自分でおかずを1品つくる。 ⑥自分でメニューを考える。 ⑦おかずを全部つくる。 ⑧お弁当すべてをつくる。 実施状況:低学年でも、作るお手伝いをした子がわりと多かった。	445
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育弁当の日	児童生徒並びに保護者に、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるなどの食育を実践するため。	対象:1～6年生 時期:5月20日(金) 人数内訳:1年生43人、2年生37人、3年生59人、4年生59人、5年生60人、6年生59人、特別支援学級17人 内容:子どもたちが弁当作りに関わり、自分で作ることで「食材を大切に」「食べ物への感謝の心が生まれる」など様々なねらいがあり、保護者と一緒にお弁当を作ることで会話も生まれ、自分で作る喜びも感じ、これを機会に児童生徒が一人でご飯を作ることができ、生きる力を身に付ける。また、児童生徒が将来にわたって健康に生活するために考える動機づけになればと思い実施。	334
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 栄養教諭による学級訪問	食事のマナーや栄養バランス、地場産物、行事食など給食を通して食に興味関心を持たせるため。	各学年ひと月に1～2回程度、給食時間にその日の給食にまつわる話をし、興味関心をもって苦手なものにも挑戦してもらえるようにした。(給食日よりや給食指導資料、絵本等を使用) ※参加者数:全校生徒(176)	176
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 栄養教諭による食育授業	食に興味関心を持ち、健康な毎日を過ごすための知識を持たせるため。 また、食べ物の大切さや食に関わる様々な人への感謝の気持ちを持たせるため。	学級活動の時間を使った食育授業のを年間1～2回各学年で行った。給食ができるまでの様子や食事のマナー、食べ物の働き、栄養バランスの良い献立等の内容を行った。 また、5年生では給食の食材を納品している生産者を招いて、地産地消の良さについて講演をしていただいた。朝採れのとうもろこしと、2～3日経過したものとを食べ比べ、地産地消について学習を深めた。 ※参加者数:全校生徒(176)	176
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 保健委員会を活用した取り組み 1. 給食ペロリ・チャレンジ運動 2. 給食マナークイズ	1. 一人一人が少しでも苦手な食べ物に挑戦し、色々な食べ物が食べられるようになっていくため。 2. 食事のマナーについて振り返り、より良い食べ方を身につけるため。	1. 給食ペロリ・チャレンジ運動 低・中・高学年に分けて完食する量を定め(「ペロリ」と呼んでいる)、クリアできたらカードにスタンプを押し、全ペロリを目指してもらおう。また、苦手な食べものにひと口でも食べられたらチャレンジ成功とし、クリア出来たらスタンプを押し、ペロリができなくても完チャレンジを目指してもらおうにした。どちらも完全制覇した児童には、シールを渡した。 2. 給食マナークイズ テレビ放送を使ってクイズを行い、その日の給食で守られているか判定した。判定は担任が行い、マナーについて意識させることができた。 ※参加者数:全校生徒(176)	176
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 栄養教諭による食育イベント	正しい箸の持ち方や食器の並べ方について理解を深めるため。	スポンジなどの初級、豆と消しゴムなどの中級、様々な大きさの豆だけの上級とレベルを変え、自分のレベルに合わせたもので箸の練習をし、上級者はタイムを競ってやる気を持たせた。 食器の並べかえクイズを給食を例に行い、普段の給食から実践できるようにした。 ※参加者数:全校生徒(176)	176

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／	食育弁当の日を通じて食に対する興味関心を持ち、食べ物や食に関わる様々な人への感謝の心を育む	江別市の取組みとしてある食育弁当の日に向けて、作り物のおかずを容器に詰める体験や、お弁当作りに関わる内容を学年に合わせて提案し、実践する意欲を持たせた。 ※参加者数:全校生徒(176)	176
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年授業 R4年4月14日(木) 給食の準備や後片付けが正しく能率的にできるように工夫し協力する。食事のマナーを身につけ、気持ちよく会食する。	72
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年授業 R4年4月12日(月) 給食の準備や後片付けが正しく能率的にできるように工夫し協力する。食事のマナーを身につけ、気持ちよく会食する。	62
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年授業 R4年4月18日(月) 給食の準備や後片付けが正しく能率的にできるように工夫し協力する。食事のマナーを身につけ、気持ちよく会食する。	34
石狩	江別市／ 江別市立江別第二小学校／ 食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	特別支援学級授業 R4年4月15日(金) 給食の準備や後片付けが正しく能率的にできるように工夫し協力する。食事のマナーを身につけ、気持ちよく会食する。	26
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年授業 R4年4月18日(月) 給食の準備や後片付けが正しく能率的にできるように工夫し協力する。食事のマナーを身につけ、気持ちよく会食する。	46
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年4月19日(火) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	62
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年4月26日(火) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	65
石狩	江別市／ 江別市立大麻東小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月10日(火) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	40
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月11日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	34
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月11日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	26
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月18日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	46

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	食事の大切さをよく知ろう	特別支援学級授業 R4年5月17日(火) 食べ物に興味・関心を持ち、楽しく食事ができることを学ぶ。	17
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月17日(火) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	61
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年5月18日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	30
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月18日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	7
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年5月19日(木) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	26
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年6月8日(水) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	73
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年6月9日(木) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	73
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年6月10日(金) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	83
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年6月16日(木) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	59
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	6学年授業 R4年6月17日(金) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物大切さを知る。	14
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年6月21日(火) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	21
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年6月21日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	75

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかながえよう	2学年授業 R4年6月23日(木) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	51
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	おいしいたのしい調理の力をする	5学年授業 R4年6月24日(金) 基本的な知識・技能を身につけ、おいしく食べるための調理計画を考え、調子のしかたを工夫することを指導する。	16
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	特別支援学級授業 R4年6月27日(月) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	18
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年6月28日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	44
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年6月30日(木) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	78
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年6月24日(金) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	80
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかながえよう	特別支援学級授業 R4年6月29日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	4
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	バイキング形式の食事を考えよう	6学年授業 R4年7月2日(土) 修学旅行におけるバイキング形式の食事時のマナーやバランスを考え、食事に対する自己管理能力を養う。	71
石狩	江別市／ 江別市立大麻東小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかながえよう	2学年授業 R4年7月4日(月) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	60
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかながえよう	2学年授業 R4年7月4日(月) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	16
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年7月5日(火) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいのか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	35

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年7月5日(火) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	13
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかんがえよう	2学年授業 R4年7月6日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	16
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年7月8日(金) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	35
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年7月8日(金) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	64
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年7月8日(金) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	16
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年7月13日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	72
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	野菜について考えよう	5学年授業 R4年7月14日(木) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	73
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年7月19日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	90
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	特別支援学級授業 R4年7月20日(水) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	13
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	健康を考えた夏の水分補給について考える	4学年授業 R4年7月19日(火) 糖質を含む清涼飲料水を水代わりに摂取する子どもが増えてきている中、虫歯や肥満、生活習慣病の要因となることから、清涼飲料水の適切な選択や飲み方ができるように健康づくりに自主的に取り組む姿勢を育てる。	26
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	特別支援学級授業 R4年8月18日(木) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	14

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年8月24日(水) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	40
石狩	江別市／ 江別市立大麻東小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年8月19日(金) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	46
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年8月22日(月) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	59
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかんがえよう	2学年授業 R4年8月22日(月) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	51
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年8月25日(木) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	78
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	飲み物に含まれている砂糖の量を考えよう	3学年授業 R4年8月25日(木) 糖質を含む清涼飲料水を水代わりに摂取する子どもが増えてきている中、虫歯や肥満、生活習慣病の要因となることから、清涼飲料水の適切な選択や飲み方ができるように健康づくりに自主的に取り組む姿勢を育てる。	75
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年8月30日(火) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	49
石狩	江別市／ 江別市立大麻東小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年8月31日(水) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	56
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年8月31日(水) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	18
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	地場産物の良さを知ろう	5学年授業 R4年9月6日(火) 特産物を理解し、日常の食事と関連付けて考えることができるようにする。	24
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月7日(水) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	15

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	地場産物の良さを知ろう	5学年授業 R4年9月9日(金) 特産物を理解し、日常の食事と関連付けて考えることができるようにする。	24
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年9月13日(火) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	64
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	すききらいしないで、たくさん食べよう	特別支援学級授業 R4年9月13日(火) 嫌いな食べ物でも親しみを持つことができるようにするなどの指導する。	12
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月14日(水) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	66
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	飲み物に含まれている砂糖の量を考えよう	3学年授業 R4年9月15日(水) 糖質を含む清涼飲料水を水代わりに摂取する子どもが増えてきている中、虫歯や肥満、生活習慣病の要因となることから、清涼飲料水の適切な選択や飲み方ができるように健康づくりに自主的に取り組む姿勢を育てる。	75
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年9月16日(金) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	14
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	好き嫌いせずに何でも食べて元気になることを考える	特別支援学級授業 R4年9月20日(火) 嫌いな食べ物でも親しみを持つことができるようにするなどの指導する。	17
石狩	江別市／ 江別市立江別第二小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月26日(月) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	96
石狩	江別市／ 江別市立野幌小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月27日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	16
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいこしよう	4学年授業 R4年9月27日(火) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	46
石狩	江別市／ 江別市立江別第二小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月29日(木) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	96

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立江別第二小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月30日(金) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	96
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	給食のことを知り楽しく食べよう	1学年授業 R4年9月15日(木) 食べ物が届けられるまでに関わる人たちや苦労・工夫を知り、感謝を持って食事を使用とする気持ちを持たせる。	92
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R4年9月16日(金) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	46
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年9月21日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	64
石狩	江別市／ 江別市立対雁小学校／ 食育の学習	何でも食べて元気な体を作ろう	特別支援学級授業 R4年9月22日(木) 食べ物の働きを知り、自分の食べ方について見つめ直すきっかけとする。	23
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年9月26日(月) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	26
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年9月27日(火) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらいいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	69
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年9月28日(水) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	48
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年10月3日(月) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらいいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	42
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	栄養バランスのよいお弁当について考えよう	6学年授業 R4年10月4日(火) 誤った食習慣による栄養の偏りは、生活習慣病の要因となることから、望ましい栄養バランスを理解し、自らの健康づくりに取り組む態度を育てたい。	28

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立大麻西小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年10月24日(月) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいのか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	41
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年10月4日(火) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	54
石狩	江別市／ 江別市立北光小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	1・2学年授業 R4年10月12日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	4
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	よいたべかたをしよう	2学年授業 R4年10月13日(木) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	30
石狩	江別市／ 江別市立大麻泉小学校／ 食育の学習	朝食をしっかり食べよう	5学年授業 R4年10月17日(月) 朝食を食べることの大切さを理解するとともに、食事の内容について栄養バランス面から意識し、自ら改善することができるようにする。	37
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	バランスのよいお弁当の組合せを考えよう	4学年授業 R4年10月18日(火) 誤った食習慣による栄養の偏りは、生活習慣病の要因となることから、望ましい栄養バランスを理解し、自らの健康づくりに取り組む態度を育てたい。	73
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	食育弁当を考えよう	1学年授業 R4年10月19日(水) 誤った食習慣による栄養の偏りは、生活習慣病の要因となることから、望ましい栄養バランスを理解し、自らの健康づくりに取り組む態度を育てたい。	62
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年10月19日(水) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	100
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年10月21日(金) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	98
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年10月26日(水) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	16
石狩	江別市／ 江別市立東野幌小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年11月2日(水) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	85

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年11月8日(火) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	79
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年11月11日(金) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	85
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年11月17日(木) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	59
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年11月18日(金) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらよいか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	59
石狩	江別市／ 江別市立江別太小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年11月21日(月) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	86
石狩	江別市／ 江別市立北光小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3・4学年授業 R4年11月22日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	4
石狩	江別市／ 江別市立北光小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5・6学年授業 R4年11月24日(木) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	10
石狩	江別市／ 江別市立中央小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R4年12月1日(木) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	63
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年12月1日(木) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	24
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年12月5日(月) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	57
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	にがてな食べ物にチャレンジ	5学年授業 R4年12月6日(火) 丈夫な体を作るために自分の苦手な食べ物を進んで食べようとする姿勢を育てたい。	24

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年12月6日(火) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	57
石狩	江別市／ 江別市立文京台小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかんがえよう	特別支援学級授業 R4年12月7日(水) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	13
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年12月8日(木) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらいのか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	71
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R4年12月9日(金) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	73
石狩	江別市／ 江別市立上江別小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年12月16日(金) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらいのか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	112
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	1食分の献立を考えよう	6学年授業 R4年12月20日(火) 食事の偏りなど、生活習慣病の要因となるような食習慣の改善について、食習慣が形成される重要な時期に、食べ物を選ぶことの大切さを理解させ、「どのようなものをどれだけ食べたらいのか」を自分で考え実践できる「食の自己管理能力」を育てる機会にする。	28
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 食育の学習	食品の選び方を考えよう	6学年授業 R4年12月21日(水) 食品添加物の効果や健康への影響を考えて選択することの大切さを理解してもらう。	17
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	好き嫌いをしないで食べよう	1学年授業 R5年1月26日(木) 丈夫な体を作るために自分の苦手な食べ物を進んで食べようとする姿勢を育てたい。	62
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	よいたべかたをかんがえよう	2学年授業 R5年1月27日(金) 出来るだけ早い時期に食事の基本的マナーを理解し、身につけようとするとともに、みんなが楽しく食事をするということについて理解を深め、実践する。	37
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	栄養素のはたらきを知ろう	5学年授業 R5年1月31日(火) 給食の献立を通して成長に必要な栄養を考え、バランスのとれた食べ物の大切さを知る。	57
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年授業 R5年2月7日(火) 食べる野菜の部位ごとに分類することを通して野菜への関心を高めるとともに、野菜を食べることの大切さを知り、「野菜は残さない」という気持ちを日常から持たせる。	59

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立大麻小学校／ 食育の学習	カルシウム貯金箱をいっぱいにしよう	4学年授業 R5年2月10日(水) カルシウムが含まれている食品や役割とともに、体の中に蓄積できることを知り、カルシウムを多く含んだを積極的に食べようとする意欲を持たせる。	62
石狩	江別市／ 江別市立いずみ野小学校／ 食育の学習	感謝して食べよう	3学年授業 R5年2月13日(月) 食事は多くの人々が心を込めて作ったものであることを理解し、感謝の気持ちを持って食べる精神を養う。	18
石狩	江別市／ 江別市立江別第一小学校／ 食育の学習	牛乳について知ろう	2学年授業 R5年2月28日(火) 牛乳の栄養素などについて学ぶ。	65
石狩	江別市／ 江別市立江別第一中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年学年集会 R4年6月15日(水) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	148
石狩	江別市／ 江別市立江別第一中学校／ 食育の学習	自分の食生活のあり方を見直そう	2学年学年集会 R4年6月15日(水) 成長期である中学生期に必要な栄養素や食品の取り方についての知識を身につけるとともに、自身の健康を守るために考える力を付けたい。	138
石狩	江別市／ 江別市立江別第一中学校／ 食育の学習	受験期の食事とこれからの食生活について	3学年学年集会 R4年6月15日(水) 自身の生活を見つめ直し、健康を守る大切さを伝えるとともに、脳と栄養の関係を理解し、受験への体制づくりや健康的な生活習慣の実践につなげる機会としたい。	139
石狩	江別市／ 江別市立江別第一中学校／ 食育の学習	苦手なものにチャレンジする。	特別支援学級授業 R4年6月19日(月) 丈夫な体を作るために自分の苦手な食べ物を進んで食べようとする姿勢を育てたい。	6
石狩	江別市／ 江別市立別第三中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年学年集会 R4年7月6日(水) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	76
石狩	江別市／ 江別市立大麻中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	特別支援学級授業 R4年7月7日(木) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	15
石狩	江別市／ 江別市立江別第一中学校／ 食育の学習	体のことを考えて食べているか考える	特別支援学級授業 R4年7月19日(火) 身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。	6
石狩	江別市／ 江別市立大麻東中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年学年集会 R4年8月24日(水) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	89

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立野幌中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年授業 R4年10月25日(火) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	106
石狩	江別市／ 江別市立野幌中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年授業 R4年10月25日(火) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	106
石狩	江別市／ 江別市立江別第三中学校／ 食育の学習	自分の食生活のあり方を見直そう	2学年学年集会 R4年11月8日(火) 成長期である中学生期に必要な栄養素や食品の取り方についての知識を身につけるとともに、自身の健康を守るために考える力を付けたい。	93
石狩	江別市／ 江別市立大麻中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年学年集会 R4年11月15日(火) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	129
石狩	江別市／ 江別市立大麻中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	2学年学年集会 R4年11月15日(火) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	139
石狩	江別市／ 江別市立大麻中学校／ 食育の学習	受験期の食事とこれからの食生活について考える。	3学年学年集会 R4年11月15日(火) 自身の生活を見つめ直し、健康を守る大切さを伝えるとともに、脳と栄養の関係を理解し、受験への体制づくりや健康的な生活習慣の実践につなげる機会としたい。	132
石狩	江別市／ 江別市立江陽中学校／ 食育の学習	受験期の食事とこれからの食生活について考える。	3学年学年集会 R4年11月22日(火) 自身の生活を見つめ直し、健康を守る大切さを伝えるとともに、脳と栄養の関係を理解し、受験への体制づくりや健康的な生活習慣の実践につなげる機会としたい。	77
石狩	江別市／ 江別市立江陽中学校／ 食育の学習	中学生の栄養とスポーツ栄養について考える。	1学年学年集会 R4年11月24日(木) 中学生時の食習慣や部活動などのスポーツに関する栄養について学ぶ。	81
石狩	江別市／ 江別市立江陽中学校／ 食育の学習	中学生の栄養とスポーツ栄養について考える。	1学年学年集会 R4年11月24日(木) 中学生時の食習慣や部活動などのスポーツに関する栄養について学ぶ。	81
石狩	江別市／ 江別市立江別第三中学校／ 食育の学習	受験期の食事とこれからの食生活について考える。	3学年学年集会 R4年12月6日(火) 自身の生活を見つめ直し、健康を守る大切さを伝えるとともに、脳と栄養の関係を理解し、受験への体制づくりや健康的な生活習慣の実践につなげる機会としたい。	91
石狩	江別市／ 江別市立中央中学校／ 食育の学習	成長期に良い食習慣を身につけよう	1学年学年集会 R4年12月12日(月) 中学生時に望ましい食習慣を形成することの重要性を理解し、自身の食生活の問題点への改善意欲を持ち、健康づくりに自主的に取り組もうとする姿勢を育てたい。	168

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別市／ 江別市立中央中学校／ 食育の学習	自分の食生活のあり方を見直そう。	2学年学年集会 R4年12月12日(月) 成長期である中学生期に必要な栄養素や食品の取り方についての知識を身につけるとともに、自身の健康を守るために考える力を付けたい。	165
石狩	江別市／ 江別市立中央中学校／ 食育の学習	受験期の食事とこれからの食生活について考える。	3学年学年集会 R4年12月19日(月) 自身の生活を見つめ直し、健康を守る大切さを伝えるとともに、脳と栄養の関係を理解し、受験への体制づくりや健康的な生活習慣の実践につなげる機会としたい。	188
石狩	江別市／ 江別市立野幌中学校／ 食育の学習	自分の食生活のあり方を見直そう	2学年学年集会 R5年2月14日(火) 成長期である中学生期に必要な栄養素や食品の取り方についての知識を身につけるとともに、自身の健康を守るために考える力を付けたい。	120
石狩	千歳市／ 市内小学校・中学校／ 栄養教諭による食に関する指導	より良い食生活の実践を通じた心と身体の健康な子の育成	栄養や食事のとり方などについての学習を、栄養教諭配置校(小学校)は全学年、配置校以外は小学1年生、小学3年生、小学4年生、小学6年生、中学校1年生を対象に実施 教科との連携を図り、家庭科において小学校6年生「朝食から健康な一日の生活を」について授業を実施 小学校18校(4,123人)、中学校8校(717人)	4,840
石狩	恵庭市／ 子ども未来部すみれ保育園／ 保育所給食「食育の日」献立実施	・「食育月間」「食育の日」の啓発 ・給食や地元農産物等食に対する関心を高める。	日程:令和4年6月17日(金) 対象者:市内保育園・認定こども園(13園)園児 概要: ・初夏の恵庭産・北海道産の食材を取り入れた献立を提供。 ・恵庭産チンゲン菜の他、北海道産野菜を使用したシチュー、恵庭産白かぶとブロッコリーを使用した和え物、恵庭産いちごを取り入れ、また、恵庭市の特産物「えびすかぼちゃ」を使用したかぼちゃだんごをおやつで提供した。地元産農産物を知る機会として給食提供を行い、保護者に対しては「食育だより」のなかで「食育月間」「食育の日」献立について周知した。 【実施献立】地元野菜のシチュー、白かぶとブロッコリーの和風和え、鮭ザンギ、いちご、ごはん(午後間食)えびすかぼちゃだんご、牛乳 課題: ・市内保育所(民間園)については、食材の購入先が限定されている場合があり、市内全園での産地を限定した給食提供が難しい状況がある。	1,000
石狩	北広島市／ 市内小中学校14校(東広島市小中学校17校)／ 姉妹都市子ども大使交流事業給食交流	北広島市と姉妹都市である広島県東広島市の姉妹都市子ども大使交流事業の一環として、両市の友好親善を深めるとともに、ふるさと意識の醸成を図り、地域社会の一員としての自覚を持たせる。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度における両市の派遣交流中止を決定したことに伴い、給食交流を実施。令和5年度以降も継続。	(概要) 北広島市(北海道)と東広島市(広島県)のお互いの郷土料理のレシピ交換を行い、給食としてそのメニューを互いの市で提供する。また、その郷土料理について、代表校にて児童・生徒が紹介する動画(音声)を作成し、提供日の給食時間に放送する。また、給食交流についての記事を両市の給食だよりに掲載する。 (実施時期) 北広島市:令和4年12月 東広島市:令和4年8月 (交流対象) 市内全小中学校 (交流メニュー) 北広島市→東広島市:スープカレー 東広島市→北広島市:ひろしまチキチキレモン	4,263
石狩	石狩市／ 石狩市内全小中学校／ 「いしかりデー」の実施	・児童や生徒に石狩産の食材を紹介することにより地元食材への関心を高める。 ・石狩の良いところを再認識し郷土愛を深める。 ・給食を通して地産地消の良さについて理解する。	□時期:6月14日(火)、7月6日(水)、8月31日(水)、9月12日(月)、10月19日(水) □概要: ・普段よりもさらに多く石狩産食材を使った学校給食を提供する。(トマチャについてポスターや予定献立表裏面で紹介)	4,954

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	石狩市／ 【石狩市旧石狩地区】全小学校 ／ バイキング給食	・小学校最後の思い出作りをするため、楽しく和やかな雰囲気の中で給食をとってもらう。 ・食事のマナーや思いやりの心を育てる。 ・3色栄養のバランスと栄養価について理解させる。	□時期:3月10日(金) □概要: ・6年生対象に実施。 ・事後アンケートを実施し、楽しい給食となったのかを評価する。また、栄養診断を行い、摂取カロリー及び3色栄養バランスの見直しを行う。	511
石狩	石狩市／ 【石狩市厚田・浜益地区】全小中学校 ／ セレクト給食	・1食分の食事を考える活動を通して、自分の食生活に関心を持ち、食品や料理の組み合わせによって栄養バランスのとれたメニューになることを理解し、楽しく食事をする。	□時期:3月8日(水) □概要: ・給食献立(主菜・デザート)を児童生徒自らが選択することにより、自分の食生活に関心を持ち、食事の楽しさを再認識する機会とする。	121
石狩	石狩市／ 石狩市内全小中学校 ／ 食に関する指導	・児童や生徒が栄養や食事の摂り方に関して、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力を身に付け、健康で豊かな人間性を育てていくことができるようにする。	□時期:通年 □概要: ・給食時間のほか、各教科時間、特別活動の学級活動時間、総合的な学習時間等、学校の教育活動全体の時間を使いながら栄養教諭による食に関する指導を実施する。	4,942
石狩	石狩市／ 石狩市学校給食センター ／ 大人の食育講座	・学校給食を通し、食事の大切さや共食する良さを感じ、豊かな食生活に繋がることが目指す。また、石狩市学校給食センターを食育の発信拠点として認識してもらう。	□時期:学校給食のある第4水曜日(個人向け)、通年(団体向け) □概要: ・市の栄養士による給食センター施設紹介、食育講座、給食の試食を行う。	67
石狩	当別町／ 当別町内小中学校・義務教育学校 ／ 食育授業	生涯にわたって健康な生活を送るため子どもたちに健全な食習慣を身につけること。	時期 6月～11月 場所 町内全校(クラスごと) 栄養教諭が各学校に訪問し、各学年に応じた授業をおこなう。 授業内容(一例) 1年生「目指せ! マナーの達人」(食事のマナー、箸の使い方) 2年生「当別産野菜の秘密」(地場産物野菜の紹介)	915
石狩	当別町／ とうべつ学園 ／ 訪問給食	食への興味を高め、食べる意欲へとつなげていくこと。	時期 5月 場所 とうべつ学園1年生(クラスごと) 栄養教諭が各クラスに訪問し、給食時間の少し時間をいただき、給食センターの紹介や全体へ食指導を行っている。 令和4年度は、希望校のみ実施。	40
石狩	当別町／ 当別町内小中学校・義務教育学校 ／ セレクト給食	バランスよく食べることを意識して、食事を選択し、バイキングのマナーなどを学ぶ。	小学校・義務教育学校6年生 時期 2月 場所 西当別小学校(38名) とうべつ学園(47名) 中学校3年生・義務教育学校9年生 時期 11月 場所 西当別中学校(43名) 時期 12月 場所 とうべつ学園(53名)	181
石狩	新篠津村／ 新篠津村立新篠津小学校 ／ 給食指導	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:小学校食堂、給食喫食教室 ○栄養教諭より、毎日の給食時間にクイズ方式などで食に関する豆知識を放送し食に関心を持たせる。	128
石狩	新篠津村／ 新篠津村立新篠津小学校 ／ 給食マナー週間・学校給食週間	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:小学校食堂、給食喫食教室 ○6月と1月に保体委員会を中心に完食調べや食事のマナークイズ等を実施し、理解を深める。	128

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	新篠津村／ 新篠津村立新篠津小学校／ 栄養教諭による指導	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:各教室 内容:1年「感謝して食べよう」「きゅうしょくのこともっとしよう」 2年「食事のマナーを確認しよう」「給食について知ろう」 3年「野菜のパワーについて知ろう」「みんなでおいしくたのしくたべよう」 4年「おいしくたべよう」「おいしくたのしくたべよう」 5年「おいしくたのしくたべよう」 6年「バイキングの給食について」	128
後志	寿都町／ 寿都小学校、潮路小学校、寿都中学校、寿都高校／ 給食指導	給食の献立を通じて地場産物をはじめとした食に関する知識の情報提供・紹介を行う。	対象:各学校の児童・生徒 時期:4月、5月、6月、12月、1月、2月、3月 場所:各学校 内容:「箸の持ち方について」「好き嫌いをしない大切さ」「運動と食事について」「よくかんで食べよう」「味わって食べてみよう」「菌の役割とカルシウム」「修学旅行での過ごし方について」「冬の野菜を知ろう」「年末年始の行事食」「風邪を防ぐ食生活のポイント」「ごはんをおいしく食べるひみつ」「大豆について知ろう」「じょうびな骨をつくろう」「生活習慣について」「コンビニでの食事の選び方」	246
後志	寿都町／ 寿都小学校、潮路小学校、寿都中学校、寿都高校／ 食育だより	給食指導では伝えきれない、食事や食生活に関する情報を発信する。	対象:各学校の児童・生徒・保護者 時期:5月、9月、12月 内容:「自分の力を引き出す食事のポイント」「ジュースの砂糖」「災害への備え」「給食アンケート結果・給食への質問に対する回答」を家庭向けに配布。	492
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／ ルスツふるさと給食まつりの開催	学校給食に地場の食材や地元業者が製造した食品を集中的に提供し、献立に合わせた食に関する指導をすることで、子どもたちにふるさとの産業を伝える。	実施日:令和4年11月7日(月)～11月11日(金) 場 所:各学校 内 容:ルスツ羊蹄ふたを使用した豚丼や、ルスツみそまんじゅう、ルスツリゾートのアロニアシロップがけミルクゼリーなどを給食で提供した。また、ルスツ羊蹄ファームの農場長に小中学校で講話をしていただいたり、給食ができるまでのDVDを視聴したり、留寿都産野菜の実物展示を行ったりした。	170
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／ 全国学校給食週間における取組	全国学校給食週間を通じて毎年テーマを変え、様々な地域や国の食文化にふれるきっかけをつくる。	実施日:令和5年1月24日(火)～1月30日(月) 場 所:各学校 内 容:今年の全国学校給食週間は「世界味めぐり」として、ベトナムやアメリカなど、世界の料理を学校給食で提供した。当日は掲示板や給食メモを活用し、それぞれの国や料理の特徴、由来などを紹介して、興味関心を持たせた。	170
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 食育指導	給食を生きた教材として活用し、児童に望ましい食習慣を身に付けさせる。	時 期:1～4年生…年1回ずつ、5・6年生…年2回ずつ 場 所:各学級 内 容:発達段階に応じて、野菜のはたらきやおやつを取り方、栄養バランスなどについて指導し、望ましい食習慣を身に付けさせる内容とした。実物やICTなども活用している。	81
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／ 学校給食だより	児童生徒とその保護者に対し、学校給食や食に関する情報を提供する。	時 期:毎月1回発行 内 容:季節に合わせた内容や、学校給食レシピ、家庭で取り組んでもらいたい食育などについて周知した。	170
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／ 食育だより	児童生徒とその保護者に対し、学校給食について、実際の取り組み内容や様子について発信する。	時 期:不定期発行(令和3年度は2部発行) 内 容:村内の高校、業者から食材を提供していただき、学校給食に活用した旨を知らせた。	170
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／ 地産地消の推進	地元の農産物を使った給食を提供することで、児童及び生徒に地場産物の良さや豊富さ、食の大切さを伝える。	時 期:道の駅の野菜については通年使用。 留寿都高校で生産している野菜は8～10月に提供いただいた。 留寿都村の業者より、5月～1月にかけて食材を提供いただいた。 場 所:各学校 内 容:生産者の協力を得て、地元農産物を学校給食に提供した。また、給食メモを配布して地元の食材について紹介した。	170

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
後志	留寿都村／留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／栄養教諭による給食時間訪問	給食を通じて、食の重要性や栄養素、食事のマナーなどについて指導し、望ましい食習慣を身に付けさせる。	時期: 小学校は通年。中学校は月に1回の訪問。 場所: 各学校 内容: 学校で統一した指導をすることで、児童生徒に望ましい食習慣を身に付けられるよう、給食時準備や後片付け、食事マナーなどについて指導、助言を行った。訪問できない学級、学校に対しては、給食メモを配布し、情報提供に努めた。	170
後志	留寿都村／留寿都村立留寿都小学校、留寿都村立留寿都中学校／やぶ&ルスツなかよしカレーの提供	姉妹都市である養父市との交流を深める。留寿都村及び養父市の地場産物について興味・関心を持たせる。	時期: 令和4年10月13日(木) 場所: 留寿都小学校、留寿都村公民館、養父市立大屋小学校(リモート) 内容: 養父市・留寿都村姉妹提携40周年記念事業に合わせ、養父市と留寿都村の学校給食において共同献立「やぶ&ルスツなかよしカレー」を提供した。提供日には、会議アプリZOOMを使用し、会場をオンラインで接続して交流した。カレーライスには、養父市から贈呈された蛇紋岩米と留寿都村から贈呈されたじゃが芋、玉ねぎ、にんじんを使用した。	175
後志	共和町／町内各小中学校／食育指導	食べ物を大切にすることを育み、食べ残しを減らす。	・栄養教諭が中核となり、地場産物を使用した学校給食の提供やリザーブ給食を実施 ・残食の傾向や原因を把握するために、各学校の学級ごとに「残食調査」を実施 ・残食調査の結果周知や食に関する情報の発信として、給食だよりの発行 ・各地に伝わる郷土料理を提供	376
後志	共和町／町内各小中学校及び各幼児センター／ふるさと給食	共和町の新鮮で安心な農産物を学校給食の食材として多く使用することで、幼児・児童生徒の地場産物に対する理解を深め、ふるさとを大切にすることを育む。	令和4年度 ふるさと給食 実施日: 令和4年11月9日(水) 場所: 町内小中学校・幼児センター 内容 ・共和町の新米をはじめ、地元で収穫された新鮮な野菜を利用したメニューを考案し、地産地消を推進	635
後志	共和町／町内各小中学校／きょうわDAY	地産地消の推進、ふるさとの食に興味を持たせる。	・5月～11月の間で月1回以上の実施 ・共和町産の食材を使用した給食を提供	635
胆振	苫小牧市／苫小牧漁業協同組合、とまこま広域農業協同組合、苫小牧市学校給食会／初めて地元の海産物と農産物を同日のメニューとして提供	地元の漁協と農協が教育委員会や学校給食会に働きかけ、地元の農海産物の食材を使用した「コラボメニュー」で地産地消を推進する。	令和4年11月から【食材】苫小牧産ほっけ和風フライ、メークイン(スープカレー、ビーフカレー、シーフードシチュー、ポトフ)、ごはん(厚真産さくら米) ※メークインは、市場に出回らない小さいものを採用 苫小牧は水産物、農産物の多種多様な収穫があり、学校給食で地元食材の活用は食育としても重要な取り組みに位置づけ、必要量の確保や大量・迅速調理における課題などを3者で共有。地元生産者や事業者の支援は地域経済の活性化につながり、これまで以上に連携を密にした体制とアイデアで地産地消を推進する。	14,000
胆振	むかわ町／町内小中学校5校／地元の食材の提供	地元産の食材の周知	対象: 町立小中学校生徒 小学生 1年生31名 2年生53名 3年生34名 4年生58名 5年生55名 6年生 45名 中学生 1年生59名 2年生45名 3年生53名 時期: 令和4年6月 町内小中学校5校へ、地元で生産された豚肉を給食で提供	433
胆振	むかわ町／町内小中学校5校／栄養教諭による食の指導	食に関する知識を身につける。	対象: 町立小中学校生徒 小学生 1年生31名 2年生53名 3年生34名 4年生58名 5年生55名 6年生 45名 中学生 1年生59名 2年生45名 3年生53名 時期: 令和4年4月～令和5年3月 各校の学習内容に合わせた食の指導	433
胆振	むかわ町／むかわ町立穂別中学校／	学校給食の意義を伝えることで健全な心身を育むため。	・栄養教諭が各学校へ訪問し、学年に応じた内容で食に関する指導を行った。 ・11月～12月	20

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
胆振	登別市／ 登別市立登別小学校／ 「すききらいなくなんでもたべよう！」	・食べ物にはそれぞれ体に良い特徴があることを理解する。 ・なんでも食べることや、苦手な物でも主体的に食べようと努力する態度を養う。	・実施日：12月6日(火)4校時 ・実施学年：小学校2年生 ・内容：食べ物にはどのような良いところ(体への効果)があるかを紙芝居の読み聞かせを通して学んだ。 ・成果：児童は、苦手な食べ物にも体への良いはたらきがあり、特に給食では体の成長のために大切なはたらきをする食材を多く取り入れているということを理解することができた。	16
胆振	登別市／ 登別市立登別小学校／ 「食べ物の働きについて知ろう」	・食品を3つ働きのグループに分けることができる。 ・食品の3つのグループの働きと、それぞれの働きの食品が不足すると体はどうなるのかがわかり、積極的に食べようとする意欲を育てる。	・実施日：12月13日(火)4校時 ・実施学年：小学校5年生 ・内容：食べ物がもつ働きは、体をつくる、エネルギーのもとになる、体の調子を整えるの3つに分けることができることを理解させ、自分たちでその日の給食に使われる食材がどの働きをもつか考えさせた。 ・成果：給食には、3つのグループの食品がバランスよく入っていることを理解することができた。自分で食べるものを選択するとき、3つのグループのバランスを意識すると健やかな成長につながることも理解することができた。	16
日高	新冠町／ 新冠町立新冠小学校／ ふるさと給食	児童に地場産物を使用した給食を通して、地産地消や地域について理解を深めてもらうため。	対象：児童 時期：2022年6月29日、2022年10月26日 場所：新冠小学校 内容：地場産物を多く使用した給食献立の提供	247
日高	新冠町／ 新冠町立朝日小学校／ ふるさと給食	児童に地場産物を使用した給食を通して、地産地消や地域について理解を深めてもらうため。	対象：児童 時期：2022年6月10日、2022年10月5日 場所：朝日小学校 内容：地場産物を多く使用した給食献立の提供	52
日高	新冠町／ 新冠町立新冠中学校／ ふるさと給食	生徒に地場産物を使用した給食を通して、地産地消や地域について理解を深めてもらうため。	対象：生徒 時期：2022年6月24日、2022年10月12日 場所：新冠中学校 内容：地場産物を多く使用した給食献立の提供	158
日高	浦河町／ 浦河町各小中学校(7校)／ 事業名：「浦河産レタス給食」	地場産物を活用し、地域や日本を知り大切にする心や感謝の心を育てる。	・浦河産の春レタス野菜を町内農家より購入し、浦河産給食の献立(春レタススープ)として提供。また、給食時間にあわせ、栄養教諭等が浦河産レタスについて児童生徒に解説。 ・実施日：令和5年3月8日 ・対象：町内各小中学校(7校)	711
日高	浦河町／ 浦河町各小中学校(7校)／ 事業名：「防災給食」	正しい知識、情報に基づいて、自ら判断できる能力を身につけさせる。	・9月の「防災の日」に合わせて、災害時を想定した給食を提供。 ・実施日：令和4年8月25日 ・対象：町内各小中学校(7校)	711
渡島	鹿部町／ 鹿部町立鹿部小学校／ 鹿部産秋鮭、スケトウダラを使った給食の提供	食育の推進のため。	対象：小学校、給食センター 時期：10月 場所：大船地区さけ・ますふ化場、小学校 内容：鮭の放流、遡上見学等鮭の成長から食されるまでの一連を学習	30
檜山	厚沢部町／ 厚沢部町立厚沢部小学校、厚沢部町立鶴小学校、厚沢部町立館小学校、厚沢部町立厚沢部中学校／	給食に関する指導	対象：全小中学校 時期：通年(各学年年間2回以上実施) 場所：各小中学校教室 内容：喫食開始前にその日の献立に関する知識などを児童生徒に教えたり、給食時間中に食べ方の指導を行ったりする。	250

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
檜山	今金町／ 町内各小中学校／ 今金産黒毛和牛を使用した給食の提供	地場産黒毛和牛を食することで地域の畜産業に関心を持つ事を目的とする。	開催日…令和4年9月2日(金) 場所…町内各小中学校 提供メニュー…スープカレー・フルーツ白玉・牛乳 概要等 JA和牛生産改良組合、JA今金町、町産業振興課の協力のもと、今金産黒毛和牛の肉を安価で提供していただき、学校給食センターで給食として提供。和牛生産者が各小中学校で食事の前に和牛に関する講話をし、交流しながら給食を食べる事で、生産者を身近に感じ、畜産業に関心を深めることができた。(今年度に関しては、コロナウイルスの影響もあり、生産者の方を学校へ呼ぶ形ではなく、Zoomや映像を通して講話して頂いた。) また、今年度は今金小学校と種川小学校6年生を対象にした、JA主催の「地元食材を使用した食育教室」と合同で実施した。	370
檜山	今金町／ 町内各小中学校、認定こども園いまかね／ ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日	生産者より提供された地場産品を生産者と一緒に食すことにより、地場産物への関心や生産者への感謝の気持ちをもつ機会、また、児童生徒と生産者が直接接することでお互いの理解を深める機会とする。	開催日…令和4年11月18日(金) 場所…町内各小中学校、認定こども園いまかね 概要等 調理メニュー…塩おにぎり、今金いっぱい汁、ふかし芋、牛乳 内容 本来であれば、PTA・JA女性部・生産者の方々の協力を得て実施していたが、今年もコロナ禍の影響のため、従来通りの献立提供が困難であることから、内容を変更して実施。調理における協力は参集せず、生産者様から食材提供をして頂き、素材の味を楽しんでもらいたいという趣旨のもと、給食形式での提供を実施。「今金いっぱい汁」は、今金町のJA女性部の方々が考案した、今金の食材をふんだんに使用した汁物。地元産の食材を味わえる献立であり、かつ密を避けるための調理も給食センター職員のみで対応できることから感染予防対策も講じた事業実施となっている。	520
檜山	今金町／ 今金町立今金中学校／ 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】おにぎり作り体験学習	自分でおにぎりを作る事により、作ってくれる人へ感謝の気持ちを持つ。おにぎり作りを体験する事により、将来自分でお弁当を作れるようになる。 今年度は12月4日の日曜参観日に合わせて、1年生はおにぎり弁当を自分で作って持参した。	開催日…令和5年2月20日(月) 場所…今金中学校食堂 概要等 対象…今金中学校1年生 概要等…栄養教諭 内容 本来であれば、ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日で提供される今金産の「ふっくりんこ」を使用して、自分でおにぎりを握る体験をしており、調理協力をいただいたJA女性部の方を講師として事業を行っていたが、今年度は例年同様の実施が困難であったため、別日に実施。感染対策上、友達と楽しく話しながら握ることは難しかったが、一緒ににおにぎりを作るという行為自体が楽しい上に、自分で握ったおにぎりが予想以上に美味しいと回答していた。普段何気なく食べているおにぎり作りが意外と難しく、特に三角のおにぎりを握る事が難しかったと回答。難しさを自分で実感することにより、作ってくれている人への感謝の気持ちが生まれていた。	39
檜山	今金町／ 今金町立今金中学校／ 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】洋食のマナーを体験しよう！	洋食のテーブルマナーを学ぶことにより、基本的な作法の習得を目指し、日常の食生活や将来洋食を食べる機会の際に役立ててもらおう。また、作っていただいた食事を大切にいただく気持ちを育む事も目的とする。	開催日…令和4年12月4日(日) 場所…今金町民センター 対象…今金中学校2年生 講師…八千よ 大倉 寮 氏 テーマ…「洋食のマナーについて」 提供メニュー 「コーンスープ」「クロワッサン、ソフトフランス」 「若鶏のソテー季節の野菜添え」 「野菜サラダ」「カシスシャーベット」 内容 今金町の料理店に洋食を作っていただき、コース料理の形式で提供。料理の配膳については、日曜参観日に実施する事で保護者から協力をいただき保護者の皆さまと給食センター職員で給仕したが、今年度は感染予防対策上、給食センター職員のみで対応。飛沫感染予防のため、つい立使用。	29
檜山	今金町／ 町内各小中学校／ 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】バイキング給食	個人にとって必要なバランスを良くとるために、食べ物の組み合わせ方を覚え、食事を選択する周りの人等を考える等、栄養を意識した食事を選択する力とマナーを体験する。	開催日…令和5年1月25日(水) 今金中学校3年生 令和5年2月7日(火) 種川小学校全校児童 令和5年3月15日(水) 今金小学校6年生 講師…栄養教諭 内容 主食・主菜・副菜・デザートをそれぞれ数種類用意し、栄養バランスを学ぶため各品目から取る目安を伝える。 食べていた食材を栄養素のグラフに図示し、取れている栄養素・不足している栄養素を把握し、今後の食生活に活かす。	110

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
檜山	今金町／ 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】お弁当作り体験	中学校を卒業したら給食が無くなることから、食と向き合うきっかけとする。 限られた食材の中から献立を班毎に考え、作り方を各家庭で教えてもらう事で家庭と連携し、工夫して調理する事により、お弁当を作ってくれる人の苦労を学び、感謝の気持ちを育む事を目的とする。 今年度は12月4日の日曜参観日に合わせて3年生はお弁当を自分で作って持参した。	開催日 令和4年10月28日(金)お弁当のおかずを考えよう(事前学習) 令和4年11月7・8日(月・火)お弁当のおかずを作ろう 講師……栄養教諭 内容 ●事前学習 生徒は各班に分かれて、肉料理の献立を示された食材から考えて決める。作り方のレシピは家庭で教えてもらう等家庭のサポートをいただく。 ●体験学習 厚焼き玉子は全員必修で作る。 お弁当箱に作った肉料理、厚焼き玉子、当日の給食の献立を盛り付けて、当日の給食と一緒に食べる。調理器具の用意から後片付けまで、一連の作業を行う。	39
檜山	今金町／ 今金町立今金中学校／ 食に関する指導	今金町で作られた食材を食べる良さを知る。	開催日…令和4年11月15日(火) 場所…今金中学校 対象……今金中学校1年生 講師……栄養教諭 テーマ……「地産地消」	39
上川	東神楽町／ 東神楽町立東神楽小学校／ 食に関する指導の取組	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	9月28日:1年生24名「おはし名人になろう」 11月16日:6年生26名「工夫してこんだてを考えられるようになろう」 1月3日:4年生27名「食べ物の大切さについて考えよう」 3月8日:3年生29名「バランスよく食べよう」 3月13日:5年生34名「食べ物の大切さについて考えよう」 3月22日:2年生27名「食事のマナーについて考えよう」	167
上川	東神楽町／ 東神楽町立東聖小学校／ 食に関する指導の取組	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	対象:全校生徒 時期:12月1日 場所:東聖小学校 内容:栄養教諭がおせちや給食について説明している動画を児童に見せた。	490
上川	東神楽町／ 東神楽町立志比内小学校／ 食に関する指導の取組	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	対象:全校生徒 時期:12月上旬 場所:志比内小学校 内容:栄養教諭がおせちや給食について説明している動画を児童に見せた。	6
上川	東神楽町／ 東神楽町立志比内小学校／ 食に関する指導の取組	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	対象:全校生徒 時期:12月15日 場所:志比内小学校 内容:バランスよく食べよう	7
上川	東神楽町／ 東神楽町立東神楽小学校、東神楽町立東聖小学校、東神楽町立志比内小学校/東神楽中学校／ 食に関する指導の取組	学校給食を活きた教材として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について情報提供を行う。	対象:全校児童生徒 時期:毎日 内容:給食日めくりカレンダーや校内放送等で、使用している地場産物や給食に関する情報を伝えた。	995
上川	下川町／ 下川町認定こども園、下川町立小学校、下川町立下川中学校／	とまとジュースの日	本町の特産品である、とまとジュース「ふるさとの元気」を月1回程度各学校に提供することで、地域で生産された食材を地域で食す「地産地消」の理解と意識を促し、食育へと繋げていく一環として実施している。	273

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	富良野学校給食センター／「ふるさと給食」	子どもたちが「地産地消」の意味や意義を学習し、食の大切さや食材の生産・加工・流通を学ぶと共に、生産者に対して感謝の気持ちを育むことを目的とする。	令和4年9月6・9日 ・地元農家、生産・加工業者の協力のもと使用食材の約9割を地元で賄いご当地グルメで知られている「富良野オムカレー」やふらの地域の野菜とベーコンをたっぷり使用した「ふらの野菜とベーコンのスープ」、「豆腐のホワイトソースグラタン」「ふらの牛乳」などを特別メニューとして提供。 ・地産地消の啓発と普及のため生産者の顔写真とコメントを動画と給食だより特別号を作成して食育に活用。富良野市のHPIにも掲載。	2,141
上川	富良野学校給食センター／「ふるさと食材の日」	「ふるさと給食」に加えて、地元の旬な食材を知ってもらう機会とする。	5月～2月(9月を除く)期間 ・月1回地元で採れる旬の食材を使用したメニューを提供。給食だより号外を発行して食材を生産者とともに紹介し、食育の理解を深める。 ・動画を作成し食育に活用。	2,141
上川	富良野市内、中富良野町内、占冠村内各小中学校／「食に関する指導」	学校給食を「生きた食材」として活用し、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう指導する。	学校給食を供給する3市町村の小中学校からの希望に応じて、3名の栄養教諭による食の指導を実施 ・実施時期 4月～3月 ・対象校3市町村 21校(小学校13校、中学校6校、義務教育学校2校) ・実施内容 各教科、給食時間等における指導 ・年間指導計画作成及び給食だよりの発行 ・児童・生徒と保護者、学校との個別相談	2,141
上川	美深町／美深町内各小中学校／栄養教諭による食育授業	・生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るために望ましい食習慣の定着と食生活の関心を高める。	・時期: 令和4年5月から12月 ・対象: 各学校各クラス1回 ・実施方法: 勤務校は年間計画、連携校は指導内容を調査し、学校の希望に沿った指導を行う。	230
上川	美深町／美深町学校給食センター／地産地消の推進	・地場産品を給食に取り入れることにより、地元の食文化にふれ、知識や役割などの関心を深めつつ、地産地消を推進していく。	・地元でとれたアスパラ、メロン、じゃがいも、葉菜類、もち米、牛肉等を使った献立を作成し、可能な限り地場産の食材を使用するよう努めている。	230
上川	美深町／美深町学校給食センター／お弁当レシピ	・お弁当を作ることで、食を大切に、感謝する心を育て、生きる力を身につける。	・時期: 3月上旬 ・対象: 卒業生(中学3年生) ・概要: 学校給食の献立も取り入れながら簡単お弁当レシピとお弁当を作る際のポイントなどをわかりやすく載せている。	25
上川	中富良野町／中富良野町立宇文小学校	食育・地産地消・農業の体験学習	時期 5月～12月 場所 学校、学校農園、農産物加工センター] 内容 春小麦作付け、刈り取り、脱穀、製粉、食品への加工・調理 参加人数内訳 P戸数(5)10名 児童9名、地域人材2名、教職員9名	30
上川	中富良野町／中富良野町立西中小学校	食のマナーを身に付けるとともに、健康的な食生活の実践力や感謝の気持ちを育てる。	7月14日(木) 栄養教諭を招いて、各学級(複式3学級)で1時間程度の授業を行った。 低学年「給食のひみつを知ろう」 中学年「食べ物のたはらきを知ろう」 高学年「大切な朝ごはん」をテーマに、「栄養のバランス」「体によい食べ方」などについて学ぶことができた。	18
上川	中川町／中川町教育委員会／「子ども弁当事業」	・共通の食事を食べる機会を通じ、食育の推進を行う。 ※学校給食を実施していない町のため、普段は家からお弁当を持参。(ミルク給食)	対象: 中川町中央小学校 児童 時期: 令和4年4月～令和5年3月 計11回延べ人数704人 場所: 中川町立中央小学校 内容: 児童全員が同じお弁当を食べる機会により、食べる楽しさや必要な食事量への理解につなげ、さらに食への関心や大切さへの気づきにつなげる機会とする。	704
上川	中川町／中川町教育委員会／「子ども弁当事業」	・共通の食事を食べる機会を通じ、食育の推進を行う。 ※学校給食を実施していない町のため、普段は家からお弁当を持参。(ミルク給食)	対象: 中川町中川中学校 生徒 時期: 令和4年4月～令和5年3月 計11回延べ人数275人 場所: 中川町立中川中学校 内容: 生徒全員が同じお弁当を食べる機会により、食べる楽しさや必要な食事量への理解につなげ、さらに食への関心や大切さへの気づきにつなげる機会とする。	275

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	当麻町／ 当麻町立当麻中学校／ 「食に関する日常指導」	○規則正しい食事の重要性や食事の楽しさを理解する。 ○自分自身の食生活に関心をもち、心身の成長や健康の保持増進のため望ましい食生活について考え、実行しようとする態度を育成する。	○学級ごとの給食時間において、盛り付け、配膳、後片付けについての指導するとともに生徒自らが考え実行する。 ○新型コロナウイルス感染症防止の観点にたった食事の在り方を生徒自ら考え実行する。 ○毎月発行される「給食だより」を活用し、心身の成長と健康の保持増進を踏まえ、望ましい食習慣の在り方を考える。	143
上川	当麻町／ 当麻町立当麻小学校／ 「食に関する指導」(栄養教諭の指導)	○食事の重要性や楽しさを理解させる。 ・心身の成長や健康の保持増進のため、正しい知識を身に付ける、など	○各学級に給食時間の中で、配膳、後片付け、栄養について指導 ○感染症拡大防止に向けた「黙食」の徹底 ○高学年に、食に関する指導を実施	270
上川	当麻町／ 当麻町立宇園別小学校	栄養素の働きや食事のマナーを学ぶ。	令和4年度は定期的に、当麻町の栄養教諭により給食時に指導を行った。	15
上川	士別市／ 士別市内小・中・高等学校／ ふるさと給食・地元産の小麦を使ったパンの提供	地元産農畜産物を使用した食を通じて地域の産業や自然の恵みを理解し、また生産や流通などに関わる人々との交流を深めることなどを通じて、食育の推進に努めるとともに、地場産食材の消費拡大を図る。	年間計8回実施。地元食材については農家へ直接交渉し作付けを依頼するほか、収穫物の情報を集めて給食に利用している。献立表の食材についての情報を掲載するなど工夫をしている。	9,750
上川	和寒町／ 和寒町立和寒小学校、和寒町立和寒中学校／ 「ふるさと給食」	地元産の食材を知り、親しみながら味わう。	年間数回(給食センターより時期についてその都度知らせがある)担任から食材についての指導を行う。	201
上川	和寒町／ 和寒町立和寒小学校、和寒町立和寒中学校／ 食に関する授業	食に関わる知識を身につけ、バランスの良い食生活を心がけさせる。	各学年1回ずつ広域配置の栄養教諭1名(士別～和寒)による食に関する授業実施。	201
上川	名寄市／ 名寄市学校給食センター／ アレルギー給食の実施	食物アレルギーを有する児童生徒もアレルギーのない児童生徒と同じように学校給食を楽しめるように、安全性を最優先とした給食の提供を行う。	通年 名寄市内各小中学校 ・実態を踏まえた適切な対応 ※提供数や日にちが異なるため参加者数不明	1,800
上川	名寄市／ 名寄市学校給食センター／ 地場産品の活用による学校給食の教育的効果の引き出し	学校給食食材としての積極的使用による食育教育や地場産業との連携。	名寄市内各小中学校 ・主食米の年間使用 ・パン用小麦の使用 ・旬に応じた野菜 ・地場産野菜の冷凍品 ・地場産加工品 ※提供数や日にちが異なるため参加者数不明	344,000
上川	名寄市／ 名寄市学校給食センター／ 季節行事食の提供	伝統料理を献立に組み込み、国や地域の伝統文化を継承してゆくための関心や意欲を高めるきっかけ作り。	名寄市内各小中学校 ・卒入学祝い赤飯、冬至かぼちゃ、節分など ※行事によって提供数や日にちが異なるため参加者数不明	5,160
上川	美瑛町／ 美瑛町立美瑛小学校、美瑛町立美瑛東小学校、美瑛町立美馬牛小学校、美瑛町立美沢小学校、美瑛町立明德小学校、美瑛町立美瑛中学校、美瑛町立美馬牛中学校／	美瑛産の食材を最大限活用した給食を提供し、食への関心を高め、また、地産地消の推進への意識向上を図るため。	時期:通年 場所:町内全小中学校 内容:美瑛米や美瑛牛乳など、美瑛町の地場産物を最大限活用した給食を提供する。	644

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	美瑛町／ 美瑛町立美瑛小学校、美瑛町立美瑛東小学校、美瑛町立美馬牛小学校、美瑛町立美沢小学校、美瑛町立明德小学校、美瑛町立美瑛中学校、美瑛町立美馬牛中学校	地場産物や食文化への興味関心を高めるため。また、会食のマナーやバランスのとれた食事を自ら考え実践する機会を提供するため。	時期：10月～3月に年1回 場所：町内全小中学校 内容：美瑛町の地場産物を使用した料理を提供し、バイキング形式で喫食する。	644
上川	上川町／ 上川町立上川小学校／ 大雪高原牛給食	地場産物の活用した給食を通し、生産者の仕事の内容や、町内の子どもたちへ伝え、生産者や食材への感謝の気持ちをもたせる。	11月実施。町内の畜産振興会より、地場産物である大雪高原牛の寄付があり、給食で提供した。その日の小学校の授業で生産者の様子やメッセージをビデオに撮影し、生産者の苦労や思いを伝えた。 子どもたちは、生産者や食べものに感謝する気持ちをもつことができ、生産者へ感謝や味の感想を手紙にして届けた。生産者も、消費者からの直接の感想が伝わる機会が少なかったため、子どもたちからの感想をととても喜んでた。	18
上川	上川町／ 上川町立上川小学校／ お祝い給食	地場産物の活用した給食を通し、生産者や食材への感謝の気持ちを持たせる。	3月実施。上川町農民連盟より地場産物のもち米の寄付があり、給食で提供した。給食時間に全校放送で、生産者や団体の「地元の食材を地元の子どもたちに食べてほしい。」との思いを伝えた。子どもたちは、喜んで食べていた。	95
上川	上川町／ 上川町立上川小学校／ バイキング給食	食を選択する力を身に付ける。	3月実施。卒業を前にした6年生を対象にして、バイキング形式で給食を提供した。複数のメニューから、自分の好みや栄養バランス、食べられる量を考え、自分で選択してメニューをつくる。子どもたちは、楽しみながらも栄養バランスを偏らせることなく選択し、それぞれに自分だけのメニューを完成させていた。1～5年生も、6年生になってバイキング給食を体験することを楽しみにしている。	19
上川	上川町／ 上川町立上川中学校／ 特別活動	健康や食習慣の知識を深め、今後の成長について考え、望ましい食習慣を形成するために判断し行動ができるようにする。	1年(16人)、時期：2月、「朝食を見直そう」 2年(23人)、時期：5月、「体に合ったエネルギー量を考えよう」 3年(16人)、時期：2月、「バランスの取れた食事を考えよう」 各学年、栄養教諭による講話と演習を行い、理解を深めた。	55
留萌	増毛町／ 増毛町立増毛小学校／ 地元食材を使用した給食の提供	地元食材を使用した給食を提供することで、地産地消及びふるさと教育のため。	毎月19日頃に、地元食材を使った給食を提供した。 9月21日(水)増毛産たこカレー 10月19日(水)まるごと増毛デー(増毛産甘えびカレー、増毛産ブルー入りヨーグルトあえ、増毛産りんごジュース)※米、じゃがいもについても増毛産 11月18日(金)増毛産たこ飯 12月19日(月)増毛豚汁(増毛国稀酒粕使用) 1月19日(木)地元パン屋の食パン 2月22日(水)増毛たこザンギサラダ 3月17日(金)増毛豚汁(増毛国稀酒粕使用)	148
留萌	増毛町／ 増毛町立認定こども園あつぷる／ かみかみ月間	よく噛んで食べることの大切さを学ぶため。	6月を「かみかみ月間」として、豆類や昆布類、ごぼう、ひじきやにぼし、さきいか等を献立に積極的に取り入れた。	60
留萌	小平町／ 小平町立小平小学校／ 栄養教育	・栄養バランスの取れた食生活や正しい食習慣を身に着ける。 ・食事の組み合わせや食事量、調理技術など正しい知識を学ぶ。	【対象】6年生 【概要】 ・献立作成の注意点などを学び、給食の調理動画で給食ができるまでの流れを学ぶ。 ・グループで1食分の献立を考え、栄養価・レシピづくりなどを学び、調理実習を行った。	13
留萌	小平町／ 小平町立小平小学校、小平町立鬼鹿小学校／ 栄養教育	・牛乳のカルシウム含有量を知り、家庭でも進んで飲むようにする。	【対象】1・2年生 【概要】 ・成長期にカルシウムが必要なことを学び、どんな食品にカルシウムが多く含まれているかを学ぶ。	20
留萌	小平町／ 小平町立小平小学校、小平町立鬼鹿小学校／ 栄養教育	・おやつを食べ方について	【対象】3・4年 【概要】 ・おやつは三度の食事では不足しがちな栄養を補うものだが、糖分や塩分、脂肪分が多く含まれていることを学び、健康でより良い生活を送れるように時間や量、組み合わせを考えて食べることを学ぶ。	35

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	稚内市／ 稚内鈴蘭こども園／	食べ物に関心を持ち、バランスよく食べようとする。	〈対象〉年中、年長 〈時期〉12月 〈内容〉調理師にお願いして、食育について勉強をした。食べ物を赤・緑・黄に分けてそれぞれどんな働きがあるのか教えてもらった。	80
宗谷	稚内市／ 稚内鈴蘭こども園／	食材に触れ、においや感触を感じる。	〈対象〉2歳児 〈時期〉9月 絵本やペープサートでえのきについて触れ、エプロンや三角巾でお手伝いの意欲を高める。調理師と一緒にえのきを割いたり、ちぎったり、匂いをかいだりする。自分たちで食べるスープの具材になっているの喜んで、いつもより食が進んだ。	10
宗谷	稚内市／ 稚内鈴蘭こども園／	野菜のお世話をすることで、成長や収穫を喜ぶ	〈対象〉0～2歳児 〈時期〉5月～9月 各クラスでプランターを用意しキュウリやミニトマト、人参、大根などを育てる。子ども達の見るところにいつもあるので、成長を楽しみ、給食等の食材にも親しみを持てる会話が増えた。	25
宗谷	稚内市／ 稚内鈴蘭こども園／	自分で作ることを喜び、先生や友達と楽しく食べる。	〈対象〉2歳児 〈時期〉3月 パフェ作りのことを事前に知らせ、どんなパフェがいいか相談しあう。エプロンや三角巾でお手伝いの意欲を高める。いろいろな果物やお菓子を個別に用意し、好きなように盛り付けして出来上がりのパフェをみんなで食べる。調理師と相談し、給食の量を調整してもらう。	10
宗谷	稚内市／ ひかり幼稚園、きらきら保育園／	実際に食べているものを通して、食べ物の大切さ、作っている者への感謝を知る。	各クラスへ定期的実施(0～2歳は毎月) 給食従事者(管理栄養士、栄養士、調理師、調理員)が実施。調理している者を知り、食事への関心を深め、感謝の気持ちをもって食する。 実際に食べている食材についても説明し、学びを通して自分の体への影響を知る機会をつくる。 子どもたちが食べている姿を通して、子どもの食事傾向・嗜好を知り、今後の調理等に生かす。	135
宗谷	稚内市／ 稚内市立稚内中央小学校／	栄養教諭から、各学年のねらいにそった食に関する指導をしていただく。	1～6年生各教室 各学年学級活動1時間	174
宗谷	稚内市／ 稚内市立稚内中央小学校／	当日の献立内容と食に関するミニ知識を放送する。	児童会の保体委員会の活動として、献立に関する知識(栄養教諭が作成の放送原稿)を毎日放送する。	174
宗谷	稚内市／ 稚内市立声問小学校／	子どもたちに、食事のマナーや栄養のバランスのとれた食事をとることの大切さを理解させる。	6月、9月、10月、12月、2月、声問小各教室。養護教諭が、栄養素や食べ物、マナーにかかわる教材を用意して指導。	13
宗谷	稚内市／ 稚内市立宗谷小学校／	食に関する指導の目標達成のため。	稚内市の栄養教諭が1年に1回、各学級に1回ずつ来校し食の指導を行う。	19
宗谷	稚内市／ 稚内市立天北小中学校／	食に関する指導の目標の達成のため。	稚内市の栄養教諭が来校し、各学級に食の指導を行う。	35
宗谷	稚内市／ 稚内市立天北小中学校／	食に関する指導の目標の達成のため。	中学校の修学旅行でフランス料理のマナー講座を体験する。	4
宗谷	浜頓別町／ 浜頓別町学校給食センター／ 脱脂粉乳の魅力を知ろう	学校給食にて脱脂粉乳を取り入れた献立を提供することで乳製品の消費拡大を促すため。	対象: 子ども園(45人)小学校(140人)中学校(80人)高校(80人) 時期: 8月26日、29日、9月14日、29日(計4回) 内容: JA東宗谷女性部から脱脂粉乳を提供していただき学校給食で使用した。また家庭における脱脂粉乳の取り入れ方について給食だよりにてお知らせした。	345

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	浜頓別町／ 浜頓別町学校給食センター／ 知ろう！食べよう！地場産物	地元で獲れた食材を通して地域の食文化や産業についての理解を深めるため。	対象：子ども園(45人)小学校(140人)中学校(80人)高校(80人) 時期：6月15日(ほたて)、10月13日(鮭)、1月24日(牛肉)、26日(ほたて)計4回 内容：地域のご理解・ご協力のもと地元で獲れた食材を無償で提供していただき、学校給食にて提供。	345
宗谷	豊富町／ 教育委員会、保育園、町内小・中・高等学校、稚内漁協豊富実行組合／ ふるさと給食	地場産食材を使用し、地産地消を推進していくとともに未来を担う子供たちが持続可能な食生活を実践することにも繋がる。	対象：町内の保育園児～高校生 時期：通年 場所：町内保育園・各学校 内容：町内で採れた食材を活用し、給食に提供する。	369
オホーツク	北見市／ 北見市立小中学校／ 栄養教職員による食に関する指導、給食指導	児童生徒及び保護者に対して、学校給食を通して望ましい食習慣の形成を図るため食に関する正しい知識を伝える。	時期：通年 給食を生きた教材として活用しながら、授業や給食時間を通じて指導を行っている。また、給食日より献立表及び掲示物等も活用している。	7,700
オホーツク	北見市／ 北見市立小中学校／ 「高知デー」の実施	学校給食を通じて、姉妹都市である高知市との歴史的つながりや、姉妹都市、姉妹校についての理解を深める。	時期：1月の全国学校給食週間期間(実施日は各給食施設で決定) 姉妹都市である高知市との交流の一つとして、姉妹都市の特産物を学校給食で提供する「高知デー」を毎年実施しており、今年度は高知産ゆず果汁を使用した献立を提供した。事前に姉妹都市・高知市との交流や歴史的つながりを伝える資料を配布し、当日はゆずについての給食メモを配布した。	7,700
オホーツク	北見市／ 北見市立小中学校／ 学校給食用クロッカの製品開発及び提供	学校給食を通じて、姉妹都市である高知市との歴史的つながりや、姉妹都市、姉妹校についての理解を深める。	時期：6月(実施日は各給食施設で決定) 学校栄養士が考案し、地元業者の協力により製造した、北見地方産玉ねぎとじゃがいも、高知県産さつまいもを使用した「なかよしクロッカ」を食育月間で提供した(R3.1の高知デーでも提供)。当日は給食メモを配布した。	7,700
オホーツク	網走市／ 認定こども園いせの里保育園／	給食の食材の赤・黄色・緑の食材をバランス良く食べる事で、体にとって大切な栄養を取ることが出来ることをしり、食への関心を高める。	時期：11月 場所：各保育室 対象：3.4.5歳児 内容：栄養士による給食の食材に使われている赤・黄色・緑の栄養について紙芝居等を通じて講話を行う。	62
オホーツク	網走市／ 認定こども園いせの里保育園／	自分たちで、野菜等の栽培や収穫を通して、世話を体験したり、食べ物への興味や食べる意欲を育てる。	時期：5月～10月 場所：園庭 対象：5歳児 内容：人参・かぼちゃ・ミニトマト・ピーマン・イチゴの栽培・収穫	20
オホーツク	網走市／ 認定こども園いせの里保育園／ 「クッキー作り」	自分たちで育てた野菜を使ってクッキーを作ることで、食への興味・関心を広げる。作る過程を知り、楽しむ。	時期：11月 場所：児童センター創作活動室 対象：5歳児 内容：自分たちで育てた人参・かぼちゃを使い、クッキー作りを楽しむ。	20
オホーツク	網走市／ 認定こども園いせの里保育園／ 「網走ちゃんぼん作り」	ちゃんぼん作りを通して、地元の食材・地元の料理に興味・関心を持つ。自分たちで作って食べる喜びを味わう。	時期：1月 場所：児童センター創作活動室 対象：5歳児 内容：①地元食材の紙芝居を通して学ぶ。 ②自分たちで育てた食材を使い調理する。 ③児童センターの児童に振る舞い、交流する。	20
オホーツク	網走市／ 網走市立ひまわり保育園／ 収穫祭	園児が、農作物を育てて収穫し、それを食べることで食への関心を持たせる。	・園庭でじゃが芋、人参、玉葱等を育て、収穫して園児自らの手でカレーに調理して食べる。 ・保育所担当栄養士がカレー作りのデモンストレーションを行い、各食材の栄養について紙芝居等を通じて講話を行う。 ・R4年度は10/4に実施。	60
オホーツク	網走市／ 桂幼稚園／	自分達が育てた作物を使った給食を食べることで、育てる喜びを感じる。	10月頃	40

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	網走市／ 認定こども園つくし／	自分達が育てた作物を使った給食を食べることで、育てる喜びを感じる。	10月頃	100
オホーツク	網走市／ 認定こども園しおみ／	自分達が育てた作物を使った給食を食べることで、育てる喜びを感じる。	10月頃	120
オホーツク	網走市／ 市内小中学校／ くじら給食	網走の鯨食文化の普及・継続を図ること。	時期:2月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・鯨肉を取り入れた献立の提供。 ・鯨に関する資料の配布。 ・鯨に関する講話の実施。 ※5校で実施。	2,570
オホーツク	網走市／ 市内小中学校／ 行者菜給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地元食材について理解を深めること。	時期:6月、7月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・行者菜を取り入れた献立の提供。 ・行者菜に関するパンフレットの配布。	2,570
オホーツク	網走市／ 市内小中学校／ 野菜の日給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地場の産業や野菜について理解を深めること。	時期:8月、11月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・野菜の日(8.31)と、野菜の収穫期である秋(11月)に、野菜中心の献立を取り入れ、提供。 ・野菜に関するパンフレットの配布。	2,570
オホーツク	網走市／ 市内小中学校／ ふるさと給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地場の産業や食材について理解を深めること。	時期:6月、10月、11月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・地場食材(ほたて、ほっけ、たこ等)を取り入れた献立の提供。 ・食材に関するパンフレットの配布。	2,570
オホーツク	網走市／ 網走市立網走小学校／ 桂ヶ岡地区共同調理場給食週間	・給食週間について理解を深める。 ・全国の料理について理解を深める。	時期:1月23日～1月27日 場所:網走小学校、第一中学校 対象:網走小学校児童、第一中学校生徒及び職員 内容: ・各地方の料理を献立に取り入れ、提供。 ・給食週間や料理についてのスライドを作成し、各クラス及び学校玄関前にて紹介。 結果:各地域の食材や料理に興味を示している様子が見られた。 課題:中学校側への周知が手厚くできればより良かった。	552
オホーツク	美幌町／ 美幌町立旭小学校／	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校児童 時期:年間を通して 場所:美幌町立旭小学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	187
オホーツク	津別町／ 津別小学校／ 地産地消の取組	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	対象:町内の小学生 時期:令和4年11月30日 場所:津別小学校 内容:地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。 野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。 ※その他として、週に1回オーガニック牛乳を給食で提供。	360

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	津別町／ 津別町立津別中学校／ 地産地消の取組	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	対象:町内の中学生 時期:令和4年11月22日、25日、30日(3日間) 場所:津別中学校 内容:地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。 ※その他として、週に1回オーガニック牛乳を給食で提供。	360
オホーツク	津別町／ 北海道津別高等学校／ 地産地消の取組	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	対象:町内の高校生 時期:令和4年11月22日、25日、30日(3日間) 場所:津別高等学校 内容:地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。 ※その他として、週に1回オーガニック牛乳を給食で提供。	360
オホーツク	津別町／ 認定こども園「こどもの杜」／ 地産地消の取組	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	対象:町内の乳幼児 時期:令和4年8月19日 場所:認定こども園「こどもの杜」 内容:地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。 ※その他として、週に1回オーガニック牛乳を給食で提供。	100
オホーツク	小清水町／ 小清水町学校給食センター／	よく噛むことを意識付けする。	【実施時期】令和4年6月 「歯と口の健康週間」と関連付けて、よく噛む食材を使ったかみかみメニューを毎日出す「かみかみウィーク」を実施。 期間中は、毎日「給食メモ」を配布して、噛むことの効果を伝えたり、使われている食材の紹介をした。 校内の給食掲示板では、噛むことの効果やかみかみクイズなどを掲示し、子どもたちに周知した。	440
オホーツク	小清水町／ 小清水町学校給食センター／ 地場産品を活用した献立	地場産物について学習する。	小清水産の食材を使った献立を実施。 4月と12月は小清水和牛を使用した「ハヤシライス」「ビーフシチュー」を実施。 10月は小清水産のビーツ、もち麦、じゃがいも、玉ねぎ、にんじんを使用した「小清水ミネストローネ」を実施。 実施日は、全校に給食メモを配布し、メニュー紹介と使用している食材や生産者について説明した。	440
オホーツク	佐呂間町／ 佐呂間町立佐呂間小学校／ 給食センター見学(生活)	・給食は様々な人が関わっていることを知り、感謝の気持ちをもって給食を食べる。 ・給食は安全に美味しく作られていることを知り、給食を大切に食べる。	6月27日(1年)給食センター給食センターの中の窓から、下処理室・主調理室を見学。栄養教諭から給食の働き方についての話。 実際に、給食で使用している調理道具を持つ体験を行った。	16
オホーツク	佐呂間町／ 佐呂間町立佐呂間小学校2年生／ 「食事のマナー名人になろう！」	・食事のマナーを守って食事をする。	7月6日(2年)2年生教室 食事のマナーについて指導した後、教室に掲示したチェック表で継続的に確認できるようにした。	16
オホーツク	佐呂間町／佐呂間町立佐呂間小学校4年生／ 「おやつとり名人になろう」	・健康な生活を送るために望ましいおやつを取り方を理解する。	9月15日(4年)4年生教室 おやつ役割や食べ過ぎるとどのようになるかを学び、おやつには脂質や砂糖がどのくらい入っているか調べる。そして、自分の食べ方を見直し、これからの目標を考えた。	22
オホーツク	佐呂間町／ 佐呂間町内各小中学校／ セレクト給食	食事の楽しさや食べることへの意欲を高めるため。	12月13日 給食を提供している全学校で実施。 五目うどんのトッピングを選択する。「とり天」「いか天」「エビ天」の3種類より1つ選択する。	402
オホーツク	佐呂間町／ 佐呂間小学校3年生／ 「牛さんについて知ろう！」	・肉牛生産者の講話を聴き、町や牛について知り、感謝の気持ちを育てる。	1月27日(3年)3年生教室 栄養教諭の「牛についての紙芝居」や生産者から「牛に関する講話」を聴き、食べるということについて考える機会を与える。	16

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	佐呂間町／佐呂間町内各小中学校／バイキング給食	①児童が健康の保持増進のために、自分の体に合ったものを選んで食べる力を養う。 ②卒業式前の行事食として、楽しさや満足感をもち、食べることへの意欲を高める。	3月10日佐呂間中学校(教室を使用) 3月16日若佐、浜佐呂間、佐呂間小学校合同(佐呂間小学校体育館使用) 各学校感染対策を行いながら、実施。	79
オホーツク	佐呂間町／佐呂間町内各小中学校／ふるさと給食	佐呂間の地場産物をより給食で使用できるよう献立を工夫し、給食を通して佐呂間町の魅力を再発見するため。	7月～1月にかけて月1回実施。	402
オホーツク	佐呂間町／佐呂間町内各へき地小学校／栄養教諭による給食指導	給食を通じて食に対する知識や望ましい食習慣を身に付ける。	通年実施(給食時間) 栄養教諭が小学校を訪問し、一緒に給食をとりながら意見を交換したり、給食指導を行う。給食指導は、給食後5分、各テーマにそって食に関する指導を行っている。	48
オホーツク	雄武町／雄武町立雄武小学校	食への興味や関心を深め、適切な食生活についての基礎知識を学ぶ。	栄養教諭から食事の作法、重要性や必要性などを指導した。 対象:小学1年生～小学6年生 時期:1年を通して 場所:雄武小学校	158
オホーツク	雄武町／雄武町立雄武小学校	食事作法や食文化等について学ぶ。	栄養教諭が食事の作法や食文化等についての掲示物を作成し、学校に掲示している。 時期:1年を通して 場所:雄武小学校	158
オホーツク	雄武町／雄武町内全小中学校／	食事作法や食文化等について学ぶ。	毎月、栄養教諭が作成した給食だより(献立表)に、食事作法や食文化等について記載し、児童生徒に配布した。 時期:毎月下旬	339
オホーツク	雄武町／雄武町内全小中学校／学校給食食育推進事業	地場産食材を使用した給食を提供し、地産地消や食の大切さについて学ぶ。	新鮮な地場産商材を給食に活用することにより、食が地元の産業を理解する体験学習につながった。また、給食から生産者などへの感謝の気持ちを醸成する機会となった。 時期:1年を通して	339
オホーツク	大空町／大空町立女満別小学校、大空町立女満別中学校、大空町立東藻琴小学校、大空町立東藻琴中学校、北海道大空高等学校	大空町で生産される地場生産物を学校給食に供し、子供たちが地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知る。	・毎月1回、地場食材を中心に使用した献立を学校給食で提供。 【使用した地場食材】 東藻琴乳酪館のビン牛乳、大空町産の野菜、肉、米、調味料など ・ふるさと食材に関するパンフレットの配付	400
十勝	帯広市／帯広市学校給食センター／	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの。	○ふるさとの日の実施(トカブチの恵み～おびひろふるさと給食～) 時期:9月、10月、11月の各月に各1日提供 内容:地元の農畜産物を多く使用した特別献立を提供	13,000
十勝	帯広市／帯広市学校給食センター／	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの。	○「食育通信」の配付 時期:毎月発行 内容:健康面や食生活についての注意事項や新メニューの紹介、給食で使用する食材について掲載	

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	帯広市／ 帯広市学校給食センター／	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの。	○学校給食PR動画の制作 対象:児童生徒、市民等 内容:学校給食への市民理解の促進のほか、児童生徒における学校給食を通じた食育の推進を目的とした動画を制作	
十勝	音更町／ 音更町内全小・中学校／ おとぶけ給食	子どもたちに全国有数の産地である地元の農産物・特産品を再認識してもらい、ふるさと「おとぶけ」への郷土愛を育むとともに、食をとおして生産者と子どもたちが交流し「食」への関心を高めることを目的とする。	○おとぶけ給食 開催時期:月1回程度 開催内容:町内で生産される野菜・穀物を旬の時期にあわせて、町、音更町農協、木野農協の3者が費用負担し、特別メニューとして提供している。 参加者数:3,656名(児童・生徒・教職員含む)	3,656
十勝	士幌町／ 士幌町教育委員／ 大地くんと学ぼう	士幌町における特色ある学習活動実施するため。	時期 ●中士幌小学校 5・6年生:11月18日、1・2年生:12月6日、3・4年生:12月7日 ●上居辺小学校 1・2年生:10月21日、3・4年生:12月1日、5・6年生:12月16日 場所:しほろキッチン 内容:ピザ、ワッフル、カボチャのポタージュ、スイートポテト作り等 備考:コロナ対策のため、人数の少ない中士幌・上居辺小のみ実施	63
十勝	新得町／ 新得町立新得小学校／ 「Sランチ」	・子どもたちへ地場産品の理解を深めてもらう ・生産者のやりがいを深める。	【時期】 令和4年9月(3日間) 【場所】 新得小学校、屈足南小学校、新得中学校、屈足中学校、新得高等支援学校、富村牛小中学校 【内容】 子どもたちに地場産品並びに地産地消について知ってもらうため、JA新得町、JA新得町青年部との共同事業として、新得町産の食材を使用した特別な給食を提供(提供数:1日当たり約500食) 「Sランチ」当日はJA新得町青年部が各学校を訪問して直接食材の説明をしており、生産者からも子どもたちのよこぶ姿を見ることができると好評を得ている。	450
十勝	芽室町／ 芽室町内全小中学校／ めむろまるごと給食	町の基幹産業である農業の大切さと食に関する意識を高めることで、地産地消の推進と食育指導の充実につなげることを目的としている。	時期:5月～3月 計9回実施 場所:芽室町内全小中学校 めむろまるごと給食は、普段の給食より多くの芽室産食材を使用して作る特別な給食である。当日使用した野菜の生産者を給食時間に招き、給食を食べながら芽室町の農業について学ぶ機会となっている。また、生産者の農業に対する思いや苦勞を知ることで食べ物や生産者に対する感謝の気持ちを持つ機会となっている。	1,790
十勝	更別町／ 更別村立更別小学校、更別村立上更別小学校、更別村立更別中央中学校／ 地産地消の取組	地域で栽培・製造される食物を食べることで地域への理解を深める。	地元産食材を使用した給食の実施 献立数:119 アスパラ21kg、キャベツ151kg、メークイン962kg、玉ねぎ880kg、生スイートコーン150本、かぼちゃ85kg、大根158kg、ピーマン5kg、ごぼう40kg、長芋56kg、ヤーコン28kg、さらべつ和牛25kg、小豆15kg、金時3kg、つぶつぶでんぷん25kg、更別産ポテトチップス19袋、更別産うどん72束、小豆あん6.5kg	252
十勝	大樹町／ 大樹町学校給食センター／ ふるさと給食	地元の食材を使用し、児童生徒に町の産業の認識、ふるさと大樹町の良さ、愛郷心を育むこと。	対象者:大樹小学校257名、大樹中学校135名、大樹高校82名 実施日:第1回(9月27日) 献立:鮭ごはん、大樹大根とかまぼこのサラダ、どさんこ汁、牛乳 地場食材:秋鮭(大樹漁協さけ定置部会提供)、大樹大根、ホエー豚 実施日:第二回(12月9日) 献立:麦入りごはんのビーフカレー、フルーツ白玉、牛乳 地場食材:大樹和牛(大樹町和牛生産改良組合提供)、じゃがいも	948

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	大樹町／ 大樹町学校給食センター、北海道大樹高等学校／	食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力などを育てること。	対象者：大樹高校3年生 実施日：12月7日 献立：麻婆ラーメン、大学じゃがいも、牛乳 内容：高校生が考案した献立を給食メニューに取り入れる活動	474
十勝	広尾町／ 広尾町立広尾小学校、広尾町立豊似小学校、広尾町立広尾中学校／ ふるさと給食	広尾町漁業協同組合の協力のもと、地元食材の味を知ってもらう。	9月29日(あきあじ)、11月25日(昆布)、2月8日(とうだいつぶ) 3月8日(真鱈)	420
十勝	広尾町／ 認定こども園ひろお保育園、豊似保育所／ ふるさと給食	広尾町漁業協同組合の協力のもと、地元食材の味を知ってもらう。	10月5日(あきあじ)、2月22日(つぶ)、2月24日(つぶ)	137
十勝	池田町／ 池田町立池田小学校1～6年生、池田町立池田中学校1～3年生／ 食に関する指導	・食に関する正しい知識を取得し、実践する能力を養う。	□時期：4月～3月 □場所：各学校 □回数：池田小1、3、4、5年各1回、6年2回、2年3回 池田中1～2年2回、3年1回 □講師：池田小学校栄養教諭 □内容：主に学級活動の1時間を使い、バランスのよい食事について、食品ロスについて、おやつのとりにかたについて、世界と日本の食文化について等食に関する指導をタブレットを用いて行った。	616
十勝	池田町／ 池田小学校／ バイキング給食	・生涯を通じて健康で充実した生活を送るために、数多い食品の中から栄養バランスを考え、適切に食品を選択する能力を育み、食事について自己管理ができる習慣を身に着ける。	□時期：2月14日(池田小) □場所：池田小学校 □回数：1回 □講師：池田町学校給食センター調理員、池田小学校栄養教諭 □内容：事前指導では、何をどれくらい食べるかエネルギー計算を行いながら考えた。その学習をもとに給食時間に実際に地場産品を用いた食品を選び、周りへのマナーに配慮しながら喫食した。	42
十勝	池田町／ 池田町立池田小学校、カトリック幼稚園、池田町立池田中学校、北海道池田高等学校／ 収穫した作物の活用	・栽培活動や収穫した作物を給食で提供することで、食に対する興味関心を高める。	□時期：12月20日、1月30日、2月8日、2月22日 □場所：各学校 □回数：各1回 □内容：自ら栽培・収穫した作物を活用し、給食として提供した。ぶどうの収穫後ワインと交換し、ハヤシライスとして、収穫した餅米を赤飯、いかめし、五目おこわとしてそれぞれ提供した。また、赤飯、いかめし、五目おこわについては収穫した学年に献立の名前を考えてもらった。	1,936
十勝	池田町／ 池田町立池田小学校、カトリック幼稚園、池田町立池田中学校、北海道池田高等学校／	・様々な食文化に触れ、自国と他国の違いを知り、相互理解を深める。	□時期：5/18,6/14,7/5,8/31,9/27,10/24,11/8,12/13,1/25,2/24,3/6 □場所：各学校 □回数：各月1回 □内容：「味覚で世界を旅しよう」と題し、世界各国の料理を月に一度提供した。5月は韓国、6月はベトナム、7月はタイ、8月はスペイン、9月はフランス、10月はザンビア、11月はウクライナ・ロシア、12月はドイツ、1月はメキシコ、2月はブラジル、3月はインドの料理を給食風にアレンジした。	5,333
十勝	豊頃町／ 豊頃町立豊頃小学校／	地産地消 地域の食文化に触れる	学校給食に食材(切り干し大根)を提供し、給食時に地元産食材に関する説明等を実施(別添新聞記事 6/29豊頃小学校訪問) 町内給食数 300食	11
十勝	豊頃町／ 豊頃町立大津小学校／	地産地消 地域の食文化に触れる	学校給食に食材(切り干し大根)を提供し、給食時に地元産食材に関する説明等を実施(別添新聞記事 8/26大津小学校訪問)	11
十勝	本別町／ 各小・中学校(5校)、高校、僻地保育所／ 取り組み：ふるさと給食	地域の、児童生徒と親、給食の提供者、野菜や肉などの生産者、食材の加工業者や、町の関係機関の給食に関わる人が「食」についての大切さやありがたさを共有し、学べる機会を作る。	対象：町内各小・中学校(5校)及び高校、僻地保育所 時期：11月22日 場所：各学校にて 内容：地元産の食材をできる限り使用した献立を作り、子供達に地元産の農産物の美味しさを感じてもらおう給食を提供する。 ※コロナ禍で開催できなかったが、例年は目的に書いてある、親や関係者も招いて交流し、食の大切さを学ぶ機会としている。	550

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	本別町／ 本別町立本別中央小学校、本別町立勇足小学校、本別町立勇足中学校、本別町立仙美里小学校／ 食に関する指導	給食を生きた教材として活用し、食品を選択する能力や食事の重要性、心身の健康、感謝の心などを育むことを目的とした。	【本別中央小学校】5月23日、7月20日、9月5日、11月18日、11月28日 【勇足小学校】6月30日、9月9日、11月29日、12月9日、1月27日 【勇足中学校】6月9日 【仙美里小学校】12月19日、12月21日、12月22日、1月20日 各学校にて、食に関する指導を行った。	300
十勝	足寄町／ 町内小学校(4校)、足寄町立足寄中学校、北海道足寄高等学校／	児童生徒の地場産物に対する理解、関心を深め、郷土愛をはぐくむため。	町内小学校(4校) 足寄中学校 足寄高等学校 給食の時間を利用して栄養教諭による「食育」の指導を行っています 毎年11月を「ふるさと給食玄関」とし、児童生徒の地場産物に対する理解、関心を深め、郷土愛をはぐくむことを目的に、足寄町産の食材を使った給食を提供しています。	709
十勝	幕別町／ 幕別学校給食センター、忠類学校給食センター／	地場産品を使用したメニューを給食として提供することで、地元の農業や農産物への愛着を持ってもらい、食に対する理解を深めてもらう。	□「まくべつの恵み給食」の実施 対象：幕別町内全小中学校 時期：11月24日、25日、28日、29日の4日間 場所：全小中学校 内容：地場産食材をメインとした給食を提供した。 ※地場産食材は通年使用している。	1,365
十勝	幕別町／ 幕別町内各小中学校／	・食事の重要性、楽しさを理解し、食物の安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。 ・食事のマナーや食の大切さ、栄養について理解を深める。	□栄養教諭による食に関する指導の実施 対象：幕別町内全小中学校 時期：4月～3月 場所：希望する小中学校 内容：①給食時間指導 給食の配膳・食べている様子・下膳の様子等食に関する指導 ②食に関する指導 各学校、学級の実態や要望に合わせた内容で実施	2,049
十勝	幕別町／ 幕別中央保育所、札内さかえ保育所、札内北保育所、札内青葉保育園、札内南保育園／ 幕別町産野菜を取り入れた保育所給食の日	地場産品を使用したメニューを給食として提供することで、地元の農業や農産物への愛着を持ってもらい、食に対する理解を深めてもらう。	対象：保育園児及び職員 時期：11月2日 場所：幕別中央保育所、札内さかえ保育所、札内北保育所、札内青葉保育園、札内南保育園 メニュー：まくべツカレー、野菜とツナのサラダ 内容：町内保育所(5箇所)で「幕別町産野菜を取り入れた保育所給食の日」を行い、地場産食材(じゃがいも・玉葱・人参)をメインとした給食を提供した。	530
釧路	釧路市／ 給食だよりの配付	保護者に食への意識を高めてもらうため、情報提供を行うため。	給食だよりの配付(年12回) 毎月の献立をお知らせして給食で提供しているメニューを周知する。 また、食について(保育園で提供している献立の作り方、季節の行事と食、地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。	3,864
釧路	釧路市／ 地産地消の日	①郷土への親しみを持つ。 ②食材の旬を知り季節感を感じる。 ③地場食材の消費拡大につなげる。	地産地消の日(年3回) 地元で獲れる食材の名前、旬、おいしさ等について学ぶ機会とするため、食材と日程を決めて給食メニューを提供している。	966
釧路	釧路市／ ふるさと給食	ふるさとの食材を通じて、ふるさと釧路の素晴らしさを再認識してもらうため実施した。	ふるさと給食 (鯨肉給食含)(10月・12月)ふるさとの食材を通じて、ふるさと釧路の素晴らしさを再認識してもらうために平成2年度から年3回程度実施。 令和4年度は魚の不漁等により、10月くじら、12月たらの2回実施した。	11,020
釧路	釧路市／ 小中学校／ 鯨肉給食	ふるさとの食材を通じて、ふるさと釧路の素晴らしさを再認識してもらうため実施した。	鯨肉給食(10月) 令和4年度からはふるさと給食として実施。釧路地区小学校「くじら味噌ちゃんこ汁」、釧路地区中学校「くじら団子キムチ汁」、阿寒地区「くじら団子汁」、音別地区「くじら団子のカレー風味スープ」を提供。	11,020
釧路	釧路市／ 小中学校／ 鹿肉給食	地元で獲れる食材について学ぶ機会として実施した。	鹿肉給食(6月) 市内全小中学校では6月に、もみじ味噌ちゃんこ汁等を提供した。	11,020

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	釧路市/ 児童発達支援センター野のはな園/ 野菜作り	栽培や収穫などの菜園活動を通して、自然と親しみ、野菜に興味関心を持つとともに、野菜を食べようとする気持ちを育てるため。	時期:5月~9月 児童発達支援センター正面玄関前の菜園スペースにて、芋植え、野菜の種まき、水やりなどの栽培及び収穫を行う。	182
釧路	釧路市/ 児童発達支援センター野のはな園/ 食育指導の実施	給食献立や調理、栄養などの話を通して、色々な食材に親しみや興味関心を高め、食べる意欲を育てるため。	対象:児童発達支援センター野のはな園園児 内容:テーマにもとづき、栄養士が指導室を訪問し、食育指導を行う。 時期:①7月20~8月31日 全7日間 参加人数 41名 テーマ「野菜に親しみ、好きになろう」 栽培活動の振り返りや、収穫した野菜を使った給食献立について ②11月8日~12月6日 全7日間 参加人数 36名 テーマ「牛乳・乳製品」 牛乳、乳製品を使った給食献立や栄養について ③2月10日~3月2日 全7日間 参加人数 41名 テーマ「魚を好きになろう」 魚の給食献立や紙を使ったクッキング	118
釧路	釧路市/ 児童発達支援センター野のはな園/ 地産地消を推進した給食献立の提供	地元でとれた農水産物を地元で消費する地産地消を推進するため。	内容と喫食児童数 ①5月23日 釧路産ほうれんそうのごま酢和え 41名 ②7月14日 釧路産パプリカ入りカレーライス 41名 ③8月22日 阿寒ポークの豚井風煮、いんげんの味噌マヨネーズ和え 鶏肉と大根の煮物 37名 ④9月20日 石狩汁 33名 ⑤10月17日 シカ肉のハンバーグ 43名 ⑥11月11日 キクイモのポタージュ 28名 ⑦12月15日 シカ肉のカレーライス 39名	262
釧路	釧路町/ 小中学校/ 釧路町立富原小学校の栄養教諭による食育授業	栄養教諭による食育の授業を通して、小学校から中学校まで発達段階にあった食への理解を図る。	対象:小中学校全クラス児童生徒 内容:食に関する知識・選択する力を学ぶことで健全な食生活への実践力を身につけるための食育指導を実施。	1,245
釧路	釧路町/ つくし保育所/	食事のマナーを身につける。	・3歳児、4歳児、5歳児 ・5月 ・つくし保育所 各部屋 ・食器の持ち方、箸・スプーンの持ち方、正しい姿勢について	55
釧路	釧路町/ 知方学へき地保育所、はまなす保育所/	食事のマナーを身につける。	・2歳児、3歳児、4歳児、5歳児 ・6月6日(知方学保育所) ・6月10日(はまなす保育所) ・食器の持ち方、箸・スプーンの持ち方、正しい姿勢について	14
釧路	釧路町/ つくし保育所、昆布森はまなす保育所、知方学へき地保育所/	食べ物それぞれの役割を知り、毎日の給食で食品の栄養を知ってもらう	・つくし保育所:3歳児(15名) 6月13日 ・はまなす保育所:全園児(8名) 6月28日 ・知方学保育所:3~5歳(4名) 7月6日 ・三色ボードを活用し、食べ物の働きについて学ぶ。 学んだあとに、一人一人前に出てきてもらい、クイズ形式に問題だし、おさらいをする。	27
釧路	釧路町/ つくし保育所/	地場産地を食し、食育を通じ、釧路町産野菜の栄養や美味しさを知ってもらう。	・全園児 ・7月(野菜)、8月(野菜)、9月(鮭)、10月(野菜)、2月(たら) ・食育:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 ・ふるさと給食とは、食材の栄養等を各部屋で話す。	46
釧路	釧路町/ つくし保育所、昆布森はまなす保育所/	保育所で使われる“だし”について、うま味について学んでもらう。	・つくし保育所:4歳児部屋(7月27日)、5歳児部屋(7月26日) ・はまなす保育所:園児(8名)(2月15日) ・“だし”の種類やお味噌汁の大切さについて食育。 ・かつお節や煮干しを触り、匂いをかぐ。 ・だし入りみそ汁、だしなしみそ汁の試飲	41

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	釧路町／ つくし保育所／	鮭の解体を目の前で披露することで、魚の部位や栄養を知ってもらおう。	・3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 ・10月28日(金) ・北海道栄養士会ヤクルト協賛事業「鮭の解体ショー」を実施。 感染対策をしっかりとした上で、ホールで子供たちには距離をとってもらい行った。解体した鮭は、以上児のみ“ちゃんちゃん焼き”で提供。	58
釧路	釧路町／ つくし保育所／	おやつに含まれる油の量について学ぶ。	・3歳児、4歳児、5歳児各部屋 ・12月 ・おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる油の量を見せて、食育を行った。	58
釧路	釧路町／ つくし保育所、昆布森はまなす保育所／	おやつに含まれる砂糖の量について学ぶ。	・3歳児、4歳児、5歳各部屋 (1月) ・はまなす保育所:園児(10名)(11月9日) ・おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる砂糖の量を見せて、食育を行った。	54
釧路	釧路町／ つくし保育所／	「畑の野菜の育ち方」 「シルエットクイズ」	・3歳児、4歳児、5歳児各部屋 ・2月 ・土の上で育つ野菜、土の上で育つ野菜の食育。 ・食品の影絵を子供たちに見せて、どんな食材か連想してもらい、その力を養う。 ・二つともクイズ感覚で楽しめる食育を行った。	55
釧路	釧路町／ つくし保育所子育て支援センター	おやつに含まれる砂糖の量について、親に知ってもらい、おやつの与え方を考えてもらう。	・0歳～1歳の親 ・2月24日(金) ・おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる砂糖の量を見せて、食育講座を行った。	6
釧路	厚岸町／ 厚岸町立厚岸小学校／	食事のマナーを身につけ社会性を育む。	対象:小学校1年生児童 時期:令和4年4月 場所:厚岸町立厚岸小学校 1年生教室 内容:楽しい給食時間にするための給食のきまりについて学ぶ。	22
釧路	厚岸町／ 厚岸町立厚岸小学校／	朝食の働きを理解し、望ましい食習慣を身に付ける。	対象:小学校6年生児童 時期:令和4年6月21日 場所:厚岸町立厚岸小学校 6年生教室 内容:朝食の働きを理解し、朝食の組み合わせや朝食をとるための工夫を考える。	15
釧路	厚岸町／ 厚岸町立真龍小学校	給食センターの見学	対象:小学校2年生児童 時期:令和4年6月24日 場所:厚岸町立真龍小学校 給食センター 研修室 内容:給食が作られる様子を見学する。食べ物や作っている人への感謝の心をもつ。	27
釧路	厚岸町／ 厚岸町立真龍小学校	給食をおいしく食べる工夫を考え好き嫌いがあっても食べようとする意欲をもつ。	対象:小学校2年生児童 時期:令和4年7月15日 場所:厚岸町立真龍小学校 2年生教室 内容:好き嫌いがあっても食べるためにはどのような工夫があると良いか考える。	27
釧路	厚岸町／ 厚岸町立真龍小学校	給食のマナーを身に付け社会性を育む。	対象:小学校1年生児童 時期:令和4年4月 場所:厚岸町立真龍小学校 1年生教室 内容:楽しい給食時間にするための給食のきまりについて学ぶ。	21
釧路	厚岸町／ 厚岸町立真龍小学校	3色の食品群の働きについて学ぶ。	対象:小学校4年生児童 時期:令和4年9月9日 場所:厚岸町立真龍小学校 内容:3色食品群の働きを学び、バランス良く食べることの大切さを理解する。	30

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	厚岸町／厚岸町立真龍小学校	主食・主菜・副菜の役割について学ぶ。	対象:小学校3年生児童(3年月21人・3年雪組21人) 時期:令和4年9月9日 場所:厚岸町立真龍小学校 内容:主食・主菜・副菜の役割を学び、バランス良く食べることの大切さを理解する。	42
釧路	厚岸町／厚岸町立厚岸小学校	厚岸町の昆布とだしのうま味について学ぶ。	対象:小学校3年生(20人)・4年生(14人)児童 時期:令和4年9月14日 場所:厚岸町立厚岸小学校 内容:厚岸町の昆布とだしのうま味の良さを理解し、地場産物の良さを理解する。	34
釧路	厚岸町／厚岸町立真龍小学校	朝食の働きを理解し、望ましい食習慣を身に付ける。	対象:小学校6年生児童 時期:令和4年11月21日 場所:厚岸町立真龍小学校 内容:朝食の働きを理解し、朝食の組み合わせや朝食をとるための工夫を考える。	35
釧路	厚岸町／厚岸町立真龍小学校	おやつ(間食)の適切な摂り方を学ぶ。	対象:小学校5年生児童(5年月組23人・5年雪組24人) 時期:令和4年11月21日 場所:厚岸町立真龍小学校 内容:おやつ(間食)の適切な摂り方について理解し、どのように工夫したいか考える。	49
釧路	厚岸町／厚岸町立厚岸小学校	給食センターの見学	対象:小学校2年生児童 時期:令和4年11月21日 場所:厚岸町学校給食センター 研修室 内容:給食が作られる様子を見学する。食べ物や作っている人への感謝の心をもつ。	20
釧路	厚岸町／厚岸町立太田小学校	給食センターの見学	対象:小学校1年生・2年生児童 時期:令和4年11月30日 場所:厚岸町学校給食センター 研修室 内容:給食が作られる様子を見学する。食べ物や作っているヒトへの感謝の心をもつ。	11
釧路	厚岸町／厚岸町立厚岸小学校	3色の食品群の働きについて学ぶ。	対象:小学校4年生児童 時期:令和4年12月2日 場所:厚岸町立厚岸小学校 内容:3色食品群の働きを学び、バランス良く食べることの大切さを理解する。	14
釧路	厚岸町／厚岸町立太田小学校	厚岸町のふるさと給食について学ぶ。	対象:小学校3年生・4年生児童 時期:令和4年12月5日 場所:厚岸町立太田小学校 内容:厚岸町の地場産物の特徴を理解し、ふるさとの恵みに感謝する心をもつ。	7
釧路	厚岸町／厚岸町立太田小学校	主食・主菜・副菜の役割について学ぶ。	対象:小学校5年生児童 時期:令和4年12月5日 場所:厚岸町立太田小学校 内容:主食・主菜・副菜の役割を理解し、バランスの良い食事の組み合わせを考える。	2
釧路	厚岸町／厚岸町立太田小学校	適切な食品の選び方について学ぶ。	対象:小学校6年生児童 時期:令和4年12月5日 場所:厚岸町立太田小学校 内容:日常生活において、食品の品質や衛生面に留意して選択するためにはどのような工夫が必要かを考える。	5

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	厚岸町／厚岸町立厚岸小学校	おやつ(間食)の適切な摂り方を学ぶ。	対象: 小学校5年生児童 時期: 令和4年12月15日 場所: 厚岸町立厚岸小学校 内容: おやつ(間食)の適切な摂り方について理解し、おやつ(間食)を摂るときの留意点について考える。	5
釧路	厚岸町／厚岸町立太田中学校	補食の摂り方について学ぶ。	対象: 中学校1・2・3年生生徒 時期: 令和5年3月10日 場所: 厚岸町立太田中学校 内容: 補食の役割を理解し、目的をもって補食を選ぶためにはどのような工夫ができるか考える。	10
釧路	標茶町／標茶町立標茶小学校／給食時間の指導	児童の喫食状況、嗜好の把握及び食育の推進を図る。	栄養教諭が勤務日に月ごとに教室を巡回する。	
釧路	弟子屈町／弟子屈町立和琴小学校／食に関する指導	給食ができる工程を知り、それに関わる人たちへ感謝の気持ちをもつとともに、感謝して食事をしようとする意欲をもたせることを目的とする。	令和5年 2月7日(火)/該当学年教室 給食センターでの給食を作る様子(動画)とその説明、道具の紹介等を行った後、給食の喫食を行った。	5
釧路	弟子屈町／弟子屈町立弟子屈小学校／食に関する指導	同上	同上	28
釧路	弟子屈町／弟子屈町立小中学校全校／地場産物を使用した給食提供	地場産物への興味関心を持ち、理解を深めることを目的とする。	令和4年 8月(ましゅうメロン) 令和4年 9月(とうもろこし) 令和5年 1月(ぎゅうにゅう) 地場産物を使用した給食の提供を行い、資料を配布した。	500
釧路	鶴居村／鶴居村立鶴居小学校、幌呂小学校、下幌呂小学校／かまぐち～デー	よくかんで食べる。	月に2～3回実施し、1口30回を目標によくかんで食べる。	180
釧路	鶴居村／鶴居村立鶴居小学校／モグモグタイム	よくかんで食べる。	給食の最初の5分と終わる前の5分を話をしないでよくかんで食べる。 食べ方の注意 ①バクバク 適量を口に入れる ②モグモグ 1口30回を目標によくかんで食べる ③ゴックン 飲み込んでから次の食べ物を入れる	120
釧路	鶴居村／鶴居村立鶴居小学校／マナーの日	食事マナーを身につける。	毎週月曜をマナーの日として実施 月ごとに目標を設定 食器を持って食べる 三角食べをする 姿勢よく食べるなど	120
釧路	鶴居村／鶴居村立鶴居小学校、鶴居村立幌呂小学校、鶴居村立下幌呂小学校／ふるさと給食	身近でとれる食材を知ることと感謝して食べることを目的としている。	月に1～2を目安に村内や釧路管内の食材を使ったふるさと給食を村内全小・中学校で実施	180
釧路	白糠町／町内全小中学校・義務教育学校、北海道白糠高等学校／ふるさと給食	白糠町の豊富な地場産物を学校給食で活用することにより、児童生徒が地域の自然や産業、食文化に関する理解を深め、郷土を大切にすることを目的とする。	内容 白糠町内の食材を使った給食の提供 ※食材 チーズ、鹿肉、やなぎダコ、つづ、鮭、青ジソ、赤ジソの搾汁液、ブルーベリー 時期 毎月(1月はふるさと給食週間として1週間実施) 対象 白糠学園230人、茶路小中学校50人、庶路学園190人、白糠高校70人(各回の概数)	540
根室	標津町／標津町立標津小学校、川北小学校、標津中学校、川北中学校、北海道標津高等学校(町内全小・中学校、高校)／ふるさと給食	栄養管理と地元の安全・安心な食材を提供するふるさと給食の推進を関係機関との連携により推進	正しい食事のあり方と望ましい食習慣、自ら健康管理をできることを目指して学校栄養職員による食に関する指導の取組みとあわせて、毎年11月11日の「鮭の日」の前後日において、「ふるさと給食」を実施。この取組みは、町内の水産加工振興協会や標津漁業協同組合女性部の食材無償協力のもと、地元の食材を活用した給食を提供。	461

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例 (1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名／名称	目 的	概 要(時期、場所など)	参加者数 (人)
根室	羅臼町／ 羅臼町学校給食センター／ 羅臼定食	地元食材の理解を深めると共に、生産者の方々への感謝の気持ちを育む。	実施時期 10月年1回 対象者 町内の園児・児童・生徒 内容 羅臼町でとれた食材を使って全ての献立を作成した給食を提供。食材について記載した資料を配布し、各学級で指導を行う。 ※一部幼稚園、学校で栄養教諭が羅臼定食について説明。	500

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目 的	概 要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	岩見沢市／ 岩見沢市立栗沢小学校／ ふるさと教育	粟沢で働く人々と出会い、その思いについて知る。菜の花にまつわる歴史・文化・産業などを知る。	対象:3年生 時期:4月～11月 場所:3年生教室・栗沢菜の花農家さんの畑 内容:菜の花畑の見学。農家さんによる出前授業。蜂蜜や菜種油の学習、試食。ふるさと納税返礼品(菜種油)のタグ作成。	19
空知	岩見沢市／ 岩見沢市立栗沢小学校／ ふるさと教育	稲作についての学習・体験を通して、郷土の産業と自然の恵みのつながりを知り、まとめることにより、郷土に対する誇りをもつことができる。	対象:5年生 時期:4月～11月 場所:5年生教室・クラインガルテン 内容:田植え・稲刈り体験。空知農業改良普及センターの方による米作りの学習会。棚田を守る会の方による出前授業。	17
空知	芦別市／ 芦別市立芦別小学校／ 地域協力農家と連携した農業体験学習及び収穫祭	地場産業である農業の「体験プログラム」実施により、栽培と食の関連性を図った取組みを行い、身近な地域産業を理解するとともに、自ら育てた作物を調理し、それを食することで食への関心を高める。	学級園や農業実施者の田畑でとれた米や野菜を調理して試食する。また、実施者を招待するなどして、研究発表会・収穫祭・感謝祭を開催し、感謝の気持ちを伝える。【時期】 全学年、収穫後に実施【参加者】 全児童(コロナの影響で保護者の参加はさせられなかった。)【内容】 全学年、学級園において専門家の協力を得ながら野菜等を栽培している。さらに3・4・5年生は、農業実施者の協力を得て、カボチャ・メロン・米を種まきから収穫の体験学習を行った。そして、自分たちが育て収穫した野菜を味わうとともに協力していただいた実施者への感謝を伝える会を開催した。市役所農政課・JAなどの協力を得ながら、来年度も実施予定。	266
空知	芦別市／ 芦別市立上芦別小学校／ 食育の取組み	自ら食生活を管理する意識と態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、1年生:「給食のマナーと手洗い」、2年生:「お箸の持ち方と食べ物のはたらき」、3年生:「かむことの大切さ」、4年生:「食べ物の栄養」、5年生:「地産地消の必要性」、6年生:「食品表示について勉強し自分たちの身体に良いものを考える」の内容で、全校児童に食育の授業を行った。	76
空知	芦別市／ 芦別市立芦別中学校／ 栽培学習	作物栽培とその収穫を通じ、食に関する知識・理解を深める。	・学校菜園で3～4種類の野菜を栽培し、草取りや追肥、水やり、手入れ等に取り組む。収穫した野菜は、各自持ち帰った。	141
空知	南幌町／ 南幌町立南幌小学校／ バケツ稲づくり学習	バケツ稲を育てる一連の農作業を通して、米づくりに対する豊かな感性を養い、広い視野で稲作文についての理解を深めるとともに食料の大切さを認識する機会を創出するため。	○対象 小学4年生 ○場所 南幌小学校 ○内容 4月 芽出し 5月 種まき 9月 稲刈り 11月 脱穀・搗摺り・精米	40
空知	奈井江町／ 奈井江町立奈井江小学校2年生／ ポップコーンづくり	原料となるとうもろこしの栽培・収穫を体験することで栽培の苦労や食の大切さを学ぶ。	JA新すながわ青年部の協力で、とうもろこしの栽培体験を行った。6月に植え付けを行い、10月に収穫とポップコーン作りを行った。	29
空知	奈井江町／ 奈井江町立奈井江小学校5年生／ 稲作体験	稲作体験や調べ学習を通して、食の大切さについて学ぶ。	5月に田植え体験、9月に稲刈り体験を行った。収穫したお米は関係機関(こども園・ないえ福祉会・健康苑・拓興興社)に配布した。	25
空知	奈井江町／ 奈井江町立奈井江小学校6年生／ ジャガイモ栽培	ジャガイモ栽培・収穫を通して、障がい者支援施設の入所者と交流を深める。	障がい者支援施設ないえ福祉会を訪問し、入所者と一緒にジャガイモの収穫を行った。今年度はコロナの影響で収穫のみとなった。最後に行う入所者を小学校に招いてのレクリエーションも中止となった。収穫したジャガイモは調理実習で使用した。	39
空知	由仁町／ 由仁町立由仁小学校／ たらい稲を作ろう	水の大切さ、作物を作る楽しさや大変さを知ってもらうため。	対象:由仁小学校3年生 時期:5月、9月、11月 場所:由仁小学校 内容:由仁町の基幹作物であり、国民の主食である「お米」が、実際の田んぼに見立てたプラ容器の中で、田植えから収穫、また普段食べている白米になるまでの一連の体験が可能。収穫した「お米」は、カレーライスにしてみんなで食べ、地域で身近な農産物である稲を育てることにより、米作りの大切さと水の重要性を知る大切な機会となっている。	36
空知	由仁町／ 由仁町立由仁小学校／ 由粟いも栽培	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうため。	対象:由仁小学校4年生 時期:5月、8月、10月 場所:由仁小学校 内容:そらち南さつまいもクラブで生産する「由粟いも」の栽培を通じ、自然との触れ合いや地域交流を目的として、苗植えや収穫体験、試食を行う。一連の作業に触れることにより、食料である農産物の大切さと地域の特産品を知る大切な機会となっている。	43
空知	由仁町／ 由仁町立由仁小学校／ 食農教育体験授業	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうため。	対象:由仁小学校5年生 時期:5月、9月、11月 場所:由仁小学校 内容:JAそらち南青年部から、手による田植え、鎌による収穫作業を学び、収穫した「お米」はカレーライスにして食べている。作付けから収穫物を味わうまでの一連の体験を通じ、農産物の生産現場と食の大切さを知る大切な機会となっている。	32
空知	由仁町／ 由仁町立由仁中学校／ 由仁町4Hクラブの食育活動	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうため。	対象:由仁中学校1年生 時期:11月 場所:由仁中学校 内容:由仁町4Hクラブによる直接の講義と調理実習を通じ、地元でどのような農産物が生産されているのか等を学んでもらうことを目的に、実施している。	27
空知	栗山町／ 栗山町立栗山小学校／ キャリア教育活動 「田植え・稲刈り体験」	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ。	□時期:令和4年5月26日(木) 令和4年9月15日(木)・16日(金) □場所:長尾農場 □対象:栗山小学校5年生児童 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	64

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	栗山町／ 栗山町立栗山小学校／ キャリア教育活動 「収穫した米でのカレー作り」	とれた米を試食する。農作物の生産の苦労と収穫の喜びを学ぶとともに、食に関する意識を高める。	□時期:令和5年2月8日(水)・9日(木) □場所:栗山小学校 □対象:栗山小学校5年児童 □概要:稲作体験学習で収穫した米を学校で炊飯し、長尾農場からいただいた食材を使ってカレー作りを行った。	64
空知	栗山町／ 栗山町立角田小学校／	由仁町と栗山町で共同開発している「由栗いも」の栽培体験を通じ、植物の生長や生産の苦労と収穫の喜びを学ぶ。	□時期:令和4年6月8日(水) 令和4年9月16日(金) □場所:田中農園 □対象:角田小学校4年児童 □概要:地元の芋植え及び収穫	15
空知	栗山町／ 栗山町立角田小学校／	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ。	□時期:令和4年6月7日(火) 令和4年9月27日(火) □場所:田村農園 □対象:角田小学校全児童 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	58
空知	栗山町／ 栗山町立継立小学校／ キャリア教育活動 「稲作体験学習」	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ。	□時期:令和4年5月17日(火) □場所:継立小学校 □対象:継立小学校3年～6年児童 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	35
空知	栗山町／ 栗山町立継立小学校／ 地域の水田での田植え・稲刈り体験を行い、とれた米を試食する。米作りへの関心を高め、農家の仕事について知り、感謝の気持ちを持つ。	□時期:令和4年11月18日(火) □場所:継立小学校 □対象:継立小学校全児童 □概要:給食がカレーの献立である日に、稲作体験学習で収穫した米を学校で炊飯し全校児童で食べた。(コロナ拡大のため、カレー作りは中止し給食のカレーで対応した)	54	
空知	栗山町／ 栗山町立継立小学校／	由仁町と栗山町で共同開発している「由栗いも」の栽培体験を通じ、植物の生長や生産の苦労と収穫の喜びを学ぶ。	□時期:令和4年6月9日(木) 令和4年9月21日(水) □場所:田中農園 □対象:継立小学校5年児童 □概要:地元の芋植え及び収穫	11
空知	新十津川町／ 新十津川町立新十津川中学校	①新十津川町で進めているスマート農業について学んでもらう。 ②自分達が食べているお米がどのように作られているか学んでもらう ③農業のやりがいや大変さを学んでもらう。	①新十津川町で進めているスマート農業について説明した。 ②自動運転コンバインに乗って稲刈りを体験してもらい、講師(生産者)の方が作った新米(ゆめぴりか)のおにぎりを提供した。	53
石狩	江別市／ 江別市立豊幌小学校／ 作物栽培	豊幌ならではの作物栽培から収穫までの過程を体験し、作物や作る人への感謝の心や食への興味関心を育む。	1.2年(生活) サツマイモや大根などの野菜の栽培・収穫 3～6年(総合の時間)地域の方や保護者が講師となり、作物の種まきから収穫、調理を実施。 3年生(小麦でうどん作り)4年生(大豆で豆腐作り)5年生(米でおにぎり作り)6年生(ジャガイモでジャガイモ料理)	87
石狩	江別市／ 江別市立大森小学校／ 雑豆教室	北海道は、全国的に見ても、豆の生産地でありながら、あまり身近ではないため、豆を育てながらいろいろな豆の種類を知り、豆に興味を持ってほしいと思うため。	対象:3年生 時期:6月～12月 場所:大森小学校 内容:学校菜園で4種類の豆(赤花豆・白花豆・ハンダ豆・とらまるうずら豆)を成長観察しながら、自分たちでお世話を育てる。育てた4種類の豆を収穫し、それぞれの豆の形や色などを観察。最後の日に、豆料理研究家さんにゲストティーチャーとして来校してもらい、児童からの豆の質問に回答してもらったり、豆の生態や栄養について知識を深めた。また4種類の豆を煮て食べ比べをし、味の違いを感じた。 ※この取組は、総合ではなく生活科の授業で実施しました。	59
石狩	新篠津村／ 新篠津村立新篠津小学校／ 〇わくわくプロジェクト(おいしいお米を作ろう！)	〇自然・社会とそこに生きる人々との関わりの中で、体験を通して課題を発見し必要な情報を収集し分析を行う。	〇時期:令和4年5月～令和4年11月 〇場所:みのり農園、小学校家庭科教室、食堂 〇対象:小学校5年1組 〇概要:調理実習、地域の方との交流	19
石狩	新篠津村／ 新篠津村立新篠津小学校／ 〇わくわくプロジェクト(小豆と作って、お汁粉を作ろう！)	〇小豆の栽培活動や汁粉作りを通して、人々とのふれあいや食の大切さを学ぶ。	〇時期:令和4年5月～令和4年10月 〇場所:学習園、小学校家庭科教室 〇対象:小学校6年1組 〇概要:調理実習、地域の方との交流	16
後志	寿都町／ 寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校／ 食育指導	食事や食生活に関して、授業時間や総合学習の時間を利用し指導する。	対象:寿都小学校5年生、潮路小学校1～6年生、寿都中学校2年生、寿都高校1～3年生 時期:6月、8月、9月、10月、2月 場所:各学校 内容:「牛乳について」「災害時の食事について考えよう」「バジルのレシピづくり」「給食の献立を考えよう」「ごはんをおいしく食べるひみつ」「寿都町の食材について」「お米について」「食品ロスについて」	140
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎農業体験交流事業(小学2～6年生対象) 5月～10月実施 農作物の播種から収穫までを行い、成長過程を学習した。農協青年部に農作業の指導を依頼した。また、児童・教諭・地域と一緒に活動したことで異年代交流も図ることができた。 〇具体的な活動内容 2年生:さつまいも 3年生:馬鈴薯 4年生:大根 6年生:ビート、ブロッコリー	184

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎高校生との農業体験交流事業(小学1・2年生対象) 6月～10月実施 地元高校生の協力を得ながら、農業の大切さを伝えるとともに、作物がどのように成長していくのかを農業実習体験を通して学習する。また、異年齢交流も図ることができた。 今年は、枝豆・スイートコーン・大豆の作付を行った。	143
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎でん粉すり・取り出し体験(小学3年生対象) 10月13～14日実施 農業体験交流事業で収穫した馬鈴薯を使い、昔のでん粉工場を再現した「ミニでん粉工場」を稼働し、農協青年部と地域ボランティアの協力を得ながら、どのようにでん粉が作られるのかを学習した。	23
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎大根調理(小学4年生対象) 10月14日実施 農業体験交流で収穫した大根を使い、地域ボランティアの協力を得て、大根調理(フライド青のり大根)を実施した。	15
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎じゃがいも調理・でんぶんもち試食(小学3年生対象) 10月18日実施 でん粉すりを取り出した生でん粉を使い、地域ボランティアの協力を得て、試食を行った。	19
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎ビート糖づくり(小学6年生対象) 10月28日実施 農業体験交流事業で収穫したビートを使い、地域ボランティアの協力を得て、ビート糖づくりを行った。	24
後志	留寿都村／ 留寿都村立留寿都小学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎きな粉作り体験(小学1年生対象) 11月2日実施 令和3年度に高校生との農業体験交流事業で収穫した大豆を使い、地域ボランティアの協力を得て、きな粉作りを行った。	20
後志	留寿都村／ 北海道留寿都高等学校／ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体:留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えるとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎手打ちそば体験(高校2・3年生対象) 11月11日、12月16日実施 地元で活動をする手打ちそばサークルの協力を得て、そば打ちの指導をもらいながら、手打ちそばを打つ体験を行った。	23
渡島	森町／ 森町全小学校／ セレクト給食	バランスを考えて献立をつくり、食事を作る人への感謝の心を育てるため。	対象:小学校5～6年生 時期:9～12月 内容:6年生は栄養教諭の「食に関する指導」で栄養バランス、給食を喫食する下級生を意識して献立を考え、5年生は栄養バランスや食事のマナーを学習	200
渡島	八雲町／ 八雲町立山越小学校／ 食育講話	食育の推進のため。	対象:小学4～6年生 時期:6月27日 内容:バランスのよい食事、おやつを食べ方	5
渡島	八雲町／ 八雲町立熊石中学校／ 中学生食育講座	望ましい栄養知識や食事の摂り方を理解し、生活習慣病予防につなげるため。	対象:熊石中学校1～3年生 時期:11月15日、11月21日 内容:生活習慣病とはどんな病気なのか、熊石地域の健康課題について学び、自分の生活を振り返りながら改善方法を学習(1年生10名、2年生7名、3年生9名)	26

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
榊山	厚沢部町／ 厚沢部町立厚沢部小学校、厚沢部町立鶴小学校、厚沢部町立厚沢部中学校	食に関する指導の実施。	対象:全小中学生 時期:通年(各学年1～2回程度実施) 場所:各小中学校教室 内容:食に関する正しい知識を身に付けてもらい、自分の成長につながる栄養素のことについての知識も学ぶ。また、正しい箸の持ち方をはじめとする食事のマナーについても学び食に対する意識をもってもらう。	250
榊山	今金町／ 今金町立今金小学校／ 各学年における食の指導	・食物を大事にし、食物の生産などに関わる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化や成長にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	・1年生「野菜作り」:35名 ・2年生「野菜作り」:23名 ・3年生「日本一の今金男しゃく」:26名 ・4年生「野菜から食を学ぼう」:34名 ・5年生「今金米から食を学ぼう」:34名 ※6年生29名は家庭科の時間でバイキング給食を実施	181
榊山	今金町／ 今金町立種川小学校／ 各学年における食に関する指導	・食物を大切に、食物の生産にかかわる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	○全校児童 ・ビニールハウスでの野菜作り ・ふるさと先生によるしいたけ、なめこ栽培、収穫作業 ・バイキング給食 ○3～6年生 ・ふるさと先生による畑での野菜栽培、収穫作業 (参加者 1年:4名、2年:2名、3年:4名、4年:7名、5年:4名、6年:5名)	26
榊山	乙部町／ 乙部町立乙部小学校／ 米作りについて調べよう	米作りについて調べたり、体験したりすることによって、「米作り」や「食」に対する考えや意見を持てる児童の育成を目的としています。	5月→①田植え 8月→②かかし作り 9月→③稲刈り 12月→まとめ発表 4年生 13名 ※①、②、③については役場産業課、水土里の会の方々の協力を頂き、体験活動を実施。 ※上記以外では、総合的な学習の時間で継続して米作りについての学習を実施。(図書室の資料やインターネットを利用して米作りについて調べるなど) また、学校裏のミニ水田で育てた稲を刈り取り、脱穀や精米、炊飯などの食べるまでの過程を体験し、米や食に対する関心を高めている。	13
榊山	乙部町／ 乙部町立明和小学校／ ふるさと教育(地域一体型学習)	①→地域に関心を持ち、スケソウ等についての漁業について学習を深めます。 ②→蕎麦に関する学習として、栽培から食するまでの一連の体験を通して、食についての関心を高める。 ③→野菜などの食材を育てる活動を通して、水やりなどの自主的な取組を促すとともに、食に対する感謝の気持ちを育む。	①6月 豊浜漁港見学、魚の生け簀見学 12月 樽餅づくり体験学習 ②7月 種蒔き 10月 収穫 11月 蕎麦挽き→蕎麦打ち→試食 3月 蕎麦に関する学習の発表会(参観日) ③4月→ビニールハウス設置作業 6月→苗植え(学校前)(ナス、トマト、枝豆、きゅうり等) 10月→収穫、試食	10
榊山	乙部町／ 乙部町立乙部中学校／ 地域素材活用体験学習	地域の産物産物を食材とした体験学習を通して、地域の理解を図るとともに食生活について考える。	漁業体験学習「サケ定置網体験」(9月) (鮭どぼづり)(1月)2年生 漁業体験学習「ナマコ体験」(6月)1年生 漁業体験学習「イカ漁業体験」(7月)3年生 10月 地域の料理づくり(1年生) 12月 食に関する授業(3年) 1月 食に関する授業(2年) 4月～6月 食に関する授業(1年)	68
上川	東神楽町／ 東神楽町立東神楽小学校／ 田んぼの学校についての取組	米作りの活動を通して、身近な自然環境に関心を持ち、環境とのかかわり方や食の問題について考えるとともに、環境問題や自分食生活など見直し、自分の生活に活かす。	対象:5年生 時期:5月23日、9月26日、11月 場所:学校近くの圃場 内容:田植え、稲刈り、脱穀の体験	34
上川	東神楽町／ 東神楽町立東神楽小学校／ とうもろこし収穫体験についての取組	とうもろこしの収穫体験を通して、畑作に対する興味・関心をもち、自分の住む町の地域産業である農業について学びを深める。	対象:3年生 時期:8月24日 場所:東神楽町9号北7 内容:とうもろこしの収穫体験	29
上川	東神楽町／ 東神楽町立東聖小学校／ 給食調査隊	食に関わる人たちの思いを知る。	○3年生総合的な学習の時間(30時間扱い) ○学習内容 ・給食について知る(残食調べ、児童アンケート、メニュー作りなど) ・給食の秘密を調べる(栄養教諭、調理員、生産者の方へのインタビューなど) ・学んだことを生かす(学習したことをまとめ表現する)	77
上川	愛別町／ 愛別町立愛別小学校、愛別町立愛別中学校	減塩の必要性や正しい知識を学童期に身につけることで、児童・生徒及びその家族の減塩に対する意識を高める。	対象:愛別小・中学校の児童、生徒及びその家族(小学校児童101名、中学校生徒47名) 時期:令和5年1月26日 内容:児童、生徒1人ずつに対し、減塩に関するリーフレット、減塩商品(小学生:減塩菓子、中学生:減塩カップ麺)、減塩周知のポケットティッシュを配布。	148

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	南富良野町／南富良野町立南富良野西小学校	地域の特産品であるもち米を活用し、田植え体験、収穫体験、脱穀体験、集会を通して地域の農業について学ぶ機会とする。	5月23日 田植え体験 地域農業者の水田をお借りし、水田の泥の感触を楽しみながら田植え体験を行いました。 9月21日 稲刈り体験 地域の老人クラブの協力により、稲刈り体験を行い、稲の刈り方と束ね方を教わりました。 10月18日 脱穀体験 保護者の協力により、電動脱穀機により脱穀体験、電動脱穀機で取れなかった稲穂を手で取る作業を行いました。 12月3日 もちつき集會 田んぼで育てたもち米を使い、もちつき集會を行いました。児童・保護者・教職員で、感染症対策を講じながら、きねとうずでもちつきを行い、鏡もちを作りました。 また、もちつき機でついたものは、子ども達が準備したきなこや納豆、しょうゆをつけて食べました。	40
上川	中川町／中川町立中央小学校	各学年への食の学習を通して、自らの健康と食の関わりを学ぶ。	時期:令和4年11月～令和5年3月(各学年を訪問し講話を実施、3学期に再度昼食時間訪問を実施) 合計12回/年 場所:中川町立中央小学校 担当:管理栄養士	158
上川	中川町／中川町立中川中学校	講話を通して、正しい食に関する知識を身に付け、将来、自身の健康を管理できる能力を養う。	時期:令和4年12月～令和5年2月(全校生徒向け1回、1年生対象1回) 場所:中川町立中川中学校 担当:管理栄養士	46
上川	当麻町／当麻町立当麻中学校	日常の食生活について、理論的、または体験的な学びを通して望ましい食習慣を身に付ける。	5月には第2学年、11月には第1学年、3月には第3学年で「食育講座」を開催し、町内の栄養教諭による講義・ワークショップ型の学習を行った。それぞれの学年において、子供の発達段階に応じてテーマを設定し、生徒にとっては日常の食生活について考え直す機会となった。	143
上川	当麻町／当麻町立当麻小学校	地域の基幹産業である稲作を調べる活動を通して、食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深めるようにする。	1 田んぼの作業を体験しよう (1)苗の観察 (2)田植え(動画視聴) (3)生育体験 (4)稲刈り(動画視聴) 2 お米のひみつを調べよう 3 お米のひみつを紹介しよう	48
上川	旭川市／旭川市立東明中学校	食中毒予防の知識のほか、食材と自然環境の関係や栄養素に関する知識等を身に付ける。	対象:旭川市立東明中学校1年生 時期:令和4年9月27日(火) 場所:旭川市立東明中学校体育館 内容:食中毒予防の基礎知識	160
上川	剣淵町／剣淵町立剣淵小学校、剣淵町立剣淵中学校、北海道剣淵高等学校	地域の自然や農業についての体験学習を通じ、郷土愛を深め、食を大切にすることを養う。	5月、9月 (小学校5年生) 剣淵高校の生徒と連携し、田植え、脱穀までの米づくりを体験(中学校2年生) 剣淵高校先生方の出前授業による菜園活動を実施 ※参加人数は小・中学校の児童・生徒数(概数)	30
上川	和寒町／和寒町立和寒小学校3年生	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・3年生「和寒キャベツ調べ隊」・・・和寒町の農業についての学習・・・農想塾の協力により越冬キャベツの収穫～試食などを通して学習を行った。 ○キャベツについて調べよう(1学期) 種まき体験を通して、キャベツ作りへの関心を高める。 ○収穫体験をしよう(2学期) キャベツの成長の様子を観察し、農家の人たちと収穫体験を行う。 ○食べ比べよう(3学期) 味を比べながら、試食体験を行う。1年間のまとめとしての発表会を行う。	15
上川	和寒町／和寒町立和寒小学校5年生	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・5年生「和寒町のお米の歴史について学ぼう」・・・和寒町の米作りについての学習・・・田植え、稲刈り、試食など年間を通して学習を行った。 ○田植え体験をしよう 和寒町で育てられてきた10品種の苗をそれぞれグループで植える。 ○和寒町以外の稲作やお米についても調べよう 道内・道外の稲作について調べ学習を進める。 ○稲刈り・はさがけを体験しよう 稲刈り・はさがけをグループに分かれ体験 ○カントリーエレベーターを見学しよう 脱穀作業・カントリーエレベーター見学(手塩の大地)・千歯こきを使用して脱穀作業 ○お米の食べ比べをしよう 和寒町で作られてきたお米の食べ比べを行う。 ○和寒のお米について 和寒のお米の歴史について再確認する。	23
上川	名寄市／市内各小学校	農作業を通して、相互協力の大切さや自ら育て収穫する楽しさや喜びを知り、食の大切さや感謝の気持ちを育む。	総合的な学習における農業体験、食の指導、また栄養教諭を活用した栄養に関する授業の実施。	395
上川	上川町／上川町立上川小学校	稲作体験を通して、米作りの大変さや大切さを感じるとともに、作り手の思いを大切にすることを強める。	地域の産業である稲作について考えた。春は田植え、夏は草刈り、秋は稲刈りの体験を辰巳農園で行った。実際に体験することで、田植機やトラクターに乗ることができ、楽しく学ぶことができた。 例年収穫したもち米で餅つきを行っていたが、感染予防のため、収穫したもち米を各家庭に持ち帰り喫食した。 米作りの大変さを学習・体験することにより、よりおいしく感じるようになった。	17
上川	上川町／上川町立上川小学校	大豆の生産に関心をもち、自分たちで大豆を育ててみたいという強い願いを持つ。	大豆について調べ、実際に育ててから、加工するまでを行った。春から夏にかけて教材園で大豆を栽培し、秋に収穫して豆腐・おからクッキー・きな粉を作った。 豆腐作りでは、豆乳の香りや、大豆のほのかな甘味を感じることができた。また、豆腐を作る過程でできたおからを使用したクッキーを作ることで、大豆を残さずにおいしく食べることができた。	22

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
留萌	小平町／ 小平町立小平小学校／ 食育授業	・栄養バランスの取れた食生活や正しい食習慣を身につける。 ・食事の組み合わせや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。 ・各地域の産物・食文化や食に係る歴史等を理解し、尊敬する心を持つ。	【対象】3年生 【概要】 ・「給食パワー」というテーマで給食ができるまでの動画を見て、『食』をテーマにした調べ学習を行った。 ・「栄養素」や「食品ロス」、「給食について」などグループでインターネットを活用し調べ、パワーポイントを個人で作成し、調べ学習を発表した。	15
宗谷	稚内市／ 稚内市立稚内南小学校／	日常の食に興味・関心を持ち、楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことがわかるようにする。	稚内市の栄養教諭による低・中学年を対象に「食の大切さ」についての授業を行った。成長期に必要な栄養と自らの食事についてクイズ等を交えながら興味・関心をひく授業を展開した。	65
宗谷	稚内市／ 稚内市立稚内東中学校／	1年生「なぜ私たちは食事をするのだろうか?」～食をとおして、自己の生き方を考える～ 2年生「食を通して自分たちや社会を見つめよう」 3年生「食の安全 飲み物と健康」	1年生・・・自分の食生活や理想的な食生活を考える探究的な学習をとおして、食を食べることの意味と自分自身の生き方との関わりに気付き、食を食べることの意味を自分との関わりで考えたとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにすることを目標に実施した。生徒51名 2年生・・・主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとして、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養うことを目的に実施した。生徒38名 3年生・・・自身の生活を振り返り、飲料と健康の関わりについて関心を高め、望ましい(安全な)飲料を選択したり、健康的な摂取の仕方を判断したりできるようになることを目的に実施した。生徒50名	139
宗谷	豊富町／ 豊富町立豊富中学校／ 酪農実習	豊富町の基幹産業である酪農について学ぶため、地域酪農家のもとで酪農実習を行う。	対象:豊富中学校2年生 時期:11月17日 場所:各酪農家先 内容:実際の農作業(搾乳・給餌・除糞等)を行った。酪農家にやりがいや楽しいところなど酪農についての質問も行った。	25
オホーツク	網走市／ 網走市立第五中学校／ 食育の授業	・食育に関して、食習慣や食生活について、段階的に学習を進める。	内容:他校配置の栄養教諭を講師に招き、各学年が1時間ずつ指導を受ける。 1年生 望ましい食習慣 2年生 栄養とバランス 3年生 身体のおしみや献立作成	33
オホーツク	美幌町／ 美幌町立旭小学校／	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校児童 時期:年間を通して 場所:美幌町立旭小学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	187
オホーツク	美幌町／ 美幌町立美幌小学校	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校児童 時期:年間を通して 場所:美幌町立美幌小学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	295
オホーツク	美幌町／ 美幌町立東陽小学校／	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校児童 時期:年間を通して 場所:美幌町立東陽小学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	284
オホーツク	美幌町／ 美幌町立美幌中学校／	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校生徒 時期:年間を通して 場所:美幌町立美幌中学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	200
オホーツク	美幌町／ 美幌町立北中学校／	地域の食材を取り入れ、食事の重要性を理解し、食品を選択する能力を身に付けるため。	対象:全校生徒 時期:年間を通して 場所:美幌町立北中学校 内容:給食便りによる情報発信 栄養教諭による食に関する指導	217
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・給食の歴史や衛生管理、食材や調理について学ぶ。	【対象者】小清水中学校1年生 【時期】令和4年5月11日(1年生) 【内容】栄養教諭による食に関する授業「給食について」	37
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・成長期の特徴や大切な栄養素を理解した上で食生活を見直し、よりよくなる方法を学ぶ。	【対象者】小清水中学校2年生 【時期】令和4年6月16日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「成長期の食と栄養」	41
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水小学校／	・よくかむことの利点を理解し、よくかむためにできることを考える。	【対象者】小清水小学校3年生 【時期】令和4年8月29日、9月2日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「かむことについて考えよう」	44
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・朝食の大切さや健康的な朝食について理解し、自分の生活や朝食を見直す活動を通して朝食に対する意識を高める。	【対象者】小清水中学校1年生 【時期】令和4年11月7日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「朝食の大切さ」	37
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・受験期を乗り切るための生活の問題点があり、実践可能な方法を考える。	【対象者】小清水中学校3年生 【時期】令和3年12月12日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「受験期の食事」	32
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・おやつ役割と適正量を知り、自分に合ったおやつのとおり方を実践しようとする態度を育てる。	【対象者】小清水中学校2年生 【時期】令和5年2月10日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「おやつのとおり方」	41

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水小学校／	・飲み物のとり方に気をつけようとする態度を育てる。 様々な飲み物に含まれる糖分を知り、選択する能力を養う。	【対象者】小清水小学校4年生 【時期】令和5年3月3日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「飲み物のあまさについて考えよう」	32
オホーツク	小清水町／ 小清水町立小清水中学校／	・高校生に必要な栄養素や食品添加物などを理解し、卒業後の食生活について学ぶ。	【対象者】小清水中学校3年生 【時期】令和5年3月9日 【内容】栄養教諭による食に関する授業「卒業後の食生活」	29
オホーツク	佐呂間町／ 佐呂間町内各小学校／ 「水産学習」 ・ほたての解体(5年生) ・鮭の解体(6年生)	・地元の特産品の理解 ・生産者との交流	10月～11月 各学校家庭科室 漁業組合の方が講師として来校していただく。	65
オホーツク	大空町／ 大空町立女満別小学校、大空町立東藻琴小学校／ ファームスクール 「カボチャ播種、除草等、収穫」	カボチャの栽培を通じて、農業への理解と食料の大切さを認識することを目的としている。	女満別地区の(株)大地のMEGUMIの協力で圃場を借りて指導してもらう。 ・播種:6月上旬ごろ実施(手植え作業) ・除草作業や根の生育調査:7月中旬ごろ実施(マルチビニール剥しなど) ・収穫:9月下旬ごろ実施(手作業でひとつずつもぎ取る) ・女満別小:6年生、東藻琴小:6年生	40
十勝	音更町／ 音更町立下音更小学校／ ふれあい農園農業体験	農作業体験を通して食を育む機会を提供し、音更町の基幹産業である農業や農産物について学ぶとともに、播種から調理加工までの一貫した食育を行うことを目的とする。	「ふれあい農園」を開設し、種まきから収穫、調理加工まで一貫した作業指導を行うことで、農業を理解する場や食育の場として活用している。 場所:ふれあい農園 参加者数:154名(下音更小)	154
十勝	新得町／ 新得町立新得小学校／ 給食センターを見学しよう～好き嫌いをなくそう～	給食が作られる過程を見学することで、調理の大変さや調理員さんの思いを感じ、食に対する関心を高める。	対象:2年生27名 時期:11月30日 場所:新得町給食センター 内容:新得町給食センター見学	27
十勝	新得町／ 新得町立富村牛小中学校	望ましい食事の習慣と集団生活の中での食事のマナーを身につけるとともに、栄養を考へて食事する態度を養う。	時期:各学期ごと(給食時) 場所:小学部:ランチルーム 中学部:教室	12
十勝	新得町／ 新得町立新得中学校／ 食育教室	中学生時代の食事に係る教育	場所 新得中学校 講師 新得小学校栄養職員 9/9 1年生 「食品ロスについて」 9/9 2年生 「学校給食と地域の食材について」 7/4 3年生 「スポーツと栄養の関わり」	87
十勝	新得町／ 新得町立屈足中学校／ 食生活と健康について	○栄養や食事のとり方など、食に関する正しい知識の習得を目指す。 ○正しい知識を活用して、自ら食生活をコントロールしていく食の自己管理ができる人間を育てる。	場所 屈足中学校 講師 栄養職員 澤井 雅代 氏 3/7(火)5校時 ・基礎食品群と栄養素の見直し ・一日に栄養所要量からお弁当に必要なカロリーをとる ・それぞれが食べた週末の食事について考える ・バランスの良い食事とは	7
十勝	芽室町／ 芽室まるかじりプロジェクト(食農教育)	義務教育課程での総合的な学習の時間等における農業体験などの取り組みを通して食べ物への関心や大切にすることを育てるとともに「私のふるさとの芽室町はこんなまちです」と話すことができるよう、基幹産業である農業に対する理解や強度を愛する心を育むため本事業を実施。	事前学習 5月 ほ場学習(播種) 5月中旬 ほ場学習(管理作業) 7月上旬 ほ場学習(収穫)8月下旬 事後学習 9月	160
十勝	中札内村／ 中札内村立中札内小学校、中札内村立上札内小学校／ 子ども農業体験事業	農業体験を通して自然の力や恵みを実感してもらう。	日時:令和4年8月26日 場所:村内農場(2か所)、中札内小学校 対象:中札内小学校5年生と上札内小学校5年生 内容:農協青年部の協力により、枝豆の収穫体験と収穫後に枝豆を活用したピザ作りの調理実習を実施。	53
十勝	更別村／ 更別村立上更別小学校、更別村立更別小学校／ 農業体験の取組	更別村を支える農業を体験し、農業を生業にしている方の苦勞や大変さなどを学び、食物や生産者への感謝の気持ちを育む。	・小学校5年生が総合的な学習の時間において「カボチャ」をテーマに、全ての活動をJA青年部と連携しながら学んだ。5月には播種、9月には収穫を実施した。12月にはカボチャを食材にし一緒に料理する予定だったが、新型コロナウイルスの関係で食を伴う活動を取りやめ、家に持ち帰ってカボチャを食べた。しかし、一緒に活動することで大地の豊かさと、そこからとれる作物の美味しさを知ること「食」の大切さと「食」への関心を高めることができた。JA青年部と連携して学ぶことによって、教育効果をあげることができた。	157
十勝	更別村／ 更別村立更別中央中学校／ 地場産品の学習	更別村の主要作物である「小麦」について学習し、地域の基幹産業を学ぶ。	中学校1年生の総合学習として地域の主要作物である「小麦」をテーマに小麦についての学習や地域の小麦を活用したあんぱん作りを更別農業高校の教員、生徒とともに実施。	35
十勝	大樹町／ 大樹町立大樹小学校4年生／ 「牛の秘密を探ろう」	酪農の大切さを知る。 自分たちの地域に誇りと愛情を持つ。	対象 小学4年生 時期:5月 場所:中島地域コミュニティセンター 内容:JA大樹町中島酪農祭に参加した。酪農の大切さを学ぶため、バター作りを通して、牛乳が様々なものに加工されていることを知った。	50
十勝	大樹町／ 大樹町立大樹小学校3年生／ 「畑の秘密を探ろう」	農業の大切さを知る。 自分たちの地域に誇りと愛情を持つ。	対象 小学3年生 時期:5月～11月 場所:大樹小学校農園 内容:JA大樹町の青年部と一緒に野菜を育てた。収穫後は、町内飲食店へ販売し、そこでメニュー化がなされ、食べ物が自分たちの口まで届くまでを学んだ。	50

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	大樹町／ 大樹町立大樹小学校3年生／ 「ポップコーンづくり」	農業の大切さを知る。 自分たちの地域に誇りと愛情を持つ。	対象:小学3年生 時期:5月～11月 場所:大樹小学校(農園、家庭科室) 内容:JA大樹町の青年部と一緒に加工用とうもろこしの種を蒔いて育て、収穫後、畑の先生指導のもと、ポップコーン作りを行った。	50
十勝	大樹町／ 大樹町立大樹中学校／	「食の大切さと尊さ」について講義や実技を伴いながら学び、これからの生活と関連付けて考えることができる。	対象:第3学年生徒44名 時期:令和4年6月14日 場所:大樹町立大樹中学校体育館及び調理室・被服室 内容:・雪印メグミルク「食育出前授業」(講師:雪印メグミルクスタッフ) ・講義1時間(体育館使用)、実習を伴った学習活動1時間(クラス別で調理室と被服室を使用)	44
十勝	豊頃町／ 豊頃町立大津小学校／	地産地消 地域の食文化に触れる。	地元産食材を使用した調理実習を通じ、食育授業を実施(11/13)	17
十勝	豊頃町／ 豊頃町立豊頃小学校／	地産地消 地域の食文化に触れる。	豊頃町農業協同組合試験圃場にて農産物の植え付けを体験	15
十勝	豊頃町／ 豊頃町立大津小学校／	地域の産業を学ぶ(ふるさと教育)	地元産食材を使用した調理実習を通じ、食育授業を実施(11/13)	17
十勝	足寄町／ 足寄町立足寄小学校3年生／	足寄町で生産されている農産物やラワンぶきをもっと知ってもらふ機会として。	6月23日 鳥羽農場 「ラワンぶき」青空教室として開催、生産者自らラワンぶきの苗を使ってどのように成長するのかなど説明、その後圃場で実物を見ながらスケッチを行い、食べて・見て・聞いて、学習の機会とした。	39
十勝	足寄町／ 足寄町立足寄小学校3年生／	実際に畑で作物を見て・触れて・感じて、そして農業とはどのような作業で作られているのかを聞いて、食とは何かを学んでいただく機会とした。	令和4年8月30日JAあしよる青年部 宮口農場 畑で活躍しているトラクターの運転(作業方法)や、実際の作業に携わっている人々の工夫や、その作物が食卓に上がるまでを説明し、ふるさと足寄の良さを表現する学習に活かす機会とした。	41
十勝	足寄町／ 足寄町立足寄小学校3年生／	農業の仕事に携わっている人々の工夫や願いについて分かったことをまとめ、ふるさと足寄の良さを表現する学習に活かすため。	11月8日JAあしよる青年部 荻原牧場 牛の飼養方法、餌やり、授乳、搾乳作業の流れについて説明を聞き牛乳が出来るまでの工程について学んだ。	41
十勝	足寄町／ 北海道足寄高等学校／	食事のこと・自分の健康のことを、今の食生活で大丈夫か考えるため。	12月15日(5・6時間目)足寄高等学校3年生 <概要> ・事前に食生活に関するアンケートと食事記録を提出してもらい、実態把握を行い、教室内容に盛り込みました。 ・教室では「今の食生活で大丈夫?考えよう!食事のこと・自分の健康のこと」と題し、卒業後の自分の食生活について考えるきっかけとなるよう、グループワークと講話により、「バランスの良い食事」や「1日に必要な野菜の量」、「骨粗しょう症予防とカルシウム摂取」等について学びました。 アンケート結果からも野菜や牛乳・乳製品の摂取不足がうかがえたため、講話で必要性や必要量について伝えました。	55
根室	別海町／ 別海町立上西春別中学校／ 乳和食の取組	地域食材を用いた「乳和食」の作成を通して、食育とふるさと教育を推進する。	対象:生徒、保護者、地元酪農家、近隣の高等学校生徒等 時期:授業～年間、試食会～12月14日 場所:上西春別中学校 内容:生徒の願いやアイデアを基に地元の牛乳を使用した「乳和食」を考案し、学校で試食会を実施した。保護者、地元酪農家、近隣の高等学校、関係事業者などと連携を図りながら、総合的な学習と家庭科の横断的な学習として実施している。	110

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	歌志内市／ うたしない認定こども園あおぞら お弁当の日	お弁当を通して、親子のコミュニケーションを深め、保護者の食意識を高めるとともに、園児の食を楽しむ気持ちを育むことを目的とする。	対象:全園児 時期:1月を除く毎月の月初め(年11回) 場所:こども園 内容:手作りお弁当を持参	249
空知	歌志内市／ うたしない認定こども園あおぞら 食育だより	保護者が子どもの食への意識を高めるための情報提供を目的とする。	対象:園児の保護者 時期:毎月1日(年12回) 場所:こども園 内容:各テーマに沿った内容の食育だよりを配付 ①食品目分量、②朝食、③脱水予防、④食生活アンケート結果、⑤野菜、⑥便秘予防、⑦おやつ、⑧魚、⑨五感、⑩乾物、⑪副菜、⑫食事を楽しむ	281
空知	上砂川町／ 上砂川町認定こども園ふたば／ 食育の日	小中学生の肥満が全国より多い健康課題の対策のため、子どもの頃から健全な食生活を学ぶため	時期:毎月19日 年11回 場所:認定こども園ふたば 内容:町栄養士が給食を見学し、園児の食べ方の実態把握を行った。課題解決に向けた健康教育を2回実施。3色食品群、食器、食具の使い方など健康教育を実施。まん延防止措置期間は保育士が健康教育を実施。	36
空知	上砂川町／上砂川町認定こども園ふたば／ 菜園活動	小中学生の肥満が全国より多い健康課題の対策のため、菜園活動を通して食物の成長を知り、収穫する喜びを味わうとともに食物への関心を持つ。	時期:4月～9月 場所:認定こども園ふたば 内容:野菜や果物の苗植え、草とり、収穫等を実施。収穫時期は収穫した作物を給食やおやつので食材として利用。	22
空知	長沼町／ 中央長沼保育園／	給食を活用した食育の推進(地産地消)	対象:中央長沼保育園 園児 時期:8月9日～16日 園芸連からいただいた、長沼町の野菜を給食で使用。 (トマト・いちご・ブロッコリー・アスパラ・きゅうり・ねぎ・スイートコーン)	130
空知	長沼町／ 中央長沼保育園／	歯の健康の推進	対象:中央長沼保育園4・5才児※保護者の希望による 時期:通年 園児の虫歯を予防し、歯・口腔の健康の保持推進を図るため、フッ化物洗口を実施	53
空知	長沼町／ 中央長沼保育園／	食への興味関心を育む	対象:中央長沼保育園 年長児 自分たちで育て、収穫した野菜を使用したクッキングを実施し、楽しく食べることを体験する。 9/17 にんじんパンケーキ 10/15 いもち 11/14 カレーライス 行事食での調理体験 クリスマス 12/24 トナカイケーキ バレンタイン 2/18 チョコバナナカップケーキ	29
空知	長沼町／ 中央長沼保育園／	食への興味関心を育む	対象:中央長沼保育園 園児 焼き芋会 焼き芋会は、数日前から散歩時に枯葉を集め、当日は芋を包む作業から始め、四季の移り変わりや旬を楽しむ経験をする。	130
空知	新十津川町／ 新十津川保育園／ 食育の日	保育園児が食に関する興味や関心を持つことにより、自分の健康を守ることができるようになる。	【時期】毎月19日前後 【場所】保育園 【対象者】保育園児 【内容】「食育の日」として、保育士から園児に対して、紙芝居やペープサートなどの媒体を使用して、食に関する知識の普及啓発活動を実施。	90
石狩	札幌市／ 札幌市幼児教育センター、札幌市立幼稚園(9園)／ 弁当指導	○弁当への期待を高めながら、食事のマナーを伝え、友達と一緒に食べることを楽しめるようにする。 ○弁当参観等を通して、幼児期の食生活に関心をもてるよう保護者啓発を行う。	・幼児には「食べるのが楽しい」という心を育むように、好きなものから食べ始め、徐々に苦手なものにも挑戦するなど指導を工夫した。また、座って落ち着いて食べる、箸の使い方等、食事の基本的なマナーについて知らせた。 ・コロナ禍においても、弁当を学級の友達と一緒に楽しく食べることができるようテーブルにバーテーションを置くとともに、大声を出さず静かに食べることを指導した。 ・保護者には、参観や便り等を活用して栄養バランスや幼児に扱いやすい道具について知らせたり、懇談を通して情報交流を図ったりして、幼児期の食生活に関心をもてるように啓発した。 ■成果 ・園で弁当を食べることに期待をもち、弁当箱の開け閉めなど、それぞれの幼児が自分なりに道具を扱おうとする姿が見られ、食べることへの意欲の高まりが見られた。 ・保護者は、集団生活の中で食事をするものの意義や、発達に応じた食材のサイズや適切な道具の選び方が分かるようになった。弁当作りや道具を選ぶ際の参考になった。	462
石狩	札幌市／ 札幌市幼児教育センター、札幌市立幼稚園(9園)／ 畑での栽培活動	○野菜を、自分たちで育てることで生長への関心を高め、収穫し食べる喜びを味わえるようにする。	・野菜などの種や苗を植え、自分たちで育てることで、生長や収穫を喜び、食への関心を高めるようにした。栽培活動の取組方法として、各学級で何を育てるかを相談し、収穫への見通しをもたせるとともに、水やりや雑草取りなど日常的な世話を通して、花や実の実物を見たり、においをかいだりするなど、幼児自身が栽培する実体験を味わえるようにした。 ・収穫したものは、漬物やみそ汁など、食べやすいものに調理したり、「焼き芋会」「カレーパーティー」など、栽培物を利用する行事として取り組んだりし、全園児で食べることを喜べるようにした。 ■成果 ・自分たちで世話をすることで、わずかな変化にも気付き、食べることを楽しみにしながら雑草取りや水やりなどを行えた。 ・食べ慣れない野菜を初めは嫌がる様子もあったが、学級の皆が食べている様子を見て、少しずつ味わうようになって、味わったもののおいしかったことに気付いたりして、野菜を食べられるようになる幼児が増えた。	462

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	札幌市／札幌市幼児教育センター、札幌市立幼稚園(9園)／栄養指導	○保健指導において、食べ物の話を通して、栄養について知り、様々な食材を食べることが成長や健康につながることに気付くようにする。	・保健指導を通して、視覚教材等で食べ物の栄養について学年ごとに分かりやすく知らせ、様々な食材を食べることが成長や健康につながることを伝えた。また、幼児への指導内容をお便りや掲示で家庭にも伝え、食や栄養への関心を高められるように啓発した。 ■成果 ・指導を行ったことで、自分の弁当に入っている食材の栄養に興味をもち、完食を目指して食べようとする子どもの様子が見られた。 ・指導教材の栄養表に関心を示す子どもが多くみられ、食べ物の栄養や体への働きについて関心の高まりを感じられた。 ・家庭でも話題となり「これって体を元気にする食べ物だね」と親子で共有することにつながった。	462
石狩	石狩市／石狩市厚田保育園／ ①調理実習 ②野菜栽培 ③収穫を楽しむ	・畑作りを通して食への関心を高め食事の大切さや食べ物への感謝の気持ちを育てる。 ・育てた野菜を収穫・調理することを通して食べる喜びを知る。	①園児と保育士との協同作業で、行事等におやつ作りをする。 参加者数:4 ②種・苗を植え野菜類の成長を見守り(水遣り・草取り)、収穫を楽しむ。(トマト・きゅうり・レタス・ラディッシュ) 参加者数:25 ③畑で収穫した野菜(レタス、トマト、ラディッシュ等)をいただく。 参加者数:25	54
後志	寿都町／寿都保育園／調理体験	食に興味・関心をもつ、楽しく食事をする。	対象:年長児 時期:2・3月 場所:寿都保育園 内容:クッキー作り、リクエストメニュー(フルーツ飴)作り	11
後志	寿都町／寿都保育園／箸指導	食事のマナーを身につける。	対象:年長児 時期:通年 場所:寿都保育園 内容:給食時に箸の持ち方の指導、声掛けを行った。	11
後志	寿都町／寿都保育園／食育体験	食材に触れて食に興味・関心をもつ。	対象:年長児 時期:7～9月 場所:寿都保育園 内容:園児が園内で野菜・芋を育て、収穫。収穫した野菜は給食やおやつで提供。	11
後志	寿都町／寿都保育園／食育指導	食に興味・関心をもつ。	対象:年長児、保護者 時期:8月31日 場所:寿都保育園 内容:「野菜の日」に合わせて野菜ポスターを作成、掲示。園児には野菜に関する講話を行った。	40
後志	共和町／共和町立中央幼児センター・はまなす幼児センター／野菜植え・収穫・試食・調理・絵画活動	栽培活動や伝統行事を通して、食に興味・関心を持たせる。	保育者や友達と一緒に楽しく食事をし、食器の並べ方や食べ方などのマナーも指導する。 野菜を栽培する中で、生長や収穫の喜びを味わい食べ物への興味関心を持たせていく。 心身の成長を実感しながら好き嫌いを克服し、食べる事の大切さに気づかせ、食事を食べる人への感謝の気持ちを持たせていく。	192
胆振	苫小牧市／苫小牧市保育園食育計画／	食を通じた子どもの健全育成のために、食と健康のつながりや正しい食習慣を学ぶことができるよう、さまざまな場面で子どもが食に関わり合えるように配慮し、「楽しく食べる子ども」を目指す。	市内認可保育園及び認定こども園、小規模保育施設では、苫小牧市保育園食育計画で食育活動について共通認識を持ち、各園で独自の年間食育計画を作成し、それに基づく取り組みを実施している。 年度末に各園の食育活動報告を取りまとめ、冊子にして各園に配布する。 【対象施設】 苫小牧市立保育園(2園)・私立認可保育園(12園)・私立認定こども園(17園)・私立小規模保育施設(12園)	
胆振	苫小牧市／給食だより	子どもの栄養面や食生活をとり巻く環境等の情報を家庭や園に提供する。	公立保育園及び市内認可保育園、認定こども園、小規模保育施設に送付。 毎月の献立表の一部にコラムとレシピ紹介を記載。 苫小牧市ホームページにも公開。	
胆振	苫小牧市／食育だより	子どもの栄養面や食生活をとり巻く環境等の情報を家庭や園に提供する。公立保育園で年2回実施している残食調査の結果を報告する。	公立保育園に送付し、保護者へ配布。苫小牧市ホームページにも公開。 年4回発行(夏号、秋号は残食調査結果報告有)	
胆振	登別市／登別市立保育所(2カ所)／	・給食の食材に興味を持ちながら、楽しく食事をする。 ・食育だよりの配布を通じ、栄養や食についての情報提供を行う。	○富士保育所(93人) 絵本、紙芝居や給食の中での指導を通して食育を行っている。 ○鷺別保育所(107人) 保育所で野菜を栽培し、収穫・調理を行い、喫食する。(じゃがいもなど) ○全保育所 保護者向けに食育だよりを毎月配布し、栄養や食に関する情報提供を行う。	200
日高	新ひだか町／新ひだか町立静内保育所／6月の取り組み	・歯を大切にする(歯の健康について知る)	対象:全保育所児童 時期:6月7日(火) 場所:保育所各保育室 内容:虫歯についての紙芝居「むしばのよぼう」を鑑賞 →歯を大切にする事を知らせた。 3時のおやつ時にフランスパンを30回噛んで食べる。 →普段食べることの少ない固い食材を30回噛んで食べてもらうことで、歯が健康でなくてはならない事やよく噛むことを意識する機会につながった。 ※子どもの様子 2・3歳児はまだ噛むという意識が持てず上手に噛めない子もいた。	44

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
日高	新ひだか町／ 新ひだか町立静内保育所／ 7月の取り組み	・収穫・調理に興味をもつ(ラ ディッシュの収穫から調理ま でを知る)	対象:2歳児・3歳児 時期:7月20日(水) 場所:保育所くまぐみ保育室 内容:ラディッシュの収穫から調理までを知る →自分たちが種をまいて育てたラディッシュを当日の朝収穫し、 ラディッシュの酢の物になるまでの調理の様子を見学、給食で 食べるまでを体験した。 子どもの様子※実際に匂いを嗅いだり、調味料をなめたりと 五感を使った体験となり飽きずに参加することができた。 給食に出たラディッシュの酢の物もほとんどの子が喜んで食べ ていた。	15
日高	新ひだか町／ 新ひだか町立静内保育所／ 10月の取り組み	・食を通して季節を感じる(食 材、命を通して全ての命を大 切にする心を持つ)	対象:全保育所児童 時期:10月19日(水) 場所:保育所遊戯室及び各保育室 内容:あきあじの解体風景を記録した動画 「おさかなやさんについてみよう」を鑑賞する (町の鮮魚店の協力で作成した保育所オリジナルDVD) →あきあじの不漁で近年は子どもたちの目の前で解体ショーを する機会は難しくなり動画の鑑賞を始めた。 ※子どもの様子 おおきなあきあじの姿に「マグロなの？」 「大きい」などの声が出たり、あきあじを捌く様子を少し怖がる子 もいたり、興味をもって最後まで飽きずに鑑賞する姿が見られ た。 同日の給食であきあじ鍋を食べる ※子どもの様子「さっきのあきあじ」と言いながら、楽しく食事を する様子が見られ、残すことなく食べることが出来ていた。	37
渡島	函館市／ 函館市つつじ保育園／ はこだて市民健康大学「ベジブラ 楽うまレシピ普及」(保育園)	野菜摂取拡大のため。	対象:認定こども園 函館市つつじ保育園の年長組 時期:6月6日 場所:認定こども園 函館市つつじ保育園 内容:食育シール遊び、クイズ、紙芝居、給食は「野菜たっぷりカレーシ チュー」	33
渡島	函館市／ 「だして味わう和食の日」企画参 加	北海道の郷土料理の普及の ため。	対象:認定こども園 函館市つつじ保育園の年長組 時期:11月24日 場所:認定こども園 函館市つつじ保育園 内容:カードやシールブックで一汁三菜の話、給食は郷土料理(三平汁) を主体とした献立	13
渡島	函館市／ 「ベジブラ！楽うまレシピ普及」活 動参加	「食育の日」の普及啓発のた め。	対象:認定こども園 函館市つつじ保育園の年長組 時期:10月19日 場所:認定こども園 函館市つつじ保育園 内容:食育3食パネルで食育遊び、給食は「ヘルシーベジカレー」	38
渡島	福島町／ 認定こども園福島保育所／ 食育教室	保育園児に食に関心を持つ てもらうため。	対象:認定こども園福島保育所 4・5歳児 時期:6月3日 場所:認定こども園福島保育所 内容:いちごの生育や栄養等を紙芝居、絵本、イラストで紹介し、給食に は地元のお菓子を提供	19
渡島	福島町／ 認定こども園福島保育所／ 食育教室	食育の推進のため。	対象:認定こども園福島保育所 4・5歳児 時期:①5月6日、②7月4日、③9月30日、④2月7日 場所:認定こども園福島保育所 内容:保育所の園児(4・5歳児)を対象に町の管理栄養士による食育教 室を開催 ①咳エチケット、手洗いについて 25人 ②いか・するめについて 22人 ③早寝、早起きについて 23人 ④食事マナーについて 20人	76
渡島	福島町／ 認定こども園福島保育所／ 給食試食会	食育の推進のため。	対象:保育年長児の保護者 時期:7月6日 場所:認定こども園福島保育所 内容:園児と保護者が一緒に会食し、アンケートによる評価などを実施	11
渡島	鹿部町／ むし歯予防教室	むし歯の予防のため。	対象:幼稚園児、保護者 時期:12月12日、12月16日、12月19日 場所:しかべ幼稚園 内容:むし歯予防のリーフレットの配布	48
渡島	長万部町／ 長万部マリア幼稚園／ 食育料理教室	食育の推進のため。	対象:園児 時期:10～12月 場所:長万部マリア幼稚園 内容:栄養講話及び調理実習	45
上川	中川町／ 認定こども園中川町幼児センター 調理体験	・調理体験を通して食べるこ とへの関心を高め、食べる 意欲を育てる機会とする。 ・食べ物の栄養、感謝する気 持ちは育てる機会とする。	対象:2歳児以上 時期:令和4年10月～令和5年2月 場所:幼児センター 担当:管理栄養士	30
上川	美深町／ 認定こども園美深町幼児センター 栄養士による給食前指導の取組	・楽しい食事を通じて食べる ことに関心を持ち、健全な食 習慣を身につける。 ・マナーを知り、みんなで一 緒に食べることを楽しむ。	・時期:令和4年4月～令和5年3月 ・対象:3歳児 ・指導回数:全5回 ・場所:3歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 (例)食事マナー、野菜について、スプーンや箸の持ち方 など	18

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	美深町／ 認定こども園美深町幼児センター／ 栄養士による給食前指導の取組	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける。 ・食の大切さを知り、苦手な物も食べようとする。	・時期:令和5年4月～令和5年3月 ・対象:4歳児 ・指導回数:全6回 ・場所:4歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)箸のマナー、三角食べ、朝食の大切さ、五感を使うこと、旬 など	19
上川	美深町／ 認定こども園美深町幼児センター／ 栄養士による給食前指導の取組	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける。 ・食べ物と体の関係を理解し、バランスの良い食事を知る。	・時期:令和4年4月～令和5年3月 ・対象:5歳児 ・指導回数:全4回 ・場所:5歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)感謝の気持ち、3色食品群、オリジナル給食作成 など	22
上川	美深町／ 認定こども園美深町幼児センター／ 給食試食会	・子ども達が食べている給食を実際に味わい、献立の趣旨や食材・栄養素について知ることができる。	・時期:令和4年4月、令和4年11月、令和4年12月 ・対象:全学年保護者 ・実施回数:年6回 ・場所:会議室 ・内容:給食の試食、栄養士による献立説明や情報提供	17
上川	美深町／ 認定こども園美深町幼児センター／ 給食における地産地消と行事食の取組	・地産産食材や旬の食材について知り、食材に興味関心をもつ。 ・行事と行事食の関係や意味を知り、季節を感じる。	・時期:令和4年度 通年 ・対象:全学年 ・内容:美深産食材(アスパラ・メロン・かぼちゃ・じゃがいも)を旬の時期に献立に取り入れ、提供日は園児にも周知する。 ・行事によって季節を感じる日本独自の文化を大切に、給食の中でも食材や盛り付け方で行事や季節を感じられるようにする。 例)七夕、十五夜、クリスマス、節分、ひな祭り など	101
上川	当麻町／ 当麻町立当麻幼稚園／ 野菜の収穫	○食事の重要性や楽しさを理解させる。 ・心身の成長や健康の保持増進のため、正しい知識を身に付ける。など。	・園の畑を見守り、雑草を抜くなどのお世話をする。 ・定期的な収穫し、給食時に食べる(ミニトマト、きゅうり、枝豆など) ・徐々に野菜の食べごろが分かるようになる。 ・苦手だった野菜でも、自分で育て、収穫した野菜なら食べてみようと思えるようになった。 ・じゃがいもの収穫では、春に植えた1個の種いもからたくさんのじゃがいもを収穫できる驚きと喜びを感じるとともに、カレーライスやじゃがいもバターなど、子どもにとって大好きな食べ物になるとあって特に意欲的に活動している。	48
上川	剣淵町／ 剣淵町保育所／ 農業体験、収穫祭の実施	作物の成長や変化を通じて、自然との関りを深めるとともに、自らが育てた野菜を調理することで食や郷土への愛着を深める。	5月～8月 (4～5歳児) じゃがいもやにんじん、ミニトマトなどの栽培体験 9月 (3～5歳児) 栽培した野菜の収穫体験	50
上川	剣淵町／ 剣淵町保育所／ 食育だよりの発行	献立や給食に関する情報のほか、食に関する情報の提供により、保護者側からの食に対する理解を深める。	給食のレシピ等を記載した食育だよりを全保護者に配布。	60
上川	剣淵町／ 剣淵町保育所／ 食事アンケートの実施	子供の食事の状況を把握するとともに、家庭での食への関心を高め、食を営む力の基礎を培う	全保護者を対象とし、家庭での食事や食育についてアンケートを実施。	60
上川	剣淵町／ 剣淵町保育所／ 調理体験	自分たちで調理し、食することで、食事のマナーや人との関り、食への感謝の気持ちを育てる。	12月～3月 (1～5歳児) おにぎりやアイスクリーム、パンケーキなどの調理実習を実施	70
上川	名寄市／ 公立保育所	公立保育所の食育計画に基づき食育の推進を図る。	所産畑において野菜栽培。 給食において季節の行事食を提供、会食の実施、アレルギー食の対応、給食だよりの配布など。 収穫体験、収穫祭の開催。	220
留萌	小平町／ 小平幼稚園、鬼鹿幼稚園／ 栄養教育	・指導当日の献立の栄養を学ぶ。 ・食事のマナー(姿勢・食器の持ち方など) ・読み聞かせ	【対象】全園児 【概要】 ・食品カードを提示し、食品の栄養を知ることで好き嫌いを減らすようとする意欲を持たせる。 ・姿勢や、食器の持ち方など、食事全般のマナーを学び、楽しい雰囲気の中で仲良く食べるようにする。	60
宗谷	稚内市／ 稚内幼稚園、もぐもぐ保育園／	・季節の食材を味わい、喜び合う。 ・元気な体をつくる栄養について、興味をもつ。	【季節の食育】 対象 全園児 6月虫歯予防集会・食育(栄養の話や聞き、春の山菜である、よもぎ団子を食べる) 9月収穫(収穫したイモをふかしイモとして食べる) 12月お餅つき会(餅つきを体験し、雑煮を食べる) 1月お正月(伝統行事を知ると共に、七草粥を食べる) 2月節分(伝統行事を知ると共に、節分用のお菓子を食べる) 3月ひな祭り(伝統行事を知ると共に、雛あられを食べる)	89
宗谷	稚内市／ 稚内幼稚園／ もぐもぐ保育園／	野菜の育ちを観察したり、世話をすることで、興味、関心をもつ。	【野菜作り】 対象 全園児 5月 畑作り(種まき)・・・園庭・みのり公園 8月～9月 収穫体験・・・園庭・みのり公園	89

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	稚内市／ 稚内幼稚園／ もぐもぐ保育園／	季節の食材に触れたり、調理の経験から「食」への関心と意欲をもつ。	【調理体験】 対象 年長組(22名) 7月 カレー作り(お泊まり会のカレー作りの中で、野菜を切る体験をする) 11月 お店見学(買い物体験・季節の果物を観察する)	89
宗谷	稚内市／ 学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園、オアシス保育園／	畑・野菜づくりから、命を頂いている事に気付く。	4月～10月 畑づくりを体験する事で、自分の目の前に食べる物が届くまでの過程から様々な事を学び、命を頂く事の意義やお陰様を身を以て知る。	100
宗谷	稚内市／ 学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園、オアシス保育園／	クッキング体験を通し、食に対して興味・関心を持つ。	夏・秋・冬 畑で収穫した野菜を自分達で調理したり、給食室とリモートでつなぎ調理する場面を見学したりすることで、食べることは嬉しい・楽しい・美味しいという意欲につなげる。	100
宗谷	稚内市／ 学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園、オアシス保育園／	食を通して日本の文化に触れる。	4～3月 年中行事・地域のお祭りなど昔から受け継がれている食を体験し、その意味について学ぶ。	100
宗谷	稚内市／ 学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園、オアシス保育園／	食を五感で体験する。	通年 旬の野菜・果物に実際に触れる事で、様々な不思議・美味しいに出会う。	100
宗谷	稚内市／ 学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園、オアシス保育園／	食べることを意味を学ぶ。	一学期 年少・年中・年長…食器の使い方、食べる姿勢について学ぶ 二学期 年少・年中・年長…食材の栄養や、バランス良く食べる事で身体にどのような影響があるかを学ぶ。	70
宗谷	稚内市／ 稚内富岡幼稚園・保育園／	栽培や収穫を通して食べ物への興味や関心を深め、食べることの大切さや楽しさを感じる。	5月～9月、園の畑でジャガイモ(キタアカリ)や、ミニトマトの栽培。 収穫して園児と職員でポテトフライを作って食べる。 ミニトマトは給食時にいただいた。	110
宗谷	稚内市／ 鈴蘭こども園	食べ物の成長していく様子を観察し、食べ物に興味を持つ。	〈対象〉全園児 〈時期〉6月～9月 〈内容〉沼川の畑にじゃがいもを植えて、定期的に水やりをしたり、雑草抜きをした。 9月には沢山実り、収穫を楽しんだ。 また、園ではプランターに野菜の種や苗を植え、育てて収穫をし、クラスでみんなで食べた。	120
宗谷	稚内市／ 鈴蘭こども園	もちつき由来を知り、食べ物の興味や食べる楽しさを味わう。	〈対象〉全園児 〈時期〉12月 〈内容〉もちつき。実際におもちがつかなかったが、おもちについて勉強したので、お餅を食べる楽しさを味わえるように切り餅をみんなで食べた。	120
宗谷	稚内市／ 鈴蘭こども園	年末年始を知り、餅つき遊びを楽しむ。	〈対象〉0, 1, 2歳児 〈時期〉12月末 〈内容〉絵本や紙芝居でお正月について触れたり、「お正月」や「もちつき」の歌を歌って気持ちを高める。 朝に餅をついておき、子どもたちは触ったり匂いを噛んだりする。 小さい臼と杵で餅つきし、それを鏡餅にして年末まで飾る。 別の市販の切り餅を1センチ角に切り、おやつで食べる。 (事前に保護者に餅を食べたことがあるか聞き取り調査)	25
宗谷	稚内市／ 稚内市立白樺保育所／ 「畑で野菜づくり」	野菜づくりを通じて、命の大切さ、食べ物に感謝の気持ちを持つ。	時期:5月から9月 対象:全園児 畑やプランターで野菜づくりを行う(水やりや雑草取りなど)。 収穫した野菜は給食のメニューに取り入れてもらいたい、いただく。	86
宗谷	稚内市／ 稚内市立白樺保育所／ 「農作体験」	広い畑でジャガイモを育て、収穫までを楽しむ。	時期:5月から9月 対象:年長児 沼川みのり公園の広い畑を利用し、ジャガイモ植え、雑草取り、収穫をたのしむ。 また、収穫したジャガイモ、トウモロコシ、かぼちゃを調理員に調理してもらいたい、おいしくいただく。	16
宗谷	稚内市／ 稚内市立白樺保育所／ 「もちつき」	昔ながらの臼や杵を使っておもちをついたり、できたおもちを食べることを楽しむ。	時期:12月上旬 対象:全園児 0～2歳児は見学、3～5歳児はもちつき体験を行う。	86
宗谷	稚内市／ 稚内市立白樺保育所／ 「お味見当番」	色々な味があることを知り、甘味、酸味、苦味、うま味等を感じる。また、色々な食材やメニューに興味を持つ。	時期:12月～3月 対象:年長児 給食のメニューのお味見体験をする。	16
宗谷	稚内市／ 稚内市立白樺保育所／ 「リクエストメニュー」	年長児が栄養バランスを考慮しつつ、給食のメニューを考える。	時期:12月～3月 対象:年長児 年長児が、好きなメニューを取り入れながら、栄養バランスを考えたメニューを栄養士にリクエストする。	16
宗谷	稚内市／ 稚内ひかり幼稚園さくら保育園	食農体験を通し、食に対する興味や関心・食材又は生産者への感謝の気持ちを育成する。	■日本の伝統文化に因んだ食の話し合いや、おやつ等を食べて、楽しく文化を学ぶ(豆まき・七草粥等…食材の展示をし、お話しした) ■胡瓜・ミニトマト・大根・ラディッシュ・ブロッコリー等の種植え→収穫→クッキング(5月～8月)(コロナの関係もあり、職員が調理) ■芋ほり(9月)→クッキング ■感謝祭(11月)感謝の気持ちを持って、秋の恵みを戴く家庭からの果物持ち寄りや、お世話になった方々へ渡しに行くのは中止餅つきも中止	135

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	稚内市／稚内ひかり幼稚園きらきら保育園	食べ物の力を知り、普段食べているものは体にどのような影響があるのかを学ぶ。バランスの良い食べ方について学び、自分の食べ方を見直す。	管理栄養士実施 ■三色食品群について…媒体を用いる(全園児、分散して実施) ■体の仕組みについて…媒体を用いる(全園児、分散して実施) ■給食時に食べた食材を用いて、学んだことの復習…各教室、数回実施 ■おにぎりクッキング…お米から食べるまでを調理して学ぶ ■栄養のバランスが良いお弁当作り…媒体を用いる	135
宗谷	稚内市／稚内ひかり幼稚園きらきら保育園	保護者への啓発	管理栄養士実施 ■食育おたより(毎月発行)	135
オホーツク	北見市／北見市立保育園(全園共通:9園で実施)／給食だより・給食レシピの発行	保育園の給食や食育の取り組みをはじめ、食に関する情報提供を行うことで、家庭・地域において「食育」について関心を広げる。	場所:市立保育園9園 回数:12回(月1回) 対象:保育園に通園する全家庭 内容:保育園での食育活動や食に関する情報提供の他、保育園の給食レシピ紹介など。	522
オホーツク	北見市／北見市立保育園(全園共通:2園で実施)／食育講話 ①体は食べ物からできている ②食のマナー ③元氣印のバナナうんちをするために ④からだの仕組み(うんちがでるまで)	健康で、心豊かに生きる「食」の基礎を身に付けるきっかけづくり。 ①栄養の働きを知る ②美しい食べ方を知る ③生活習慣を振り返る ④自分の体(健康づくり)に関心をもつ	時期:随時 場所:各市立保育園2園 対象:4歳児5歳児(一部保育園3歳児) 内容:管理栄養士による食育講話 エプロンシアターや食材パネルなどの媒体を使用し、園児も講話に参加できるような内容。	92
オホーツク	北見市／北見市立子育て相談センター／育児相談会・栄養講座	保護者の育児不安軽減・解消と子供たちが健やかに成長することができる。	時期:月1回又は2か月に1回 (新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて実施) 場所:子育て相談センター2か所 内容:・栄養相談 ・離乳食、幼児食など子供の食生活の個別相談 ・保護者の食生活の支援も含む	297
オホーツク	北見市／北見市立保育園(全園共通:9園で実施)／「年長さん献立」	自分たちが考えた献立が給食に出てくる楽しみや喜びを経験し、食べる事への興味関心を深める。食べ物の栄養について、考えるきっかけづくり。	時期:3月 場所:各市立保育園9園 内容:年長クラスが、卒園の記念を兼ねて、保育園での給食で好きだったものや、給食に提供してほしかったものなどを、保育士と栄養を考えながら献立を考え、給食に提供する。	112
オホーツク	網走市／認定こども園網走藤幼稚園	自分達で作物を大切に育て、収穫し、それを食べることで命の大切さを知るとともに食への関心を高める。	・園庭で育てたじゃがいもを収穫し、カレーパーティを開催する。 ・作物の成長観察の絵本の読み聞かせを行う。 ・令和4年度9/15実施。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、園児による調理体験は行わなかった。	131
オホーツク	網走市／認定こども園網走藤幼稚園	自分達で作物を大切に育て、収穫し、それを食べることで命の大切さを知るとともに食への関心を高める。	・各クラスで栽培(トマト、ナス、キュウリ、大根、ニンジン、ラディッシュ等)に取り組み収穫後、調理して食べることで食への関心を高めている。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、園児による調理体験は行わなかった。	131
オホーツク	網走市／桂幼稚園	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	40
オホーツク	網走市／認定こども園つくし	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	100
オホーツク	網走市／認定こども園しおみ	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	120
オホーツク	網走市／桂幼稚園	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	40
オホーツク	網走市／認定こども園つくし	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	100
オホーツク	網走市／認定こども園しおみ	自分達で作物を育てることで、食への関心を深め、作物が育つ過程を知り、収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。	120
オホーツク	網走市／認定こども園 網走若葉幼稚園	自分たちで野菜を育てて、生長過程を知り、食への関心を高める。	・園庭、近所の畑で、ジャガイモ・トマト・ピーマン・人参を育てる。 ・草むしりをしたり、水やりを行い、生長する過程を観察する。 ・6月に、種芋や苗、種を植える。 ・ピーマンは、素揚げにして、人参はグラッセに職員が調理して食べました。 ・じゃがいもは、給食で肉じゃが・カレーライス・イモ団子に調理してもらい、みんなで食べた。(9月)	75

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	網走市／ 認定こども園 網走若葉幼稚園／	お米が出来るまでの過程を知り、食べ物の大切さを知る。	・6月にバケツ田んぼに苗を植えて、生長過程を観察する。 ・10月に稲刈りを行い、脱穀・もみすり・精米作業を行う。 ・11月に収穫できたお米を全園児で食べるために、お米研ぎをして、給食時にみんなで食べた。 ・田植え～精米作業は、年長児が行い、全園児で食べた。	94
オホーツク	網走市／ 認定こども園 網走若葉幼稚園／	かぼちゃができる工程を知り、どのような料理が作れるかを知る。	・6月 農大生が菜園し、かぼちゃがどのように出来るかをスライドを使って説明してもらう。 ・7月 農大の敷地にてかぼちゃの種上を行う。 ・10月 農大へ行き、収穫体験をさせてもらう。 ・11月 農大生がかぼちゃプリン・ドーナツを作って持って来て、一緒に食べる。	18
オホーツク	滝上町／ 滝上町こども園／ 「食べ物のあか・き・みどり～食べ物を3つに色分けしよう～」	毎日口にする食べ物に対し興味を持ち、食べ物が体の働きごとに3つ(3色)のグループに分けられることを知る。3つのグループそれぞれの役割を理解し、食材を見たときに自然と色分けできるようになる。	対象:滝上町こども園 3～5歳児 時期:11月10日 場所:滝上町こども園 遊戯室 内容:栄養士がホワイトボードと食品の貼り付け資料を用いて講話を行った。後半になると飽きて集中が途切れる。気をそらさないための工夫が必要。	33
オホーツク	滝上町／ 滝上町こども園／ 「きりん組さん おにぎり作り」	こども園で提供されているおやつを自分で作ってみることで、普段のおやつや給食に関心をもつ。	対象:滝上町こども園 5歳児(きりん組) 時期:3月20日 場所:滝上町こども園 きりん組教室 内容:ご飯とおにぎりの具を数種類用意し、園児に好きな具を選んでもらった。具とご飯のバランスや、どのように握ればきれいなおにぎりになるかなどを話す様子が見られた。	7
オホーツク	雄武町／ 認定こども園 若草保育所／ クッキングパーティー	調理の楽しさを知り、食に対する関心を高める。	対象:年長児 給食で食べるおにぎりを自分たちで調理する。米研ぎや浸漬、炊飯の一連の流れを経験し、おにぎりを握ることで調理の楽しさを学ぶ。	16
オホーツク	雄武町／ 認定こども園 若草保育所／ おやつづくり	調理の楽しさを知り、食に対する関心を高める。	対象:年長児 給食で食べるおやつを自分たちで調理する。それぞれ自由に食パンをデコレーションし、特別感を味わう。	14
オホーツク	雄武町／ 認定こども園 若草保育所／ 食べ物の話	食材の生育過程や加工による変化を知り、食に関する関心を高める。	対象:年少児～年長児 参加型となるクイズを交えた講話形式で実施。米や大豆の生育過程や加工による変化を知り、その日の給食にどのような形で使用されているか給食時間で確認するまでを食育として実施した。	63
オホーツク	雄武町／ 認定こども園 若草保育所／ ミニトマト栽培	ミニトマトの栽培をとおして植物の世話の仕方や実の成長を知る。また、自分たちで作った野菜を収穫する喜びを知り、野菜が苦手な子も食べてみようとする意欲につなげることを目的とする。	対象:2歳児～年長児、子育て支援センター通所児 クラスごとにミニトマトを栽培し、収穫したものを食べる。	69
オホーツク	大空町／ 認定こども園めまんべつ、認定こども園ひがしもこと／	子供たちへの食育の推進。	5～6月 野菜種子配布	200
十勝	更別村／ 更別幼稚園、認定こども園上更別幼稚園／ 農業体験の取組	種播から収穫までの一連の流れを学び、食物に対する興味・関心を深めるとともに、自らの手で調理するなど食に対する大変さや楽しさを学ぶ。	各幼稚園に設置された菜園で、種まきから収穫までを体験することで食物に対する興味・関心を深めることができた。また、日々の園生活で水やりなどを体験することにより、食物を育てる大変さを学ぶことができた。	51
十勝	大樹町／ 認定こども園たいき、尾田認定こども園おひさま／ 園児栄養指導	・バランスよく食事を摂取することが大切であることを知り、実践できる。 ・甘いものが身体に及ぼす影響を知り、自ら正しく選択して摂ることができる。	対象:4、5歳児(一部、3歳児も含む) 時期:令和4年5月、令和5年2月 場所:各保育園 内容:①エプロンシアター ②紙芝居 ③お菓子の糖分クイズ 等	78
十勝	認定こども園ひろお保育園・豊似保育所 食育教室	生活習慣が確立する幼少期に、健康な食生活を実践できるよう食に関する指導を行うことにより、子ども自身が食べ物や体のことに関心を持ち、食の正しい選択ができるようになることを目的とする。	対象:3～5歳児 時期:9月～1月 内容:エプロンシアター、パネルシアター、飲み物等の砂糖を量る体験。箸の持ち方について学ぶ。教室終了後には保護者にも見てもらうため通信を発行。	188
十勝	足寄町／ 足寄保育園どんぐり、へき地保育所(3か所)／	食育と歯科健康教育	へき地保育所 ①11月9日、②11月11日、③12月9日 認定こども園 ①4歳児…11月30日、②5歳児…12月5日 ・歯科と食育に関し、媒体を使って講話を実施 ・食育では、元気に活動するためには、朝食をしっかり食べることが大切であることや、食べ物は赤・黄・緑の3色の仲間に分けられ、それぞれ役割があるため、好き嫌いをせずに食べることが大切であることを「うさぎのマロンちゃんの運動会」というお話を通して学びました。 ・また、しっかり栄養をとるためには、丈夫な歯でよくかんで食べることが大切であることから、歯科健康教育も合わせて実施し、食後に歯磨きをし、さらに大人の歯に仕上げ磨きをしてもらうことが大切であることを学びました。 ・教室後は保護者向けに食育と歯科それぞれリーフレットを配布し、保護者にも普段の食事や歯磨きについて振り返ってもらう機会としました。	82

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	釧路市／ 認定こども園阿寒幼稚園／ 園庭の畑・花壇づくりと収穫	生育を楽しみ、育て、収穫する喜びや、とれたての野菜を味わうことで食べる喜びを味わうこと。花摘みをして色とりどりの花や色彩にふれて遊ぶ楽しさを味わうこと。	5月27日～8月25日 畑には、大根、インゲン豆、かぼちゃ、人参、芋を育て、花壇にはトマト、ラディッシュ、チューリップ、サルビア、マリーゴールド、アナベルを育てている。 毎日畑を覗いて水やりや草とりをしたり、苗が大きくなっていく様子や、実が色付いていく様子を食べたいと意欲を膨らませ、収穫時期には収穫した野菜を給食室に運び栄養士さんに調理してもらい食べた。	31
釧路	釧路市／ マリモ幼稚園／ 畑作り・カレーパーティの実施	野菜の種をまき、水やりや草とりなどのお世話をしながら、成長、収穫すること。	5月20日～9月21日 自分たちで決めたものを購入し、じゃがいも、ミニトマト、ピーマン、大根、モロッコ豆、きゅうりなどを育てている。 9月、じゃがいもとにんじん、大根やモロッコ豆を収穫をし、年長組が収穫した野菜を利用してカレーを作り、年少中組と共に食べた。	17
釧路	厚岸町／ 厚岸カトリック幼稚園／	普段食べている野菜がどんな風に成長し、どんな特徴があるのかを知る。	・畑で野菜づくり(5～6月頃種まき、夏～秋にかけて随時収穫作業) ・収穫後、収穫した野菜についてのお話	20
根室	根室市／ まつもと保育所／ 食育活動	年間計画を立て、1年を通して「食」に興味を持ち感謝する心を育てていきたい。	未満児・・・食事を楽しむ。 様々な食材に興味を持つ。 丈夫な体を作る。 以上児・・・食物の生態を知る。 食物と体の関わりに関心を持つ。 食事マナーに気を付け意欲的に食べる。	63
根室	根室市／ 根室市立落石保育所／ 朝食の摂取状況の把握	朝ごはんの大切さを知り朝ごはんを食べて登所する。	5歳児 毎朝 落石保育所 毎朝登所後、食べてきた朝食の献立を記入する。	2
根室	根室市／ 根室市立落石保育所／ 赤黄緑の仲間の食べ物	赤黄緑の食材を知り、バランスのとれた食事の大切さを知る。	5歳児 月曜～金曜日 落石保育所 給食の食材を、食材カードを使用しボードに赤・黄・緑の食べ物に分けて掲示する。	2
根室	根室市／ 根室市立落石保育所／ 朝食摂取状況の把握	朝食をとり、バランスのとれた食事を家庭でもとる事が出来る様にする。	5歳児 月曜～金曜日 落石保育所 朝食食べてきた食材でビンゴをする。	2
根室	根室市／ 根室市立落石保育所／ 野菜の栽培	栽培や収穫を通し、食への感覚を豊かにする。	2・3・5歳児 5月～8月 落石保育所 ミニトマト・スナックエンドウ・ブロッコリーの栽培・収穫をし給食時間に食す。	4
根室	根室市／ 根室市立厚床へき地保育所／ はつか大根栽培	食育計画として栽培や収穫を体験する。	2・3・4歳児各1名ずつ計3名 5～8月 プランターにて栽培 収穫し家庭に持ち帰る	3
根室	根室市／ 根室市立こまば保育所／ 食育活動	一年を通して「食」に興味を持ち感謝する心を育てる。	《未満児、以上児共通》食事を楽しむ。給食に慣れ様々な味を知る。よく噛んで食べる。様々な食材を口にする。自分で進んで食べる。食べる意欲を持ち健康的に過ごす。丈夫な体をつくる。 《以上児》食育について学ぶ。食物の生態を知り栽培や収穫を経験する。食事と体の結びつきを知る。食事マナーに気を付け意欲的に食べる。歯みがきの仕方を覚え歯を大切に。 (通年、本保育所)	54

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	JA夕張青年部／夕張メロン食育事業	夕張市の基幹産業である農業、特に特産品である「夕張メロン」に対する理解・誇り・浸透を図り、地域の食を次世代に伝えること。	時期：(5～3月) 場所：ゆうばり小学校、メロン圃場、集荷場 概要：小学校3年生対象(青年部人数は各回6名ほど) 第1弾 夕張メロンの歴史、特徴などの座学、夕張メロン苗の観察 第2弾 夕張メロンの圃場見学、栽培方法の学び 第3弾 集荷場見学、出荷作業の一部体験 第4弾 学習のまとめ、修了式	24
空知	いわみざわ農業協同組合／	田植や稲刈体験を通じてお米に興味を持ってもらうことを目的として実施した。	時期：令和4年6月2日、令和4年10月5日、令和4年10月24日 場所：岩見沢市めぐみ幼稚園内 簡易田んぼ 内容：いわみざわ農業協同組合管内で収穫されたお米をおにぎりにしてお昼に「新米おにぎり」を園児全員に用意し、みんなで楽しく食べて、農家の方とお米に感謝しました。	20
空知	いわみざわ農業協同組合／	自主性、積極性、協働する力を育成することを目的として収穫体験を実施した。	時期：令和4年9月13日 場所：岩見沢市北村地区を中心に加工トマト生産者5戸、白菜生産者5戸 内容：北海道岩見沢東高等学校の「総合的な探求の時間 特別講義」にて同校1学年170名が30名1グループに分かれ、加工トマト、白菜の収穫体験並びに白菜集荷場にて白菜の荷下ろし作業体験を行いました。	170
空知	いわみざわ農業協同組合／	実際に食べ物を加工し、食べることで、農業と自分たちの生活について学習することを目的として実施した。	時期：令和4年11月29日 場所：岩見沢市立日の出小学校 内容：同校3年生 52名を対象に大豆からきな粉への加工過程の説明、きな粉白玉の調理指導を行いました。	52
空知	JAたきかわ青年部芦別支部／農業体験	・学習として、種まき、田植、生き物調査、収穫、脱穀・精米を行い農業体験をする。	①4月・・・種まき ②6月・・・田植 ③7月・・・生き物調査 ④9月・・・収穫 ⑤10月・・・脱穀、精米	70
空知	JAたきかわ青年部芦別支部／施設見学(メロン)	・特産品の受入れ選別の流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の3年生・5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 7月	18
空知	JAたきかわ青年部芦別支部／施設見学(米)	・お米の受入れ選別、出荷までの流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 11月	13
空知	JAたきかわ女性部芦別支部加工部会／地産地消の推進	・自らの手で農産物を生産、加工し地元農産物の消費拡大及びPRに努める。 ・市内「物産センター加工室」を利用し地元農産物を使用した加工品の販売促進を図る。	・市内の物産センター加工室を利用し、加工品を生産農産物直売所にて販売。 ※販売品・・・混ぜご飯の具、煮豆 ※販売先・・・市内農産物直売所「かあちゃん市」	25
空知	JAたきかわ芦別支店芦別市産直協議会芦別市きらきらぼし生産組合／あしべつ虹っ子米販売促進交流(販売促進活動)	・京都生協店舗にて「あしべつ」虹っ子米の試食と販売を行い交流を図る。 (販売促進活動)	・京都生協店舗で「お米の試食・販売」を通じて、生協組合員と対面販売をして消費者との交流を図る。	4
空知	芦別市きらきらぼし生産組合／(櫻田浩生圃場 中山間事業)農業体験	・学習として、田植、生き物調査、収穫を行い農業体験をする。	①5月・・・田植 ②7月・・・生物調査 ③9月・・・稲刈 ※芦別小学校の5年生を対象に行う。(47名×3回)	141
空知	芦別市南瓜生産組合／(滝和也圃場 中山間事業)農業体験	・学習として、定植、生育調査、収穫、販売を行い農業体験をする。	①4月・・・種まき ②5月・・・定植 ③7月・・・生育調査(雨天中止) ④9月・・・収穫 ⑤9月・・・販売 ※芦別小学校の3年生を対象に行う。(46名×4回)	184
空知	芦別市メロン生産組合／(杉本政美圃場 中山間事業)農業体験	・学習として、定植、収穫を行い農業体験をする。	①5月・・・定植 ②7月・・・観察 ③8月・・・収穫 ※芦別小学校の4年生を対象に行う。(47名×3回)	141
空知	芦別市農業まつり実行委員会／星の降る里芦別 農業まつり代替 農産物即売会	農業まつりに向け作型を調整し栽培している主要農産物の販路確保と市民への消費拡大を図ることを目的に特例的に農業まつりの代替措置とする。	・地元農産物の販売	36
空知	南幌町農業協同組合／学習田(田植え事前学習・田植え・稲刈り学習)	稲作における一連の農作業を体験することにより、農業に対する理解を深めるとともに食の大切さを知ってもらうため。	○対象 小学5年生 ○場所 町内圃場 ○内容 5月事前学習～稲刈り体験	51
空知	南幌町農業協同組合／学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、子ども達に南幌町の基幹産業である農業に対する理解と食生活の大切さについて理解を深めてもらう。	○対象 小学・中学生 ○場所 町内の小・中学校 ○内容 地元産の新米(ピュアライスキタくりん)、小麦(ゆめちから)、キャベツ、ピーマン、玉ねぎ、長ねぎ、じゃがいも、しいたけを提供	440

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	そらち南農業協同組合／「由仁のもの学校給食事業」	・地場産物を使用した給食を通じ、児童生徒が地域の自然や農業などへの理解を深め、それらの生産等に携わる人々の努力や食への感謝の念を育む。	・9月14日(408食) バーガーパン・ハンバーグ・野菜のマヨあえ・ホワイトシチュー・牛乳 由仁産野菜、トマトジュース、由仁産小麦を使用したパン ・10月14日(407食) ターメリックライス・スープカレー・野菜のかき揚げ・りんご・牛乳 由仁産野菜、由仁産米、由仁産リンゴ ・11月12日(410食) とうきびごはん・鶏のコーングリッツ揚げ・白菜のおかかあえ・かぼ、さつ汁・牛乳 由仁産米、由仁産野菜、由仁産コーンを加工したコーングリッツ(栗山町)	1,225
空知	そらち南農業協同組合／学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、食農教育の推進を図るため。	・令和5年1月30日 学校給食米の寄贈(地元産の減農薬米ななつぼし新米2,700kg相当)	400
空知	そらち南ゆめびりか生産組合／学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、食農教育の推進を図るため。	・令和4年12月21日 学校給食米の寄贈(地元産ゆめびりか新米300kg)	400
空知	そらち南減農薬米生産組合／学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、食農教育の推進を図るため。	・令和4年12月21日 学校給食米の寄贈(地元産ななつぼし新米300kg)	400
空知	栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会／農業体験受入れ	農家での農作業体験を通じて、食と農の理解を深め、都市農村交流を図る。	□時期:令和4年7月27日(水)・28日(木) 令和4年8月7日(日) 令和4年10月13日(木)・14日(金) □場所:町内農家 □対象:道内高校生及び町内中学生 □概要:農家での農作業体験 道内高校生 宿泊12人 町内中学生 日帰り38人 その他 1人	51
空知	栗山町4Hクラブ／手打ちうどん教室「粟産粟消」	うどん教室を通じて栗山の農業を知ってもらい、地場産産物をおいしく食べてもらう。	□時期:令和4年12月20日(火)・21日(水) □場所:栗山小学校 □対象:小学6年生 □概要:町、農協等と連携して小学校児童に対して手打ちうどん教室を開催し、食育活動を展開する。	30
空知	JAピンネ青年部、新十津川小学校、新十津川中学校、北海道新十津川農業高校／	地元の子供も達がより安全安心なお米を食べることで、子どもの頃に食べたお米を将来大人になって「給食で食べた新十津川のお米は美味しかった」と記憶してもらい、いつまでも地元のお米を食べてもらうため。	JAピンネ青年部が生産した低農薬低化学肥料米ふっくらんこを給食で提供し、小学校の全校生徒にお米がどのように生産されたのか動画を作り説明した。	42
空知	沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会／農業体験事業	沼田の基幹産業である米作りを通じ、米ができるまでの過程を通じて食への関心興味を高める。	対象:沼田小学校5年生 時期:5～10月 ①5月23日、②8月30日、③9月22日、④10月11日 場所:生産者ほ場①・③、沼田ダム②、沼田小学校③④ 内容:①田植え体験、②中間学習沼田ダム見学、③稲刈り、④脱穀・糺り体験の全4回実施。糺りした玄米は精米し、1人あたり2kgの新米を配布。	14
空知	JA北いぶき青年部沼田支部／いただきファーム	子供たちに食べ物を作ってもらった方々への感謝の気持ちを持ってもらう事、農業に少しでも興味を持ってもらうため。	対象:沼田小学校 1～6年生 時期:11月16日 場所:沼田小学校 内容:農機具の展示、どん菓子調理実演・配布、新米の配布	99
石狩	北石狩農業協同組合青年部／平成12年3月27日	食育体験	(当別地区)当別学園と西当別小学校の4年生を対象として2校同時に大豆の播種(6月)、管理(7月)、収穫(10月)までを体験してもらいました。例年通り12月に豆腐作り体験を行う予定でしたが、コロナウイルスが流行したため、調理、飲食をするべきではないと判断し、青年部員が豆腐を作っている映像を流しながら説明する授業を行いました。	384
石狩	北石狩農業協同組合青年部／平成12年3月27日	食育体験	(西当別地区)青年部員の園場で西当別小学校の3年生を対象とした田植え体験(5月)、脱穀体験(10月)を体験してもらいました。12月に収穫したお米を使い、おにぎりを作る予定でしたがコロナ禍の影響で断念いたしました。	72
石狩	北石狩農業協同組合青年部／平成12年3月27日	食育体験	(厚田地区)青年部員の園場で厚田学園の3～4年生を対象とした稲刈り(8月)、脱穀(10月)、精米(10月)を体験してもらいました。本来であれば5月に田植え体験を行う予定でしたが、小学校でコロナウイルスが流行し急遽中止となってしまいました。	32
後志	JAきょうわ青年部／食農教室	地域の子供も達に共和町の農産物がどのようにして出来て、どのように流通されているかなどを理解してもらい、ともに社会人として地元を離れたときに共和町の良さ(名産のことなど)を伝えてもらう。	令和4年6月・9月 ②場所 各小学校園場(定植・収穫編) 概要 ・メロンのトンネル栽培方法とハウス栽培方法及びメロン収穫体験 ・マルチの設置→トンネルの設置→定植作業 令和4年7月 ①場所 メロン集出荷選果施設(見学編) 概要 ・メロン集出荷選果施設の見学(出荷されてから箱詰めまでの過程)	48
後志	JAようてい青年部蘭越支部／	食農事業の一環として、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称:給食センターへ寄付 時期:令和4年10月 場所:蘭越町学校給食センター 提供品:蘭越米60kg	29

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
後志	JAようてい青年部ニセコ支部／	クラスター発生で苦勞されている職員の方々へ「食事にかける手間を少しでも軽減させてあげたい。対象者に少しでも元氣になってほしい。」	名称：応援プロジェクト 時期：令和4年11月1日 提供場所：ニセコハイツ 提供品：米200kg・馬鈴薯40kg・人参10kg・ゆり根10kg・玉ねぎ10kg	30
後志	JAようてい青年部真狩支部／	「新型コロナウイルス感染症」の関係で常日頃より、身を粉にして感染リスクと闘っている医療・福祉従事者の方を応援・感謝するプロジェクトを春に立ち上げた。	名称：医療・福祉従事者応援プロジェクト 時期：令和4年10月11日・11月15日・12月15日 提供場所：真狩給食センター、真狩羊蹄園、デイハウス香風庵、まったり保育園 提供品：馬鈴しよ150kg	47
後志	JAようてい青年部留寿都支部／	学年毎に担当品目を分け、播種・定植や収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称：小学生農業体験 時期：令和4年5月25日・10月12日 場所：留寿都村小学校園場 対象：留寿都村小学生 3年生15名 6年生16名	31
後志	JAようてい青年部京極支部／	食農事業の一環として、馬鈴薯の播種や収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称：小学生農業体験 時期：令和4年5月23日・8月 場所：京極町 対象：京極小学校2年生24名	24
後志	JAようてい青年部俱知安支部／	食農事業の一環として、馬鈴薯の播種や収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称：農業体験 時期：令和4年5月・10月 場所：八幡園場 対象：幼稚園児(年中)53名	53
後志	JAようてい青年部俱知安支部／	食農事業の一環として、馬鈴薯の播種や収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称：農業体験 時期：令和4年5月・10月 場所：八幡園場 対象：俱知安東小学校3年生	42
後志	JAようてい青年部俱知安支部／	食農事業の一環として、水稲の田植えや収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称：農業体験 時期：令和4年6月・10月 場所：八幡園場 対象：俱知安東小学校5年生	28
後志	JAようてい女性部／	食をめぐる現状として、家庭の食育の推進が必要である。そこで、子供のころから食事を家族とともに摂取することや、地産地消、食に対する感謝の気持ちを意識できるよう、家庭での食育推進を行う。	名称：JAようてい女性部親子料理コンテスト 時期：9月1日～10月30日 対象者：ようてい管内の学校に在籍している小学校1年生～6年生の児童と保護者最大20組。 概要：9月1日から9月30日まで参加者募集を行い、7組の参加申込があった。参加希望者へ10月上旬に「JAようてい食材セット」(ようてい男しやく、にんじん、玉ねぎ、ブロッコリー、ゆり根、お米、牛乳)とコンテスト審査用紙等を送付し、各家庭で親子料理を実施して頂いた。10月下旬までにご自宅での料理の様子の写真や審査用紙をJAようてい女性部へ提出してもらい女性部役員6名で審査を行った。審査の結果3組の受賞者が決定し、商品券の配布をもって結果発表とした。また3月にJAようてい広報誌に最優秀賞作品のレシピを掲載し、昨年から運用しているInstagramでも取り上げた。応募作品のレシピは全てJAようていホームページのレシピコーナーに掲載し、地元農産物の消費宣伝活動として活用している。参加者からの感想は「地元の農産物を使ったレシピを考え、食材の説明しながら料理ができて良かった」、「食材に関するパンフレットもあり、子供と一緒に地元食材について学びながら料理が出来て良かった」などの感想をいただいた。昨年の要望であった、パンフレットの配布と、時期をずらして食材の変更が行えたため、参加者からは満足度の高い意見が多かった。 最優秀賞：1万円商品券 優秀賞：5千円商品券 特別賞：3千円商品券 参加賞：1千円商品券	14
後志	ようてい農協／	地域の高齢化や後継者不足の課題を踏まえ、共に北海道農業を盛り上げ、JA事業に参加・行動していただけるサポーターづくりへの取組を始動。管内の枠を超え、多くの方々に農業や地域の魅力を伝え興味を持ってもらうため、広く情報発信が可能なSNSの開設を検討。数あるSNSの中から、画像や動画がメインで雰囲気やイメージが伝えやすく、視覚に訴えかけ印象付けることができ、幅広い世代に人気の高いInstagramに決定。	名称：JAようていInstagram 実施期間：令和4年1月26日～ 概要：将来の北海道農業を担う若い世代と食に関心の高い世代をメインターゲットに設定。 掲載例)・JAようてい女性部親子料理コンテスト 食育事業の一環として管内の小学生とその親御さんを対象に実施している「親子料理コンテスト」。子育て世代(主婦層)を中心に興味・関心を持ってもらうことを目的に、応募していただいたオリジナルレシピ(ようてい産食材使用)を投稿。レシピはホームページにも掲載し、Instagram上で周知することで、ホームページへのアクセス数増加にもはたらきかけた。 ・ようてい産農作物紹介シリーズ 農作物ごとの特徴やレシピなどを紹介し、地元農産物への知識関心を高めてもらう。 企画経営課	
日高	JAL ずない 青年部／ 食育出前授業	特産物であるミニトマト「太陽の瞳」の認知及び生産方法を学んでもらい子供たちに農業の楽しさや興味をもってもらうことを目的としている。	対象：各学校(保育所1ヶ所・小学校4ヶ所) 時期：5月30日～6月22日(5回) 場所：各学校(保育所1ヶ所・小学校4ヶ所) 内容：出前授業として、各学校のハウスにミニトマトの定植体験(1時間)を行ったほか、選果場(JAL ずない)見学やミニトマト農家の見学も行った(100名)。	140
日高	みついし農業協同組合 みついし水稲振興会／	三石のブランド米「トキノミノル」の地産地消を目的としたPR活動。	対象：三石中学校、三石小学校 時期：令和4年12月14日 内容：三石のブランド米「トキノミノル」のPR活動	5

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
日高	ひだか漁業協同組合／特産品販売所の運営等	地場水産物のPR、販売と地産地消の推進を目的とした取組	①直売所の運営 「道の駅みついいし」に隣接する地場水産物を中心とした販売店舗の通年運営	
日高	三石地域マリンビジョン協議会／出前授業	当町の主要産業の一つである水産業について理解を深めてもらうため、地域で営まれている漁業を中心に出前授業を実施し、その一環として、地域で漁獲される水産物を知ってもらい、食育や地産地消の推進を図ることを目的とする。	◇三石小学校 ・日時:令和4年11月2日 ・対象:5年生 36名 ・内容:①座学「新ひだか町の漁業」について 講師:ひだか漁業協同組合三石青年部 ②体験学習として、当日水揚げされた魚や漁具を持ち込み、見たり触れたりしてもらって体験を取り入れている。 ◇高静小学校 ・日時:令和4年11月9日 ・対象:6年生 96名 ・内容:①座学「新ひだか町の漁業」について 講師:ひだか漁業協同組合三石青年部 ②体験学習として、漁具を持ち込み、見たり触れたりしてもらって体験を取り入れている。	132
檜山	新函館農業協同組合せたな宮農センター／料理教室・食育事業	町内小学生(5年生)を対象に食育教室を開催し、地元食材の素晴らしさを知ること、地元の農業への理解・関心を深める。	○実施日時 令和4年12月6日(火) ○内容 「せたなの食を知らう!作ろう!食べよう!」をテーマに町内で生産された食材を使い、スーパカレー「らっきょ」の井出店主を招いて料理教室を実施。また、JA職員と地元生産者からの食育授業も行った。	34
檜山	檜山漁業士会／檜山漁業士会出前授業	地元の漁業への理解促進及び魚食普及のため。	対象:せたな町立大成中学校1年生4名 時期:令和4年7月12日 場所:せたな町立大成中学校 内容:漁業士による授業(座学)、ウニ漁の疑似体験、調理実習	4
檜山	檜山漁業士会／檜山漁業士会出前授業	地元の漁業への理解促進及び魚食普及のため。	対象:江差北中学校3年生17名 時期:令和4年9月28日 場所:檜山地域人材開発センター まなびつく 内容:漁業士による授業(座学)、調理実習	17
檜山	豊かな海づくり大会推進室・せたな町／育てる漁業体験塾・ヒラメ、マツカワ食育事業	地元の漁業への理解促進及び魚食普及のため。	対象:せたな町立瀬棚小学校 時期:令和4年11月1日 場所:せたな町立瀬棚小学校 内容:ヒラメ、マツカワの漁業に関する授業(座学)、試食	13
檜山	厚沢部町農に生きる推進協議会 JA新函館農協厚沢部青年部 厚沢部町認定こども園はざる	町の基幹産業である農業を通じて、児童に農業や食に対する興味、自然環境や郷土への関心を持ってもらうとともに、食育推進と団体相互の交流を図る。	場所:町内ほ場(富栄地区)※農協青年部生産者耕作地 時期:令和4年5月～ 対象人員:こども園児童48人、教諭5人、農協青年部員10人、農に生きる推進協議会員10人 内容:町内生産者の畑にてこども園児童によるメークイン栽培を実施した。実際に収穫されたメークインは7月23日に開催されたあつさふるさと夏祭りの「世界一ジャンボコロッケ」の材料にも使用され、ギネス登録も果たした。他にも児童による道の駅などでの販売体験やこども園で調理され農産物と食を通じて郷土の文化を親しんだ。	73
上川	北はるか農業協同組合下川支所／	しもりんマルシェ	令和4年10月1日(土) 下川町まちおこしセンター「コモレビ」	60
上川	水士里ネットとうま(当麻土改良区)／農業体験	土地改良施設の役割や農業農村の持つ多面的機能について子供たちを通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に、「田んぼ」を総合学習の場(教室)とした農業体験やかんがい用水路等の農業用施設、農業・農村が持つ多面的機能、田んぼに生息する生き物観察、地域農業の歴史等について学習する。	【時期】年5回(5月～12月) 【対象】町内小学5年生延べ人数250名 【実施場所】当麻町食育教育施設『田んぼの学校』、当麻小学校 【協力機関】当麻町教育委員会、当麻町農林業振興課、地域担い手農家(田んぼの学校校長) 【内容】 コロナ禍のため例年行っている取組みはできないが、感染防止対策を取れば開催できる取組みを選定実施した。 5月:当麻町の農業の歴史と稲の生育観察 『田んぼの学校』農舎において当麻町の農業の歴史や昔の農具について学習した後、ポット苗の観察や地域担い手農家が作成した紙芝居のクイズが行われお米について学習した。 5月:田んぼの学校田植え体験 コロナ禍のため、町民田植祭は実施できなかったが、当麻小学校5年生、6先生を対象に感染防止対策を講じながら田植えを行った。 7月:稲の生育観察と田んぼに棲む生物観察、農業農村の持つ多面的機能 田んぼで稲の生育と水田に棲む生き物について観察し、農業・農村が持つ多面的機能についても併せて学習した。農舎では、当麻町の田んぼに棲む生き物についてより理解を深めてもらうことを目的に、地域担い手農家が作成したお手製の生き物クイズが行われた。 9月:田んぼの学校稲刈り体験 コロナ禍のため、町民収穫祭は実施できなかったが、当麻小学校5年生、6先生を対象に感染防止対策を講じながら稲刈りを行った。 12月:収穫の喜びとまとめ お米の収穫(今と昔)について一年を通して苦労していること、工夫していること、収穫の喜びについて、また農業者の減少や高齢化、担い手の規模拡大や農地の集積、北海道の食料自給率や地産地消について地域担い手農家より説明を受け、1年間のまとめを行った。 具体的には、ドローンやGoProで撮影した農作業の動画や写真を地域担い手農家が編集し、播種作業、田起こし、肥料撒き、代掻き、田植え、ランコンボートや無人ヘリ、ドローンでの防除、稲刈り、カントリーエレベーターでの出荷まで学習した。	250
上川	旭川米生産流通協議会／	地元農産物とふれあうことで料理の楽しさを感じてもらいながら未来を担う小学生の食への意識を高める。	*対象:市内小学生4～5年生 *場所:農業センター *協力機関:旭川市 *時期:令和4年11月20日 *内容:旭川市出身の下園シェフ、札幌ベルエポック製菓調理専門学校の学生に御協力いただき、全ての料理にお米を使用した子ども料理教室を開催。	25

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	旭川市営農改善推進協議会(経営・担い手育成専門部会)／	都市住民の農業・農村に対する理解の促進、農村地域の活性化、農業経営の多角化をめざす。	*構成:市内農業者、農業関係者及び旭川市 *場所:市内 *時期:令和4年4月～令和5年3月 *内容:市内小・中学校農作業体験モデル事業の実施 参加校:知新小、旭川第3小、正和小、大有小、旭川第5小・桜岡中	
上川	JA北ひびき青年部和寒支部／子供農業体験事業	地元特産品である越冬キャベツの栽培体験を行い「食育」の知識を高めてもらう為に実施	和寒小学校3年生が対象、農協青年部が毎年事業として実施し、和寒町活性化センター内圃場において播種から収穫までの年間4回実施。 1回目:6月中旬 播種作業 2回目:7月中旬 定植作業 3回目:11月中旬 収穫作業(根切り・越冬準備作業) 4回目:1月下旬 掘り取り作業(雪の中から掘り取る作業)	15
上川	株式会社北瑛プロジェクト／テーブルマナー教室	テーブルマナーを学ぶとともに、美瑛産の農畜産物が一流レストランで提供されるプロセスを学び、地元農産物の魅力や可能性について、発信に結び付けるため。	時期:令和4年11月30日(水) 場所:北瑛小麦の丘体験交流施設 対象:美瑛高校生 内容:レストランのシェフから基本的なテーブルマナーについての講義を受け、美瑛産の食材が使用されたコース料理で実践しながら、美瑛産食材の魅力を知る。	26
上川	株式会社北瑛プロジェクト／体験実習(パン作り)	一流のパン職人講師による体験実習を通して、プロの技術を学び、食育×キャリア教育を推進するため。	時期:令和4年12月3日(土)・令和5年3月27日(月) 場所:北瑛小麦の丘体験交流施設 対象:美瑛高校家庭科クラブ 内容:町内一流パン職人からパン作りにおけるプロの技術を学ぶことで、町の将来を担うことが期待される美瑛高校生のキャリア意識高揚を図る。	10
オホーツク	網走漁業協同組合 女性部／	魚食普及活動	・対象:高校生 ・時期:11月上旬 ・場所:日本体育大学附属高等支援学校 調理室 ・内容:女性部員指導の下、生徒の皆さんに実際に魚を捌いてもらいました。鮭ザンギ・鮭の塩焼き・あら汁・いくらご飯計4品調理し、生徒の皆さんに食べていただきました。	30
オホーツク	西網走漁業協同組合 女性部／	地元で生産される海産物の解剖や調理を通して地元の魚介類に対する関心を高め、能取湖で漁獲された秋鮭を使用し調理講習を実施する。	・実施時期:令和4年12月5日 ・対象:網走第四中学校2年生 ・内容:能取湖で漁獲された鮭を使用し生徒の前で解剖を行い説明を行った後に班に分かれ女性部員指導の下、鮭ハンバーグと鮭ザンギの作成を行った。	22
オホーツク	西網走漁業協同組合 女性部／	地元で生産される海産物の解剖や調理を通して地元の魚介類に対する関心を高め、能取湖で漁獲された秋鮭を使用し調理講習を実施する。	・実施時期:令和4年12月5日 ・対象:網走第四中学校2年生 ・内容:能取湖で漁獲された鮭を使用し生徒の前で解剖を行い説明を行った後に班に分かれ女性部員指導の下、鮭ハンバーグと鮭ザンギの作成を行った。	85
オホーツク	JAオホーツク網走青年部／「親と子のぶれあいアグリスクール」	小学校児童やその家族を対象とし、網走・東藻琴の「地元の農業」の体験等を通じ、「農」や「食」の大切さを知ってもらう事や、家族の大切な時間を過ごしてもらうため実施する。	○時期～6月から11月 ○場所～JA本所、麦乾工場、部員圃場、東藻琴乳酪館 ○概要 ①農作物植付体験、圃場見学 ②農作業機械見学 ③収穫体験(さくらんぼ・いちご狩り) ④農畜産物加工体験(ハロウィン南瓜ランタン作り、バター作り体験)	30
オホーツク	JAオホーツク網走/学校給食関係者を対象とした農畜産物研修会、学校給食への食材提供	学校給食関係者を対象とした地元農畜産物生産に関わる研修会の実施や学校給食へ地元食材を提供することで、農畜産物の新鮮さ・美味しさを知ってもらい、生産者の厳正な生産管理から食の安全性が保たれている事を理解してもらう。	学校給食へ食材提供 ・8/31を「やさいの日」と称し、多くの野菜を使用した献立が考案され、JAで食材提供。(R4.8月と11月に2回実施) ・オホーツク網走和牛ハンバーグの提供。(R4.11月実施)	5,140
オホーツク	JAつべつ青年部／アソビバ!つべつ 農業体験	定植、生育観察、収穫、調理までの一連の作業を通じ、食物の生育過程を学びながら、食の大切さ、感謝の気持ちを育む。	対象:町内の小学生 時期:6月 田植え(もち米)、苗植え(南瓜、サツマイモ) 場所:町内の農場 7月 かかし作り、生育観察 場所:町内の農場 9月～10月 収穫体験(9月:南瓜、もち米 10月:サツマイモ) 場所:町内の農場 12月 調理体験(餅つき) 場所:津別町中央公民館 内容:社会教育事業「アソビバ!つべつ」のプログラムの1つとしてJAつべつ青年部指導の下、定植～収穫～調理までの一連の作業を体験し、食物が育つ過程を学ぶ中から、食への感謝の気持ちを育む。	140
オホーツク	JAこしみず／	本町の基幹産業である農業について、植付・収穫・調理体験を通じて子供たちに農業に対する理解と食のつながり、および意欲向上を図る。	■収穫体験■ 【対象者】小清水中学校1年生 【時期】8月24日 【内容】じゃがいもの収穫体験 【場所】青年部管理ほ場	38
十勝	帯広市川西農業協同組合青年部／農作物種子の配布	市内小学校等に農作物(メイクイン、大豆、スイートコーン)の種子を無償提供し、農業体験を通じて食の生産に対する関心や理解を深めてもらう。	時期:令和4年5月下旬 場所:帯広市農業技術センター 対象:帯広市立小学校26校の児童及び教員 社会医療法人 北斗 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし	7,500

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	JAおとふけ／親子わくわく農業体験	地場産品や音更町の農業をより知ってもらうことを目的に開催。	親子わくわく農業体験(R4.8.20) 農産物の収穫体験や調理、農協施設見学、トラクター試乗等、食農教育を通じて生産者と地域住民との信頼関係を図る 参加者数: 33名(親子14組)	33
十勝	JA木野／帯広大谷短期大学との連携	地場産品や音更町の農業をより知ってもらうことを目的に開催。	帯広大谷短期大学との連携 帯広大谷短期大学と地域連携協定を結び、農業体験や地場産品を使用したレシピ開発を行い、新たな食と農の情報を発信している。	0
十勝	士幌町農業協同組合青年部／こどもアグリスクール	農業体験を通して将来を担う子ども達へ「食」と「農」の大切さや農業の魅力、命の尊さ等を理解してもらうと共に地元の基幹産業である農業について興味を持ってもらう。	士幌小学校の3年生を対象に実施 ○1回目 時期 10月5日 場所 士幌町農業試験センター 概要 馬鈴しょ収穫体験、パワーポイントを利用した馬鈴しょについての授業	54
十勝	士幌町農業協同組合青年部／こどもアグリスクール	農業体験を通して将来を担う子ども達へ「食」と「農」の大切さや農業の魅力、命の尊さ等を理解してもらうと共に地元の基幹産業である農業について興味を持ってもらう。	士幌小学校の3年生を対象に実施 ○2回目 時期 12月7日 場所 士幌小学校3年生教室 概要 パワーポイントを利用した酪農に関する授業、乳製品配布	45
十勝	新得町酪農振興会／牛乳乳製品消費拡大事業	町内の保育所・幼稚園への食育を通じて牛乳・乳製品の消費拡大へ繋げる。	新得町、屈足の保育所・幼稚園に町内の牧場(北広牧場)で製造している飲むヨーグルト、ソフトクリームを提供。また、その際に酪農に関するクイズを実施。	130
十勝	JA新得町青年部／子供農作業体験事業	動物や植物の「いのち」の大切さ、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割を伝え、「食」と「農」との目には見えないさまざまな強いつながりを学んでもらう。	(1) 屈足南小学校の1・2年生を対象として学校の畑で栽培する作物の植え付け作業を一緒に行い、管理方法の指導を行うなどの交流を図った。 (2) 新得小学校3年生を対象とし、新得町内で生産される作物の畑を実際に見学し、地場産品への理解を深められるような説明を行った。	13
十勝	JA新得町青年部／学校給食プロジェクト「Sランチ」	動物や植物の「いのち」の大切さ、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割を伝え、「食」と「農」との目には見えないさまざまな強いつながりを学んでもらう。	町内小中学校、高等支援学校に地場産品を使用した給食を提供。青年部員も一緒に給食を食べ、交流を図った。	445
十勝	新得町農村ホームステイ協議会／農村ホームステイ	都会の子ども達に生産者との触れ合いを通じて、食の大切さを伝える。	大阪、東京など都会の子ども達に対し、日帰り農業体験を行った。	160
十勝	JAさらべつ青年部／農業体験の取組	児童・園児に農作物の種植えるから収穫、調理までの一連の食育活動を通して、育てる大変さ、作って食べる楽しさ等、食の大切さを伝える。	播種から収穫までを一連の食育活動として実施することで、児童・園児の食に対する興味・関心を深めることができた。また、普段自分たちが育てていない野菜なども取り扱うことで自らの食に対する知識を深めることもできた。	14
十勝	JA十勝池田町青年部／食育事業	町内の小学生と保護者等を集め、野菜のは種から収穫を行う。収穫した野菜を実際に食べ、作物の育つ過程の楽しさや収穫の喜びなどを体験してもらう。	□対象: 町内の小学生等 □場所: JA池田内のほ場 □内容: 5月…畑準備、は種・定植作業(ポップコーン、枝豆、じゃがいも、玉ねぎ、長ネギ) 6月…定植作業(かぼちゃ、さつまいも)、除草作業 8月…収穫作業(じゃがいも、枝豆、玉ねぎ、長ネギ) 10月…収穫作業(南瓜、さつまいも、長ネギ、ポップコーン) ※悪天候が続いたため、8月の収穫作業は親子の参加無し。	45
釧路	釧路市(阿寒農協青年部)／出前事業	くしろの酪農、牛乳への理解を深めること。	出前授業(令和4年11月、阿寒小・山花小中学校) くしろの酪農について青年部員3名説明。調理実習については、コロナ禍であることから食材、根釧牛乳のみを提供した。	23
釧路	釧路市(釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協)／釧路おさかな教室	釧路産水産物を使った料理教室等の開催を通して、PRや魚食普及を目的に実施している。	釧路おさかな教室(9月～2月) 釧路産の水産物を使った料理教室を実施。市内小学生及び市民団体等を対象に釧路産水産物の調理やさばき方などを教えた。	424
釧路	釧路市(釧路機船漁協)／釧路産水産物の提供	釧路産水産物の提供を通じた魚食普及を目的に実施している。	釧路産水産物の提供(2月28日) 児童発達支援センターにて、野のはな園通園児を対象に平成30年度より実施。給食用として釧路産の原魚を約70食分提供。	46
釧路	JA摩周湖青年部／	地域で生産されている農産物を知り、食べ物の大切さを伝える。	9月27日 食育授業	33
根室	ねむろ水産物普及推進協議会(愛称: まるごと根室)／浜の母ちゃん直伝! 根室おさかな漬物教室開催事業	魚食の普及	対象: 一般消費者 時期: 令和4年11月15日(火)、18日(金)、28日(月) 場所: 根室市文化会館 実習室 内容: 秋鮭の飯寿司、いわしの飯寿司、こまいの切り漬け 根室産水産物の魚食普及・消費拡大を図るため、根室市内4漁業協同組合女性部が講師となり、根室市内での漬物教室を実施。	33

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例 (1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
根室	ねむろ水産物普及推進協議会 (愛称:まるごと根室)／ 浜の母ちゃん直伝！根室おさかな料理教室開催事業	魚食の普及	対象:一般消費者 時期:令和5年1月20日(金) 場所:根室市文化会館 実習室 内容:オオマイのお吸い物、豚肉と野菜の昆布巻き、タラの竜田揚げ、ホタテのグラタン 根室産水産物の魚食普及・消費拡大を図るため、根室市内4漁業協同組合女性部が講師となり、根室市内での料理教室を実施。	13
根室	ねむろ水産物普及推進協議会 (愛称:まるごと根室)／ 根室おさかな料理普及推進事業 (さかなの日の食材提供)	魚食の普及	対象:市内全小中学生及び義務教育学校生 時期:令和5年3月7日(火) 場所:市内小中学校及び義務教育学校 内容:【提供メニュー】タラフライ、ホタテシチュー 【提供数量】タラフライ110kg、冷凍ホタテ50kg 根室産水産物の消費拡大及び若年層における魚食普及を推進するため、市内小中学校及び義務教育学校における学校給食のメニューとして根室産水産物を無償提供した。	1,830
根室	根室地区集落協定管理委員会 ／ 食といのちを学ぶ推進支援事業	基幹産業である酪農業を通して酪農業の理解や大切さを知り、将来豊かな食生活の基礎づくり	・教育委員会と連携し、食育・体験事業等を行う。 実施時期:令和4年9月16日 実施学校:海星小学校 ・搾乳や子牛への授乳給餌等酪農業に関わる体験や、アイスクリームづくり、パン作り等農産物加工体験	13
根室	JA道東あさひ青年部根室支部 ／ 食育事業	基幹産業である酪農業を通して酪農業の理解や大切さを知り、将来豊かな食生活の基礎づくり	・実施学校:北斗小学校 60名 開催時期:令和4年10月14日 ・DVDや紙芝居を通じ、酪農業の理解を深めること	60
根室	JA道東あさひ青年部根室支部 ／ ニムオロ冬の祭典	基幹産業である酪農業を通して酪農業の理解や大切さを知り、将来豊かな食生活の基礎づくり	・JA道東あさひ女性部根室支部との協力により廉価で乳製品の提供。 開催時期:令和5年2月11日 廉価提供内容: チーズフォンデュ・みるくおしるこ 各100円	880
根室	野付漁協女性部／	食事普及と地元食材消費拡大のため、調理指導を行い子供たちが魚食への興味を持つきっかけを提供する。	【講師】野付漁協女性部役員 5名 【対象者】別海町立野付中学校 1年生 【場所】野付中学校家庭科室 【日時】令和4年12月1日(木) 【内容】地域食材(サケ、ホタテ)を使用した調理実習	5
根室	羅臼町 羅臼漁協協同組合 女性部／	地元の新鮮な魚介類を使用した料理教室を通じ魚食への関心を深め、地産地消へ繋がる事を目的とする。	<羅臼小学校料理教室> 日時 令和4年10月25日(火)10時25分～12時00分 場所 羅臼小学校 家庭科調理室 参加 生徒24名 教員2名(女性部員12名) 内容 4品調理 ホタテの塩焼きうどん、ホッケの煮込みハンバーグ、鮭としめじのクリームシチュー、フルーツポンチ	24

(2) 農林水産業団体以外の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	砂川市 ひまわり保育園／	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より主に年長児が園庭内の畑でミニトマト、えだまめの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	95
空知	砂川市 さくら保育園／	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より主に年長児が園庭内の畑でミニトマト、じゃがいもを植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	79
空知	砂川市 空知太保育所／	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より主に年長児が園庭内の畑でミニトマト、かぶ、にんじんを植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	41
空知	深川市保健推進委員会／講習会	保健推進委員会が会員を対象に糖尿病や高血圧などの生活習慣病や介護予防をテーマに研修会や調理講習会を開催する。	対象:保健推進委員会会員 時期:①8月4日、②1月27日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:①生活習慣病予防調理講習会 26人 ②介護予防調理講習会 23人	49
空知	深川市へるしー会親睦会(自主活動グループ)／	会員自らの生活習慣病の排除に留意し会員相互の親睦を図り、明るく楽しい長寿の会として発展させることを目的とし活動。	対象:へるしー会会員 時期:7月29日 場所:健康福祉センター「デ・アイ」 内容:活動の中で、市栄養士に講師依頼のあった調理実習「栄養に関する講話、調理実習」	14
空知	スポーツを核とした地域活性化プロジェクト実行委員会／実践スポーツ栄養学	日々のスポーツやトレーニングによるダメージを回復させるために、どのように栄養を摂取することが一番効果的かなど、栄養についての知識を学ぶ。	○講演テーマ「実践スポーツ栄養学～普段の食事から試合前後の栄養コンディショニングまで～」 講師:株式会社ウエルネスプランニング札幌 代表取締役 小松 信隆氏 令和5年3月5日(日) 深川市総合体育館	66
空知	深川市男女平等参画推進協議会／愛食祭	男女共同参画の啓発と地産地消の拡大目的とするもの。	時期 令和4年10月8日(土) 場所 ラ・カンパニーホテル深川 共催 深川市農業対策協議会 内容 「食と健康」に関する出前講座、男女共同参画クイズ 等 ※これまでの愛食祭では、地元食材を使った食事の機会を設けていたが、令和4年度においては感染症拡大防止の観点から飲食は行わず、地元農産物の詰め合わせを配布したものの。	78
石狩	札幌市中央卸売市場水産協議会／生鮮食料品販売促進事業	食育を推進するとともに、小売店の活性化及び卸売市場の健全な発展に資することを目的とする。	小売店等地区講習会 主に幼稚園や保育園等に生魚を持って訪問し、子供たちに触れさせ、さばき方や簡単な調理方法の講習会を行う。 7月中旬から計34回実施。	2,534
石狩	札幌市中央卸売市場青果部運営協議会／消費拡大対策事業	野菜・果物に対する消費者の理解を深め、消費の拡大と小売店の健全な発展を図ることを目的とする。	出前食育料理教室 小学校5,6年生を対象に、食育と市場の役割などの授業と調理実習を実施。小学校3校で6回(10月・11月)実施。	194
石狩	札幌市中央卸売市場水産協議会・札幌市中央卸売市場青果部運営協議会／食育セミナー	上記のとおり	・食育セミナー 札幌市内の消費者を対象に、子育て・働き盛り世代の食生活改善、食育を重視するセミナーを3回(6月・7月・10月)実施。	198
石狩	江別市食育推進協議会／小学生食育事業小麦追跡学習	江別市は「麦の里えべつ」として全国でも知られるように、小麦は江別を代表する農産物となっている。この学習を通し、地元産業・農業への興味関心を高める。	①小麦に関する事前学習(見学前:学校) ②小麦畑見学、製粉・製麺出前授業(7月中旬:生産圃場) ③調理体験(10～11月)	132
渡島	函館市内のスーパーマーケット／“ベジブラ！ 楽うまレシピ”普及啓発事業	野菜摂取拡大のため。	対象:市内のスーパーマーケット 時期:6月 場所:市内のスーパーの野菜売り場 15店舗 内容:“ベジブラ！ 楽うまレシピ”の動画放映およびホームページQRコード掲載のチラシ等配布。 ※「ベジブラ！」は「ベジタブルプラス」の略で、「ベジブラ！ 楽うまレシピ」とは、野菜をメインに使い、簡単な調理でできる料理のこと。	
渡島	特定給食施設等／“ベジブラ！ 楽うまレシピ”普及啓発事業(団体・学校給食)	野菜摂取拡大のため。	対象:企業・団体等、特定給食施設等 時期:6月8,9,14,15,16,27,30日 場所:企業・団体等、特定給食施設等 内容:食育月間にちなんだレシピの活用、学校でレシピ考案者が講話、“ベジブラ！ 楽うまレシピ”の事例をホームページに掲載。 ※「ベジブラ！」は「ベジタブルプラス」の略で、「ベジブラ！ 楽うまレシピ」とは、野菜をメインに使い、簡単な調理でできる料理のこと。	15,295
渡島	はこだて健康応援店／“スマートバランスレストラン”事業	栄養バランス等に配慮した食事提供の場を増やし、市民の健康寿命延伸のため。	対象:市内の飲食店 時期:通年 場所:市内の飲食店 内容:栄養バランスなど、健康づくりに配慮した食事を提供する飲食店等の登録(登録店舗95店)	95

(2) 農林水産業団体以外の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
渡島	鹿部町／ 母子手帳交付時健康相談・栄養 相談、支援レター	妊婦の食生活や日常性格を 支援するため。	対象:妊婦 時期:随時(母子手帳交付時) 場所:鹿部町役場 内容:健康相談、栄養相談	11
渡島	鹿部町／ 新生児訪問、産婦訪問	食育の推進のため。	対象:新生児、産婦 時期:随時 場所:訪問 内容:保健師と栄養士が訪問し、乳幼児の発育・発達の確認、育児相談	10
渡島	鹿部町／ 乳幼児健診	食育の推進のため。	対象:乳幼児、保護者 時期:5月20日、8月19日、11月18日 場所:総合体育館 内容:離乳食、幼児食の相談	66
渡島	鹿部町／ 特定保健指導	生活習慣の改善のため。	対象:成人、高齢者 時期:随時 場所: 内容:生活習慣改善の支援	15
渡島	鹿部町／ 集団健康教室	生活習慣病の予防のため。	対象:漁業研修所研修生 時期:5月8日 場所:漁業研修所 内容:健診事後教室、集団健康教室	25
渡島	鹿部町／ お誕生日品贈呈	食育の推進のため。	対象:新生児 時期:随時 場所:町内 内容:町内産昆布とだしの取り方のレシピ配布	16
渡島	鹿部町、地域活動支援センター 「ほっほ」/ ベーグル販売	食育の推進のため。	対象:町民、観光客等 時期:通年 場所:地域活動支援センター「ほっほ」 内容:地場産明太子を使ったベーグル販売	
渡島	鹿部町、ちいきおこし協力隊/ 地域食堂	食育の推進のため。	対象:町民 時期:10月22日 場所:コミュニティカフェ 内容:地域おこし協力隊が地域食堂として手作りランチを提供	101
上川	食品関連事業者等／	食品衛生に関する講習会の 開催や講師の派遣を行い、 食中毒その他の健康被害の 発生を防止する。	対象:食品関連事業者等 時期:不定期(計14回) 場所:上川合同庁舎ほか 内容:食中毒予防の基礎知識、HACCPに沿った衛生管理について、給食施設 の衛生管理等	761
上川	東川町学社連携推進協議会体 験農園専門部会／	学校給食用食材の提供、農 業体験や農業教育及び食育 の機会を児童に提供、余剰 生産物の販売を通して流通 を学ぶ機会を提供、事業実 施を通して多世代交流を推 進。	本部会は農業者、JA女性部、JA青年部及び部会の目的に賛同する方々で 組織され、町から管理・運営を委託された体験農園(水田、畑、果樹園)を活 用し、学校活動での農育や食育に関する授業支援や学校給食への食材の 提供を行っています。 また、生涯学習での食育事業においては、体験農園で収穫された食材を 使ったの親子食育事業で、7月に「ハスカップ等の小果樹のジャム作り」、11 月には「大根、キャベツ等の漬物作り」、2月には「味噌作り」等の事業を実 施しています。 これらの事業は大変好評で毎年参加してくれる方々が多くいます。	74
留萌	天塩町こがら児童クラブ/ 「食育教室」	①食べることや料理すること に関心を持つ。 ②食事をとることの大切さを 学ぶ。 ③食の知識・調理する力を 身につけることができる。	学童保育、小学校・行政の栄養士が協働し、平成22年度より継続。 【実施日】12月27日(火) ※冬休み 【場 所】保健ふれあいセンター 多目的ホール 【対 象】学童保育に通う1～6年生までの児童 【参加者】児童28名・指導員4名・小学校栄養教諭1名・町管理栄養士1名 【内 容】Youtubeによる食育動画学習・手洗いチェックを活用した手洗い 指導	34
留萌	北海道天塩高等学校/ 高校1年生「食育教室」	①事例を通して自分たちの 生活習慣を振り返る。 ②理想的な生活習慣につい て考え、話し合う過程を通 して、自らの健康を見直し自 己管理できる力を伸ばす。 ③高校生の望ましい生活習 慣(食事・睡眠)について正し い知識・情報を得る。	高校と行政の協働により平成16年度より事業を展開。 【実施日】7月15日(金) 【場 所】高校芸術室 【対 象】高校1年生31名・教員2名・保健師1名・管理栄養士1名 【内 容】 ・保健師によるアイスブレイク・グループワーク・まとめ A君の事例を通して良いところ・悪いところを考える。 ⇒食事のバランスは何をどのように変えたとよいかを話し合う。 ・管理栄養士講話「望ましい間食のとり方・ジュースの糖分量について」	35
十勝	いただきますカンパニー/ 出前食育講座	砂糖(ビート)の体験を通し て、地域産業への興味関心 を引き出す。 多様な視点から自ら判断し 選択できる、賢い消費者の 土台を作る。	対象:小学校児童 時期:令和4年4月～令和5年3月 場所:全道の小学校 内容:お砂糖の食育授業	1,470
十勝	いただきますカンパニー/ 出前食育講座	小麦の体験を通して、地域 産業への興味関心を引き出 す。 多様な視点から自ら判断し 選択できる、賢い消費者の 土台を作る。	対象:小学校児童 時期:令和4年4月～令和5年3月 場所:帯広市内の小学校 内容:小麦の食育授業	279

(2) 農林水産業団体以外の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	いただきますカンパニー／ オンライン出前食育講座	実際の圃場(牧場)を、リアルタイムで体験してもらい、「普段の食」が当たり前ではなく、たくさんの人の力によって生み出されている、という意識改革につなげる。	対象:幼稚園～大学生 時期:令和4年4月～令和5年3月 場所:全国の幼稚園、小学校、高校、大学 内容:オンラインでの食育授業(ファームツアー)	136
十勝	西村 華純／ 十勝・帯広の農業の特産物や食べ物の栄養等について	十勝・帯広の農業について理解を深めるため。	○講師から、十勝で作られている畑作4品等について説明 ・実施日時:令和4年8月5日(金) 10:00～11:30 ・場所:緑ヶ丘児童保育センター ・参加対象者:学童入所児(小3～小6)	31
十勝	一般社団法人日本料理研究会 帯広支部帯広調理師信友会／ ぶりを使った親子料理教室	近年十勝をはじめ、道内で漁獲量が増加するぶりを使い、「魚離れ」が子供を中心に進む中で食育を通じ多くの世代で水産物の消費拡大を図るため。	○ぶりに関する情報(見分け方や旬の時期など)や調理方法について説明した後、実際に参加者が料理をした。 ・実施日時:令和4年11月12日(月) 9:00～13:00 ・場所:とかちプラザ ・参加対象者:十勝管内在住親子	15
十勝	士幌町教育委員／ 大地くんと学ぼう	士幌町における特色ある学習活動実施するため。	時期 ●中士幌小学校 5・6年生:11月18日、1・2年生:12月6日、3・4年生:12月7日 ●上居辺小学校 1・2年生:10月21日、3・4年生:12月1日、5・6年生:12月16日 場所:しほろキッチン 内容:ピザ、ワッフル、カボチャのポタージュ、スイートポテト作り等 備考:コロナ対策のため、人数の少ない中士幌・上居辺小のみ実施	63
釧路	釧路市(釧路短期大学)／ 食についての講座	幼児期に必要な栄養等の知識の普及を図る。	食についての講座(令和4年7月21日、釧路短期大学) 幼児期のお子さんがある保護者の方を対象に、栄養士を目指す学生が授業(特別演習)の一環として食に関する講座を開催した。 「幼児期に必要な栄養と食べ物の目安」では三大栄養素のバランスや幼児前期(2～3歳)と後期(4～5歳)に必要な1日の食材の目安量について、「野菜大好き副菜・汁物のレシピ」では野菜を食べやすく工夫したレシピ4点の紹介を行った。	
釧路	釧路市(消費者協会)／ 食品ロス削減の普及啓発	食品ロス削減及びごみ減量化に向けて取組を進める。	10月30日の「食品ロス削減の日」、2月4・5日の「消費者まつり」にて特設窓口を設置しフードドライブを実施。寄附食品は生活相談支援センターくらしごとへ食品を提供した。	157
釧路	釧路市(消費者協会)／ 釧路市消費生活講座	牛乳消費拡大及び道産米の消費拡大のため。	釧路市消費生活講座(料理教室)(10月21日、11月9日)釧路市市民生活課と共催で道産米消費拡大事業、牛乳消費拡大事業の一環として実施した。	26
釧路	釧路市(消費者協会)／ よつ葉乳業の製品を使用した料理教室	牛乳消費拡大のため。	よつ葉乳業の製品を使用した料理教室、地元レストランのシェフを講師として招き、よつば乳業の製品を使用した料理教室として開催した。	14
釧路	釧路市(釧路市食生活改善協議会)／ 親子の料理教室	親子で調理実習を行うことで栄養バランスのとれた食事や望ましい生活習慣の習得を目指し、生活習慣病の予防を図る。また、特産品のキクイモの普及も兼ねる。	対象:音別小学校の児童と保護者 日時:10月23日 場所:音別町福祉保健センター 内容:キクイモを使用して調理実習と栄養講話を行った。	9
釧路	釧路町／ さくら保育園子育て支援センター「赤ちゃん教室」	乳児期に健やかな生活習慣、利用できる社会資源等を知り、また、地域の保護者同士のつながりを持つことで、子育て期の孤立化を防ぐ。	日付:令和4年10月14日(金) 場所:釧路町保健福祉センターあいばーる栄養・調理研修会、会議室 タイトル:「見て、聞いてわかる!離乳食のすすめ方」 講師:町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者:乳児の保護者 4名(保育士による託児あり) 内容:離乳食づくりのコツやベビーフードの活用方法などをデモンstrーション方式で伝える(食材に触るが、試食なし)。 ※栄養士以外にも、別日程で助産師、保健師、保育士が講師となる教室	4
釧路	釧路町／ さくら保育園子育て支援センター「子育て講座」	乳幼児期の適切な食事やおやつとの与え方を知ること。	日付:令和5年1月20日(金) 場所:さくら保育園子育て支援センター タイトル:「幼児期の食について」 講師:町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者:乳幼児の保護者9名(託児あり) 内容:市販のおやつ利用のしかた・含まれる糖分についておやつとの組み合わせ・補食・食事とのバランスについて個別相談	9
釧路	標茶消費者協会／ 料理講習会の取組	牛乳・乳製品の知識や料理法について講習会を通じ、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに関与するため。	時期:令和4年11月18日 場所:開発センター(調理室) 内容:ホクレン牛乳、乳製品消費拡大事業「料理講習会」	18
釧路	標茶消費者協会／ 料理講習会の取組	北海道米消費拡大を通じ、ご飯の健康性とご飯を中心とした日本型食生活の良さを啓発するとともに、北海道米及び道産農畜産物の消費拡大を図るため。	時期:令和4年12月9日 場所:開発センター(調理室) 内容:北海道米消費拡大事業「料理講習会」	20

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	芦別市食生活改善協議会／よい食生活普及のためのレシピ配布(地区組織活動)	市民に、ライフステージにあったパンフレットやレシピを配付し、よい食生活を普及する。	対象:高齢者 時期:R5.1月 内容:動物性たんぱく質、野菜の摂取、減塩食の普及、減塩食品の配布	53
空知	砂川市 砂川市食生活改善協議会／	食育講演会:感染症が流行する中、自分で出来る免疫力を高められる食品・食事について学ぶ。	対象:市民、近隣市町村民 時期:令和4年10月5日 場所:地域交流センターゆう 講師:小泉武夫氏 演題「コロナに負けない免疫カアップの発酵食と北海道の食文化をもっと知ろう」	191
空知	歌志内市食生活改善推進協議会／親子ふれあい料理教室 ※市保健福祉課共催	親子が料理体験を通じて食への関心と理解を深め、望ましい食生活を送ることを目的とする。	対象:義務教育学校1～6年生と保護者 時期:7月23日(土)、12月17日(土) 場所:コミュニティセンター 内容:①たまごについての学習、調理実習(サラダラーメン) ②小麦粉についての学習、調理実習(クリスマスランチ)	21
空知	歌志内市食生活改善推進協議会／広報活動～健康料理レシピ ※市保健福祉課共催	健康をテーマとしたレシピの普及啓発を行い、広く、市民の健康意識の向上を図ることを目的とする。	対象:広報配布全世界 時期:6月、9月、12月、3月 内容:研修会調理実習レシピから選択し、市広報に年4回掲載 ①豚肉と小松菜のオイスター炒め(レンジで簡単)、②サバそぼろ丼(蛋白質・カルシウム摂取)、③パングラタン(脂肪控えめ)、④白湯ラーメン(減塩)	1,730
空知	歌志内市食生活改善推進協議会／食育教室 ※市保健福祉課共催	園児が作る楽しさや食べる喜びを感じる機会をつくること、また家庭での食育実践につながるきっかけをつくることを目的とする。	対象:認定こども園の園児と保護者 時期:7月、8月、12月、2月 場所:認定こども園 内容:①講話(3食の栄養こびと)、②講話(野菜を食べよう)③調理(おにぎり)、④うまみの学習と調理(みそ玉)、⑤調理(カレー) ※④については家庭で再度実習するよう材料セットを配付。	200
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会／親子クッキング教室	食に関する興味、関心を持ち、自分の健康を守ることができるようになる。	【時期】年1回(7月23日) 【対象者】小学生とその保護者 【内容】調理実習とミニ講話 【テーマ】しっかり食べて暑さを乗り切ろう! 【メニュー】タコライス、げんきスープ、ヨーグルトサラダ、ぶるぶるゼリー	20
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会／食育シアター	保育園児が食や体のしくみに関する興味を持つことができるようになる。	【時期】年1回(10月19日) 【場所】保育園 【対象者】保育園児 【内容】食生活改善推進員が「新十津川町のしんちゃん人形」とタベストリーや紙芝居を用いて、園児にもわかりやすいシナリオで演劇をしながら、食と健康に関する正しい知識の普及啓発活動を実施。 【テーマ】「いただきます ごちそうさま」	90
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会／食育の日PR・減塩対策	食育に関心をもち、食育の日や減塩に関する知識の普及啓発を行う。	【時期】6月9日 【場所】町内スーパー2店舗 【対象者】買い物客 【内容】食育の日のぼりの掲示と、減塩食品コーナーを設置して、減塩レシピや減塩POPの作成と掲示	2,000
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会／中学校食育教室	成長期に必要な栄養を理解し、食育に関心をもってもらう。	【時期】11月29日 【場所】中学校 【対象者】中学1年生 【内容】講話 【テーマ】「朝食について」「生活リズムと食生活」他	46
空知	農天気の会／メロンの定植、栽培体験	・子供たちに農業の良さを知ってもらう。 ・子供たちに食べ物の作られる過程を知ってもらう。 ・食べ物を大切にすることで、生き物へのやさしい心を養ってもらいたい。	対象:沼田小学校4年生 時期:6～9月 ①6月13日、②6月16日、③8月24日、④9月14日 場所:沼田小学校①・④、生産者圃場②・③・④ 内容:①事前学習、②定植体験、③メロン皿敷き、④収穫・試食の全4回実施。収穫したメロンは学校の家庭科室でシャーベットに加工し試食。	14
空知	沼田町食生活改善協議会／男性の料理教室	料理経験の少ない男性が調理をしなければならない状況になった時に慌てることがないように、また将来的な介護予防のためにも食を通じた自立支援を促す。	対象:町内在住及び町内勤務の男性 時期:7月14日 場所:健康福祉総合センター「ふれあい」 内容:調理実習(変わりちらし寿司、塩キャベツの豚肉巻き、みぞれ汁、あずき牛乳かん)	8
空知	沼田町食生活改善協議会／低栄養予防講習会	要介護状態の予防とその発症を遅らせるため、栄養に関するセルフケア能力向上のための知識を得る。	対象:65歳以上の町民(介護予防事業参加者) 時期:11月18日 場所:健康福祉総合センター「ふれあい」 内容:調理実習(黒豆ご飯、ツナと小松菜の豆腐チャンプルー、とりごぼうの味噌汁、さつまいもとレーズンのきんつば風)	16
空知	沼田町食生活改善協議会／親子食育教室	幼児期及び学童期に親子で正しい食習慣を身につけることによって、健康増進を図る。	対象:町内在住の幼児・小学生とその保護者 時期:12月17日 場所:健康福祉総合センター「ふれあい」 内容:調理実習(巾着オムライス、鶏のから揚げ香味ソース、カップケーキ)及び食育教材を使ったゲーム実施	13
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通して健康づくりの情報提供を行う。	時期:11月24日	565

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目 的	概 要(時期、場所など)	参加者数 (人)
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(中央区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:12月10日	400
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(北区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:9月28日～9月29日	340
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(東区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:11月17日～11月18日	150
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(白石区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:9月14日	140
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(厚別区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:12月22日	57
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(豊平区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:8月29日～8月31日	527
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(清田区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:10月26日	120
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(南区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:9月30日	80
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(西区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:9月10日	369
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(手稲区)／食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期:9月5日～9月6日	143
石狩	江別消費者協会／令和4年度地産地消事業「料理講習会」	江別の地場産品を市民に広く知ってもらうことを目的に、年に1回地産地消事業として江別市内で生産された農産物や加工品を利用した料理講習会を開催している。	時期:令和5年2月28日 場所:野幌公民館 内容:料理研究家の青山則靖氏を招き、江別の農産物を使ったオリジナルレシピを考案。また、よつ葉乳業の協力を得て乳製品の提供をいただき、江別の農産物と組み合わせ「ポテトグラタン」や「シーザーサラダ」等を参加者全員で調理した。地場産品と乳製品の消費促進でPR効果があったと考えられる。	35
石狩	江別市食生活改善協議会／ふれあいレストラン	高齢者と推進員が集う場を設けることで、介護予防的役割を担う。	70歳以上の高齢者を対象に、レクリエーションや減塩などの健康講話を実施。 時期:9～10月	53
石狩	千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会／食農講座	生産者と消費者(農村と都市)の交流を深めつつ、農業に関する正しい知識を学び、『グリーン・ツーリズムの推進』と『食育の浸透』を図る。	日時:3月4日(土) 13時30分～15時30分 場所:千歳総合福祉センター4階 402号室 講演1:「北海道の食品ロスについて」 講師:1 北海道農政部食の安全推進局食品政策課 主幹 関本みちよ氏 講演2:「もったいないわ・千歳」とは 講師2 NPO法人フトバンクネットワーク「もったいないわ・千歳」代表岩本典子氏 参加費:無料 対象:一般消費者・農業関係者ほか 内容:道内における食品廃棄の実態を知り、食品ロス削減に向けた取組事例を学びながら、日常生活に欠かせない「食」を考える。	14
石狩	千歳市食生活改善協議会／こどもの食育教室	子どもの頃から栄養バランスのとれた食事をとることの大切さや、調理実習を通して料理を作る楽しさを学び、食に対して関心を持つとともに、食の知識を身につける機会とする。	【実施日時】①令和4年7月9日(土)10時～12時30分 ②令和4年7月9日(土)14時～16時30分 【実施場所】千歳市北ガス文化ホール 調理教室 【対象者】市内の小学生 【参加者内訳】①4人②10人 【実施内容】食育についての学習と調理実習 【調理実習メニュー】 焼きカレーパン、夏野菜入りオムレツ、エビマヨ風サラダ、キラキラかんてん 【参加者の感想・意見】 ・全部簡単だった。 ・カレーのルーを溶かすのが難しかった。 ・人参、玉ねぎのみじん切りが難しかった。	14

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	千歳市立富丘中学校PTA／弁当の日	生徒に、食べ物の大切さ、感謝の心を伝える。	【日時】 令和4年11月22日(月) 【内容】 生徒自身が考案し、調理した弁当を持ち寄る取組を実施した。(PTA役員などがプロジェクトチームを結成し、イベントを開催する。) 生徒が自らの食生活を振り返り、成長期に必要な食などについて考えてもらう良い機会になっている。	500
石狩	フリールーム MANA 特定非営利活動法人ジェルメ・まるしえ／ 子ども食堂	子ども達が、放課後等に食事及び学習等を通して安心して過ごせる居場所づくりを進めることにより、地域一丸となって子どもの育ちを支援する。	□時期:各団体、週1回または月1回開催 □対象:乳児～大人も可 □概要: ・食事の調理提供、食に関する様々なことを学ぶ機会づくり、共食の場の提供。	2,007
石狩	当別町食生活改善推進協議会／ 小学生へのパネル展示	健康的な食生活の普及・啓発	対象:当別町内の小学生 時期:9月、10月、12月 場所:当別学園、西当別小学校 内容:1日の野菜の目標摂取量についての普及啓発掲示物を展示 ※①・②とも当別町福祉部保健福祉課、当別学園栄養教諭と協議しながら作成 ※参加者数:おおよそ430人	430
石狩	当別町食生活改善推進協議会／ 小学生への食育授業	健康的な食生活の普及・啓発	対象:当別町内の小学生1年生 時期:7月 場所:当別学園 内容:正しいはしの持ち方についての演習 ※当別学園栄養教諭より依頼を受け実施 ※参加者数:おおよそ40人	40
石狩	新篠津村食生活改善協議会／ 夏休み子どもクッキング	こどもの頃から食と栄養に興味を持ってもらい、正しい食生活及び料理をすることの楽しさを知るきっかけを作る。	○時期:令和4年8月8日 ○場所:新篠津村保健センター ○対象:小学5年生 ○概要:クッキーづくり、ラッピング制作	10
石狩	新篠津村食生活改善協議会／ おやこの食育教室	親子で食事をすることにより、食事に興味を持ってもらい、バランスの良い食べ方、食事のマナーなど、適切な食習慣を身につけるきっかけとなる場所を提供する。	○時期:令和4年11月11日 ○場所:新篠津村立新篠津小学校 ○対象:小学6年生親子 ○概要:食育講話(食事バランス、生活習慣病予防、必要な栄養素について)	32
石狩	新篠津村食生活改善協議会／ キッズ☆キッチン	食育目標「食べる力(5つ)のうち、「食事を味わって食べる」「一緒に食べたい人がいる」「食事づくりの準備に関わる」ことの大切さを学ぶ。	○時期:令和4年11月21日 ○場所:新篠津村保健センター ○対象:保育所年長児 ○概要:クッキーづくり、ラッピング制作	24
石狩	新篠津村食生活改善協議会／ 野菜350g普及事業	健康的な食生活の普及	○時期:令和4年7月30日 ○場所:新篠津村自治センター ○対象:住民 ○概要:健康まつりで実施。野菜350g当てクイズ・ベジチェック	47
後志	古平町食生活の会／ 地域食堂「ふる愛」	地域で核家族化が進み、一人暮らしの高齢者が増える中、会員がみんなで楽しく「共食」する場を提供することで、改めて地域の絆を見直し、共助の力を育てる。	○実施方法:令和4年5月より、複合施設「かなえーる」にて毎月1回開催 ◇対象者:町民(30名限定) ◇参加費:大人300円、小人100円 ◇子どもから高齢者まで幅広い世代の食育の場、交流の場となっている他、他の協賛団体からのボランティア参加もあり地域の自助につながっている。	550
胆振	伊達市食生活改善協議会／ 食改さんおすすめレシピ	コロナ禍で増えた「おうち時間」を親子等で楽しんでもらうなど食育の推進を図る。	食生活改善協議会が主体となり、コロナ禍においても可能な活動として企画したレシピ。これまで学んだものを整理し、栄養情報や調理のコツなどの情報を織り交ぜた。地元食材を利用した手軽な内容とし、若い世代にも見てもらえるよう、QRコードをつけるなど工夫した。 配布:通年で道の駅、スーパー等市内各所へ据え置く他、会員より地域住民等へ直接配付。また、市ホームページに掲載。	2,255
胆振	厚真町食生活改善推進協議会／ 厚真町文化祭(参加)	学習活動で得た知識を町民へ伝達する。	時期:令和4年11月3日 内容:厚真町食と健康向上委員会主催「減塩レシピコンテスト」への協力、コンテスト応募作品の調理とレシピ配布、ポスター掲示、食事バランスについての啓発声かけ 場所:厚真町総合福祉センター 対象:全町民	
胆振	厚真町食生活改善推進協議会／ 親子料理教室	発育期における食習慣は将来に大きく影響することから、子ども自身に厚真町の食生活の現状を知らせるとともに正しい知識を身につけさせることにより健康増進及び生活習慣病の予防を担う。	時期:令和4年8月27日、9月17日、12月3日・17日 内容:講話、調理実習 対象:小学1年生～3年生までの児童とその保護者	32
胆振	厚真町食生活改善推進協議会／ 食改協だより	学習活動で得た知識を全町民へ普及する。	時期:令和4年12月、令和5年3月 内容:事業紹介、レシピの掲載 対象:全町民	

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
胆振	厚真町食生活改善推進協議会／ 冬季栄養健康教室	町民の高齢化に伴い、特に罹患率の高い高血圧、脂質異常、糖尿病について正しい知識を普及し、生活習慣病の予防・改善に努める。	時期:令和5年1月から3月(11回) 内容:調理実習、栄養士・保健師講話 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり、各自治会館 対象:全町民	140
渡島	鹿部町食生活改善推進協議会・ 鹿部町／ 手作りおやつ提供	食育の推進のため。	対象:幼児と保護者 時期:11月10日 場所:総合体育館 内容:幼児向け手作りおやつ提供	12
渡島	鹿部町食生活改善推進協議会・ 鹿部町／ 町民ニコニコ健診みそ汁塩分測定	食育の推進のため。	対象:健診受診者 時期:10月25～27日、2月8日 場所:大岩地域会館、中央公民館、本別中央会館 内容:家庭のみそ汁を持参してもらい、塩分濃度を測定し、適塩について説明	48
檜山	せたな町総合型スポーツクラブ せたな／ 料理教室・食育事業	町内の参加希望小学生を対象に、有機農法による田植え体験を実施し、お米の大切さを学ぶ。	○実施日時 令和4年6月 ○内容 手植えによる田植えを行い、泥の感触とお米ができるまでの大変さを学習。また、田植機の体験搭乗も行い、現在の省力化技術の進歩も学んだ。	15
檜山	上ノ国町食生活改善協議会／ 在宅介護食教室	加齢に伴う体の変化と食事について学ぶことを目的とする。	【実施日】令和4年9月26日 【対象者】上ノ国町食生活改善協議会員 【講師】上ノ国町食生活改善協議会長 【内容】栄養講話と調理実習 【メニュー】ロール酢豚、油揚げと青梗菜の煮びたし、ツナ入り山芋ステーキ	6
檜山	上ノ国町食生活改善協議会／ シニアカフェ	高齢者の低栄養予防と野菜摂取量増加を目的とする。	【実施日】令和4年10月11日 【対象者】上ノ国町大留地区高齢者 【講師】上ノ国町食生活改善協議会長 【内容】低栄養予防の栄養講話と野菜350gあてゲーム	19
檜山	上ノ国町食生活改善協議会／ 郷土料理教室	郷土料理について学ぶことを目的とする。	【実施日】令和4年12月1日 【対象者】上ノ国高校1年生 【講師】上ノ国町食生活改善協議会長 【内容】調理実習 【メニュー】鯨だしソーメン	17
上川	士別市食生活改善協議会／	望ましい食生活の実践を普及するために必要な知識・技術を学び、地区に普及する。	・市内高校生への講話(早寝早起き朝ご飯、体格、買い物学習)、調理実習 ・認知症予防教室講話担当(主食・主菜・副菜について、BMIの計算など)	25
上川	名寄市食生活改善協議会／ シニアカフェ	全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト	【開催日】令和4年9月22日 【場所】名寄市西町2区町内会館 【参加者】12名 【開催日】令和4年12月7日 【場所】名寄市麻生町内会館 【参加者】19名	31
上川	名寄市食生活改善協議会／ 骨・カルシウムセミナー	運動と乳製品の大切さについて学ぶ。	【開催日】令和4年10月13日 【場所】名寄市駅前交流プラザよろーな 【参加者】18名	18
上川	名寄市食生活改善協議会／ 楽しく健活セミナー	「人生100年のヒント」というテーマで講演 健康であるための食生活や運動について学ぶ。	【開催日】令和4年11月30日 【場所】名寄市駅前交流プラザよろーな 【参加者】28名	28
上川	名寄消費者協会／ 名寄市立大学生との料理講習会	地産地消の推進、食品ロス削減への関心を高めるため。	【開催日】令和5年3月3日 大学生3名、講師1名、名寄消費者協会会員13名	17
上川	北海道栄養士会名寄支部／ 食に関する情報交換会	食に関する情報交換および会員の親睦をはかる。	【開催日】令和4年5月28日 zoomによるオンライン開催	6
上川	北海道栄養士会名寄支部／ 「すこやか北海道21」ヤクルト協賛事業研修会	食物繊維による免疫増強＜腸と腸内環境のために＞ 講師 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 田邊 宏基氏	【開催日】令和4年10月22日 【場所】名寄市駅前交流プラザよろーな	40
上川	なよろ食育推進ネットワーク／ 教育ファーム支援事業	名寄市の「食育推進計画」の具体化として、市内の小学校における農園活動を中心とした食農教育を支援し、名寄市が掲げている、食育推進による子供たちの健やかな成長および健康で住みよいまちづくりに寄与する。	名寄市内小学校5校へ、農作物の栽培から収穫、加工調理などの食育活動を支援。 以前は毎年、教育関係者や食農関係団体等に参集を呼びかけ、各校の代表児童による活動報告会を実施していたが、直近の3年間は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とし、教育ファーム事業報告書を作成して各関係機関や団体等へ配布。	500

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
留萌	苫前町食生活改善協議会／骨と筋肉のための料理教室	日本人の20～50歳代で摂取不足が目立つカルシウムは不足するとロコモティブシンドローム、高血圧や動脈硬化などを招くため、カルシウム摂取に効率的な良い乳製品の摂取の普及を図る。	実施日：令和4年10月16日(日) 対象者：一般人 共催：苫前町教育委員会(社会教育課) 内容：栄養講話(運動と食事について)、運動講話・実技 モデル献立：肉巻きチーズおにぎり、かぼちゃサラダ	6
留萌	苫前町食生活改善協議会／おやこ料理教室	調理体験を通して食に興味を持ち、日常生活に取り入れられるよう知識と技術を伝えることができる。	実施日：令和4年10月29日(土) 対象者：町内の3歳～小学2年生とその保護者 協力機関：苫前町教育委員会(社会教育課) 内容：調理実習、栄養講話(朝ご飯を食べよう！) メニュー：韓国風ミニのり巻き、ミルクかん 参加者の感想：いっぱい作れて嬉しかった、またやりたいです。朝ご飯のことがよく知れた。思ったより調理ができていて驚いた。	13
留萌	苫前町食生活改善協議会／男性料理教室	男性の食事における自立支援を図るため日常に取り入れやすい食材、レシピを用いて調理を行い、食と生活習慣病の関連性を伝えることができる。	実施日：令和4年12月3日(金) 対象者：町内に住む男性 内容：調理実習、栄養講話(高血圧を予防しよう) メニュー：鶏肉と野菜のデミソース煮込み、かぼちゃサラダ、押し麦ごはん 参加者の感想：土曜の夜のテレビ番組のようで楽しかった。手取り足取り教えていただきありがとうございました。また機会があれば参加したい。	6
留萌	羽幌町食生活改善協議会／ヘルシークッキング教室	食事や栄養価の適正量を知り、楽しく調理してもらおう。	対象：成人女性 日程：R4年6月23日(木)10:30～13:00 会場：羽幌町すこやか健康センター 内容：食事や栄養に関する講話、調理実習(うどんカルボナーラ、甘エビとアスパラのかつお節サラダトマトオレンジゼリー)	8
留萌	羽幌町食生活改善協議会／男性料理教室	料理経験の少ない男性に基本的な料理の調理方法を知ってもらおう。	対象：成人男性 日程：①R4年9月14日(水)10:30～12:45 ②R5年1月29日(日)10:30～12:45 会場：羽幌町すこやか健康センター 内容：食事や栄養に関する講話、調理実習(①ごはん、秋鮭のみそマヨちゃんちゃん焼き、お吸い物、②ライス、たらのアクアパッツァ、白菜のクリームスープ、フルーツ)	11
留萌	羽幌町食生活改善協議会／おやこの食育料理教室	食の体験を通して「食べものをえらぶ力」、「食べものの味がわかる」を養うとともに、親と子の供食の大切さを感じ取ってもらおう。	対象：年中児～小学生とその保護者 日程：R4年11月20日(日)10:00～13:00 会場：羽幌町すこやか健康センター 内容：食事や栄養に関する講話、調理実習(ごはん、キラキラハンバーグ、スイートポテトサラダ、牛乳ココアプリン)	10
オホーツク	網走市食生活改善協議会／男性の料理教室	調理が苦手な男性も簡単に作れて栄養を意識した料理を体験することで、食べ物と健康の関連性を認識してもらおう。	1. 栄養バランスと減塩に配慮した調理実技。 2. 試食をしながら調理の応用の仕方について意見交換する。	8
オホーツク	網走市食生活改善協議会／親子の食育教室(親子チャレンジクッキング)	親子で楽しく調理をし、食べ物の大切さ、食べることの大切さについて知る。	1. 親子で調理を楽しむ 2. 食べる楽しさを伝える	15
オホーツク	網走市食生活改善協議会／鮭まるごと料理教室	地場産の鮭を用いた料理の普及、啓発。	1. 鮭の焼き方 2. 丸ごと食べられる調理方法の紹介 3. 調理実技・試食	15
オホーツク	網走市食生活改善協議会／若者世代の料理教室	若者世代への食育。調理と栄養バランスのとれた献立を通して食べることの大切さ、健康の関連性を知る。	1. 栄養バランスと減塩に配慮した調理実技 2. 試食をしながら食育について意見交換する。	14
オホーツク	網走市食生活改善協議会／生涯骨太クッキング	フレイル予防のためのバランスの摂れたレシピを提供する料理教室。	日本食生活協会から配布される冊子を利用し、実技料理、講話の内容の参考にする。 ・乳製品を使用した4品の料理の調理・試食 ・カルシウムについて管理栄養士が講話。	16
オホーツク	網走市食生活改善協議会／市民健康展：食生活改善推進員コーナー	食による健康に関する情報を発信、普及する。	1. 「野菜の力で減塩を」をテーマとし、野菜を使った料理の試食、350gの野菜を使った料理の展示 2. 食事バランスガイドの普及	200
オホーツク	網走市食生活改善協議会／あばしり食育展：食生活改善推進員コーナー	食による健康に関する情報を発信、普及する。	1. 「野菜の力で減塩を」をテーマとし、野菜を使った料理の試食、350gの野菜を使った料理の展示 3. 食事バランスガイドの普及	118
オホーツク	網走市食生活改善協議会／小学校総合学習への協力	児童への食育	南小学校5年生の総合学習内で、地産地消レシピ、調理実習についての講話、調理指導を実施。	40
オホーツク	食生活サポーターヘルシースプーン会／	健康や食事に関する正しい知識を習得し、自身の生活や食事に生かすとともに、地域への支援につなげる。	時期：通年 場所：保健福祉センターほか 内容 ・健康や食事に関する講習会：3回 ・町内の図書館2箇所へ副菜のレシピ集配置、食料品店へ副菜のレシピを配置(毎月1回交換)	40

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	生涯学習推進委員会／コミュニティ講座	市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう啓発していくもの。	市内各小学校(学園)単位に設置されているボランティア団体「生涯学習推進委員会」が主体となって随時実施。料理教室・講話等を通じて食育を推進。 時期: 通年 場所 福祉センター・コミュニティセンター等 ・10/8 ハロウィンクッキー作り 7名 ・10/22 ハロウィンクッキー作り 9名 ・11/24 干し柿づくり 27名 ・12/6 あんこ作り講習会① 14名 ・12/7 あんこ作り講習会② 14名 ・1/9 そば打ち体験会 35名 ・1/29 おからみそ作り教室 16名 ・2/18 味噌づくり講習会 14名	136
十勝	帯広市食生活改善推進員協議会／幼児親子食育教室(市と共催)	幼児を対象に地場産食材を使用したおやつレシピやおやつの役割などの講話を通して、参加親子の食生活を振り返るとともに健康について考えるきっかけづくりを目的としている。	【内容】食生活改善推進員によるレシピ配布・紹介・エプロンシアター ※新型コロナウイルス感染症対策のため飲食を伴わない形へ変更 【日程】令和4年11月 【場所】帯広市保健福祉センター 【対象】乳幼児プレイルーム利用の親子(0～未就園児の親子) 【レシピ】食生活改善推進員25周年記念レシピ集 【特記事項】配布したレシピ集には、おやつだけではなく様々なレシピが記載しており、家族全員の食事の参考になったと考えられる。	4
十勝	帯広市食生活改善推進員協議会／働き盛りのバランスご飯教室(市と共催)	働き盛り世代、子育て世代の男女を対象に健康増進と生活習慣病予防のため減塩で栄養バランスの整った献立を調理し、食生活改善の普及啓発を行う。	【内容】旬の食材を使用した、減塩・バランス食の調理実習と栄養講話。 【日程】令和4年10月、11月 【場所】帯広市保健福祉センター 【対象】20～49歳代の市民 【献立】黒豆と桜エビのご飯、鶏肉と秋野菜のねぎソースかけ、ひきたっぷりビーンズサラダ、丸ごとすりおろしキャロットスープ、もっちりプルプル豆乳抹茶プリン 【特記事項】アンケート結果から「塩や油をあまり使わなかったがこのクオリティにびっくりした」「おいしく簡単に作れたので家でも作ってみようと思う」などの感想があり、食生活に対する意識改善に繋がっていると考えられる。	18
十勝	しんと子ども食堂「もぐもぐ」	食育、孤食の解消、子育て支援、地域交流	開催時期 令和4年4月～令和5年3月 開催日 毎月第2、第4水曜日	240
十勝	幕別町食生活改善協議会／食改さんとつくるアイデア料理教室	減塩とバランスの良い健康食の普及と本協議会の活動PRを図る。	対象: 20～50代の幕別町民(託児10名) 時期: 9月22日、9月28日 場所: 保健福祉センター、百年記念ホール 内容: サバ缶そぼろの三色丼、ピーマンの金平、豚肉のきのこ巻き、ごまプリン コロナ対策を行い、食生活改善協議会が主体となって企画・調理指導を実施。託児を用意し、こどもも喜ぶ野菜たっぷりバランス食をテーマに実施した。家庭料理のコツなど伝えることができ、参加者からも、手軽なメニューなので家でも作ってみたい、野菜の切り方など普段気になっていたことを丁寧に教えてもらってよかったという声も多く好評であった。	10
釧路	釧路町食生活改善協議会／ ・レシピ集の作成配布 ・栄養情報媒体パネル作成展示	・町民がコロナ禍においても家庭で健康に配慮した食事ができるよう、手軽な調理方法を周知する。 ・自身の健康状態と関連付けて日々の食事の振り返りとなるよう、加工食品に含まれる食塩相当量を周知する。	・レシピ集作成時期/令和4年6月～令和5年1月 【設置配布】令和4年7月～ 【設置場所】支所、公民館、保健福祉センター、町内郵便局2か所 ・新規栄養情報媒体パネル作成時期/令和5年2月 【展示日程】令和4年10月29～30日、令和5年3月6日～10日 【展示場所】釧路町文化フェスティバル、釧路町セチ支所交流スペース	
釧路	厚岸町食生活改善協議会／ ①食育教室	児童の健康な体と心を育てることを目的に食育の推進を図る。	【時期】夏休み(7月29日)と冬休み(1月13日) 【場所】友達児童館、子夢希児童館 【対象】小学生 【内容】・食育講話(正しい水分補給と糖分、塩分について、朝食の大切さ)	99
釧路	厚岸町食生活改善協議会／ ①食生活教室 (減塩・生涯骨太クッキング)	食を通して、地域に密着した健康づくりの推進活動の充実強化を図る。	【時期】11月1日(尾幌地区、門静地区) 【場所】尾幌酪農ふれあい館、門静地区 【対象】地区婦人部 【内容】・バランスガイドとセルフチェックの普及・啓発(バランスのとれた食事をとるために前日の食事の振り返りを行った。1日に必要な野菜量の展示、1皿生野菜70gでつくった野菜料理の展示、牛乳・乳製品を使用したレシピの配布、制作した糖分パネルの展示)	20
釧路	厚岸町食生活改善協議会／ パネル展示	肥満や生活習慣病の予防につなげる。	【時期】8月～3月 【場所】町内6箇所の施設 【対象】全町民 【内容】飲み物に含まれている糖分を見える化したパネルを作成し、たくさんの方が来場する会場に設置した。	
釧路	標茶町食生活改善協議会／	児童の健康な食生活の推進のため調理実習や健康講話を行う。	親子食育教室 時期: 8/2(火) 場所: 茶安別公民館 概要: 小学生と保護者を対象に冬休みを利用して、食育についての講話および調理実習を行っている。	17
釧路	待合室「みちくさ」運営委員会／ 子ども食堂	こどもの居場所づくりおよび食への関心を高める。	町内の生産者や企業に食材の提供を働きかけ、第3土曜日に開催。年12回実施。 待合室「みちくさ」で実施 子ども228人、中高生51人、大人322人	601

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	待合室「みちくさ」運営委員会／地域食堂	子どもから大人まで、地域の居場所づくりおよび食への関心を高める。	令和5年2月より毎月15日(15日が土日祝日の場合はその前の平日)に実施。 待合室「みちくさ」で実施 大人65人	65
釧路	白糠町食生活改善協議会／	・親子で楽しく料理をする。 ・幼児期に必要な食事内容を知る。	おやこ食育教室 日程:令和5年2月17日 場所:白糠町保健センター 参加者:子育て支援センターを利用している親子 内容:調理実習(サンマ缶の海苔巻き、ひじき入りふんわりつくね、野菜スープ)	6
根室	根室市食生活改善協議会／骨粗鬆症予防啓発	骨粗鬆症予防のため、カルシウムのとり方などの食事方法について啓発する。	内容:骨粗鬆症集団検診会場にて、受診者にカルシウムが豊富な料理のレシピを配布する。 メニュー:2食おはぎ	42
根室	別海町消費者協会／牛乳・乳製品消費拡大事業	牛乳・乳製品の知識や料理法を講習会等の事業を通じて普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与する。	実施日:令和4年11月11日、令和4年11月25日 場所:別海町農漁村加工体験施設 内容:パン作り	15
根室	別海町消費者協会／牛乳・乳製品消費拡大事業	牛乳・乳製品の知識や料理法を講習会等の事業を通じて普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与する。	実施日:令和4年12月2日、令和4年12月9日 場所:別海町乳製品加工研修施設 内容:チーズ作り	8
根室	別海町消費者協会／第17回牛乳パッケージイメージデザインコンクール	牛乳消費拡大の一環として、町内の小学生を対象に、牛乳パッケージのイメージデザイン募集を実施することにより、乳製品への興味・関心を高める。	募集:令和4年12月～令和5年1月 審査:令和5年2月16～17日	147